

# Antenna House Formatter V7 サンプル集

最終更新日：2024 年 3 月 25 日

## ページの領域と構造のサンプル

ページ内の各領域の紹介 .....	8
ページの各領域と境界線 .....	9
本文領域への領域作成、組み合わせ .....	10
fo:region-start、end の文字方向 .....	11
ページごとにレイアウトを自動変更 .....	12
ページの最初、最後などのページマスタを指定 .....	13
空白のページマスタを指定 .....	15
文書先頭から奇数、偶数ページのページマスタを指定 .....	17
出現順序を指定したページマスタ .....	19
見開きページマスタ .....	21
見開き 2 ページにまたがる表 .....	28
ページに背景色を指定 .....	42
ページに背景画像を指定 .....	43
ページの背景画像の拡大、縮小 .....	44
背景画像のサイズ .....	45
背景画像の位置 .....	46
背景画像の繰り返し .....	47
背景画像を表示する領域 .....	49
背景画像の表示位置の基点 .....	50
複数の背景画像 .....	51
入れ子と空の fo:page-sequence .....	52
段組 .....	56
段間罫 .....	58
脚注 .....	60
脚注の配置方法 .....	61
脚注番号の作成と初期値 .....	63
同じページに同じ脚注の表示抑止 .....	65
脚注を複数ページに渡って配置 .....	67
段組のときの脚注 .....	69
傍注 .....	71
改訂バー .....	76
任意の文字を改訂バーとして出力 .....	77
ページにすかし文字列を表示 .....	78

文書先頭から数えて偶数または奇数ページで改ページする .....	79
<b>ページ番号、目次と索引のサンプル</b>	
ページ番号 .....	82
ページ番号の形式と初期ページ番号 .....	84
相対ページ番号 .....	86
ページ番号の逆順振り、通しノンブル .....	88
目次 .....	94
「ツメ」の組版 .....	96
索引 .....	98
カウンタスタイル .....	100
<b>ブロックの配置と表示のサンプル</b>	
ブロック内、テキスト周りのアキ .....	102
ブロック間のアキ .....	103
境界線の種類や太さ .....	104
境界線の種類の拡張 .....	106
ボーダーの拡張、丸め野 .....	107
ボーダーによる対角野 .....	108
二重の枠線と太さ .....	109
三重線の枠線と太さ .....	110
波枠線と形状 .....	111
二重波線の形状 .....	112
ボーダーの接合部の形状 .....	113
ボックスシャドウ .....	115
<code>span="all"</code> が指定されたブロックの前後のアキ .....	116
隣り合うブロックを同じページに配置 .....	117
同じブロックを同じページに配置 .....	120
<code>keep-together</code> を適用する高さの上限を指定 .....	123
ブロックコンテナを絶対位置で配置 .....	127
ブロックコンテナの位置と大きさ .....	128
ブロックコンテナの段組、段間の野線 .....	130
段の高さをバランスさせる .....	132
縦方向の文字配置の調整 .....	134
オーバーフロー .....	135
オーバーフローを代替文字、文字サイズで調整 .....	136
オーバーフロー時の詰め込み方法を複数指定 .....	137
オーバーフローした内容末尾の表示を指定 .....	138
<code>&lt;fo:inline-container&gt;</code> 内のブロックがオーバーフローしたときの調整 .....	139



オーバーフローの詰め込み後の最終行を均等割り付けするかを指定 .....	140
ブロックの変形 .....	141
行グリッド .....	142
簡条書き .....	143
改ページ時の残り領域の高さを指定 .....	144

## 表の配置と表示のサンプル

表の配置 .....	146
表のボーダーとパディング .....	148
表のカラム幅 .....	149
カラムスパンとロースパン .....	150
表のヘッダ、フッタの繰り返し .....	151
段組の表のヘッダ、フッタを省略 .....	153
表の行途中でのページ分割抑止 .....	155
テーブル行の widows/orphans .....	157
セル内の文字の位置 .....	159
セル内の指定文字による揃えと配置調整 .....	160
表のページ分割した箇所へ文字列を指定 .....	161
ページ分割されたセルの表示内容を指定 .....	162
表の回転 .....	164
表の本文セルと表の見出しセルの関連付け .....	165
セルの高さを揃える .....	168
ボーダーの優先度 .....	169
表の背景 .....	171
表の行と列からプロパティを継承 .....	172
表の機能を組み合わせた例 .....	173
keep-together.within-*= "always" による fo:table-row のオーバーフローを回避 .....	174

## フロートのサンプル

サイドフロート .....	180
ページフロート .....	181
段抜きフロート .....	182
カラムフロート .....	183
段組内フロートの自動配置 .....	184
段組内フロートの自動配置（カラムの外側に配置） .....	185
アンカー位置にフロートを配置 .....	186
表の泣き別れを float で回避 .....	187

## 行の配置と表示のサンプル

行の高さ .....	194
------------	-----

行送り .....	195
シフトした文字がある行の高さ制御 .....	196
line-stacking-strategy と line-height-shift-adjustment .....	197
タイトルをテキストブロックの上部に揃える .....	198
リーダーの位置揃え .....	199
ブロック内の文字配置 .....	200
文字の間隔 .....	202
Breaking Paragraphs into Lines (BPIL) .....	203
縦中横 .....	205
欧文約物前後、約物と数字間の空白量の調整 .....	206
インライン要素を句読点に食い込ませる .....	207
欧文ペアカーニング .....	208
欧文の合字 .....	209
和欧文間のアキ .....	210
行末での追い込み .....	211
行頭での突き出し、行末でのぶら下げ .....	213
行頭での突き出し、行末でのぶら下げ（英文） .....	214
ページ先頭の text-indent .....	215
最後の行末のアキの調整 .....	217
最終行の空白の調整 .....	218
段落末尾の処理 .....	219
段落末尾の文字数に約物を含めない .....	220
分割禁止語の指定 .....	221
行頭禁則和字の扱い .....	223
全角約物の詰め処理 .....	224
全角約物と全角文字の詰め間隔 .....	226
ハイフネーション処理と SOFT HYPHEN .....	227
ハイフン付き単語のハイフネーション処理 .....	228
ハイフネーションする文字数と範囲 .....	229
大文字からなる語のハイフネーション処理 .....	230
ハイフネーション情報の追加 .....	231
ハイフンの位置で改行したとき行頭にもハイフンを置く .....	232
略語とみなす最大文字数と行分割制御 .....	233
行番号 .....	234
表の段へ独立した行番号を表示 .....	236
常に表示される行番号を指定 .....	237
行番号の向き、回転 .....	238

継続行を除いて行番号を振る .....	239
行継続マーク .....	240
タブ .....	241
段落最後の文字列を右寄せにする .....	242

## 文字の表示と修飾のサンプル

フォントサイズ .....	244
フォントストレッチ .....	245
文字修飾 .....	248
日本語の字体指定 .....	249
axf:font-face で追加のフォントを指定 .....	250
axf:font-face で追加したフォントの Unicode 範囲を指定、およびフォントサイズを調整する .....	252
テキストシャドウ .....	253
文字の輪郭 .....	254
ドロップキャップ .....	255
start フロートをドロップキャップされる文字よりも外側に置く .....	257
ホワイトスペースの保持 .....	258
テキストの大文字と小文字の調整 .....	259
文字列の置換 .....	260
グリフの方位 .....	261
引用符の向きを指定 .....	263
絵文字のサポート .....	264

## ルビと圈点のサンプル

ルビ .....	265
縦書き文書におけるルビ .....	266
ルビの配置 .....	268
ルビの文字への掛け方 .....	269
ルビ文字の外観 .....	271
圈点とルビ .....	273

## 多言語組版のサンプル

多言語組版 .....	274
オランダ語のレイアウト .....	278
縦書き .....	280

## PDF 作成機能のサンプル

文書情報の埋め込み .....	282
PDF を開いたときのページレイアウト .....	283
PDF にしおりを付ける .....	285

PDF の内部リンクと外部リンク .....	287
宛先形式を指定したリンク .....	289
PDF の埋め込み .....	291
ページを指定して PDF を埋め込む .....	293
埋め込まれた PDF を使った差し込み印刷 .....	294
PDF へ注釈を付ける .....	296
埋め込んだ PDF の注釈を保持 .....	298
PDF 注釈の作成日や修正日を指定 .....	300
PDF 出力におけるレイヤ .....	301
マルチメディアの埋め込み .....	303
マルチメディアの参照 .....	304
リッチメディア注釈 .....	306
フォームフィールド .....	308
フォームフィールドの名前にページ番号を付加 .....	310
フォームイベント .....	312
トンボの描画 .....	313
内トンボ、センタートンボ、西洋トンボ .....	314
トンボをページ内容の上に描く .....	316
オーバープリント .....	317
タグ付き PDF でのタグに拡張テキストを指定 .....	318
<b>グラフィクス表示のサンプル</b>	
グラフィクスの表示 .....	319
描画領域へグラフィクスを自動調整 .....	320
画像のスケーリング値を段階的に指定 .....	322
XSL-FO に直接グラフィクスを埋め込む .....	324
グラフィクス SVG の表示 .....	325
グラフィクス Scalable Vector Graphics (SVG) 2 の表示 .....	326
グラフィクス CGM の表示 .....	327
グラフィクス EPS の表示 .....	329
グラフィクス PDF の表示 (PDF の埋め込み) .....	330
グラフィクス WebP の表示 .....	331
MathML による数式描画 .....	332
MathML の menclose の楕円、擬似スクリプト .....	337
SVG を使用した「すかし」 .....	338
グラデーション .....	340
画像の代替テキストを表示 .....	343
OSDC を使って Microsoft Office 文書を埋め込む .....	344

## バーコードのサンプル

バーコード .....	346
バーコードの色と余白 .....	349
バーコードの色とサイズ .....	350

## カラーのサンプル

色名 .....	351
rgb-icc によるグレイスケールの描画 .....	355
rgb-icc() と cmyk() による CMYK の描画 .....	356
rgb-icc で PANTONE® スポットカラーを指定 .....	357
HSL : 色相、彩度、輝度による色指定 .....	358
テキストを透明にする .....	360

上

## ページ内の各領域の紹介

XSL-FO ではページの中に大きく五つの領域を確保します。

**(1) region-start** 左端の「左」と書かれた縦長の部分です。紙の左端から **region-start** の左端までの長さはページの **margin-left** プロパティで指定します。幅は **region-start** の **extent** プロパティで指定します。

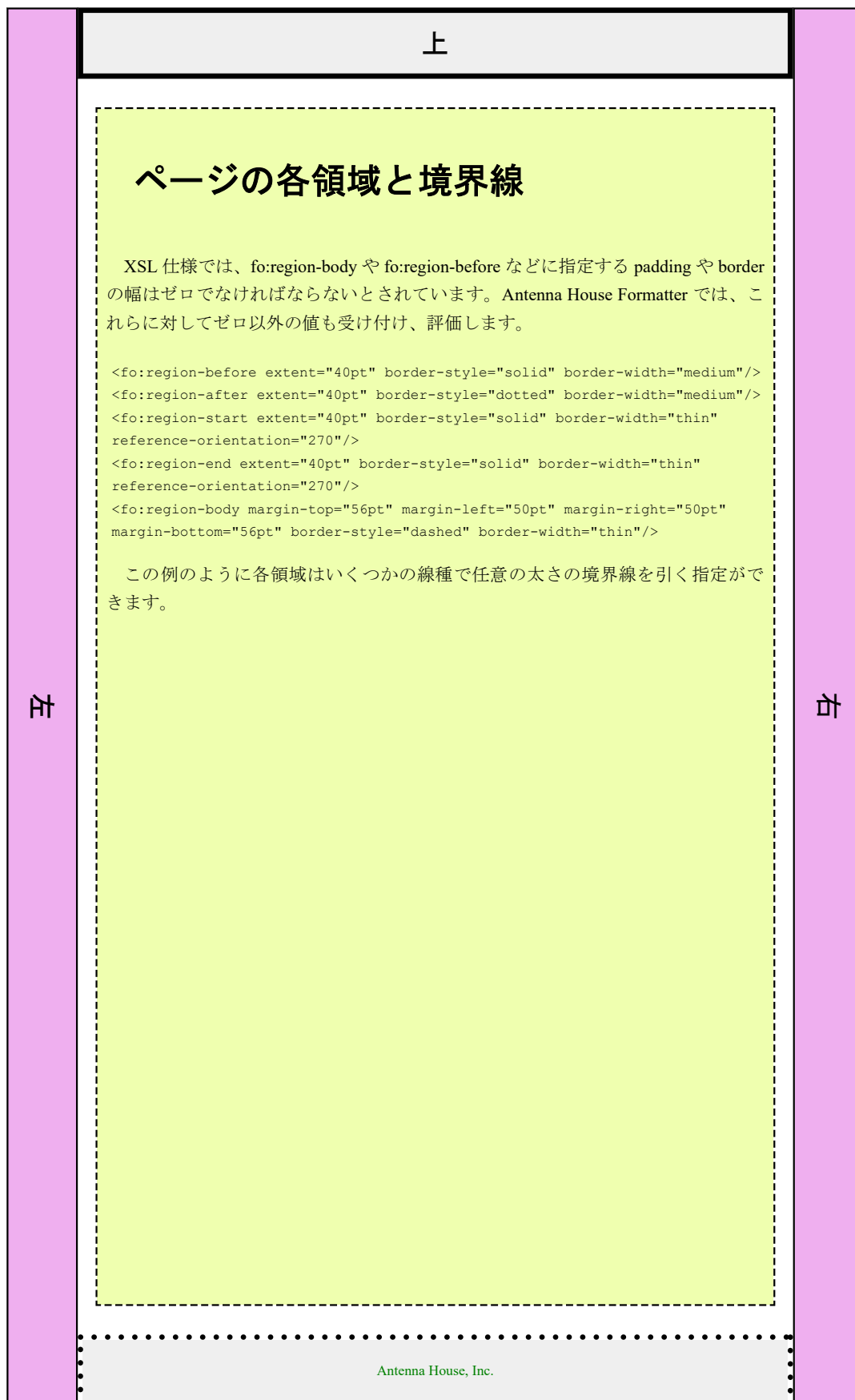
**(2) region-end** 右端の「右」と書かれた縦長の部分です。紙の右端から **region-end** の右端までの長さはページの **margin-right** プロパティで指定します。幅は **region-end** の **extent** プロパティで指定します。

**(3) region-before** 上端の「上」と書かれた横長の部分です。紙の上端から **region-before** の上端までの長さはページの **margin-top** プロパティで指定します。高さは **region-before** の **extent** プロパティで指定します。ページのヘッダ領域として使用します。

**(4) region-after** 下端の「Antenna House, Inc.」と書かれた横長の部分です。紙の下端から **region-after** の下端までの長さはページの **margin-bottom** プロパティで指定します。高さは **region-after** の **extent** プロパティで指定します。ページのフッタ領域として使用します。

**(5) region-body** このテキストが置かれている中央の大きな部分です。ページの各マージンに **region-body** の各マージンをそれぞれ加えたものが、紙の四辺から **region-body** の各四辺までの長さになります。

Antenna House, Inc.



A. これは前方フロートの内容。これは前方フロートの内容。これは前方フロートの内容。

B. これは前方フロートの内容。これは前方フロートの内容。これは前方フロートの内容。

C. これは前方フロートの内容。これは前方フロートの内容。これは前方フロートの内容。

本文と前方フロートの分離領域

# 本文領域への領域作成、組み合わせ

本文領域にはテキスト、内容に合わせてさまざまな領域を作成できます。このサンプルは段組、フロート領域、脚注領域を組み合わせで作成しました。

1. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している<sup>(1)</sup>。

2. ここに A。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

これは開始フロー 3. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

4. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

5. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

するのみでなく、他の仕様も提供している。

これは開始フロー 6. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

7. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

8. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している<sup>(2)</sup>。

9. ここに B。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

10. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

いる。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

11. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している<sup>(3)</sup>。

12. ここに C。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

これは開始フロー 13. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

14. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

本文と脚注の分離領域

<sup>(1)</sup> 脚注：例えば、双方向アルゴリズム。

<sup>(2)</sup> 脚注：例えば、双方向アルゴリズム。

<sup>(3)</sup> 脚注：例えば、双方向アルゴリズム。

Antenna House, Inc.



## fo:region-start、end の文字方向

fo:region-start、end 領域の文字表記の方向を指定できます。writing-mode="tb-rl" で縦書き、reference-orientation で領域を 90°単位で回転します。writing-mode や reference-orientation の指定を有効にするには、fo:page-sequence へ writing-mode="from-page-master-region()"、reference-orientation="from-page-master-region()" の指定が必要です。

このページは、fo:region-start と fo:region-end へ writing-mode="tb-rl" を指定することで縦書きにしています。

Antenna House, Inc.

これは region-start 領域です。

これは region-end 領域です。

2 ページ目は reference-orientation で region-start と region-end を回転させた例です。fo:region-start に reference-orientation="90" を指定、fo:region-end に reference-orientation="270" を指定しています。

Antenna House, Inc.

これは region-start 領域です。

これは region-end 領域です。

Antenna House, Inc.

## ページごとにレイアウトを自動変更

ページごとに異なるレイアウトを自動的に割り当てる設定ができます。ここでは、ヘッダの文字を左ページでは左寄せ、右ページでは右寄せにしています。同様にフッタでもページ番号や文字の位置を左右に振り、文字の内容も切り替えています。各ページの左右の余白は左ページは右側を大きく、右ページは左側を大きくとってあります。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

-1- XSL-FO sample

Antenna House, Inc.

即ち、PDF ファイルには 1 枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。

XSL-FO sample (2)

## ページの最初、最後などのページマスタを指定

`page-position` を使用して、ページシーケンス内のページの位置に基づいたページマスタを選択できます。`page-position` はページマスタの出現条件を設定する `<fo:conditional-page-master-reference>` に適用され、ページマスタの組み合わせの繰り返しを規定する `<fo:repeatable-page-master-alternatives>` 内で使用されます。`<fo:conditional-page-master-reference>` は、指定した条件を満たす最初のページマスタを選択します。`page-position` の条件として指定できる値は、ページシーケンスの `first` (最初のページ)、`last` (最後のページ)、`only` (唯一のページ)、`rest` (その他のページ)、`any` (配置に関係なく選択) です。既定値は `any` です。

このサンプルでは 4 つの `<fo:conditional-page-masterreference>` で、順番にそれぞれ背景色が異なる 4 つのページマスタを選択するための条件を指定しています。

- ・ ページシーケンスの唯一のページの場合、背景色のないページになる。
- ・ ページシーケンスの最初のページの場合、背景が青色のページになる。
- ・ ページシーケンスの最後のページの場合、背景がピンクのページになる。
- ・ ページシーケンスの最初のページでも最後のページでもない場合、背景が黄色のページになる。

このページはページシーケンスの唯一のページ (次ページが新しいページシーケンスの開始であるため) になるため、背景色がありません。

1

Antenna House, Inc.

2 番目のページシーケンスの最初のページになるため、背景が青色になります。

1

Antenna House, Inc.

2 番目のページシーケンスの最初でも最後のページでもないため、背景が黄色になります。

2

Antenna House, Inc.

2 番目のページシーケンスの最後のページになるため、背景がピンクになります。

3

Antenna House, Inc.

## 空白のページマスタを指定

ページマスタの出現条件を設定するための `<fo:conditional-page-master-reference>` には `blank-or-not-blank`、`odd-or-even`、`page-position` のプロパティを設定できます。このうち `blank-or-not-blank` は、実際のコンテンツを含むページを生成するか `break-before="odd-page"` や `force-page-count="end-on-even"` などのプロパティ値の条件を満たすために空白ページを生成するかを示します。`blank-or-not-blank` へは値として `blank`（プロパティの条件を満たすために生成される空白ページ）、`not-blank`（コンテンツが含まれるページ）または `any`（常に選択可能なページ）が指定できます。既定値は `any` です。空白ページに使用するページマスタを選択する場合を除き、通常 `blank-or-not-blank` は省略されます。

このサンプルには 1 ページ分のテキストしかありませんが `force-page-count="3"` <sup>(1)</sup> が指定されており、ページ数を 3 で強制します。この制約を満たすために空白が 2 ページ生成されます。

空白ページと非空白ページは、別々のページマスタを `<fo:conditional-page-master-reference>` へ指定します。空白ページのページマスタは背景を青色としています。さらに `<fo:region-before region-name="blank-text">` で空白ページ専用のヘッダ領域を作成し `<fo:static-content flow-name="blank-text">` で出力するテキストを指定しています。

(1) `force-page-count` の数値指定は Antenna House Formatter の拡張機能のひとつです。詳しくはマニュアルの [force-page-count](#) をご参照ください。

1

Antenna House, Inc.

This page intentionally left blank

2

Antenna House, Inc.



## 文書先頭から奇数、偶数ページのページマスタを指定

odd-or-even へ odd-document、even-document を指定することで文書先頭から奇数、偶数ページのページマスタを選択できます。指定の値 odd-document は文書先頭から奇数ページ、even-document は文書先頭から偶数ページを表します。各指定は <fo:page-number> など生成されるページ番号ではなく、文書先頭からの物理的な奇数、偶数ページに適用されます。詳しくはオンラインマニュアル「[odd-or-even](#)」をご参照ください。この機能は Antenna House Formatter V6.5 から利用いただけます。

このサンプルでは 2 ページ目以降で、先頭から奇数ページは odd-document で背景色が "beige" のページマスタを選択、先頭から偶数ページは even-document で背景色が "pink" のページマスタを選択するように設定しています。また、2 ページ目以降は <fo:page-number> で生成されるページ番号が 1 から開始されるよう initial-page-number="1" を組み合わせた指定と物理的なページ番号を生成する axf:physical-page-number を指定しています。

Antenna House, Inc.

fo:page-number - 1

axf:physical-page-number - 2

<fo:page-number> のページ番号は 1 で奇数ですが、物理的なページ番号 axf:physical-page-number は 2 で偶数のため even-document で指定した背景色が "pink" のページマスタが選択されます。

Antenna House, Inc.

fo:page-number - 2

axf:physical-page-number - 3

<fo:page-number> のページ番号は 2 で偶数ですが、物理的なページ番号 axf:physical-page-number は 3 で奇数のため odd-document で指定した背景色が "beige" のページマスタが選択されます。

Antenna House, Inc.

fo:page-number - 3

axf:physical-page-number - 4

<fo:page-number> のページ番号は 3 で奇数ですが、物理的なページ番号 axf:physical-page-number は 4 で偶数のため even-document で指定した背景色が "pink" のページマスタが選択されます。

Antenna House, Inc.



## 出現順序を指定したページマスタ

`page-position` へ `second` を指定することでページシーケンス先頭から 2 ページ目（`first` の次のページ）のページマスタを選択できます。詳しくはオンラインマニュアル [page-position](#) をご参照ください。この機能は Antenna House Formatter V7.3 から利用いただけます。

このサンプルでは 2 ページ目に背景色が "beige" のページマスタを選択するように設定しています。

```
<fo:page-sequence-master master-name="second">
  <fo:repeatable-page-master-alternatives>
    <fo:conditional-page-master-reference master-reference="master" page-position="first"/>
    <fo:conditional-page-master-reference master-reference="beige" page-position="second"/>
    <fo:conditional-page-master-reference master-reference="pink" page-position="rest"/>
  </fo:repeatable-page-master-alternatives>
</fo:page-sequence-master>
```

Antenna House, Inc.

2 ページ目です。

Antenna House, Inc.

`page-position="second"` と `odd-or-even="odd-document/even-document"` を組み合わせることで、文書先頭から数えて偶数または奇数ページの条件も追加することができます。

このサンプルでは、2 ページ目かつ文書先頭から奇数ページの場合に背景色が `"beige"`、2 ページ目かつ文書先頭から偶数ページの場合に背景色が `"pink"` のページマスタが選択されます。

```
<fo:page-sequence-master master-name="second-odd-even">
  <fo:repeatable-page-master-alternatives>
    <fo:conditional-page-master-reference master-reference="master" page-position="first"/>
    <fo:conditional-page-master-reference master-reference="beige" page-position="second" odd-or-even="odd-document"/>
    <fo:conditional-page-master-reference master-reference="pink" page-position="second" odd-or-even="even-document"/>
  </fo:repeatable-page-master-alternatives>
</fo:page-sequence-master>
```

Antenna House, Inc.

2 ページ目です。

Antenna House, Inc.

# 見開きページマスタ

axf:spread-page-master、axf:spread-region の指定により 2 ページにまたがる見開き領域を定義できます。指定は axf:spread-page-master により見開きを定義し、axf:spread-region で見開きページの領域を指定します。axf:spread-region がいずれかのページマスタによって fo:region-body と重なる場合は fo:region-body はリサイズ、または見開きページから外されます。詳細はオンラインマニュアルの「[見開きページマスタ拡張](#)」をご参照ください。見開きページマスタの設定は Antenna House Formatter V6.3 からご利用いただけます。

サンプルは、見開きでない領域 fo:simple-page-master "PageMaster" と見開きの定義 axf:spread-page-master "Spread-PageMaster-1"、2 ページに

axf:spread-page-master で定義した領域

## 見開きタイトル

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Sed tincidunt felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada vel. Sed consectetur.

またがるタイトル、テキストで組版される見開き領域 `axf:spread-region`  
"spread"の指定で構成されています。

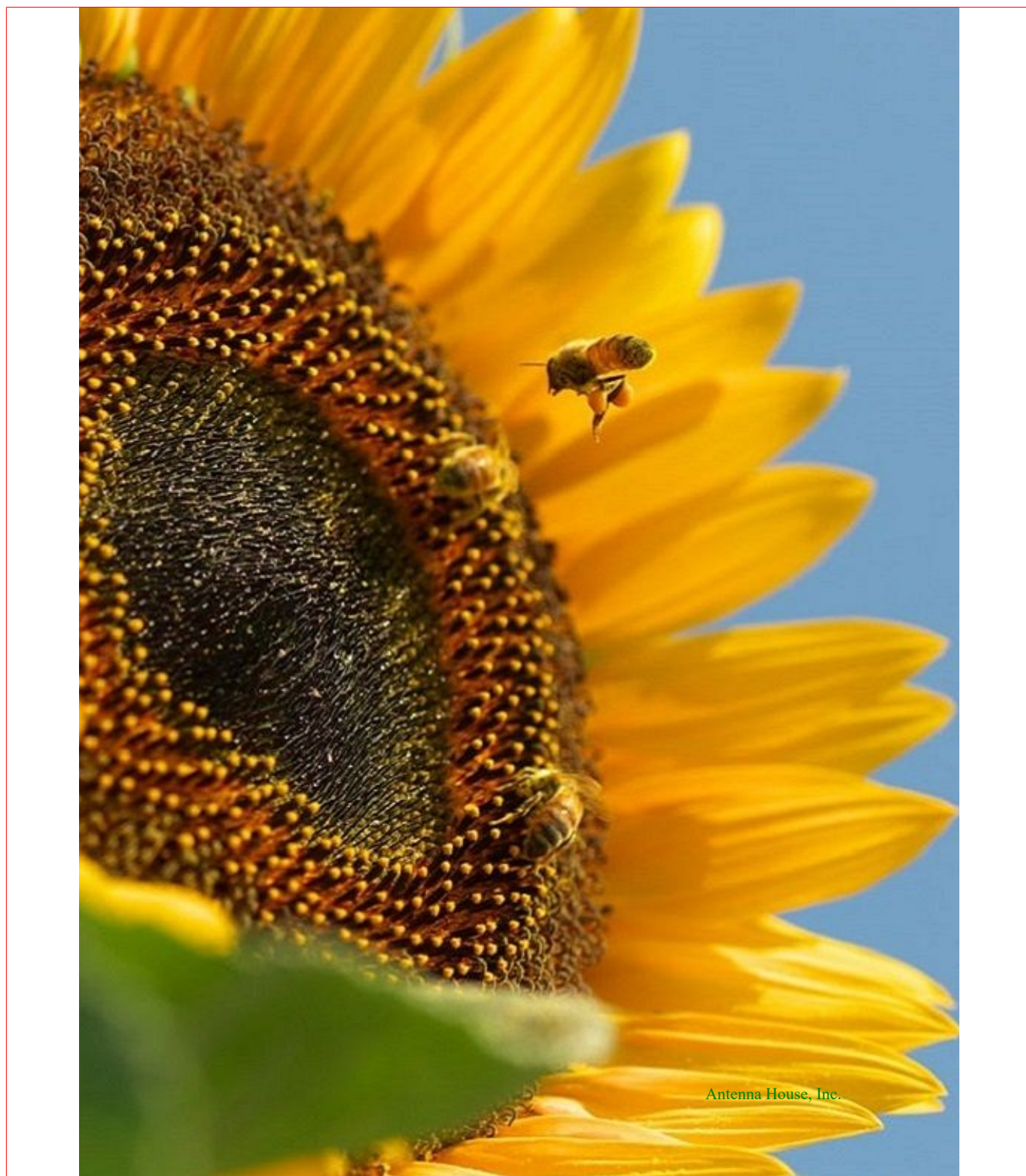
## ル (サンプル)

retra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor  
elit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius

Antenna House, Inc.

3、4 ページのサンプルでは見開きの定義 `axf:spread-page-master` "Spread-PageMaster-2" へ `background-image` を指定して 2 ページに背景画像がまたがるよう構成されています。

Antenna House, Inc





Lorem ipsum dolor sit amet  
consectetur adipiscing elit justo  
sociosqu, ridiculus eget hendrerit  
et dui ac conubia lacus  
condimentum, commodo fringilla  
est montes in penatibus quis curae.  
Nisl mi id nostra diam erat arcu at  
taciti facilisi, congue ante turpis  
morbi augue sagittis dictum.  
Ligula velit eget taciti facilisis  
neque felis, habitant ullamcorper  
ante phasellus libero habitasse  
posuere, lacinia eros senectus  
magna faucibus.

Sed viverra nulla orci arcu  
vestibulum ac et purus tincidunt  
risus nec primis, aenean ultricies  
erat phasellus at volutpat eros  
facilisis ultrices non netus.  
Ultricies eros tristique metus netus  
ultrices purus a, porttitor  
suspendisse nibh elementum risus  
et nisl viverra, cubilia morbi id  
imperdiet lobortis sagittis. Hac  
sociosqu pharetra potenti cras  
tempor nisi tincidunt sagittis erat,  
natoque lobortis libero nulla in  
lacinia volutpat tellus commodo  
vitae, eget facilisis congue urna  
varius placerat ad hendrerit. Hac

Antenna House, Inc.



facilisi ultrices dis volutpat taciti  
torquent, molestie arcu inceptos



axf:spread-region は見開きの一部だけカバーします。領域またはそのコンテンツの余白が負になるため、画像がページの端を超えて拡張するようになります。

primis sagittis aptent tortor, nisi  
pretium vehicula massa enim.

Dis donec fringilla ligula hac  
eros arcu sodales suspendisse

Antenna House, Inc.



pretium curabitur vitae sapien  
molestie, vel nisl ante malesuada  
dignissim sed nam class nibh id  
nullam aliquam sollicitudin  
eleifend, montes risus bibendum  
vivamus semper egestas dapibus  
justo lectus facilisi ullamcorper  
felis. Hac rhoncus fusce quisque  
tortor venenatis, nostra aliquet  
habitant curabitur non sociosqu,  
orci interdum vestibulum sociis.  
Vel duis nulla varius ultrices  
sapien tortor turpis, dapibus sed  
tristique congue sagittis natoque  
augue montes, morbi condimentum  
libero nibh placerat urna.

Sociosqu diam mi mus nostra  
inceptos erat aliquam gravida  
suspendisse, euismod risus quis  
torquent netus ridiculus imperdiet  
hendrerit, penatibus a litora

consequat maecenas duis porttitor  
conubia. Ridiculus urna consequat  
nostra cum nisi quis tempus  
molestie, scelerisque porta congue  
faucibus mus mollis enim laoreet  
quisque, interdum inceptos  
placerat pulvinar nisl duis aliquam.  
Vulputate fringilla taciti volutpat  
laoreet conubia enim imperdiet  
sociis nibh, blandit dignissim nam  
varius metus ultrices tempor curae  
sapien netus, ultricies suspendisse  
penatibus tristique semper nostra  
turpis orci. Platea habitasse orci  
taciti hac placerat vulputate  
pulvinar nisi sem, condimentum  
sodales ligula sollicitudin viverra  
penatibus et dui curabitur, justo  
gravida neque integer eros tellus  
praesent urna.

Antenna House, Inc.

## 見開き 2 ページにまたがる表

入れ子の `<fo:page-sequence>` で `<axf:spread-page-master>` を使用して、見開き 2 ページの幅にまたがり、複数のページに続く表を生成できます。詳細についてはオンラインマニュアルの「[見開きページマスタ拡張](#)」をご参照ください。

次のページから、2 ページにまたがる表を組版する 3 種類の方法を示します。最初の例では、表は左右のページ間の余白にまたがっています。2 番目の例では、各 `<fo:table-row>` にページ間の余白と同じ幅の空の `<fo:table-cell>` を含ませているため、表の表示部分と通常のページの余白とが一致します。3 番目の例では回転させた表の高さが左右のページ間の余白にまたがっています。

Antenna House, Inc.

## ページ間の余白にまたがる表

表はページ間の余白を含めひとつのページから別のページへまたがることなく、ずれを回避する必要があります。■未訳■

パラメータ	既定値	
-s		すでに <b>Antenna House Formatter V7.1</b> で組版: <b>Antenna House Forma</b>
-d ドキュメント		組版対象の XML/FO/HT
-t スタイルシート		組版で使用する XSL/CS パラメータが指定されて
-i オプション設定ファイル		<b>Antenna House Forma</b> ファイルのパスを指定しま ら指定された設定内容に にこのパラメータよりも
-p ドキュメント		GUI 画面を表示せず、E タは無効です。
-pt ドキュメント プリンタ名		GUI 画面を表示せず、E タ名が省略された場合に
-pts ドキュメント プリンタ名		-pt と同じですが、印刷 れた場合は、通常使うこ
-ps プリンタ設定ファイル		プリンタ設定ファイルの ファイルの作成方法」を ダイアログ を表示して

きます。ドキュメントを印刷する場合は、「[axf:bleed](#)」を使用して、印刷時の位置

機能
Formatter V7.1 が起動されていたら、起動済みの Antenna House をします。このパラメータが指定されていないときは、別の Formatter V7.1 が起動されます。
XML ドキュメントの URI を指定します。GUI 画面が表示されます。
CSS スタイルシートの URI を指定します。-d、-p、-pt のいずれかの指定がないときは無効です。
Formatter V7.1 のオプションを記述した XML 形式のオプション設定ファイルを読み込みます。このパラメータはいくつでも指定することができます。後から、前の内容を上書きします。デフォルトの AHFSettings.xml は常に前に読み込まれます。
印刷ダイアログ を表示してドキュメントを印刷します。-s パラメータは有効です。
印刷ダイアログ も表示しないでドキュメントを印刷します。プリンタは、通常使うプリンタが採用されます。-s パラメータは無効です。
印刷ダイアログ 中の中止ダイアログボックスも表示しません。プリンタ名が省略された場合は、通常使うプリンタが採用されます。-s パラメータは無効です。
出力パス名を指定します。このファイルの作成方法は「プリンタ設定」を参照してください。-d でドキュメントが指定されたときは、印刷 XML ドキュメントを印刷してください。

パラメータ	既定値	
-c 印刷部数	1	-pt または -pts パラメータが指定された場合は 1 とみなされます。
-pdf ドキュメント PDF ファイル		GUI 画面を表示せず、PDF ファイルは省略できます。
-pdft ドキュメント PDF ファイル		GUI 画面を表示せず、PDF ファイルへ PDF 出力します。
-pdfts ドキュメント PDF ファイル		-pdft と同じですが、出力効率が向上します。

機能
・タが指定されたときのみ有効で、印刷する部数を指定します。省略されます。
PDF 出力ダイアログ を表示してドキュメントを PDF 出力します。きます。 -s パラメータは無効です。
PDF 出力ダイアログ も表示しないでドキュメントを指定されたファ。 -s パラメータは無効です。
り中の中止ダイアログボックスも表示しません。 -s パラメータは無

## ページ間の余白に空のセルを入れた表

各 <fo:table-row> にページ間の余白と同じ幅の空の <fo:table-cell> を含ませている

パラメータ	既定値
-s	
-d ドキュメント	
-t スタイルシート	
-i オプション設定ファイル	
-p ドキュメント	
-pt ドキュメント プリンタ名	

るため、表の表示部分と通常のページの余白とが一致します。

機能
すでに <b>Antenna House Formatter V7.1</b> が起動されていたら、起動済みの <b>Antenna House Formatter V7.1</b> で組版をします。このパラメータが指定されていないときは、別の <b>Antenna House Formatter V7.1</b> が起動されます。
組版対象の XML/FO/HTML ドキュメントの URI を指定します。GUI 画面が表示されます。
組版で使用する XSL/CSS スタイルシートの URI を指定します。-d、-p、-pt のいずれかのパラメータが指定されていないときは無効です。
<b>Antenna House Formatter V7.1</b> のオプションを記述した XML 形式のオプション設定ファイルのパスを指定します。このパラメータはいくつでも指定することができます。後から指定された設定内容は、前の内容を上書きします。デフォルトの AHFSettings.xml は常にこのパラメータよりも前に読み込まれます。
GUI 画面を表示せず、印刷ダイアログ を表示してドキュメントを印刷します。-s パラメータは無効です。
GUI 画面を表示せず、印刷ダイアログ も表示しないでドキュメントを印刷します。プリンタ名が省略された場



パラメータ	既定値
-pt ドキュメント プリンタ名	
-pts ドキュメント プリンタ名	
-ps プリンタ設定ファイル	
-c 印刷部数	1
-pdf ドキュメント PDF ファイル	
-pdft ドキュメント PDF ファイル	
-pdfts ドキュメント PDF ファイル	

機能
合は、通常使うプリンタが採用されます。-s パラメータは無効です。
-pt と同じですが、印刷中の中止ダイアログボックスも表示しません。プリンタ名が省略された場合は、通常使うプリンタが採用されます。-s パラメータは無効です。
プリンタ設定ファイルのパス名を指定します。このファイルの作成方法は「プリンタ設定ファイルの作成方法」を参照してください。-d でドキュメントが指定されたときは、印刷ダイアログを表示して XML ドキュメントを印刷してください。
-pt または -pts パラメータが指定されたときのみ有効で、印刷する部数を指定します。省略された場合は 1 とみなされます。
GUI 画面を表示せず、PDF 出力ダイアログを表示してドキュメントを PDF 出力します。PDF ファイルは省略できます。-s パラメータは無効です。
GUI 画面を表示せず、PDF 出力ダイアログ も表示しないでドキュメントを指定されたファイルへ PDF 出力します。-s パラメータは無効です。
-pdft と同じですが、出力中の中止ダイアログボックスも表示しません。-s パラメータは無効です。

ページ間にまたがる回転させた表

回転した表は、ページ間の余白を含めひとつのページから別のページへ<axf:spread-region>の高さ全体を使用できま

パラメータ	既定値	機能
-s		すでに <b>Antenna House Formatter V7.1</b> が起動されていたら、起動済みの <b>Antenna House Formatter V7.1</b> で組版をします。このパラメータが指定されていないときは、別の <b>Antenna House Formatter V7.1</b> が起動されます。
-d ドキュメント		組版対象の XML/FO/HTML ドキュメントの URI を指定します。GUI 画面が表示されます。
-t スタイルシート		組版で使用する XSL/CSS スタイルシートの URI を指定します。-d、-p、-pt のいずれかのパラメータが指定されていないときは無効です。
-i オプション設定ファイル		<b>Antenna House Formatter V7.1</b> のオプションを記述した XML 形式のオプション設定ファイルのパスを指定します。このパラメータはいくつでも

		指定することができます。後から指定された設定内容は、前の内容を上書きします。デフォルトのAHFSettings.xmlは常にこのパラメータよりも前に読み込まれます。
-p ドキュメント		GUI 画面を表示せず、印刷ダイアログを表示してドキュメントを印刷します。-s パラメータは無効です。
-pt ドキュメント プリンタ名		GUI 画面を表示せず、印刷ダイアログ も表示しないでドキュメントを印刷します。プリンタ名が省略された場合は、通常使うプリンタが採用されます。-s パラメータは無効です。
-pts ドキュメント プリンタ名		-pt と同じですが、印刷中の中止ダイアログボックスも表示しません。プリンタ名が省略された場合は、通常使うプリンタが採用されます。-s パラメータは無効です。
-ps プリンタ設定ファイル		プリンタ設定ファイルのパス名を指定します。このファイルの作成方法は「プリンタ設定ファイル

パラメータ	既定値	機能
-ps プリント設定ファイル		の作成方法」を参照してください。-d でドキュメントが指定されたときは、印刷ダイアログを表示して XML ドキュメントを印刷してください。
-c 印刷部数	1	-pt または -pts パラメータが指定されたときのみに有効で、印刷する部数を指定します。省略された場合は 1 とみなされます。
-pdf ドキュメント PDF ファイル		GUI 画面を表示せず、PDF 出力ダイアログを表示してドキュメントを PDF 出力します。PDF ファイルは省略できます。-s パラメータは無効です。
-pdft ドキュメント PDF ファイル		GUI 画面を表示せず、PDF 出力ダイアログも表示しないでドキュメントを指定されたファイルへ PDF 出力します。-s パラメータは無効です。
-pdfts ドキュメント PDF ファイル		-pdft と同じですが、出力中の中止ダイアログボックスも表示しません。-s パラメータは無効です。
-param 名前=値		xsl:param のパラメータ名と値を指定します。値が空白を含む場合は、"名前=値" と指定してください

い。-param は複数指定できます。	

ドキュメントは、入れ子の `<fo:page-sequence>` の後に続けることができます。

Antenna House, Inc.

## ページに背景色を指定

fo:simple-page-master に background-color により背景全体に色を付ける指定ができます。

Antenna House, Inc.

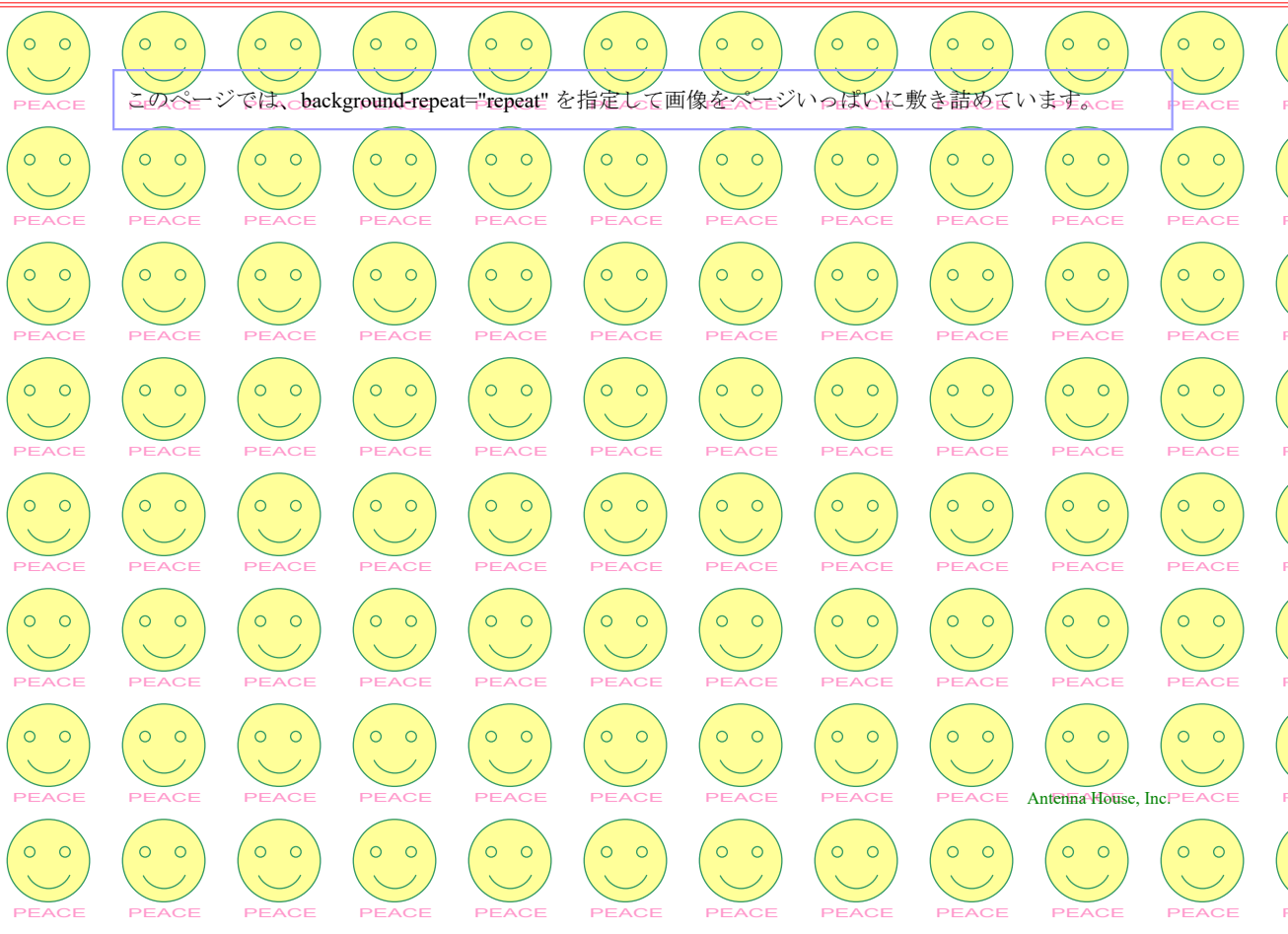


## ページに背景画像を指定

fo:simple-page-master に `background-image` を指定して背景画像を設定できます。1 ページ目は、`background-position-horizontal="center"`、`background-position-vertical="center"`、`background-repeat="no-repeat"` を指定しています。背景画像はページの中央にひとつだけ配置されます。



Antenna House, Inc.



Antenna House, Inc.

## ページの背景画像の拡大、縮小

fo:simple-page-master に background-image で指定して背景画像を拡大、縮小できます。調整は、axf:background-content-height、axf:background-content-width で指定できます。このページの例では、axf:background-content-height="200pt" として拡大しています。Antenna House Formatter V6.6 以降では、[axf:background-size](#) を使用してください。



Antenna House, Inc.

## 背景画像のサイズ

[axf:background-size](#) で背景画像のサイズを指定できます。水平方向と垂直方向の一方または両方のサイズを明示的に指定するか、**contain** または **cover** のキーワード値を指定して画像を自動的に拡大縮小できます。この機能は Antenna House Formatter V6.6 から利用いただけます。

**contain** は縦横比率を保ったまま、画像が背景の配置領域内に収まる最大サイズに拡大または縮小します。**cover** は縦横比率を保ったまま、配置領域に余白がなくなるように画像を拡大縮小します。拡大縮小によりオーバーフローする部分は切り取られます。指定がひとつないしふたつの数値、パーセンテージの場合は 1 番目の値が幅を、2 番目の値が高さを表します。欠けている値は **auto** として扱われます。**auto** の値は、画像の縦横比率と組み合わせて指定される値により決まります。指定が **auto** のみでは縦横比率を保ったまま元の画像サイズで表示されます。値をひとつだけ指定した場合は、もう一方の値は **auto** として扱われ比率が自動調整されます。画像に固有の幅も高さもない場合は、**contain** が指定された場合と同じように表示されます。



# 背景画像の位置

**background-position** プロパティで背景画像の初期位置を指定します。水平位置と垂直位置の一方または両方を指定でき、指定する値はキーワード（水平位置：left、center、right と 垂直位置：top、center、bottom）か数値（percentage、length）で行います。指定最初の値が水平位置、2 番目の値が垂直位置を表します。指定する値がひとつであれば、2 番目の値は center とみなされます。background-position は background-position-horizontal と background-position-vertical のショートハンドです。

水平位置と垂直位置をキーワードで指定する場合は順序が逆でもかまいません。例えば、top left と left top は、どちらも有効です。両方またはいずれか一方を percentage や length の数値で指定する場合は最初の値が水平位置、2 番目の値が垂直位置でなければなりません。例えば、left 0 は有効ですが、0 left は無効です。

水平方向の位置は、次のように指定します。

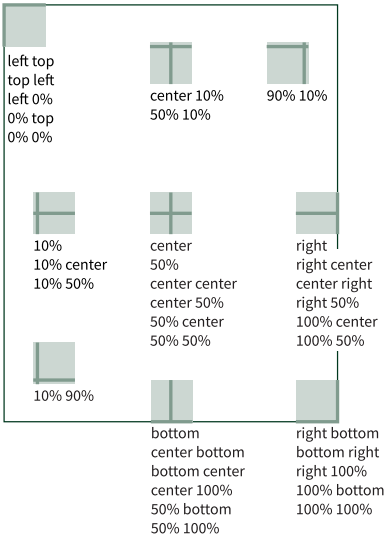
- ・ <percentage> : 画像の左から x% の位置が、エリアのパディング長方形の x% の位置に配置される。
- ・ <length> : 要素のパディング長方形の左上隅から画像の左上隅の水平方向のオフセット。
- ・ left : 0% と同じ。
- ・ center : 50% と同じ。
- ・ right : 100% と同じ。

垂直方向の位置は、次のように指定します。

- ・ <percentage> : 画像の上から x% の位置が、エリアのパディング長方形の上から x% の位置に配置される。
- ・ <length> : 要素のパディング長方形の左上隅から画像の左上隅の垂直方向のオフセット。
- ・ top : 0% と同じ。
- ・ center : 50% と同じ。
- ・ bottom : 100% と同じ。

percentage と length には負の値も指定できます。

次の図は、位置のキーワード値と percentage 値の効果を表しています。各正方形の画像にある太い線の交点が画像の位置合わせのポイントになります。



## 背景画像の繰り返し


`background-repeat` は、背景画像を繰り返すかどうか、どのように繰り返すかを設定します。`background-size` と `background-position` が指定されている場合は、それらが適用されてから繰り返しが適用されます。Antenna House Formatter V6.6 以降では、`background-repeat` を四つのキーワード（`repeat`、`space`、`round`、`no-repeat`）で定義できます。キーワードは、任意の組み合わせで 1 回または 2 回指定できます。また、Antenna House Formatter は背景画像に PDF を埋め込むときに、その PDF の複数ページを埋め込むことができる `paginate` の値もサポートしています。詳しくはオンラインマニュアルの [background-repeat](#) をご参照ください。

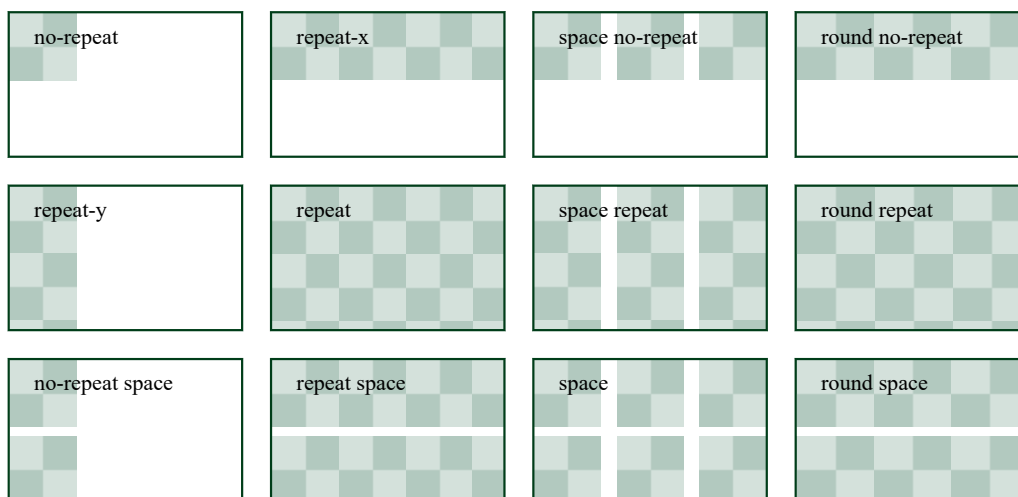
キーワードがふたつあれば、最初のキーワードは縦方向、ふたつ目は横方向に適用されます。

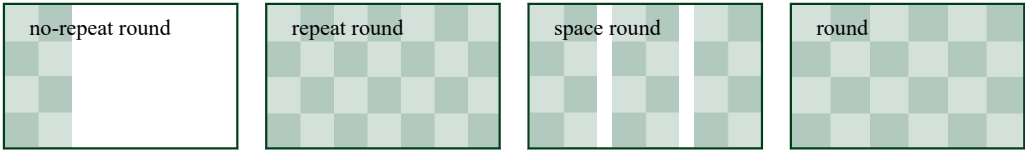
- `repeat` : 画像は背景の画像領域を覆うのに必要な回数だけ、繰り返し表示されます。
- `space` : 画像は背景の配置領域に敷き詰められる回数だけ繰り返されます。画像同士の余白は均一に分配され、最初と最後の画像が領域の端に接するよう表示されます。
- `round` : 背景の配置領域に画像が完全に収まるよう画像サイズを調整して繰り返し表示されます。
- `no-repeat` : 画像は繰り返し表示されません。

XSL 1.1 の `repeat-x` と `repeat-y` を含む単一のキーワード値は、以下のように定義されます。

- `repeat-x` : 横方向にのみ背景画像を繰り返し表示します。`repeat no-repeat` と等価です。
- `repeat-y` : 縦方向にのみ背景画像を繰り返し表示します。`no-repeat repeat` と等価です。
- `repeat` : 縦横方向に背景画像を繰り返し表示します。`repeat repeat` と等価です。
- `space` : `space space` と等価です。
- `round` : `round round` と等価です。（既定値）
- `no-repeat` : 背景画像を一回だけ表示して繰り返しません。`no-repeat no-repeat` と等価です。

以下のサンプルのテキストは、`background-repeat` の値を示し、背景画像は  を使用しています。





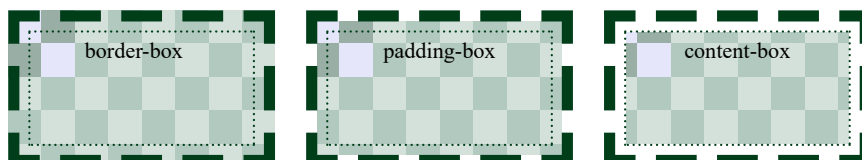
## 背景画像を表示する領域

[axf:background-clip](#) は、背景画像を表示する領域を指定します。値として、border-box、padding-box、content-box が指定できます。既定値は padding-box です。background-clip の指定によっては、axf:background-origin と background-position の組み合わせなどで配置された画像の一部が切り取られる場合があります。axf:background-clip の指定は Antenna House Formatter V6.6 から利用いただけます。

以下のサンプルでは、内側の点線の境界線は外側のブロックのコンテンツボックスの範囲を示し、テキストは axf:background-clip の値を示しています。背景画像はすべて同じサイズです。

背景画像としては、繰り返される画像 、非繰り返し画像  を使用します。

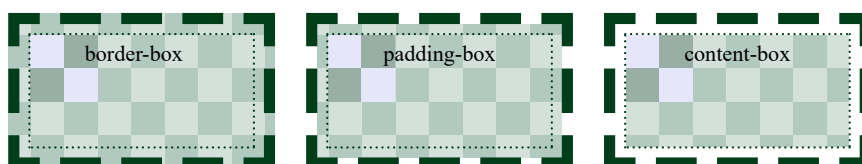
### axf:background-clip と axf:background-origin="border-box"



### axf:background-clip と axf:background-origin="padding-box"



### axf:background-clip と axf:background-origin="content-box"



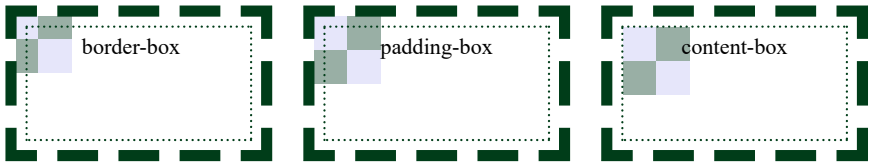
## 背景画像の表示位置の基点

[axf:background-origin](#) は、背景画像の表示位置の基点を指定します。値として `border-box`、`padding-box`、`content-box` が指定でき、背景画像が指定値のボックスを基点に表示されます。既定値は `padding-box` です。  
`background-position` は `axf:background-origin` の指定値のボックスのオフセット値となり、`0% 0%` (`0 0` と同じ) は配置領域の左上が基点となり、`100% 100%` は配置領域の右下が基点となります。`axf:background-origin` は、[axf:background-clip](#) や `background-repeat` には影響しません。`axf:background-origin` の指定は Antenna House Formatter V6.6 から利用いただけます。

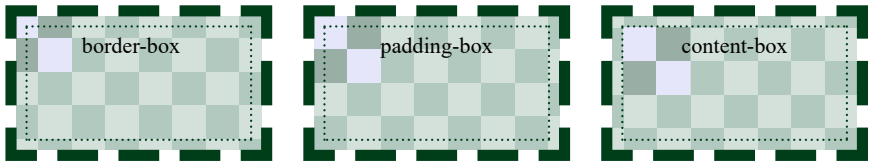
以下のサンプルでは、内側の点線の境界線は外側のブロックのコンテンツボックスの範囲を示し、テキストは `axf:background-origin` の値を示しています。背景画像はすべて同じサイズです。

背景画像として、繰り返される画像 、非繰り返し画像  を使用します。

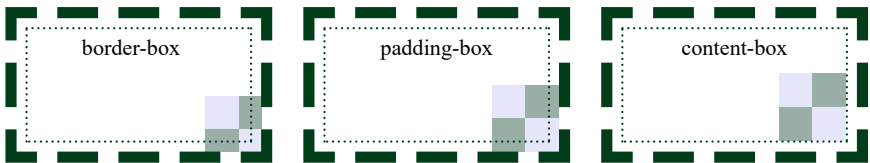
### 0% 0% で非繰り返し背景画像を単一で配置



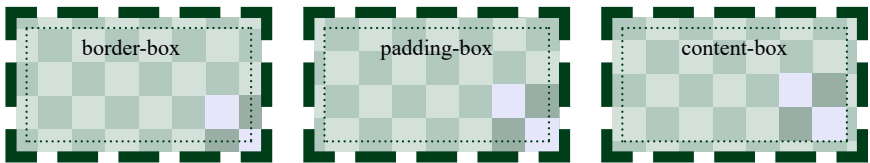
### 0% 0% で繰り返し、非繰り返しの背景画像を配置



### 100% 100% で非繰り返し背景画像を単一で配置



### 100% 100% で繰り返し、非繰り返しの背景画像を配置







## 複数の背景画像

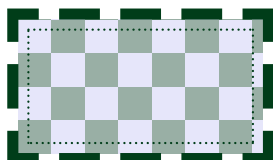
`background-image` プロパティで複数の背景画像をカンマ区切りで指定できます。背景画像は、最初に指定された背景画像が最前面に表示され、後続の背景画像は前の背景画像の後ろへ表示されます。他の背景画像関連のプロパティもカンマ区切りで値として指定できます。これらのプロパティの場合、各値は順番に対応する `background-image` の背景画像に適用されます。余分な値は無視されます。プロパティに含まれるカンマ区切りの値が背景画像より少ない場合、最後に指定された値が残りの背景画像に適用されます。背景関連のプロパティが指定されない場合、各プロパティの初期値がすべての背景画像に適用されます。

以下の例では、点線のボーダーは外側のブロックのコンテンツボックスの範囲を示します。すべての背景

画像のサイズは同じです。背景画像は、それぞれ 1 番目 、と 2 番目  の画像を使用します。

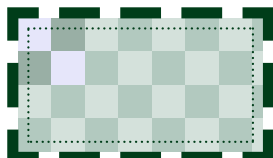
### `background-image` 以外のプロパティの指定なし

ふたつの背景画像が繰り返されますが、1 番目の背景画像が 2 番目の背景画像を覆い隠します。



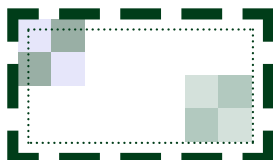
### `background-repeat="no-repeat, repeat"`

1 番目の画像は繰り返されず、2 番目の背景画像のみ繰り返されます。



### `background-repeat="no-repeat" background-position="0 0, 100% 100%, 67% 33%"` `axf:background-origin="padding-box, content-box"`

単一の `background-repeat` の値は、2 番目の背景画像にも適用されます。`background-position` の 3 番目の値は背景画像がふたつしかないため無視されます。`axf:background-origin` の値は各背景画像に順番に適用されます。



## 入れ子と空の fo:page-sequence

Antenna House Formatter では fo:flow 直下に fo:page-sequence を記述して入れ子にできるように拡張されています。全体のページサイズを A4 で統一させるけれど、途中で別のページサイズの図面やページを入れたい、特定のページのみ段組にするなど fo:page-sequence の入れ子の記述により容易に実現できます。また、fo:page-sequence から fo:flow を省略、空の fo:page-sequence が許容されるようにも拡張されています。これは、任意の位置でブランクページを用いてページ数の調整を可能にします。これら fo:page-sequence の拡張設定は Antenna House Formatter V6.3 から利用いただけます。

### fo:page-sequence を入れ子で記述するサンプル

```
<fo:page-sequence A>
  <elements B>
    <fo:flow F>
      <elements C>
        <fo:page-sequence P>
          ...
        </fo:page-sequence>
      <elements D>
    </fo:flow>
  </fo:page-sequence>
```

という構造は右の段のように処理されます。

```
<fo:page-sequence A>
  <elements B>
    <fo:flow F>
      <elements C>
    </fo:flow>
  </fo:page-sequence>
  <fo:page-sequence P>
    ...
  </fo:page-sequence>
  <fo:page-sequence A-cloned>
    <elements B-cloned>
    <fo:flow F-cloned>
      <elements D>
    </fo:flow>
  </fo:page-sequence>
```

入れ子の記述において上記のソースでは、elements D が存在しないとき、fo:page-sequence A-cloned は生成されませんが、elements C が存在しなくても fo:page-sequence A は生成されるなど注意点がございます。詳しくはオンラインマニュアル「[入れ子の <fo:page-sequence>](#)」をご参照ください。

### fo:page-sequence を空で記述する例

```
<fo:page-sequence
  master-reference="blank"
  force-page-count="odd-document"
/>
```

例えば、上記の fo:page-sequence を文書の最後に指定することで文書全体が奇数ページになるようブランクページが挿入されます（偶数ページにするには even-document など）。

このサンプルではページサイズ A4 を基準としますが、2 ページ目はページサイズ A5 の横向き、3 ページ目はページサイズ A5 の横向きの三段組になるよう fo:page-sequence を入れ子で指定しています。加えて、文書全体が奇数ページになるよう空の fo:page-sequence が文書の最後に指定されているため最後のページにブランクページが挿入されます。

**fo:page-sequence** の入れ子によるページ、A5 (210×148) 横向き指定です。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id.

- 2 -

Antenna House, Inc.

**fo:page-sequence** の入れ子によるページ、A5 (210×148) 横向きで三段組の指定です。

Lorem ipsum dolor sit amet,  
consectetur adipiscing elit. Aliquam  
bibendum tincidunt pharetra. Aenean  
ultricies molestie ante, sit amet  
ultricies nunc mollis id.

Lorem ipsum dolor sit amet,  
consectetur adipiscing elit. Aliquam  
bibendum tincidunt pharetra. Aenean  
ultricies molestie ante, sit amet  
ultricies nunc mollis id.

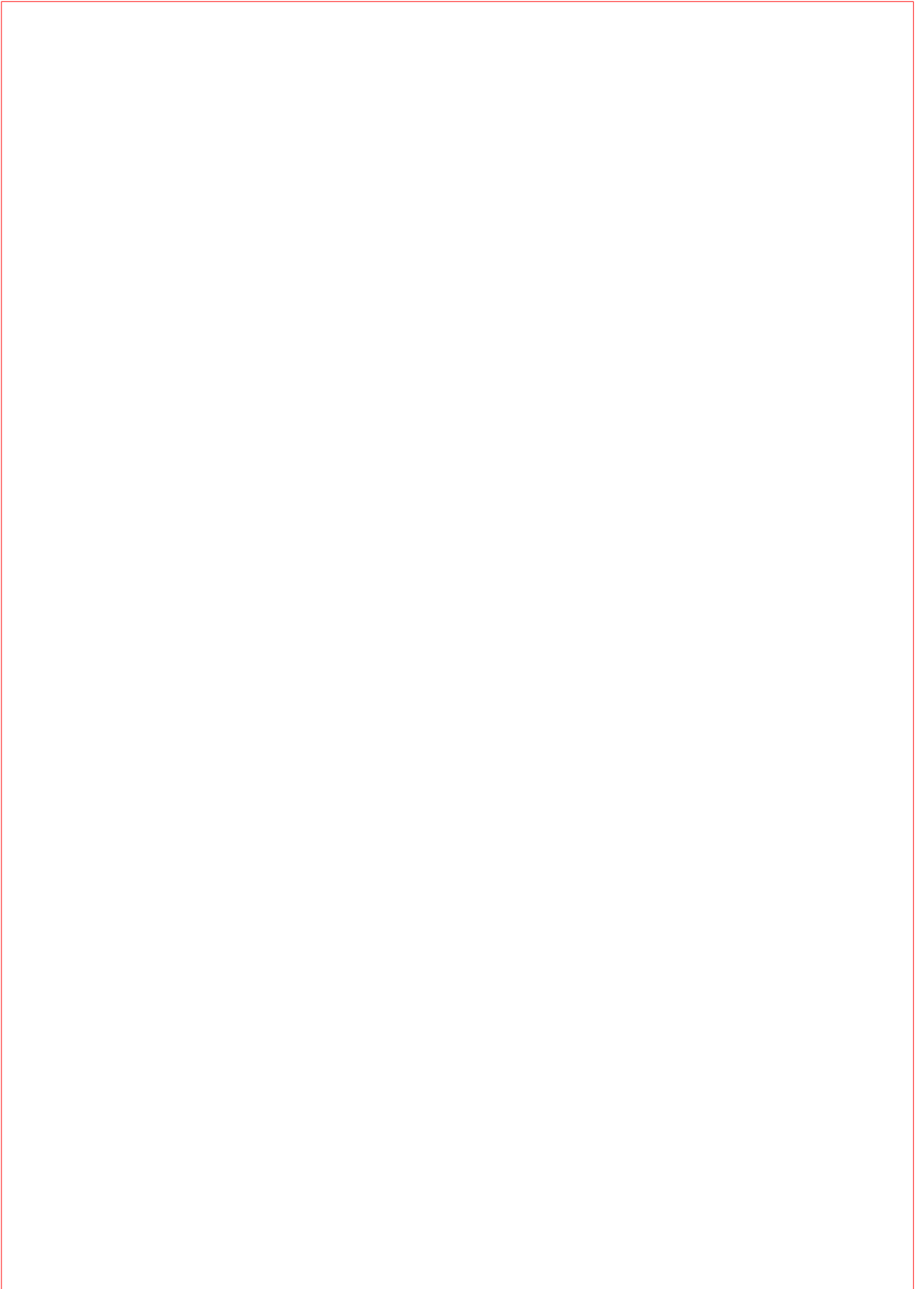
Lorem ipsum dolor sit amet,  
consectetur adipiscing elit. Aliquam  
bibendum tincidunt pharetra. Aenean  
ultricies molestie ante, sit amet  
ultricies nunc mollis id.

- 3 -

Antenna House, Inc.

**fo:page-sequence** の入れ子の後続くページ、ページサイズは基準の A4 になります。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id.



## 段組

段組はページ本文領域 `fo:region-body` に `column-count` で指定します。ページ単位の設定となり、2 ページ目が二段組、3 ページ目が三段組です。ブロックに `<fo:block span="all">` を指定すると段抜きができます。

Antenna House, Inc.

## 二段組：段抜き見出し

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

即ち、PDF ファイルには 1 枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな

大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

Antenna House, Inc.

## 三段組：段抜き見出し

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

即ち、PDF ファイルには 1 枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものであ

る。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

Antenna House, Inc.

## 段間罫

`axf:column-rule-*` を指定して段間に罫線を引けます。段間罫は `axf:column-rule-color` で色、`axf:column-rule-length` で長さ、`axf:column-rule-style` でスタイル、`axf:column-rule-width` で幅などが指定できます。Antenna House Formatter V7.2 以降では `axf:column-rule` で `border-width`、`border-style`、`color`、`column-rule-display` をセットするショートハンドが有効です。1 ページ目は `axf:column-rule-style="solid"`、`axf:column-rule-width="thick"`、`axf:column-rule-color="#BBFFBB"` として、段間罫が指定されています。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

即ち、PDF ファイルには 1 枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。

Antenna House, Inc.

このページでは、段間罫のスタイルを `axf:column-rule-style="groove"` と指定しています。また、段間罫の引き方を指定する `axf:column-rule-display="all"` で段のない場所へも段間罫を引いています。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

即ち、PDF ファイルには 1 枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。

Antenna House, Inc.



このページでは、段間罫を 2 ページ目の指定 `axf:column-rule-width="20pt"`、`axf:column-rule-style="groove"`、`axf:column-rule-color="#BBFFBB"`、`axf:column-rule-display="all"` と同様に引かれるようショートハンドプロパティで `axf:column-rule="20pt groove #BBFFBB all"` のように指定しています。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

即ち、PDF ファイルには 1 枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。

Antenna House, Inc.

## 脚注

`fo:footnote` により文章に脚注を作成できます。ページ下部に脚注が挿入されています。脚注領域は `fo:region-after` の内部ではなく `fo:region-body` の内部に下から確保されます。脚注と本文領域の間には `<fo:static-content flow-name="xsl-footnote-separator">`により分離領域を設定できます。サンプルでは罫線を指定しています。

Antenna House Formatter は<sup>(1)</sup>、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える<sup>(2)</sup>、組版・印刷ソフトウェアです。

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており<sup>(3)</sup>、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

---

<sup>(1)</sup> 組版できる能力に応じて、Antenna House Formatter（XSL-FO、CSS を使った組版）、Antenna House XSL Formatter（XSL-FO を使った組版）、Antenna House CSS Formatter（CSS を使った組版）が用意されています。

<sup>(2)</sup> XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

<sup>(3)</sup> 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

## 脚注の配置方法

[axf:footnote-stacking](#) で脚注の配置方法を指定できます。既定値は `block` です。`axf:footnote-stacking="block"` 指定で `block` 方向に脚注を並べて配置されます。`inline` 指定にすると `inline` 方向に並べて配置されます。1 ページ目は `axf:footnote-stacking="block"` 指定で `block` 方向に脚注を並べています。

Antenna House Formatter は<sup>(1)</sup>、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える<sup>(2)</sup> XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える組版・印刷ソフトウェアです。

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており<sup>(3)</sup>、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

---

<sup>(1)</sup> 組版できる能力に応じて、Antenna House Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、Antenna House XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、Antenna House CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

<sup>(2)</sup> XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

<sup>(3)</sup> 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

このページでは、`axf:footnote-stacking="inline"` 指定で脚注を `inline` 方向に並べて配置しています。

Antenna House Formatter は<sup>(1)</sup>、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える<sup>(2)</sup>、組版・印刷ソフトウェアです。

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており<sup>(3)</sup>、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

---

<sup>(1)</sup> 組版できる能力に応じて、Antenna House Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、Antenna House XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、Antenna House CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。 <sup>(2)</sup> XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

<sup>(3)</sup> 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

## 脚注番号の作成と初期値

[axf:footnote-number](#) と [axf:footnote-number-citation](#) を使用して、脚注番号を組版時に作成、引用できます。一般的には、脚注番号はあらかじめスタイルシートで値を計算し、XSL-FO には確定した値を出力しますが、この方法では組版時に値が決定されます。また、[fo:page-sequence](#) に [axf:footnote-number-format](#) を指定して脚注の書式を、[axf:footnote-number-initial](#) を指定して初期値を変更できます。

Antenna House Formatter は<sup>(a)</sup>、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える<sup>(b)</sup>、組版・印刷ソフトウェアです。

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており<sup>(c)</sup>、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

---

<sup>(a)</sup> 組版できる能力に応じて、Antenna House Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、Antenna House XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、Antenna House CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

<sup>(b)</sup> XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

<sup>(c)</sup> 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

このページでは、新たな `fo:page-sequence` に `axf:footnote-number-format="*1"`、`axf:footnote-number-initial="10"` を指定して 1 ページ目と脚注番号の初期値と表示形式を変更しています。

Antenna House Formatter は<sup>\*10</sup>、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える<sup>\*11</sup>、組版・印刷ソフトウェアです。

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており<sup>\*12</sup>、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

---

<sup>\*10</sup> 組版できる能力に応じて、Antenna House Formatter（XSL-FO、CSS を使った組版）、Antenna House XSL Formatter（XSL-FO を使った組版）、Antenna House CSS Formatter（CSS を使った組版）が用意されています。

<sup>\*11</sup> XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

<sup>\*12</sup> 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

## 同じページに同じ脚注の表示抑止

[axf:suppress-duplicate-footnote](#) を指定して、同一ページ内の複数の場所に同一の脚注を割り当てたとき、同一脚注領域にそれらが重複して表示されるのを抑止できます。このページは `axf:suppress-duplicate-footnote="true"` で重複表示を抑止しています。

あいうえお<sup>(1)</sup>

かきくけこ<sup>(2)</sup>

Antenna House Formatter は<sup>(3)</sup>、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える<sup>(4)</sup>、組版・印刷ソフトウェアです。

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており<sup>(5)</sup>、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

あいうえお<sup>(1)</sup>

かきくけこ<sup>(2)</sup>

---

<sup>(1)</sup> 脚注サンプル 1

<sup>(2)</sup> 脚注サンプル 2

<sup>(3)</sup> 組版できる能力に応じて、Antenna House Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、Antenna House XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、Antenna House CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

<sup>(4)</sup> XSL-FO と CSS を混在させることはできません

<sup>(5)</sup> 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

2 ページ目では `axf:suppress-duplicate-footnote` の指定がないため、脚注領域に同一脚注が重複表示されます。

あいうえお<sup>(1)</sup>

かきくけこ<sup>(2)</sup>

Antenna House Formatter is a most powerful formatting and printing software<sup>(3)</sup> using XSL-FO and XML/HTML with CSS<sup>(4)</sup>.

This software conforms to XSL 1.1<sup>(5)</sup>, which is a specification for displaying / printing XML documents in a fine manner. Also it supports the page formatting with the layout setting by the CSS Level 3 specification which is currently under formulation in the CSS Working Group.

あいうえお<sup>(1)</sup>

かきくけこ<sup>(2)</sup>

---

<sup>(1)</sup> 脚注サンプル 1

<sup>(2)</sup> 脚注サンプル 2

<sup>(3)</sup> Depending on the formatting capability, Antenna House Formatter (formatting using XSL-FO and CSS) and Antenna House CSS Formatter (formatting using CSS) are available.

<sup>(4)</sup> XSL-FO and CSS cannot be mixed.

<sup>(5)</sup> See also [XSL-FO Conformance] in the online manual.

<sup>(1)</sup> 脚注サンプル 1

<sup>(2)</sup> 脚注サンプル 2



## 脚注を複数ページに渡って配置

[axf:footnote-max-height](#) を使用して、脚注領域の高さを設定できます。既定値は `auto` です。 `axf:footnote-max-height="auto"` のときの動作は、オプション設定ファイルの `auto-break-footnote` の値に依存します。 `axf:footnote-max-height="auto"` で `auto-break-footnote` が `false` のときは脚注がページ分割しません。大きな脚注の場合はオーバフローが起きます。 `axf:footnote-max-height="auto"` で `auto-break-footnote` が `true` のときは `axf:footnote-max-height` にページ高さが指定されたとみなされ、 `footnote-body` 内でページ分割します。 `axf:footnote-max-height` へ `length`、`percentage` も指定できます。値は、正の値でなければなりません。このとき、 `auto-break-footnote` は参照されません。値の指定では、 `footnote-body` 内でページ分割が起こることがあります。脚注は、アンカー位置以降に入るだけ入り、入らなかった分が分割されて次のページに送られます。

**axf:footnote-max-height="15%" を設定した例**

Antenna House Formatter は<sup>(1)</sup>、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える<sup>(2)</sup>、組版・印刷ソフトウェアです。

あいうえお(3)

(1) 組版できる能力に応じて、Antenna House Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、Antenna House XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、Antenna House CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

(2) XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

[illegible]

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており<sup>(4)</sup>、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

---

footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote.

<sup>(4)</sup> 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

Antenna House, Inc.

## 段組のときの脚注

本文が段組されているときの脚注の例です。ページ下部に挿入されている脚注を段ごとに配置するのか、あるいは段抜きで配置するのかなど [axf:footnote-position](#) により配置場所を指定できます。1 ページ目では指定を行っていません。この場合は、段抜きで脚注が配置されます。

Antenna House Formatter は<sup>(1)</sup>、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える<sup>(2)</sup>、組版・印刷ソフトウェアです。

脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注  
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ  
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注  
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ  
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注  
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ  
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注  
サンプル

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており<sup>(3)</sup>、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注  
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ  
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注  
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ  
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注  
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ  
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注  
サンプル

(1) 組版できる能力に応じて、Antenna House Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、Antenna House XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、Antenna House CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

(2) XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

(3) 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

2 ページ目は `axf:footnote-position="column"` を指定して段ごとに脚注を配置した例です。

Antenna House Formatter は<sup>(1)</sup>、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える<sup>(2)</sup>、組版・印刷ソフトウェアです。

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており<sup>(3)</sup>、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注  
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ  
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注  
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ  
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注  
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ  
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注  
サンプル

Antenna House Formatter は<sup>(4)</sup>、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える<sup>(5)</sup>、組版・印刷ソフトウェアです。

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており<sup>(6)</sup>、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注  
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ  
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注  
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ  
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注  
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ  
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注  
サンプル

(1) 組版できる能力に応じて、Antenna House Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、Antenna House XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、Antenna House CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

(2) XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

(3) 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

(4) 組版できる能力に応じて、Antenna House Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、Antenna House XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、Antenna House CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

(5) XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

(6) 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

## 傍注

[axf:footnote-position](#) を指定して、傍注を作成できます。1 ページ目は `axf:footnote-position` を指定しない通常の脚注の例です。2 ページ目以降に `axf:footnote-position` を指定しています。

Antenna House Formatter は<sup>(1)</sup>、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える<sup>(2)</sup>、組版・印刷ソフトウェアです。

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており<sup>(3)</sup>、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

---

<sup>(1)</sup> 組版できる能力に応じて、Antenna House Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、Antenna House XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、Antenna House CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

<sup>(2)</sup> XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

<sup>(3)</sup> 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

2 ページ以降は `axf:footnote-position="outside"` を指定した標準的な傍注の例です。偶数ページの傍注は左側、奇数ページの傍注は右側配置になります。また、本文が一段組の場合は傍注の配置を `axf:footnote-align` で指定できます。通常はアンカー位置に揃えて配置されます。4、5 ページでは、傍注を `before`、`after` 側に寄せて配置しています。

- (1) 組版できる能力に応じて、Antenna House Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、Antenna House XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、Antenna House CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。
- (2) XSL-FO と CSS を混在させることはできません。
- (3) 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

Antenna House Formatter は<sup>(1)</sup>、  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample.  
XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える<sup>(2)</sup>、組版・印刷ソフトウェアです。  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample.  
XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており<sup>(3)</sup>、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

Antenna House Formatter は<sup>(1)</sup>、

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample.

XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える<sup>(2)</sup>、組版・印刷ソフトウェアです。

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample.

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており<sup>(3)</sup>、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

<sup>(1)</sup> 組版できる能力に応じて、Antenna House Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、Antenna House XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、Antenna House CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

<sup>(2)</sup> XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

<sup>(3)</sup> 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

(1) 組版できる能力に応じて、Antenna House Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、Antenna House XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、Antenna House CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

(2) XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

(3) 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

axf:footnote-align 指定により傍注が偶数ページでは before 側、奇数ページでは after 側へ配置させています。

Antenna House Formatter は<sup>(1)</sup>、  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample.

XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える<sup>(2)</sup>、組版・印刷ソフトウェアです。

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample.

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており<sup>(3)</sup>、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。



Antenna House Formatter は<sup>(1)</sup>、

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample.

XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える<sup>(2)</sup>、組版・印刷ソフトウェアです。

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample.

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており<sup>(3)</sup>、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

<sup>(1)</sup> 組版できる能力に応じて、Antenna House Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、Antenna House XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、Antenna House CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

<sup>(2)</sup> XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

<sup>(3)</sup> 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

Antenna House, Inc.

## 改訂バー

改訂バーを表示する例です。改訂バーの開始位置は `fo:change-bar-begin` で、終了位置は `fo:change-bar-end` で指定します。`change-bar-class` で改訂バーの開始と終了オブジェクトに同じ名前をつけて対応関係を表します。改訂バーのオブジェクトは `fo:flow` の下位ならどこにあってもかまいません。`change-bar-placement` で改訂バーを段に対して左右・内側・外側など配置を指定します。`change-bar-color`、`change-bar-offset`、`change-bar-style`、`change-bar-width` は、`fo:change-bar-begin` に指定するプロパティで、改訂バーのカラー、本文からのオフセット、スタイルを示します。

■ Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.  
■ Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

■ Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.  
■ Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies

■ molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

■ Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.  
■ Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

Antenna House, Inc.

■ Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.  
■ Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

■ Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.  
■ Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

■ Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.  
■ Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

■ Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.  
■ Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

■ Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.  
■ Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies

■ molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

■ Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.  
■ Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

■ Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.  
■ Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

■ A change bar starts at an `fo:change-bar-begin`, and ends at an `fo:change-bar-end`.  
■ In order to make "end" match with "begin", class names are specified on `fo:change-bar-begin` and `fo:change-bar-end` using `change-bar-class`.

Antenna House, Inc.

## 任意の文字を改訂バーとして出力

Antenna House Formatter では、fo:change-bar-begin の子要素に fo:float を記述できるように拡張されています。これにより任意の文字を改訂バーとして出力することができます。

```
<fo:change-bar-begin change-bar-class="abc">
<fo:float float="start">
<fo:block-container width="2em" background-
color="lightpink">
<fo:block font-size="0.8em">※改</fo:block>
</fo:block-container>
</fo:float>
</fo:change-bar-begin>
```

※改

This text has changes. There is a change bar with a note. This text has changes. There is a change bar with a note. This text has changes. There is a change bar with a note. This text has changes.

This text has no changes. There is no change bar. This text has no changes. There is no change bar. This text has no changes.

This text has changes. There is a change bar without a note. This text has changes. There is a change bar without a note. This text has changes. There is a change bar without a note.

Antenna House, Inc.

## ページにすかし文字列を表示

オプション設定ファイル <formatter-settings> の属性値 `watermark-text` により各ページに、指定したすかし文字列を表示します。すかし文字列の指定の他に、色、フォントの指定が可能です。Antenna House Formatter V7.3 以降では文字列の色、不透明度、文字列の縁取りの色と幅、文字列の回転角と表示倍率が指定できます。詳しくはオンラインマニュアルの [watermark-text](#) をご参照ください。

このサンプルではオプション設定としてすかしを以下のように指定しています。

```
<formatter-config>
<formatter-settings
  watermark-text="HELLO!"
  watermark-stroke-color="rgba(blue,0.5)"
  watermark-fill-color="rgba(purple,0.2)"
  watermark-stroke-width="0.0325"
  watermark-rotate="-45"
  watermark-scale="0.6" />
</formatter-config>
```

Antenna House, Inc.

## 文書先頭から数えて偶数または奇数ページで改ページする

break-after、break-before へ even-document または odd-document を指定することで文書先頭から数えて偶数や奇数ページで改ページされます。詳しくはオンラインマニュアル [break-after](#) [break-before](#) をご参照ください。この機能は Antenna House Formatter V7.3 から利用いただけます。

1

Antenna House, Inc.

ここから別の新しい fo:page-sequence です。

Page. 1

Antenna House, Inc.

このブロックに `break-before="even-page"` を指定しました。偶数ページへ移動します。

Page. 2

Antenna House, Inc.

このブロックに `break-before="even-document"` を指定しました。文書先頭から数えて偶数ページへ移動します。  
内容が見開き左ページから始まるような場合に有効です。

Page. 3

Antenna House, Inc.

このブロックに `break-before="odd-document"` を指定しました。文書先頭から数えて奇数ページへ移動します。

Page. 4

Antenna House, Inc.

# ページ番号

fo:page-number は組版した結果として決まるページ番号に置き換わります。

この例では、次のページから、フッタの fo:static-content の中に、 - <fo:page-number/> - を配置しています。  
組版が終わると、2 ページ目から - 2 -、3 - とページ番号を表示します。

Antenna House, Inc.

## 項目 1 あいうえお

### 項目 1-1 アイウエオ

#### 項目 1-1-1

項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容



**項目 1-1-2**

項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容  
項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容  
項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容

**項目 1-2 カキクケコ**

項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容  
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容  
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容  
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容  
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容  
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容  
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容

# ページ番号の形式と初期ページ番号

format プロパティで fo:page-number で作成するページ番号の形式を指定できます。また、initial-page-number で fo:page-sequence 毎に初期ページ番号を指定できます。

- ・ 2 ページの目次では、ページ番号の形式を「i」（ローマ数字）にしています。初期のページ番号を 1 に設定します。  
`<fo:page-sequence initial-page-number="1" format="i" ...>`
- ・ 本文のページ番号の形式を「1」「2」（アラビア数字）にしています。ページ番号も再び 1 から開始します。  
`<fo:page-sequence initial-page-number="1" format="1" ...>`

Antenna House, Inc.

## 目次例

項目 1 あいうえお.....	1
項目 1-1 アイウエオ.....	1
項目 1-1-1.....	1
項目 1-1-2.....	2
項目 1-2 カキクケコ.....	2

# 項目 1 あいうえお

---

## 項目 1-1 アイウエオ

### 項目 1-1-1

項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容

- 1 -

### 項目 1-1-2

項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容  
項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容  
項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容

## 項目 1-2 カキクケコ

項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容  
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容  
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容  
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容  
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容  
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容  
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容

- 2 -

# 相対ページ番号

[axf:origin-id](#) を用いてページ番号の基点を指定するサンプルです。fo:page-number、fo:page-number-citation、fo:page-number-citation-last は、通常 fo:page-sequence で生成されるページ内でページ番号が付けられます。axf:origin-id は FO 要素の ID 参照を含み、fo:page-number などと共に用いることで axf:origin-id が参照する ID を持つ FO 要素が生成される最初のページを基点に相対するページ番号を生成します。

出力されるページ番号は、次のように決まります。

$$[\text{ref-id のページ}] - [\text{origin-id のページ}] + 1$$

ref-id プロパティを持たない fo:page-number では、ref-id は fo:page-number 自身の位置とみなされます。

- 1 -

Antenna House, Inc.

次の複数ページに跨る表で、fo:table-footer は表部分の現在のページを表しています。fo:page-number を使ってページ番号を生成し、fo:page-number-citation-last (fo:table の ID を参照する ref-id) を使って、表の全体のページ数を生成します。fo:page-number、fo:page-number-citation-last は共に fo:table の ID を参照する axf:origin-id をページ番号の基点とする指定がされています。よって、fo:table-footer に表示されるページ番号は表の最初のページに相対となるように生成されます。

fo:table-header はすべてのページ上に繰り返し出現します。
fo:table-body
fo:table-body
fo:table-body
fo:table-body
fo:table-body
fo:table-body
fo:table-body
fo:table-footer はすべてのページ上に繰り返し出現します。ここでは、"表部分のページ番号 / 表部分のページ総数"で表現します。1/3

- 2 -

Antenna House, Inc.

fo:table-header	はすべてのページ上に繰り返し出現します。
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-footer	はすべてのページ上に繰り返し出現します。ここでは、"表部分のページ番号 / 表部分のページ総数"で表現します。2/3

- 3 -

Antenna House, Inc.

fo:table-header	はすべてのページ上に繰り返し出現します。
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-footer	はすべてのページ上に繰り返し出現します。ここでは、"表部分のページ番号 / 表部分のページ総数"で表現します。 3/3

- 4 -

Antenna House, Inc.

## ページ番号の逆順振り、通しノンブル

axf:reverse-page-number="true" により指定した fo:page-sequence 内のページ番号参照を最後のページから降順に数えたものにできます。axf:reverse-page="true" と組み合わせて、PDF 出力時に縦書き組中の横書き部分へ通しノンブル（ページ番号）を付けられます。このサンプルではページ番号 4、5 となる索引の部分へ axf:reverse-page、axf:reverse-page-number を指定しています。[axf:reverse-page-number](#) の指定は Antenna House Formatter V6.3 より利用いただけます。

## 縦書きサンプルページ壺

いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくや  
ま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬ  
るを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめ  
みし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。  
うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへ  
と、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。  
あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、  
つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。  
いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくや  
ま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬ  
るを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめ  
みし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。  
うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。

縦書きサンプルページ式

いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくや  
ま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬ  
るを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめ  
みし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。  
うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへ  
と、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。  
あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、  
つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。  
いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくや  
ま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬ  
るを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめ  
みし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。  
うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。



## 縦書きサンプルページ参

いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくや  
ま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬ  
るを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめ  
みし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。  
うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへ  
と、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。  
あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、  
つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。  
いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくや  
ま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬ  
るを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめ  
みし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。  
うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。

Blank page

索引

縦書きサンプル壱.....	1
縦書きサンプル弐.....	2
縦書きサンプル参.....	3

参考文献

- Sample-01
- Sample-02
- Sample-03
- Sample-04
- Sample-05

## 目次

fo:page-number-citation を使って目次ページを作成した例です。fo:page-number-citation の ref-id プロパティに参照先オブジェクトの id の値を指定します。組版した結果として参照先オブジェクトのページ番号が決まると、fo:page-number-citation はそのページ番号に置き換わります。

### 目次例

項目 1 あいうえお.....	2
項目 1-1 アイウエオ.....	2
項目 1-1-1.....	2
項目 1-1-2.....	3
項目 1-2 カキクケコ.....	3

Antenna House, Inc.

## 項目 1 あいうえお

### 項目 1-1 アイウエオ

#### 項目 1-1-1

項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容  
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容

**項目 1-1-2**

項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容  
項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容  
項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容

**項目 1-2 カキクケコ**

項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容  
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容  
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容  
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容  
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容  
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容  
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容

# 「ツメ」の組版

fo:retrieve-marker と fo:marker の機能を使用して、ページの右側に「ツメ」を印刷します。各ページにどの「ツメ」を印字するかは組版時に自動的に決定されます。

A ■  
B ■  
C ■  
D ■  
E ■

## A

- a-1 sample
- a-2 sample
- a-3 sample

## B

- b-1 sample
- b-2 sample
- b-3 sample
- b-4 sample

## C

- c-1 sample
- c-2 sample
- c-3 sample
- c-4 sample
- c-5 sample
- c-6 sample

## D

- d-1 sample
- d-2 sample
- d-3 sample
- d-4 sample
- d-5 sample
- d-6 sample
- d-7 sample

## E

- e-1 sample
- e-2 sample
- e-3 sample

F

f-1 sample

f-2 sample

G

g-1 sample

g-2 sample

F  
G

## 索引

本文中のオブジェクト（索引語項目）に `index-key` プロパティで索引語（キー）を指定します。索引一覧部分は、索引語項目を表示し、次いで `fo:index-page-citation-list` を置きます。`fo:index-page-citation-list` の子要素として `fo:index-key-reference` を列挙します。`fo:index-key-reference` には `ref-index-key` プロパティで索引語（キー）を指定します。組版終了時には、`fo:index-key-reference` は索引語（キー）のページ番号になります。参照ページをハイパーリンクとするか否かを `page-number-treatment` プロパティで指定できます。

本サンプルでは文書内のアンダーラインの付いた青字の部分に `index-key` プロパティを指定しています。

### TITLE 1.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus.

Integer eu lobortis neque. Donec malesuada sed arcu vitae fringilla. Quisque imperdiet tortor iaculis, pulvinar neque sit amet, aliquet massa. Sed sed auctor purus. Amus nec turpis elementum, iaculis lorem in, pellentesque metus. Ut blandit tortor mi, ac bibendum felis varius vitae. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus. Integer eu lobortis neque. Donec malesuada sed arcu vitae fringilla. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non



tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus. Integer eu lobortis neque.

## TITLE 2.

Quisque imperdiet tortor iaculis, pulvinar neque sit amet, aliquet massa. Sed sed auctor purus. [Vivamus](#) nec turpis elementum, iaculis lorem in, pellentesque metus. [Ut blandit](#) tortor mi, ac bibendum felis varius vitae. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. [Lorem ipsum](#) dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. blandit tortor mi, ac bibendum felis varius vitae.

### 索引

page-number-treatment 指定なし	page-number-treatment="link" 指定
Lorem ipsum..... 1, 2	Lorem ipsum..... 1, 2
TITLE 1..... 1	TITLE 1..... 1
TITLE 2..... 2	TITLE 2..... 2
Ut blandit..... 1, 2	Ut blandit..... 1, 2
Vivamus..... 2	Vivamus..... 2

Antenna House, Inc.

## カウンタスタイル

axf:counter-style により独自のカウンタスタイルを定義できます。name でカウンタスタイルの名前、system でカウンタシステムの種類、symbols でカウンタシンボルを指定します。name で指定した名前は list-style-type や axf:number-transform などを利用可能です。axf:counter-style 拡張要素は、fo:declarations の直下に配置できます。また、[Predefined Counter Styles](#) および [7. Complex Predefined Counter Styles](#) で定義されているスタイルを利用できます。詳細はオンラインマニュアルの「[axf:counter-style](#)」をご参照ください。カウンタスタイルの設定は Antenna House Formatter V6.3 から利用いただけます。

このサンプルでは、一部を除き "One:1, Two:2, Three:3, Four:4, Five:5, Six:6" の文字列中の数字が変換されるように axf:number-transform の指定と axf:counter-style で定義した name を設定します。変換される数字は赤字にしています。また、ページ番号 fo:page-number の形式が、(1)、(2) ... になるよう fo:page-sequence の format へも axf:counter-style で定義した name を設定しています。

**system="cyclic" symbols="a b c"**

文字列内の数字列が a, b, c, a, b, c ... と繰り返すよう変換されます。

One:a, Two:b, Three:c, Four:a, Five:b, Six:c

**system="numeric" symbols="a b c"**

最初のシンボル a を 0 とみなすため、b から始まります。

One:b, Two:c, Three:ba, Four:bb, Five:bc, Six:ca

**system="alphabetic" symbols="a b c"**

文字列内の数字列が a, b, c, aa, ab, ac, ba, bb, bc, ... の順で変換されます。

One:a, Two:b, Three:c, Four:aa, Five:ab, Six:ac

**system="symbolic" symbols="a b c"**

文字列内の数字列が a, b, c, aa, bb, cc, aaa, bbb, ccc, ... の順で変換されます。

One:a, Two:b, Three:c, Four:aa, Five:bb, Six:cc

**system="additive" additive-symbols="5 v,1 i"**

文字列内の数字列が 1 を i、5 を v として変換されます。

One:i, Two:ii, Three:iii, Four:iiii, Five:v, Six:vi

**system="fixed" symbols="a b c"**

文字列内の数字列を a, b, c まで変換、以後は数字列のまま表示します。

One:a, Two:b, Three:c, Four:4, Five:5, Six:6

**system="extends decimal" pad="2 '0'"**

pad で短い桁に対するパディングを指定します。2 桁まで 01, 02, 03, ... の順で表示します。

One:01, Two:02, Three:03, Four:04, Five:05, Six:06

**system="fixed" symbols="a b c" range="1 3" fallback="cjk-decimal"**

range でスタイル適用範囲を指定、fallback で適用範囲外のフォールバックスタイルを指定します。1～3 の間は a, b, c のスタイルが適用されます。以降は Predefined Counter Styles 定義の cjk-decimal が適用され表示されます。

One:a, Two:b, Three:c, Four:四, Five:五, Six:六

**system="extends decimal" negative="[" ]"**

negative で負の値に対する前置後置文字列を指定します。負の値に前置 '['、後置 ']' が適用され表示されます。

Negative two:[2], Negative one:[1], Zero:0, One:1, Two:2, Three:3

## Predefined Counter Styles および 7. Complex Predefined Counter Styles

定義済み Predefined Counter Styles および 7. Complex Predefined Counter Styles のスタイルを指定した例です。

circled-decimal

One:①, Two:②, Three:③, Four:④, Five:⑤, Six:⑥

filled-circled-decimal

One:❶, Two:❷, Three:❸, Four:❹, Five:❺, Six:❻

fullwidth-upper-alpha

One:A, Two:B, Three:C, Four:D, Five:E, Six:F

lower-greek

One:α, Two:β, Three:γ, Four:δ, Five:ε, Six:ζ

japanese-informal

One:一, Two:二, Three:三, Four:四, Five:五, Six:六

japanese-formal

One:壱, Two:弐, Three:参, Four:四, Five:伍, Six:六

## ブロック内、テキスト周りのアキ

ブロック内のテキストの周囲に任意のアキを確保できます。点線で示すブロックの内側のブロックに、マージン、インデント、ボーダー、パディングを指定しています。マージンは指定したブロックのボーダーの外側に取られます。インデントは内容領域の左右に取られます（インデント＝マージン＋ボーダー＋パディング）。

`margin-left="20mm" margin-right="20mm" border-style="solid" border-width="5mm" border-color="#FFDDDD"`

PDF が普及した要因のひとつは、PDF の仕様書が「PDF Reference」として PDF 誕生当初から公開されてきたことである。

`start-indent="20mm" end-indent="20mm" border-style="solid" border-width="5mm" border-color="#FFDDDD"`

PDF が普及した要因のひとつは、PDF の仕様書が「PDF Reference」として PDF 誕生当初から公開されてきたことである。

`margin-left="0mm" margin-right="20mm" border-style="solid" border-width="5mm" border-color="#FFDDDD"`

PDF が普及した要因のひとつは、PDF の仕様書が「PDF Reference」として PDF 誕生当初から公開されてきたことである。

`start-indent="0mm" end-indent="20mm" border-style="solid" border-width="5mm" border-color="#FFDDDD"`

PDF が普及した要因のひとつは、PDF の仕様書が「PDF Reference」として PDF 誕生当初から公開されてきたことである。

`margin-left="20mm" margin-right="0mm" border-style="solid" border-width="5mm" border-color="#FFDDDD"`

PDF が普及した要因のひとつは、PDF の仕様書が「PDF Reference」として PDF 誕生当初から公開されてきたことである。

`start-indent="20mm" end-indent="0mm" border-style="solid" border-width="5mm" border-color="#FFDDDD"`

PDF が普及した要因のひとつは、PDF の仕様書が「PDF Reference」として PDF 誕生当初から公開されてきたことである。

`margin-left="0mm" margin-right="0mm" padding="0mm"`

PDF が普及した要因のひとつは、PDF の仕様書が「PDF Reference」として PDF 誕生当初から公開されてきたことである。

`margin-left="0mm" margin-right="0mm" padding="2mm" border-style="none"`

PDF が普及した要因のひとつは、PDF の仕様書が「PDF Reference」として PDF 誕生当初から公開されてきたことである。

## ブロック間のアキ

space-after、space-before でブロック間のアキを任意に設定できます。下記は space-after で質問文と回答文のブロックの間を 2mm、回答文と次の質問文の間を 10mm 空けた例です。

### 質問 1. これは質問文のブロック

これは質問 1. の回答文のブロック。 これは質問 1. の回答文のブロック。 これは質問 1. の回答文のブロック。 これは質問 1. の回答文のブロック。 これは質問 1. の回答文のブロック。 これは質問 1. の回答文のブロック。 これは質問 1. の回答文のブロック。 これは質問 1. の回答文のブロック。 これは質問 1. の回答文のブロック。 これは質問 1. の回答文のブロック。

### 質問 2. これは質問文のブロック

これは質問 2. の回答文のブロック。 これは質問 2. の回答文のブロック。 これは質問 2. の回答文のブロック。 これは質問 2. の回答文のブロック。 これは質問 2. の回答文のブロック。 これは質問 2. の回答文のブロック。 これは質問 2. の回答文のブロック。 これは質問 2. の回答文のブロック。 これは質問 2. の回答文のブロック。 これは質問 2. の回答文のブロック。

### 質問 3. これは質問文のブロック

これは質問 3. の回答文のブロック。 これは質問 3. の回答文のブロック。 これは質問 3. の回答文のブロック。 これは質問 3. の回答文のブロック。 これは質問 3. の回答文のブロック。 これは質問 3. の回答文のブロック。 これは質問 3. の回答文のブロック。 これは質問 3. の回答文のブロック。 これは質問 3. の回答文のブロック。 これは質問 3. の回答文のブロック。

### 質問 4. これは質問文のブロック

これは質問 4. の回答文のブロック。 これは質問 4. の回答文のブロック。 これは質問 4. の回答文のブロック。 これは質問 4. の回答文のブロック。 これは質問 4. の回答文のブロック。 これは質問 4. の回答文のブロック。 これは質問 4. の回答文のブロック。 これは質問 4. の回答文のブロック。 これは質問 4. の回答文のブロック。 これは質問 4. の回答文のブロック。

# 境界線の種類や太さ

fo:block や fo:table-body などの周囲に境界線を引けます。ここでは境界線の種類や太さのサンプルを紹介します。また、境界線の色は `border-color` で指定できます。

## border-after-style="solid"

border-after-width="thin"  
border-after-width="medium"  
border-after-width="thick"  
border-after-width="0.5pt"  
border-after-width="1mm"

## border-after-style="ridge"

border-after-width="thin"  
border-after-width="medium"  
border-after-width="thick"  
border-after-width="0.5pt"  
border-after-width="1mm"

## border-after-style="dotted"

border-after-width="thin"  
border-after-width="medium"  
border-after-width="thick"  
border-after-width="0.5pt"  
border-after-width="1mm"

## border-after-style="inset"

border-after-width="thin"  
border-after-width="medium"  
border-after-width="thick"  
border-after-width="0.5pt"  
border-after-width="1mm"

## border-after-style="dashed"

border-after-width="thin"  
border-after-width="medium"  
border-after-width="thick"  
border-after-width="0.5pt"  
border-after-width="1mm"

## border-after-style="outset"

border-after-width="thin"  
border-after-width="medium"  
border-after-width="thick"  
border-after-width="0.5pt"  
border-after-width="1mm"

## border-after-style="double"<sup>(1)</sup>

border-after-width="thin"  
border-after-width="medium"  
border-after-width="thick"  
border-after-width="0.5pt"  
border-after-width="1mm"

## border-after-style="groove"

border-after-width="thin"  
border-after-width="medium"  
border-after-width="thick"  
border-after-width="0.5pt"  
border-after-width="1mm"

(1) 拡張プロパティ [axf:border-double-thickness](#) により、線の幅と間隔を指定できます。

Antenna House Formatter では、dot-dash、dot-dot-dash、wave が境界線として指定できるよう拡張されています。詳しくはオンラインマニュアルの [<border-style>](#) をご参照ください。

#### **border-after-style="dot-dash"**

border-after-width="thin"

border-after-width="medium"

border-after-width="thick"

border-after-width="0.5pt"

border-after-width="1mm"

#### **border-after-style="dot-dot-dash"**

border-after-width="thin"

border-after-width="medium"

border-after-width="thick"

border-after-width="0.5pt"

border-after-width="1mm"

#### **border-after-style="wave"<sup>(2)</sup>**

border-after-width="thin"

border-after-width="medium"

border-after-width="thick"

border-after-width="0.5pt"

border-after-width="1mm"

<sup>(2)</sup> 拡張プロパティ [axf:border-wave-form](#) により、波形の長さと線の太さを指定できます。

# 境界線の種類の拡張

Antenna House Formatter V7.3 では、さらに thin-thick-thin, triple, thick-thin, thin-thick, emboss, imprint, double-wave / double-wavy が境界線として指定できるよう拡張されています。詳しくはオンラインマニュアルの [<border-style>](#) をご参照ください。

**border-style="thin-thick-thin"**

**border-style="emboss"**

**border-style="triple"**

**border-style="imprint"**

**border-style="thick-thin"**

**border-style="double-wave"**

**border-style="thin-thick"**



## ボーダーの拡張、丸め罫

[axf:border-radius](#) でボーダーの種類として「丸め罫」を引けます。`axf:border-radius="15pt 10pt"` のように指定し最初の値は、水平方向の径（`writing-mode` が `vertical` のときは垂直方向）となります。2 番目の値は、もう一方の径となります。省略されたときは最初の値と同じとみなされ、どちらかの径がゼロ以下のときは丸められません。

指定を行わない例です。

`fo:block` に `axf:border-radius="15pt 10pt"` を指定した例です。

`axf:border-radius="25pt 25pt"` を指定した例です。

`axf:border-radius="50% 50%"` を指定した例です。

## ボーダーによる対角罫

表のセルなど、ボーダーを指定できる領域に斜めに対角罫を引けます。`axf:diagonal-border-*` による対角罫は、領域の `before-start` 側頂点と `after-end` 側頂点を結ぶ線、`axf:reverse-diagonal-border-*` による対角罫（逆対角罫）は、領域の `before-end` 側頂点と `after-start` 側頂点を結ぶ線となります。

### fo:table での対角罫の使用

表の 1 行 1 列目のセルへ、`axf:diagonal-border-color="black"`, `axf:diagonal-border-style="solid"`, `axf:diagonal-border-width="1pt"` を指定した例

売上月 グループ	1 月	2 月	3 月
A グループ	58.4%	68.2%	92.0%
B グループ	67.0%	70.7%	88.2%
C グループ	87.0%	72.3%	95.2%

### 逆対角罫

`fo:block-container` に対し、`axf:reverse-diagonal-border-color="#2222FF"`, `axf:reverse-diagonal-border-style="solid"`, `axf:reverse-diagonal-border-width="4pt"` を指定して逆対角罫を引いた例

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus. Integer eu lobortis neque. Donec malesuada sed arcu vitae fringilla.

## 二重の枠線と太さ

[axf:border-double-thickness](#) により二重の枠線 `border-style="double"` の太さを指定できます。指定は `axf:border-double-thickness="1pt 1pt 1pt"` のように行い、値は順に 外側の線幅、間隔、内側の線幅 となります。値が省略されたときは、直前の値と等しい値とみなされます。負値は指定できません。二重の枠線と太さの指定は Antenna House Formatter V6.3 から利用いただけます。

`border-style="double"`

`border-style="double" axf:border-double-thickness="1"`

`border-style="double" axf:border-double-thickness="3pt"`

`border-style="double" axf:border-double-thickness="3pt 3pt 3pt"`

`border-style="double" axf:border-double-thickness="3pt 1pt 1pt"`

`border-style="double" axf:border-double-thickness="1pt 1pt 3pt"`

`border-style="double" axf:border-double-thickness="1pt 3pt 1pt"`

## 三重線の枠線と太さ

[axf:border-triple-thickness](#) により三重の枠線 `border-style="triple"` の太さを指定できます。指定は `axf:border-triple-thickness="3pt 1pt 3pt 1pt 3pt"` のように行い、値は、順に 外側の線幅、間隔、中側の線幅、間隔、内側の線幅 となります。値が省略されたときは、直前の値と等しい値とみなされます。負値は指定できません。三重の枠線と太さの指定は Antenna House Formatter V7.3 から利用いただけます。

`border="triple 15pt" axf:border-triple-thickness="1"`

`border="triple 15pt" axf:border-triple-thickness="1pt"`

`border="triple 15pt" axf:border-triple-thickness="1pt 3pt"`

`border="triple 15pt" axf:border-triple-thickness="1pt 3pt 1pt 3pt 1pt"`

`border="triple 15pt" axf:border-triple-thickness="3pt 1pt 3pt 1pt 3pt"`


## 波枠線と形状

`border-style="wave"` により波形状の枠線を指定できます。指定は `axf:border-wave-form="10 3pt"` のように行い、ひとつまたはふたつの値を指定できます。値は順に波長、線幅となります。値は、`number` または `length` または `auto` を指定できます。`number` は、枠線の幅に対する比率となります。値が省略されたときまたは `auto` のときは、それぞれ 6、0.125 とみなされます。負値は指定できません。波枠線と形状の指定は Antenna House Formatter V6.3 から利用いただけます。

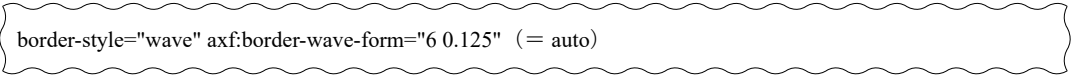
`border-style="wave"`




`border-style="wave" axf:border-wave-form="auto"`




`border-style="wave" axf:border-wave-form="6 0.125" (= auto)`



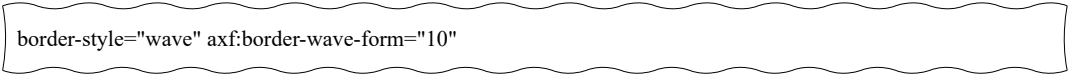
`border-style="wave" axf:border-wave-form="2"`




`border-style="wave" axf:border-wave-form="5"`




`border-style="wave" axf:border-wave-form="10"`



`border-style="wave" axf:border-wave-form="10 3pt"`

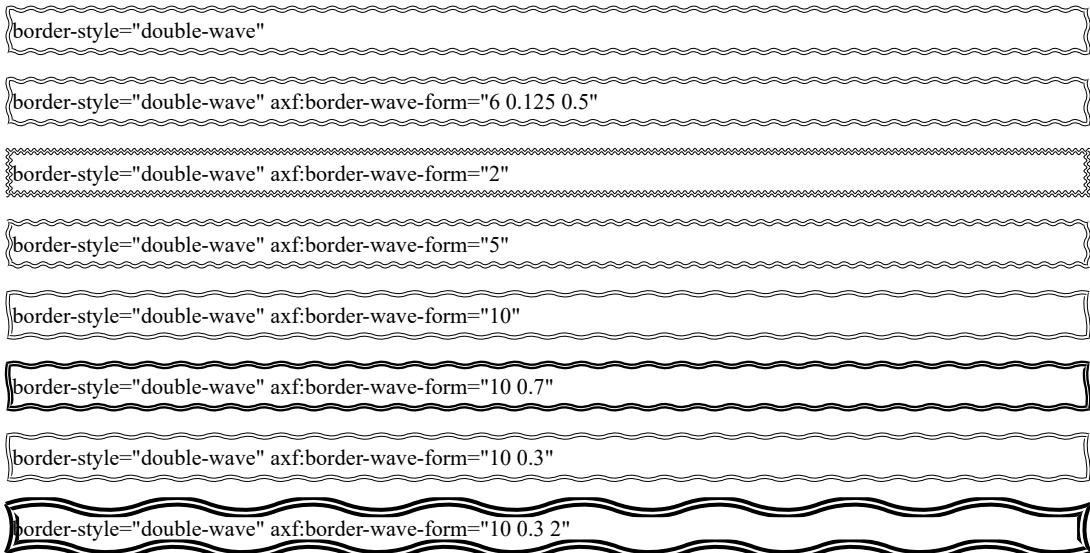


`border-style="wave" axf:border-wave-form="10 5pt"`



## 二重波線の形状

Antenna House Formatter V7.3 以降では `axf:border-wave-form` により二重波線の形状も指定できるようになりました。属性値の 3 番目の値は `border-style="double-wave"` のとき有効で、波幅を示します。値が省略されたときまたは `auto` のときは、0.5 とみなされます。

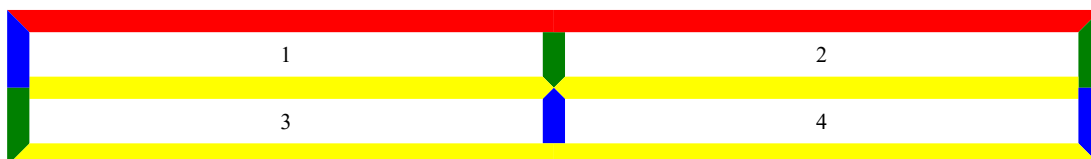


## ボーダーの接合部の形状

[axf:border-connection-form](#) によってボーダーの接合部の形状を指定します。この機能は Antenna House Formatter V6.6 から利用いただけます。

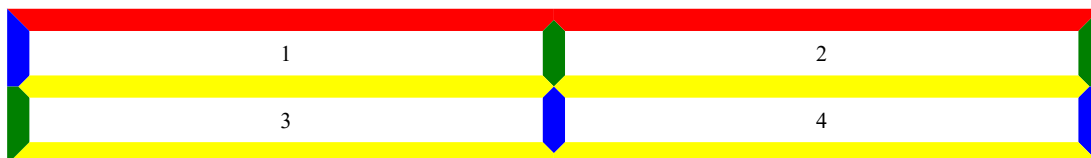
### axf:border-connection-form="mixed"

axf:border-connection-form の値が mixed では同じ太さで丁字に交差するとき矩形にします。他は楔型になります。



### axf:border-connection-form="wedge"

axf:border-connection-form の値が wedge では楔型に接合します。十字に交差する部分では X 型に、丁字に交差する部分では Y 型になります。



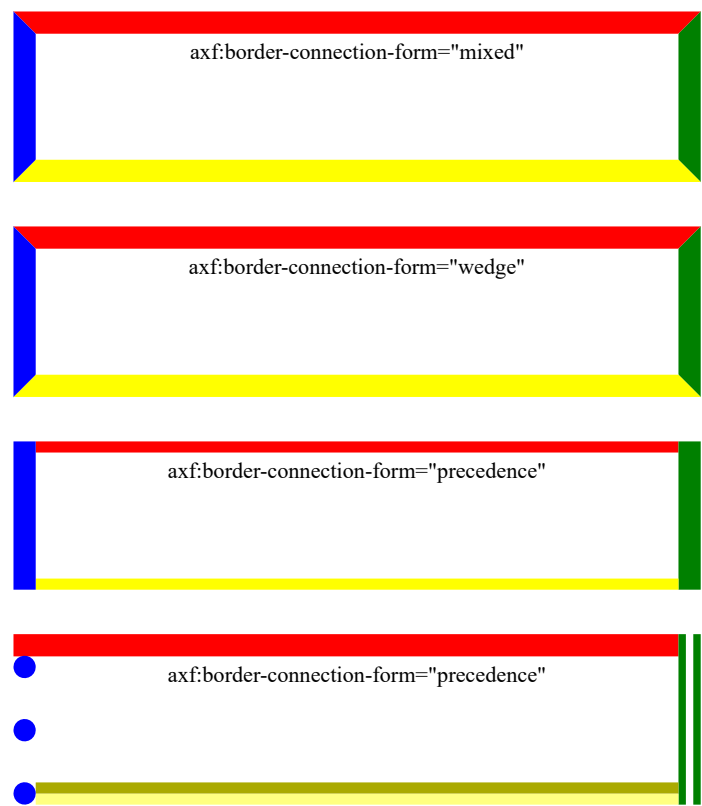
### axf:border-connection-form="precedence"

axf:border-connection-form の値が precedence では太いボーダーを端まで描きます。同じ太さのときは、ボーダーの優先順位によって強いボーダーを端まで描きます。<sup>(1)</sup>



<sup>(1)</sup> 優先度については [17.6.2.1 Border conflict resolution](#) をご参照ください。また、「[表の配置と表示のサンプル](#)」の「ボーダーの優先度」もご参照ください。

fo:block や fo:block-container のボーダーでは mixed や wedge の接合部は楔形ですが、precedence ではボーダーの優先順位によって形状が変化します。





## ボックスシャドウ

[axf:box-shadow](#) の指定でボックスシャドウを指定できます。axf:box-shadow="10px 10px 5px 10px darkgray" のように設定し、値は順に、水平方向の影のオフセット、垂直方向の影のオフセット、ぼかし半径、影の広さ、影の色の指定となります。inset 指定を加えて影を内側にも作成できます。

**axf:box-shadow="10px 10px 0px 0px darkgray"**



**axf:box-shadow="10px 10px 5px 0px darkgray"**



**axf:box-shadow="10px 10px 0px 8px darkgray"**



**axf:box-shadow="inset 10px 10px 0px 0px darkgray"**



影のオフセットが負の値のとき、正の値と逆側の領域が影となります。値の組は複数指定ができ、幾重にも影を作成できます。

**axf:box-shadow="-10px -10px darkgray"**



**axf:box-shadow="10px 10px dimgray,20px 20px darkgray,30px 30px lightgray"**



# span="all" が指定されたブロックの前後のアキ

space-before と space-after はブロックの周りに追加されるスペースを指定します。しかし、span="all" が指定されたブロックはそれ自身が新しい参照領域を作成するので、それらの指定は無視（破棄）されることがあります。このスペースの指定を保持するための解決策は、space-before と space-after の代わりに margin-top と margin-bottom を使用する、もしくは space-before.conditional="retain" と space-after.conditional="retain" を追加することです。これらの変更により、ページや段の上部・下部で span="all" が指定されたブロックの前後のスペースが保持されるようになることに注意してください。

<p>Lorem ipsum dolor sit amet consectetur adipiscing elit scelerisque magnis nostra convallis, penatibus pellentesque habitant aliquam litora euismod est urna dapibus fusce. Nisl vivamus nam nisi ante lacus commodo ac congue penatibus non.</p>	<p>suspendisse sagittis sed volutpat parturient interdum dictumst placerat. Lacinia cum tempus quam convallis purus nostra facilisi pellentesque, vel congue dis integer ornare scelerisque mauris varius sollicitudin, mattis ante litora iaculis ultrices felis hac. Libero viverra magna pretium et odio luctus imperdiet cursus nascetur litora suspendisse semper, facilisis congue ante nostra ornare ultricies consequat vivamus.</p>
<p><b>space-before, space-after</b></p> <p>Enim rhoncus ornare magna montes blandit urna varius semper cras hendrerit, mollis diam fames proin nunc id phasellus pretium vehicula, cursus</p>	<p>Mauris dignissim justo nostra a vel aenean dui pellentesque enim, nibh magna est at molestie orci mi odio natoque, sociosqu lobortis lectus.</p>
<p><b>span, space-before, space-after</b></p> <p>Enim rhoncus ornare magna montes blandit urna varius semper cras hendrerit, mollis diam fames proin nunc id phasellus pretium vehicula, cursus suspendisse sagittis sed volutpat parturient interdum dictumst placerat. Lacinia cum tempus quam convallis purus nostra facilisi pellentesque, vel congue dis integer ornare scelerisque mauris varius sollicitudin, mattis ante litora iaculis</p>	<p>ultrices felis hac. Libero viverra magna pretium et odio luctus imperdiet cursus nascetur litora suspendisse semper, facilisis congue ante nostra ornare ultricies consequat vivamus.</p> <p>Mauris dignissim justo nostra a vel aenean dui pellentesque enim, nibh magna est at molestie orci mi odio natoque, sociosqu lobortis lectus.</p>
<p><b>span, margin-top, margin-bottom</b></p> <p>Enim rhoncus ornare magna montes blandit urna varius semper cras hendrerit, mollis diam fames proin nunc id phasellus pretium vehicula, cursus suspendisse sagittis sed volutpat parturient interdum dictumst placerat. Lacinia cum tempus quam convallis purus nostra facilisi pellentesque, vel congue dis integer ornare scelerisque mauris varius sollicitudin, mattis ante litora iaculis</p>	<p>ultrices felis hac. Libero viverra magna pretium et odio luctus imperdiet cursus nascetur litora suspendisse semper, facilisis congue ante nostra ornare ultricies consequat vivamus.</p> <p>Mauris dignissim justo nostra a vel aenean dui pellentesque enim, nibh magna est at molestie orci mi odio natoque, sociosqu lobortis lectus.</p>
<p><b>span, space-before, space-before.conditional, space-after, space-after.conditional</b></p> <p>Enim rhoncus ornare magna montes blandit urna varius semper cras hendrerit, mollis diam fames proin nunc id phasellus pretium vehicula, cursus suspendisse sagittis sed volutpat parturient interdum dictumst placerat. Lacinia cum tempus quam convallis purus nostra facilisi pellentesque, vel congue dis integer ornare scelerisque mauris varius sollicitudin, mattis ante litora iaculis</p>	<p>ultrices felis hac. Libero viverra magna pretium et odio luctus imperdiet cursus nascetur litora suspendisse semper, facilisis congue ante nostra ornare ultricies consequat vivamus.</p> <p>Mauris dignissim justo nostra a vel aenean dui pellentesque enim, nibh magna est at molestie orci mi odio natoque, sociosqu lobortis lectus.</p>

## 隣り合うブロックを同じページに配置

本文領域に次の行が入らないとき自動的に改ページが発生しますが、keep-with-next="always" により隣り合った段落（ブロック）同士を強制的に同一ページに配置できます。次の2ページ目は最後の方に背景色がつけられたブロック「Q3」があり、それに対する「A」が3ページ目から始まっています。これは通常の配置例です。これに対し4ページ目と5ページ目では「Q」に対する「A」が必ず同じページに配置されます。

Antenna House, Inc.

### 背景色のあるブロックに何も設定しない（既定値）

#### Q1. 質問タイトル

これは Q1.の質問文のブロック これは Q1.の質問文のブロック

A これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。  
これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは  
Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは  
Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。

#### Q2. 質問タイトル

これは Q2.の質問文のブロック これは Q2.の質問文のブロック

A これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。  
これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは  
Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは  
Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。

#### Q3. 質問タイトル

Antenna House, Inc.

これは Q3.の質問文のブロック これは Q3.の質問文のブロック

A これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。  
これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは  
Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは  
Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。

Antenna House, Inc.

**背景色のあるブロックに keep-with-next="always" を設定**

**Q1. 質問タイトル**

これは Q1.の質問文のブロック これは Q1.の質問文のブロック

A これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。  
これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは  
Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは  
Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。

**Q2. 質問タイトル**

これは Q2.の質問文のブロック これは Q2.の質問文のブロック

A これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。  
これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは  
Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは  
Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。

Antenna House, Inc.

### Q3. 質問タイトル

これは Q3.の質問文のブロック これは Q3.の質問文のブロック

A これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。  
これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは  
Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは  
Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。

Antenna House, Inc.

## 隣り合うブロックを同じ段に配置するサンプル

keep-with-next.within-column="always" とすると同一段になるように指定できます。Q2.には非設定、Q3.に設定。

### Q1. 質問タイトル

これは Q1.の質問文のブロック

A これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。  
これは Q1.の回答文のブロック。

### Q2. 質問タイトル

これは Q2.の質問文のブロック

A これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。  
これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。

### Q3. 質問タイトル

これは Q3.の質問文のブロック

A これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。  
これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。  
これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。

Antenna House, Inc.

## 同じブロックを同じページに配置

`keep-together` をまとまったブロック（段落や図形に）に指定して全体を一ページ内に収めるよう設定できます。通常はページの上から文字を配置して一杯になると自動的に改ページが発生します。

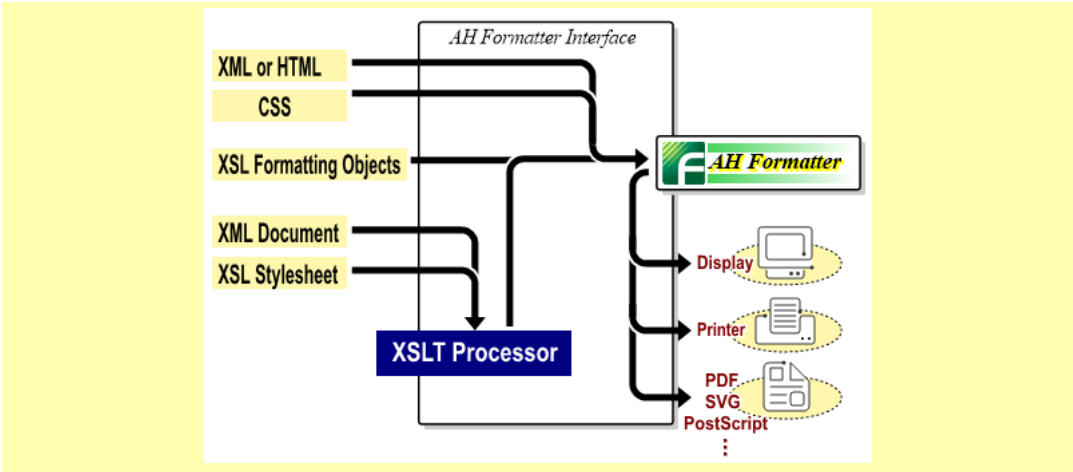
### 背景色のあるブロックに何も設定しない（既定値）

#### 組版の流れ

Antenna House Formatter は、XSL Formatting Objects (XSL-FO) や XML と XSL スタイルシートからの組版、HTML や XML と CSS からの組版などを行います。組版結果は、GUI を用いてディスプレイへ表示したり、PDF などへ出力、または印刷されます（ディスプレイ表示と印刷は Windows 版のみ）。

この流れは、次のようになります。

Antenna House, Inc.



Antenna House, Inc.

## 背景色のあるブロック全体に `keep-together.within-page="always"` を設定

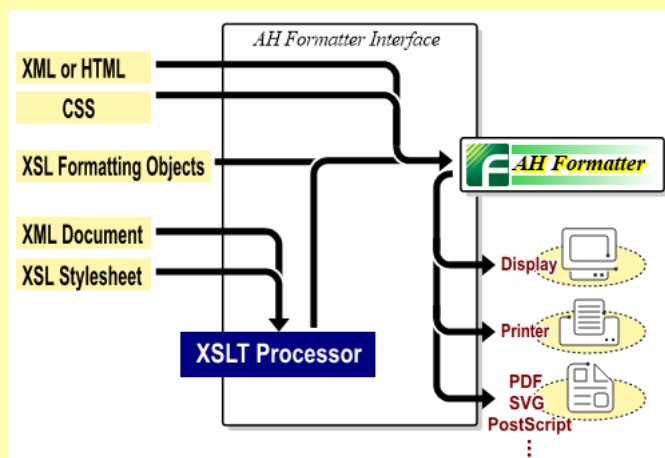
`keep-together` の指定により、次のページでブロックがまとまります。

Antenna House, Inc.

### 組版の流れ

Antenna House Formatter は、XSL Formatting Objects (XSL-FO) や XML と XSL スタイルシートからの組版、HTML や XML と CSS からの組版などを行います。組版結果は、GUI を用いてディスプレイへ表示したり、PDF などへ出力、または印刷されます（ディスプレイ表示と印刷は Windows 版のみ）。

この流れは、次のようになります。



Antenna House, Inc.

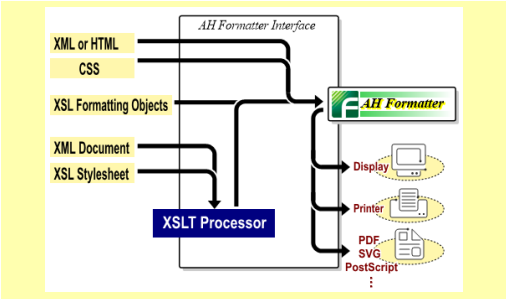
## 同じブロックを同じ段に配置するサンプル

背景色のあるブロックに何も設定しない  
(既定値)

### 組版の流れ

Antenna House Formatter は、XSL Formatting Objects (XSL-FO) や XML と XSL スタイルシートからの組版、HTML や XML と CSS からの組版などを行います。組版結果は、GUI を用いてディスプレイへ表示したり、PDF などへ出力、または印刷されます (ディスプレイ表示と印刷は Windows 版のみ)。

この流れは、次のようになります。



Antenna House, Inc.

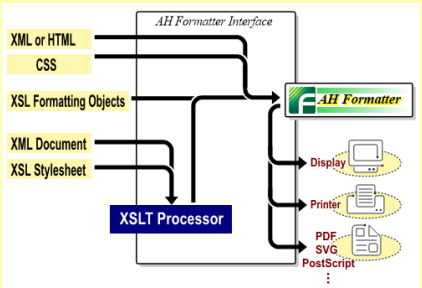
背景色のあるブロック全体に `keep-together.within-column="always"` を設定

`keep-together` の指定により、次の段でブロックがまとまります。

### 組版の流れ

Antenna House Formatter は、XSL Formatting Objects (XSL-FO) や XML と XSL スタイルシートからの組版、HTML や XML と CSS からの組版などを行います。組版結果は、GUI を用いてディスプレイへ表示したり、PDF などへ出力、または印刷されます (ディスプレイ表示と印刷は Windows 版のみ)。

この流れは、次のようになります。



Antenna House, Inc.



## keep-together を適用する高さの上限を指定

axf:keep-together-within-dimension の指定により、keep-together.within-page または .within-column が auto でないとき、そのブロックに keep-together を適用する高さの上限を指定することができます。値は既定値の all（高さ制限なし）、<length> で高さを指定します。<length> で高さを指定すると、その高さまでは keep-together が適用されますが、それ以降は keep-together に auto が指定されたように振る舞います。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:keep-together-within-dimension](#)」をご参照ください。axf:keep-together-within-dimension の指定は Antenna House Formatter V6.5 から利用いただけます。

例えば、あるブロックに keep-together.within-page="always" を指定したいが、ページの高さを超えるようなブロックのときは分割して欲しいというときは、次のように指定します。

```
<fo:block keep-together.within-page="always" axf:keep-together-within-dimension="100vh">
```

Antenna House, Inc.

### axf:keep-together-within-dimension="all"

ブロック（赤枠）の高さの制限なし、ブロックが段を超えてもそのまま出力されます。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Nullam purus. In porttitor, dui eget placerat pretium, mauris arcu ultrices nisl, quis mattis nisi turpis in velit. Cras et tellus quis nulla ultricies tristique. Ut at lacus at nibh cursus vestibulum. Praesent nec dui. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo. Pellentesque eu nunc ac lectus viverra pretium. Nunc nibh purus, adipiscing et, vehicula vel, feugiat nec, elit. Praesent nisi. Sed tincidunt. Dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vestibulum ante ipsum primis in faucibus orci luctus et ultrices posuere cubilia Curae; Duis at lacus mattis, luctus leo rhoncus, interdum velit. Nam ultrices orci nunc, et vestibulum ligula efficitur a. Aliquam mollis,

Antenna House, Inc.

**axf:keep-together-within-dimension="100vh"**

ブロック（赤枠）の高さの上限を指定、段を超えたブロックが次の段へ分割されます。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Nullam purus. In porttitor, dui eget placerat pretium, mauris arcu ultrices nisl, quis mattis nisi turpis in velit. Cras et tellus quis nulla ultricies tristique. Ut at lacus at nibh cursus vestibulum. Praesent nec dui. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo. Pellentesque eu nunc ac lectus viverra pretium. Nunc nibh purus, adipiscing et, vehicula vel, feugiat nec, elit. Praesent nisi. Sed tincidunt. Dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum

Antenna House, Inc.

massa ut augue. Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vestibulum ante ipsum primis in faucibus orci luctus et ultrices posuere cubilia Curae; Duis at lacus mattis, luctus leo rhoncus, interdum velit. Nam ultrices orci nunc, et vestibulum ligula efficitur a. Aliquam mollis, ante nec consequat accumsan, odio est fringilla ipsum, nec sollicitudin felis justo sit amet leo. Etiam tempor blandit lectus, eu tempus odio lobortis non

Antenna House, Inc.

#### **axf:keep-together-within-dimension="all"**

axf:keep-together-within-dimension が適用されるブロック（赤枠）の高さに制限はありません。ブロックが分割されないため、ブロックの前の段またはページの下部に大きなスペースが残る場合があります。

Praesent nisi. Sed tincidunt. Dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Nullam purus. In porttitor, dui eget placerat pretium, mauris arcu ultrices nisl, quis mattis nisi turpis in velit. Cras et tellus quis nulla ultricies tristique. Ut at lacus at nibh cursus vestibulum. Praesent nec dui. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo.

Antenna House, Inc.

#### **axf:keep-together-within-dimension="50vh"**

配置可能なエリアの高さよりも高いブロック（赤枠）に axf:keep-together-within-dimension の上限が指定されている場合、配置可能なエリアの高さがその上限に一致または超えるとブロックが分割することがあります。

Praesent nisi. Sed tincidunt. Dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Nullam purus. In porttitor, dui eget placerat pretium, mauris arcu ultrices nisl, quis mattis nisi turpis in velit. Cras et tellus quis nulla ultricies tristique. Ut at lacus at nibh cursus vestibulum. Praesent nec dui. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla at urna

in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo.

Antenna House, Inc.

**axf:keep-together-within-dimension="50vh"**

配置可能なエリアの高さよりも高いブロック（赤枠）に axf:keep-together-within-dimension の上限が指定されている場合、配置可能なエリアの高さがその上限より小さいときはブロックは分割されません。

Praesent nisi. Sed tincidunt. Dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Nullam purus. In porttitor, dui eget placerat pretium, mauris arcu ultrices nisl, quis mattis nisi turpis in velit. Cras et tellus quis nulla ultricies tristique. Ut at lacus at nibh cursus vestibulum. Praesent nec dui. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo.

Antenna House, Inc.

## ブロックコンテナを絶対位置で配置

fo:block-container で位置とサイズを指定した領域を作成できます。block-container の中に fo:block で段落を配置します。

**absolute-position="absolute" top="0mm"  
left="0mm" width="78mm" height="60mm"**

PDF の用途は大きく、①印刷分野での使用、②ビジネス・教育・官公庁などでの一般用途、に分けて考えると良い。以下に述べるように印刷分野の PDF と一般用との PDF では要求される機能が相当に異なり、適用される PDF ソフトウェアも異なることが多い。

**absolute-position="absolute" top="0mm"  
left="90mm" width="78mm" height="60mm"**

PDF の用途は大きく、①印刷分野での使用、②ビジネス・教育・官公庁などでの一般用途、に分けて考えると良い。以下に述べるように印刷分野の PDF と一般用との PDF では要求される機能が相当に異なり、適用される PDF ソフトウェアも異なることが多い。

**absolute-position="absolute" top="65mm" left="20mm" width="120mm"  
height="50mm"**

PDF の用途は大きく、①印刷分野での使用、②ビジネス・教育・官公庁などでの一般用途、に分けて考えると良い。以下に述べるように印刷分野の PDF と一般用との PDF では要求される機能が相当に異なり、適用される PDF ソフトウェアも異なることが多い。

**absolute-position="absolute"  
top="120mm" left="0mm"  
width="60mm" height="85mm"**

PDF の用途は大きく、①印刷分野での使用、②ビジネス・教育・官公庁などでの一般用途、に分けて考えると良い。以下に述べるように印刷分野の PDF と一般用との PDF では要求される機能が相当に異なり、適用される PDF ソフトウェアも異なることが多い。

**absolute-position="absolute" top="135mm"  
left="70mm" width="88mm" height="58mm"**

PDF の用途は大きく、①印刷分野での使用、②ビジネス・教育・官公庁などでの一般用途、に分けて考えると良い。以下に述べるように印刷分野の PDF と一般用との PDF では要求される機能が相当に異なり、適用される PDF ソフトウェアも異なることが多い。

## ブロックコンテナの位置と大きさ

ブロックコンテナ (fo:block-container) は位置の指定がされない場合、前のブロックに続いて配置されます。幅や高さは任意に指定された値、領域内に含まれる内容により変化します。

これは、位置の指定されないブロックコンテナの前のブロック領域です。

位置の指定されないブロックコンテナの内容です。位置が指定されていないため、前のブロックに続いて配置されます。幅と高さの指定もされていないので、領域に含まれる内容がそのまま大きさに反映されます。

これは、位置の指定されないブロックコンテナの後ろのブロック領域です。

位置の指定されないブロックコンテナの内容です。幅を行内の進行方向の寸法で設定する `inline-progression-dimension="50%"` と指定、高さは指定されていないので内容によって大きさが決まります。

位置の指定されないブロックコンテナの内容です。幅を `inline-progression-dimension="50%"` と指定、高さはブロックの進行方向の寸法で設定する `block-progression-dimension="20%"` と指定しています。

位置の指定されないブロックコンテナの内容です。幅を `inline-progression-dimension="50%"` と指定、高さは `block-progression-dimension="30mm"` と指定しています。

位置の指定されないブロックコンテナの内容です。 `inline-progression-dimension.minimum="30em"`、 `block-progression-dimension.minimum="2em"` と指定して幅と高さの大きさを最小値で指定できます。

直前のブロックコンテナと同じ最低値指定です。

位置の指定されないブロックコンテナの内容です。 `inline-progression-dimension.maximum="30em"`、と高さ `block-progression-dimension.maximum="2em"` と指定して幅と高さの大きさを最大値で指定できます。  
直前のブロックコンテナと同じ最大値指定です。

高さの指定されていないブロックコンテナは内容があふれた場合、ブロックコンテナの内部で改ページします。 `block-container sample.`  
`block-container sample.` `block-container sample.` `block-container sample.`  
`block-container sample.` `block-container sample.` `block-container sample.`

block-container sample. block-container sample. block-container sample.  
 block-container sample. block-container sample. block-container sample.  
 block-container sample. block-container sample. block-container sample.  
 block-container sample. block-container sample. block-container sample.  
 block-container sample. block-container sample. block-container sample.  
 block-container sample. block-container sample. block-container sample.  
 block-container sample. block-container sample. block-container sample.  
 block-container sample. block-container sample. block-container sample.  
 block-container sample. block-container sample. block-container sample.  
 block-container sample. block-container sample.

## ブロックコンテナの段組、段間の罫線

段組を `fo:block-container` に対して `fo:region-body` と同じように指定ができます。また、段間に罫線を引くことができます。

### 通常の `fo:block-container` 指定

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

即ち、PDF ファイルには 1 枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。

`axf:column-count="3", axf:column-gap="8pt"` を指定、三段組として段間幅を 8pt とした例

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵	を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。	どこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。
--	---	---

三段組に対して `axf:column-rule-style="solid", axf:column-rule-width="1.5pt", axf:column-rule-color="#AAAAFF", axf:column-rule-length="100%", axf:column-rule-align="center"` として、段間罫を指定した例

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵	を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。	どこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。
--	---	---



`axf:column-rule-display` により、段のないところに段間罫を引くか否かを指定できます。以下の例は `axf:column-rule-display="gap"` (既定値) で引かない例

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、	どんな大きさと、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。
--	--

`axf:column-rule-display="all"` 指定により段のないところへも段間罫を引く例

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、	どんな大きさと、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。
--	--

`axf:column-rule-length` が 100% でない場合、`axf:column-rule-align` は列内で縦方向の段間罫を揃える方法を指定します。この例では、70% の長さの段間罫を `after` 側に揃えて引いています。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、	どんな大きさと、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。
--	--

## 段の高さをバランスさせる

axf:column-fill 値によって、複数の段を持つ fo:region-body や fo:block-container のコンテンツは、段組を順に埋めるか段組間で可能な限り高さをバランスを取ることができます。（fo:region-body の場合、最後のページのみが均等に分割されます）。axf:column-fill は規定値の balance で、段組は可能な限りバランスされます。auto の時、順に埋められます。

特に断りのない限り、これらのサンプルは orphans="1"、widows="1"、max-height="7lh + 8pt" を指定しています。


axf:column-fill="balance"

Lorem ipsum dolor sit	amet, consectetur	adipiscing elit bibendum	tincidunt pharetra.
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie	ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis	aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum	nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing.

内容量によっては、バランスされない場合もあります。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit bibendum tincidunt pharetra.	Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel	tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et	consectetur tellus ipsum et arcu.
---	---	---	--------------------------------------

画像などの分割できないコンテンツは、段の高さに影響します。

	Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit bibendum tincidunt pharetra.	Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel	tincidunt velit.
---	---	---	------------------

axf:column-fill="balance" widows="3"

orphans、widows および keep や break のプロパティは、段の高さに影響します。

Lorem ipsum dolor sit	amet, consectetur adipiscing elit bibendum tincidunt pharetra.		
-----------------------	--	--	--

axf:column-fill="auto"

段組は最大限の高さまで順に埋めていきます。

<p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit bibendum tincidunt pharetra.</p>			
<p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id.</p>	<p>Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt</p>	<p>lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing.</p>	
 <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur</p>	<p>adipiscing elit bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.</p>		

コンテンツは、段抜きの前でバランスされます。

<p>Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui</p>	<p>malesuada velit, et consectetur tellus ipsum</p>	<p>et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum</p>	<p>nibh varius consectetur.</p>
<p><b>Lorem Ipsum</b></p>			
<p>Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum</p>	<p>et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur.</p>		

## 縦方向の文字配置の調整

`display-align="justify"` を指定してテキストをブロック進行方向に、行間を調整して均等割り付けできます。

`display-align="auto"`

1 block

Antenna House  
Sample FO test test  
test test

multiple blocks

test  
test  
test  
test test test test test  
test test test test test  
test test

`line-height="3"` is specified for blue block

test  
test  
test  
test test test test test  
test test test test test  
test test  
test  
last line

`display-align="justify"`

1 block

Antenna House  
  
Sample FO test test  
  
test test

multiple blocks

test  
test  
test  
test test test test test  
test test test test test  
test test

`line-height="3"` is specified for blue block

test  
test  
test  
test test test test test  
test test test test test  
test test  
test  
last line

# オーバーフロー

fo:block-container、fo:inline-container に指定された大きさの領域内にテキストが入りきらない（オーバーフロー）場合に、はみ出た部分の表示のさせ方を指定できます。Antenna House Formatter は、オーバーフローに関するプロパティおよび拡張プロパティとして複数の値をサポートしています。詳しくはオンラインマニュアル「[overflow](#)」または「[オーバーフローの拡張](#)」をご参照ください。

オーバーフローなし（Non-Overflow）

原文です。原文です。原文です。

overflow="hidden"

原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。

overflow="visible"

原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。

overflow="repeat"

原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。

原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。

overflow="scroll"（非サポート）

原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。

## オーバースローを代替文字、文字サイズで調整

fo:block-container、fo:inline-container に指定された大きさの領域にテキストが入りきらない（オーバースロー）場合に、overflow="replace"、「axf:overflow-replace」でテキストに対する代替文字列を指定できます。また、overflow="condense"、「axf:overflow-condense」によりテキストを長体にする、文字サイズを縮小、行間を縮小する、などの処理を指定できます。

指定なし

原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。

overflow="replace" axf:overflow-replace="Alternate text."

Alternate text.  
Alternate text.  
Alternate text.

overflow="condense" axf:overflow-condense="letter-spacing"

原文です。原文です。原文です。  
原文です。原文です。原文です。  
原文です。原文です。原文です。

overflow="condense" axf:overflow-condense="font-stretch"

原文です。原文です。原文です。  
原文です。原文です。原文です。  
原文です。原文です。原文です。

overflow="condense" axf:overflow-condense="font-size"

原文です。原文です。原文です。  
原文です。原文です。原文です。  
原文です。原文です。原文です。

overflow="condense" axf:overflow-condense="line-height"

原文です。原文です。原文です。  
原文です。原文です。原文です。  
原文です。原文です。原文です。  
原文です。原文です。原文です。

## オーバーフロー時の詰め込み方法を複数指定

[axf:overflow-condense](#) の指定でオーバーフローしたテキストを領域内にどのように詰め込むかを指定します。指定できる値は `font-size`、`font-stretch`、`line-height`、`letter-spacing` があり、`axf:overflow="font-size font-stretch"` のように複数の詰め込み方法を指定することもできます。通常は [axf:overflow-condense-limit-font-size](#) や [axf:overflow-condense-limit-font-stretch](#) など各値の下限値の指定と組み合わせて使うことが多いでしょう。複数の値による詰め込みでは最初に指定された詰め込み方法でオーバーフローが解消されなかったとき、続けて次に指定された方法で詰め込みが試みられます。複数指定による詰め込みは Antenna House Formatter V7.1 から利用いただけます。

このサンプルでは、複数指定による詰め込み `axf:overflow-condense="font-size font-stretch"` と詰め込みの下限值 `axf:overflow-condense-limit-font-size="10pt"` を指定しています。最初の `font-size` による詰め込みで下限値 10pt でもオーバーフローが解消できなかったとき、続けて `font-stretch` の詰め込みが試みられます。

文字数が少なくオーバーフローしないときは、指定したフォントサイズになります。

Copyright © 1999-2021 Antenna House, Inc.

文字が領域からオーバーフローしたときは `axf:overflow-condense-limit-font-size` で指定した下限値を超えないよう詰め込みが行われます。

Copyright © 1999-2021 Antenna House, Inc. Sample.

文字が `axf:overflow-condense-limit-font-size` で指定した下限値でもオーバーフローするときは、さらに `font-stretch` によって詰め込みが行われます。

Copyright © 1999-2021 Antenna House, Inc. All rights reserved. Sample Data.

# オーバーフローした内容末尾の表示を指定

`axf:text-overflow` の指定により、インライン方向にオーバーフローしたときの、内容末尾の表示方法を指定します。`axf:text-overflow` の指定は、インライン方向のみ有効となりブロック方向のオーバーフローに対しては効果がありません。また、`overflow="hidden"` のときのみ機能は有効となります。指定できる値は既定値の `clip`（オーバーフローが発生しても何も処理しません）のほか、`ellipsis`（オーバーフローした内容末尾に省略記号（U+2026）を挿入）、`<string>`（オーバーフローした内容末尾に指定した文字列を挿入）です。なお、最初の 1 文字だけでオーバーフローしてしまうときは、`clip` として扱われます。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:text-overflow](#)」をご参照ください。`axf:text-overflow` の指定は Antenna House Formatter V6.5 から利用いただけます。

## `axf:text-overflow="clip"`

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Nul

## `axf:text-overflow="ellipsis"`

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. …

## `axf:text-overflow="→"`

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. →

## `axf:text-overflow` を段組へ指定した例

<b><code>axf:text-overflow="clip"</code></b> Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Nulla consequ	
<b><code>axf:text-overflow="ellipsis"</code></b> Lorem ipsum dolor sit amet, co…	
<b><code>axf:text-overflow="→"</code></b> Lorem ipsum dolor sit amet, co→	

## `axf:text-overflow` を右から左へ記述する言語へ指定した例

### `axf:text-overflow="clip"`

כל בני אדם נולדו בני חורין ושווים בערכם ובזכויותיהם. כולם חוננו בחבונג

### `axf:text-overflow="ellipsis"`

כל בני אדם נולדו בני חורין ושווים בערכם ובזכויותיהם. כולם חוננו בת…

### `axf:text-overflow="←"`

כל בני אדם נולדו בני חורין ושווים בערכם ובזכויותיהם. כולם חוננו בת←



## <fo:inline-container> 内のブロックがオーバーフローしたときの調整

[axf:inline-overflow-align](#) で <fo:inline-container> 内のブロックがオーバーフローしたときの配置を調整ができます。指定できる値は normal、start、end、left、right です。既定値は normal で axf:inline-overflow-align の指定が無効です。start、end、left、right は、<fo:inline-container> の含まれる参照領域に対して指定した値の側へブロックをずらして配置します。この機能は Antenna House Formatter V7.1 から利用いただけます。

この拡張を用いることで、例えば行頭や行末で合印が版面からオーバーフローしないよう調整できます。

### axf:inline-overflow-align 指定なし

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. test  
 Aliquam tempus vestibulum mag ...

(#10000)

### axf:inline-overflow-align="end"

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. test  
 Aliquam tempus vestibulum mag ...

(#10000)

### axf:inline-overflow-align 指定なし

xx. Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.  
 test Aliquam tempus vestibulum mag ...

(#10001)

### axf:inline-overflow-align="start"

xx. Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.  
 test Aliquam tempus vestibulum mag ...

(#10001)

## オーバーフローの詰め込み後の最終行を均等割り付けするかを指定

`axf:condensed-text-align-last` の指定によりオーバーフローの詰め込み後の最終行に `text-align-last="justify"` を自動的に設定するかどうかを指定します。機能が有効になる条件については、マニュアルの「[axf:condensed-text-align-last](#)」を参照してください。この機能は Antenna House Formatter V7.1 から利用いただけます。

### **`axf:condensed-text-align-last="false"`**

`axf:condensed-text-align-last="false"` では、最終行は変更されません。`text-align-last` の指定があればそれに従います。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aenean commodo ligula eget dolor. Aenean massa. Nulla consequat massa quis enim. Donec.
--

### **`axf:condensed-text-align-last="true"`**

`axf:condensed-text-align-last="true"` では、最終行は `text-align-last="justify"` を設定します。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aenean commodo ligula eget dolor. Aenean massa. Nulla consequat        massa        quis        enim.        Donec.
--

### **`axf:condensed-text-align-last="justify"`**

`axf:condensed-text-align-last="justify"` では、最終行は `text-align="justify"` のときに `text-align-last="justify"` を設定します。`text-align="justify"` かどうかは、`overflow="condense"` 指定のある要素が `text-align="justify"` かどうかで判断します。

`text-align` の指定が無い場合

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aenean commodo ligula eget dolor. Aenean massa. Nulla consequat massa quis enim. Donec.
--

`text-align="justify"` が指定されている場合

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aenean commodo ligula eget dolor. Aenean massa. Nulla consequat        massa        quis        enim.        Donec.
--

### **`axf:condensed-text-align-last="auto"`**

`axf:condensed-text-align-last="auto"` の場合は、オプション設定ファイル [condensed-text-align-last](#) の指定に従います。

## ブロックの変形

[axf:transform](#) を使ってブロックを変形できます。角度を `rotate`、`skew` など指定します。ブロックの変形の基点は、`axf:transform-origin` で指定します。なお、`axf:transform` の指定では領域の変形は起こりません。内容だけが変形されます。

### `rotate(-15deg)` を指定した場合

*Lorem ipsum dolor sit amet,  
consectetur adipiscing elit. Aliquam  
bibendum tincidunt pharetra.*

### `skewX(-45deg)` を指定した場合

*Lorem ipsum dolor sit amet,  
consectetur adipiscing elit. Aliquam  
bibendum tincidunt pharetra.*

### `rotate(-15deg),skewX(-45deg)` を指定した場合

*Lorem ipsum dolor sit amet,  
consectetur adipiscing elit. Aliquam  
bibendum tincidunt pharetra.*

# 行グリッド

[axf:baseline-grid](#) 指定により、見出しや図があっても各段の行の位置がずれないように行グリッドを設定できます。`axf:baseline-grid="new"` により新しい行グリッドを設定します。この要素の `font` と `line-height` 設定が行グリッドの設定に利用されます。また、`root` 指定ではルート要素の `font` と `line-height` 設定が行グリッドに利用されます。`none` 指定で行グリッドを解除します。行以外のブロック（見出しや図表）をどのように行グリッドに配置するかは `axf:baseline-block-snap` で指定します。本サンプルでは既定値 `auto border-box`（段の先頭では `before`、最後では `after`、それ以外では `center` と同じ）で指定していますが、別々に `before`、`after`、`center` など指定できます。

## axf:baseline-grid 指定あり

このブロックは `axf:baseline-grid="new"` で行グリッドを設定しています。

見出し

いろはにほへとちりぬるを、わかよたれそつねならむ **大きい字** うゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。いろはにほへとちりぬるを、**より大きい文字** わかよたれそつねならむ、うゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。いろはにほへとちりぬるを、わかよたれそ。ゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。

図 `axf:baseline-block-snap="auto border-box"` (既定値)

いろはにほへとちりぬるを、わかよたれそつねならむ。うゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。いろはにほへとちりぬるを。

図 `axf:baseline-block-snap="auto border-box"` (既定値)

いろはにほへとちりぬるを、わかよたれそつねならむ。うゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。いろはにほへとちりぬるを。

図 `axf:baseline-block-snap="auto border-box"` (既定値)

## axf:baseline-grid 指定なし

このブロックは `axf:baseline-grid` による行グリッドの指定を行っていません。

見出し

いろはにほへとちりぬるを、わかよたれそつねならむ **大きい字** うゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。いろはにほへとちりぬるを、**より大きい文字** わかよたれそつねならむ、うゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。いろはにほへとちりぬるを。

あさきゆめみしゑひもせす。いろはにほへとちりぬるを、わかよたれそ。ゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。

図

いろはにほへとちりぬるを、わかよたれそつねならむ。うゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。いろはにほへとちりぬるを。

図

いろはにほへとちりぬるを、わかよたれそつねならむ。うゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。いろはにほへとちりぬるを。

図

## 箇条書き

`fo:list-block` を使って箇条書きを表現した例です。箇条書きのラベルとリストボディの取り方と幅は、`fo:list-block` に `provisional-label-separation`（ラベル領域の終了位置とリストボディの開始位置の距離）、`provisional-distance-between-starts`（ラベル領域の開始位置とリストボディの開始位置の距離）を指定して決めます。

**ラベル領域** リストボディ。ラベル領域の幅と、リストボディの開始位置は `fo:list-item-label` の `end-indent="label-end()"` と `fo:list-item-body` の `start-indent="body-start()"` 指定から自動的に計算されます。

以下の例では `fo:list-block` に `provisional-label-separation="1em"` `provisional-distance-between-starts="4em"` を指定しています。

### 五十音

あ行	あいうえお・アイウエオ
か行	かきくけこ・カキクケコ
さ行	さしすせそ・サシスセソ
た行	たちつてと・タチツテト
な行	なにぬねの・ナニヌネノ

## 改ページ時の残り領域の高さを指定

Antenna House Formatter V7.3 では、`axf:break-distance` を使って、`break-before`、`break-after` の有効な高さを指定することができます。`axf:break-distance` は `<length> | <percentage>` で高さを指定します。`break-before` または `break-after` で改ページや改段の指定があり、`axf:break-distance` で高さが指定されていて、残り領域の高さがこの値よりも少ないとき、`break-before` または `break-after` が有効になります。`axf:break-distance` で指定した高さよりも残り領域の高さが大きいときは改ページや改段しません。ページのアキに余裕がある場合は無駄な改ページを減らすことができます。

次のページでは、2 段組みのページ本文中に `break-before="column"` が指定されています。`break-before="column"` のみ指定されている場合はそこで改段しますが、`axf:break-distance` の指定がある場合は、その高さによって改段するかどうかが決まります。

Antenna House, Inc.

ここは 2 段組みになっています。

このブロックには、`break-before="column"` が指定してあります。通常はこのブロックの前で無条件で改段します。前の段におおきなスペースができてしまいます。

このブロックには、`break-before="column"` と `axf:break-distance="30%"` が指定してあります。残りのエリアの高さが `axf:break-distance` の値より大きいときは改段しません。

このブロックには、`break-before="column"` と `axf:break-distance="30%"` が指定してあります。残りのエリアの高さが `axf:break-distance` の値より大きいときは改段しません。

Antenna House, Inc.

このブロックには、`break-before="column"` と `axf:break-distance="30%"` が指定してあります。残りのエリアの高さが `axf:break-distance` の値より大きいときは改段しません。

Antenna House, Inc.

## 表の配置

fo:table-and-caption に text-align を指定して、表全体の配置を中央、右、左、小口よりなどに寄せられます。  
fo:table-and-caption に指定した text-align の値は、表のセルの中まで継承されます。これを打ち消すには、  
fo:table、fo:table-body、fo:table-row、fo:table-cell などに目的の値の text-align を指定します。

### fo:table-and-caption text-align="center"

単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト

### fo:table-and-caption text-align="right"

単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト

### fo:table-and-caption text-align="left"

単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト



**fo:table-and-caption text-align="inside"**

単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト

**fo:table-and-caption text-align="center", fo:table text-align="right"**

fo:table-and-caption に指定した text-align="center"（中央寄せ）の値を、fo:table 内で text-align="right"（右寄せ）を指定して打ち消した例です。

単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト
単独の表のセル内のテキスト	単独の表のセル内のテキスト

# 表のボーダーとパディング

表のボーダーとパディングの設定例です。色の付いた枠がボーダーでボーダーとテキストとの間隔がパディングです。自動レイアウトの場合は、パディングとボーダーの幅だけセル幅が広がります。

## 自動モード

border-width="0.2mm" padding="0mm"	border-width="0.2mm" padding="3mm"
border-width="1.5mm" padding="0mm"	border-width="1.5mm" padding="3mm"
border-width="5.0mm" padding="0mm"	border-width="5.0mm" padding="3mm"
border-width="2.0mm" padding="0mm"	
border-width="2.0mm" padding="1mm"	
border-width="2.0mm" padding="2mm"	
border-width="2.0mm" padding="5mm"	

## 固定モード inline-progression-dimension="40%" table-layout="fixed"

border-width="2.0mm" padding="0mm"
border-width="2.0mm" padding="1mm"
border-width="2.0mm" padding="2mm"
border-width="2.0mm" padding="5mm"

## 表のカラム幅

表のカラム幅の設定方法は、自動モードと固定モードがあります。 `table-layout="fixed"` で `inline-progression-dimension` の値が設定されているときに限り固定モードで行います。また、`inline-progression-dimension` の代わりに `width` を使えます。これ以外の場合は自動モードです。

### 自動モード

`<fo:table inline-progression-dimension="auto" table-layout="auto">`

項目 1	項目 2	金額	備考
		百万円	
あいいうえお	あいいうえお	680	いろはにほへと

### 固定モード

`<fo:table inline-progression-dimension="150mm" table-layout="fixed">`

項目 1	項目 2	金額	備考
		百万円	
あいいうえお	あいいうえお	680	いろはにほへと

`<fo:table inline-progression-dimension="auto" table-layout="fixed">`

項目 1	項目 2	金額	備考
		百万円	
あいいうえお	あいいうえお	680	いろはにほへと

`<fo:table width="150mm" table-layout="fixed">`

項目 1	項目 2	金額	備考
		百万円	
あいいうえお	あいいうえお	680	いろはにほへと

`<fo:table width="auto" table-layout="fixed">`

項目 1	項目 2	金額	備考
		百万円	
あいいうえお	あいいうえお	680	いろはにほへと

`<fo:table inline-progression-dimension="150mm" table-layout="fixed">`、カラムには左から順に 30mm、30mm、20mm、70mm という設定をしています。

項目 1	項目 2	金額	備考
		百万円	
あいいうえお	あいいうえお	680	いろはにほへと

## カラムスパンとロースパン

`number-columns-spanned` で表のセルを横方向に連結、`number-rows-spanned` で表のセルを縦方向に連結できます。また、2つの指定をあわせて指定できます。

表のカラムスパンの設定例です。

1-1	1-2	1-3	1-4
number-columns-spanned="2"		2-3	2-4
number-columns-spanned="3"			3-4
number-columns-spanned="4"			
5-1	number-columns-spanned="2"		5-4

表のロースパンの設定例です。

1-1	number-rows-spanned="2"	number-rows-spanned="5"	1-4
2-1			number-rows-spanned="3"
3-1	3-2		
4-1	4-2		
5-1	5-2		5-4

表のカラムスパンとロースパンをあわせた設定例です。

1-1	number-columns-spanned="2"		1-4
2-1	number-rows-spanned="2"		2-4
3-1	3-2	3-3	3-4
4-1	number-columns-spanned="3"		
5-1			

## 表のヘッダ、フッタの繰り返し

fo:table の table-omit-header-at-break、table-omit-footer-at-break により、表が複数ページに分割されたときに、ヘッダ、フッタを繰り返すかどうかを制御できます。

表のヘッダ、フッタを繰り返します。

表の見出し Title	
列 1 Header	列 2 Header
1. 単独の表のセル内のテキスト 2. 単独の表のセル内のテキスト 3. 単独の表のセル内のテキスト 4. 単独の表のセル内のテキスト	1. 単独の表のセル内のテキスト 2. 単独の表のセル内のテキスト 3. 単独の表のセル内のテキスト 4. 単独の表のセル内のテキスト
列 1 Footer	列 2 Footer

Antenna House, Inc.

列 1 Header	列 2 Header
5. 単独の表のセル内のテキスト 6. 単独の表のセル内のテキスト	5. 単独の表のセル内のテキスト 6. 単独の表のセル内のテキスト
7. 単独の表のセル内のテキスト 8. 単独の表のセル内のテキスト 9. 単独の表のセル内のテキスト 10. 単独の表のセル内のテキスト 11. 単独の表のセル内のテキスト 12. 単独の表のセル内のテキスト	7. 単独の表のセル内のテキスト 8. 単独の表のセル内のテキスト 9. 単独の表のセル内のテキスト 10. 単独の表のセル内のテキスト 11. 単独の表のセル内のテキスト 12. 単独の表のセル内のテキスト
列 1 Footer	列 2 Footer

表のヘッダ、フッタを繰り返しません。

表の見出し Title	
列 1 Header	列 2 Header
1. 単独の表のセル内のテキスト 2. 単独の表のセル内のテキスト 3. 単独の表のセル内のテキスト	1. 単独の表のセル内のテキスト 2. 単独の表のセル内のテキスト 3. 単独の表のセル内のテキスト

Antenna House, Inc.

4. 単独の表のセル内のテキスト 5. 単独の表のセル内のテキスト 6. 単独の表のセル内のテキスト	4. 単独の表のセル内のテキスト 5. 単独の表のセル内のテキスト 6. 単独の表のセル内のテキスト
7. 単独の表のセル内のテキスト 8. 単独の表のセル内のテキスト 9. 単独の表のセル内のテキスト 10. 単独の表のセル内のテキスト 11. 単独の表のセル内のテキスト 12. 単独の表のセル内のテキスト	7. 単独の表のセル内のテキスト 8. 単独の表のセル内のテキスト 9. 単独の表のセル内のテキスト 10. 単独の表のセル内のテキスト 11. 単独の表のセル内のテキスト 12. 単独の表のセル内のテキスト
列 1 Footer	列 2 Footer

Antenna House, Inc.

## 段組の表のヘッダ、フッタを省略

XSL 仕様には、表がページ分割したときに表のヘッダやフッタを省略する `table-omit-header-at-break`、`table-omit-footer-at-break` というプロパティがあります。しかし、このプロパティはページ分割したときの動作を指定するため、段組指定のページで表が段分割した場合に表のヘッダやフッタを省略できません。Antenna House Formatter では、`table-omit-header-at-break`、`table-omit-footer-at-break` に拡張指定 "[column](#)" によりページ分割したときは表のヘッダやフッタを省略せず、段分割したときはヘッダやフッタを省略できます。

### 指定を行わない例

table header 1	table header 2	table header 1	table header 2
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
table footer 1	table footer 2	table footer 1	table footer 2

### table-omit-header-at-break、table-omit-footer-at-break へ column を指定した例

table header 1	table header 2	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	table footer 1	table footer 2

### ページ分割する表の table-omit-header-at-break、table-omit-footer-at-break へ column を指定した例

table header 1	table header 2	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	table footer 1	table footer 2

Antenna House, Inc.

table header 1	table header 2	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
cell	cell	cell	cell
table footer 1	table footer 2		



## 表の行途中でのページ分割抑止

fo:table-row に対して keep-together.within-page="always" を指定すると、表の行の途中でページ分割しません。最初の例は keep-together.within-page="always" 指定がないため、表が行の途中でページ分割し、内容が別々のページに表示されます。次の例は keep-together.within-page="always" 指定があり、表が行の途中でページ分割しないため、オーバーした fo:table-row は次のページに表示されます。

### keep-together.within-page="always" 指定なし

表の見出し Title

列 1 Header	列 2 Header
1. 単独の表のセル内のテキスト	1. 単独の表のセル内のテキスト
2. 単独の表のセル内のテキスト	2. 単独の表のセル内のテキスト
3. 単独の表のセル内のテキスト	3. 単独の表のセル内のテキスト
4. 単独の表のセル内のテキスト	4. 単独の表のセル内のテキスト

Antenna House, Inc.

5. 単独の表のセル内のテキスト	5. 単独の表のセル内のテキスト
6. 単独の表のセル内のテキスト	6. 単独の表のセル内のテキスト
7. 単独の表のセル内のテキスト	7. 単独の表のセル内のテキスト
8. 単独の表のセル内のテキスト	8. 単独の表のセル内のテキスト
9. 単独の表のセル内のテキスト	9. 単独の表のセル内のテキスト
列 1 Footer	列 2 Footer

### keep-together.within-page="always" 指定あり

表の見出し Title

列 1 Header	列 2 Header
1. 単独の表のセル内のテキスト	1. 単独の表のセル内のテキスト
2. 単独の表のセル内のテキスト	2. 単独の表のセル内のテキスト
3. 単独の表のセル内のテキスト	3. 単独の表のセル内のテキスト
4. 単独の表のセル内のテキスト	4. 単独の表のセル内のテキスト
5. 単独の表のセル内のテキスト	5. 単独の表のセル内のテキスト
6. 単独の表のセル内のテキスト	6. 単独の表のセル内のテキスト

Antenna House, Inc.

7. 単独の表のセル内のテキスト 8. 単独の表のセル内のテキスト 9. 単独の表のセル内のテキスト	7. 単独の表のセル内のテキスト 8. 単独の表のセル内のテキスト 9. 単独の表のセル内のテキスト
列 1 Footer	列 2 Footer

Antenna House, Inc.

## テーブル行の widows/orphans

ページ（段）上部またはページ（段）下部に残らなければならない `table-row` 数を指定することができます。ページ上部の `table-row` 数は [axf:table-row-widows](#) で、ページ下部の `table-row` 数は [axf:table-row-orphans](#) で、いずれも `fo:table-body` に指定します。この機能は Antenna House Formatter V7.0 から利用いただけます。

サンプルデータは次のページ以降にあります。

Antenna House, Inc.

ページ（段）上部に残らなければならない `table-row` 数を指定：`axf:table-row-widows`

指定値：1

table header 1	table header 2
cell	cell
cell	cell
cell	cell
cell	cell
cell	cell

cell	cell
------	------

指定値：2

table header 1	table header 2
cell	cell
cell	cell
cell	cell
cell	cell

cell	cell
cell	cell

Antenna House, Inc.

ページ（段）下部に残らなければならない table-row 数を指定 : axf:table-row-orphans

指定値 : 1

sample  
sample  
sample  
sample  
sample

table header 1	table header 2
cell	cell

cell	cell
cell	cell
cell	cell
cell	cell

指定値 : 2

sample  
sample  
sample  
sample  
sample

table header 1	table header 2
cell	cell
cell	cell
cell	cell
cell	cell
cell	cell

## セル内の文字の位置

`display-align` で表のセル内の段落配置をセルの上辺に寄せたり、下辺に寄せたり、中央にしたりできます。Antenna House Formatter は、テキストが表のセルを満たすように行間のスペースを調整する「[justify](#)」という値を拡張しています。

<code>display-align="before"</code>	<code>display-align="after"</code>	<code>display-align="center"</code>	<code>display-align="justify"</code>
あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえお	あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえお	あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえお	あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえおあいうえお あいうえお

# セル内の指定文字による揃えと配置調整

fo:table-cell に対する <string> で、小数点などの指定された文字位置を揃えます。文字列全体はデフォルトで右寄せになります。 [axf:text-align-string](#) を追加すると左寄せや中央揃えも指定できます。

## text-align / axf:text-align-string 指定なし

ABC	100	0.0
AAA.BBB	100000000	0.0001
AAA.BBBCCCC	100000000.12345	9990.0001

## text-align="." axf:text-align-string 指定なし

ABC	100	0.0
AAA.BBB	100000000	0.0001
AAA.BBBCCCC	100000000.12345	9990.0001

## text-align="." axf:text-align-string="start"

ABC	100	0.0
AAA.BBB	100000000	0.0001
AAA.BBBCCCC	100000000.12345	9990.0001

## text-align="." axf:text-align-string="center"

ABC	100	0.0
AAA.BBB	100000000	0.0001
AAA.BBBCCCC	100000000.12345	9990.0001

## text-align="." axf:text-align-string="end"

ABC	100	0.0
AAA.BBB	100000000	0.0001
AAA.BBBCCCC	100000000.12345	9990.0001

## text-align="." axf:text-align-string="inside"

ABC	100	0.0
AAA.BBB	100000000	0.0001
AAA.BBBCCCC	100000000.12345	9990.0001

## 表のページ分割した箇所へ文字列を指定

fo:retrieve-table-marker と fo:marker の機能を使用して、表がページ分割された箇所へ指定した文字列を表示できます。このサンプルではページ分割した箇所の前後へ"continued"が表示されるよう設定しています。

Product type	Item	Item Details
Product type 1	Item A	Item A Details 0 Item A Details 1 Item A Details 2 Item A Details 3 Item A Details 4 Item A Details 5 Item A Details 6 Item A Details 7 Item A Details 8
continued.....		

Antenna House, Inc.

.....continued		
Product type	Item	Item Details
Product type 2	Item B	Item B Details 0 Item B Details 1 Item B Details 2 Item B Details 3 Item B Details 4 Item B Details 5 Item B Details 6 Item B Details 7

Antenna House, Inc.

## ページ分割されたセルの表示内容を指定

[axf:repeat-cell-content-at-break](#) で true（既定値、false）を指定してページ分割されたセルの内容をコピーできます。また、`axf:repeat-cell-content-at-break="true"` 指定のあるセルに [axf:table-cell-repeated-marker](#) を含めて、分割後のセルの内容に `axf:table-cell-repeated-marker` で指定した内容を表示できます。`axf:table-cell-repeated-marker` を指定した三つ目のサンプルでは、セルの内容へ (Continued) を加えた表示内容になるよう指定しています。

### axf:repeat-cell-content-at-break="false" または、指定なし

Product type	Item	Item Details
Product type 1	Item A	Item A Details 1
		Item A Details 2
		Item A Details 3
		Item A Details 4
		Item A Details 5

Antenna House, Inc.

Product type	Item	Item Details
		Item A Details 6
		Item A Details 7
	Item B	Item B Details 1
		Item B Details 2
		Item B Details 3
		Item B Details 4
		Item B Details 5
		Item B Details 6
		Item B Details 7
		Item B Details 8

### axf:repeat-cell-content-at-break="true"

Product type	Item	Item Details
Product type 1	Item A	Item A Details 1
		Item A Details 2
		Item A Details 3
		Item A Details 4
		Item A Details 5

Antenna House, Inc.



Product type	Item	Item Details
Product type 1	Item A	Item A Details 6 Item A Details 7
	Item B	Item B Details 1 Item B Details 2 Item B Details 3 Item B Details 4 Item B Details 5 Item B Details 6 Item B Details 7 Item B Details 8

**axf:repeat-cell-content-at-break="true", axf:table-cell-repeated-marker 指定あり**

Product type	Item	Item Details
Product type 1	Item A	Item A Details 1 Item A Details 2 Item A Details 3 Item A Details 4 Item A Details 5

Antenna House, Inc.

Product type	Item	Item Details
Product type 1 (Continued)	Item A (Continued)	Item A Details 6 Item A Details 7
	Item B	Item B Details 1 Item B Details 2 Item B Details 3 Item B Details 4 Item B Details 5 Item B Details 6 Item B Details 7 Item B Details 8

Antenna House, Inc.

## 表の回転

fo:block-container の reference-orientation で fo:block-container の内容を回転します。 fo:block-container の中に表を入れると表全体を回転できます。以下は 90°、270°回転させた例です。

### 表を 90°回転

<fo:block-container reference-orientation="90">

項目 1	項目 2	金額	備考
あいいうえお あいいうえお	あいいうえお	百万円 680	いろはにほへと
あいいうえお あいいうえお	あいいうえお	980	いろはにほへと
あいいうえお あいいうえお	あいいうえお	1280	いろはにほへと

### 表を 270°回転

<fo:block-container reference-orientation="270">

項目 1	項目 2	金額	備考
あいいうえお あいいうえお	あいいうえお	百万円 680	いろはにほへと
あいいうえお あいいうえお	あいいうえお	980	いろはにほへと
あいいうえお あいいうえお	あいいうえお	1280	いろはにほへと

## 表の本文セルと表の見出しセルの関連付け

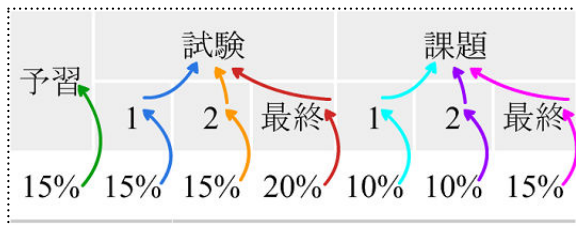
Antenna House Formatter は、表に関する情報を明示するのに使用可能なふたつの拡張プロパティ、`axf:headers` と `axf:scope` を用意しています。`axf:headers` は、表の本文セルがどの見出しに対応する内容であるかを指定します。逆に、`axf:scope` は、表の見出しセルがどの方向のセルに対して対応する見出しであるかを指定します。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:headers](#)」、「[axf:scope](#)」をご参照ください。

### 表のセルを見出しセルに関連付け

次の表は、`axf:headers` を使用して、表のセルを見出しセルに関連付けています。組版した表に変化はありませんが、PDF/UA を生成するとスクリーンリーダー（画面読み上げソフトウェア）は `axf:headers` の情報を使用できます。

予習	試験			課題		
	1	2	最終	1	2	最終
15%	15%	15%	20%	10%	10%	15%

次の図では、矢印を使用して、表中における `axf:headers` の関連付けを示しています。



- ・ 緑色の矢印は、最初の列の「15%」の見出しが「予習」であることを示しています。
- ・ 青い矢印は、第2列の「15%」の見出しが「1」であり、「1」の見出しが「試験」であることを示しています。

`axf:headers` には、現在の表セルに関連付けられているひとつ以上の見出しセルの ID が含まれます。見出しセルは、関連する見出しセルを参照する `axf:headers` を持つこともできます。表本文セルに関連付けられた見出しセルは、`axf:headers` で参照される見出しセルであり、その見出しセルの持つ `axf:headers` で更にその見出しセルが参照されます。

次の図で、ここに述べた例のマークアップの一部の例を示します。

```
<fo:table text-align="center">
<fo:table-header background-color="#EEE">
<fo:table-row border-bottom="thin solid white">
<fo:table-cell number-rows-spanned="2" id="y">
<fo:block>予習</fo:block>
</fo:table-cell>
<fo:table-cell number-columns-spanned="3" id="s">
<fo:block>試験</fo:block>
</fo:table-cell>
<fo:table-cell number-columns-spanned="3" id="k">
<fo:block>課題</fo:block>
</fo:table-cell>
</fo:table-row>
<fo:table-row>
<fo:table-cell id="s1" axf:headers="s">
<fo:block>1</fo:block>
</fo:table-cell>
...
</fo:table-row>
</fo:table-header>
<fo:table-body>
<fo:table-row border-bottom="thin solid #CCC">
<fo:table-cell axf:headers="y">
<fo:block>15%</fo:block>
</fo:table-cell>
<fo:table-cell axf:headers="s1">
<fo:block>15%</fo:block>
</fo:table-cell>
...
</fo:table-row>
</fo:table-body>
</fo:table>
```

- ・ 緑色の矢印は、第 1 列の「15%」を表す fo:table-cell にある axf:headers="y" が、「予習」を表す fo:table-cell の ID を参照することを示しています。
- ・ 青い矢印は、第 2 列の「15%」を表す fo:table-cell にある axf:headers="s1" が「1」を表す fo:table-cell の ID を参照し、fo:table-cell にある "headers="s" は、「試験」を表す fo:table-cell の ID を参照することを示しています。

見出しセルを表のセルに関連付け

次の表では axf:scope を使用して、表の見出しセルをそれを適用する表のセルに関連付けます。組版した表に変化はありませんが、PDF/UA を生成するとスクリーンリーダー（画面読み上げソフトウェア）は axf:scope の情報を使用できます。XSL-FO で定義されている表の見出しセルは、fo:table-header 内の fo:table-cell だけです。この表ではタグ付き PDF および PDF/UA 出力で表の見出しセルとして扱われるように、表の本体セルの一部で axf:pdftag="TH" を指定しています。

名前		佐藤	鈴木	高橋
点数	所期	10,000	9,000	10,000
	実績	11,123.45	11,012.34	10,987.64

次の図では、色の濃淡を使って表の見出しセルの範囲を示しています。

名前		佐藤	鈴木	高橋
点数	所期	10,000	9,000	10,000
	実績	11,123.45	11,012.34	10,987.64

- ・ 「名前」は、同じ行の他のセルの見出しです。これは緑色の背景で示しています。

- ・「所期」は、同じ行の右側にある他のセルの見出しです。これはオレンジの背景で示しています。
- ・「実績」は、同じ行の右側にある他のセルの見出しです。これはピンクの背景で示しています。
- ・「点数」は「所期」および「実績」の見出しであり、同様にその見出しに関連するセルの見出しでもあります。これは青い背景で示しています。

axf:scope は、現在の見出しセルが同じ行、同じ列、または同じ列と行の両方の他の表セルに適用されるかどうかを示します。次の図では、色の濃淡を使って axf:scope が表見出しセルの適用範囲を示す方法を示しています。

```
<fo table>
<fo table-header>
<fo table-row>
<fo table-cell axf:scope="row" number-columns-spanned="2"><fo block> 名前</fo block></fo table-cell>
<fo table-cell><fo block>佐藤</fo block></fo table-cell>
<fo table-cell><fo block>鈴木</fo block></fo table-cell>
<fo table-cell><fo block>高橋</fo block></fo table-cell>
</fo table-row>
</fo table-header>
<fo table-body>
<fo table-row>
<fo table-cell axf:pdf-tag="TH" number-rows-spanned="2" axf:scope="rowgroup"><fo block>点数</fo block></fo table-cell>
<fo table-cell axf:pdf-tag="TH" axf:scope="row"><fo block>所期</fo block></fo table-cell>
<fo table-cell><fo block>10,000</fo block></fo table-cell>
<fo table-cell><fo block>9,000</fo block></fo table-cell>
<fo table-cell><fo block>10,000</fo block></fo table-cell>
</fo table-row>
<fo table-row>
<fo table-cell axf:pdf-tag="TH" axf:scope="row"><fo block>実績</fo block></fo table-cell>
<fo table-cell><fo block>11,123.45</fo block></fo table-cell>
<fo table-cell><fo block>11,012.34</fo block></fo table-cell>
<fo table-cell><fo block>10,987.64</fo block></fo table-cell>
</fo table-row>
</fo table-body>
</fo table>
```

- ・ 緑、オレンジ、ピンクの背景部分は、axf:scope を使用して見出しを同じ行の次の列のセルに関連付ける方法を示しています。
- ・ 青い背景部分は、axf:scope="rowgroup" を使用して「点数」に続く列にある、スパンしたすべての行のセルに関連付ける方法を示しています。

可能であれば、axf:scope を必要とせずに構造が明らかになるように表を再配置することをお勧めします。次の表は、前の表と同じ情報を持っていますが、表の列に関連付けられる見出しセルはその列の先頭にあります。

名前	点数	
	所期	実績
佐藤	10,000	11,123.45
鈴木	9,000	11,012.34
高橋	10,000	10,987.64

# セルの高さを揃える

オプション設定ファイルの [justify-rowspan-height](#) を true に設定することによって rowspan されたセルがあり、そのセルの高さが高いとき、そのセルが占める各行の高さをなるべく均等にすることができます。この機能は Antenna House Formatter V6.6 から利用いただけます。

この機能はオプション設定ファイルで指定します。そのため文書内の全ての表に影響することがあります。rowspan されたテーブルのセルの内容によってそのセルの高さが高くなる場合があります。例えば下記のような表です。

Table Header1	Table Header2
1-1	Antenna House Formatter V6.6 is software to format XML/HTML documents and output them to paged media such as PDF, XPS and paper. It supports page layouts specified using both XSL-FO (Extensible Stylesheet Language - Formatting Objects) and CSS (Cascading Style Sheets) including CSS3 (Cascading Style Sheets Level 3), which is under development by W3C.
2-1	
3-1	
Table Footer1	Table Footer2

セルや行の高さが固定でない場合、左側のセル 1-1～3-1 の合計の高さは右側の rowspan されたセルの高さになります。Antenna House Formatter V6.5 以前または justify-rowspan-height="false" では 3-1 のセルだけ高くなります。Antenna House Formatter V6.6 以降ではオプション設定ファイルで justify-rowspan-height="true" と指定すると高さを揃えることができます。

**justify-rowspan-height="false"**

Table Header1	Table Header2
1-1	AH Formatter V6.6 is software to format XML/HTML documents and output them to paged media such as PDF, XPS and paper. It supports page layouts specified using both XSL-FO (Extensible Stylesheet Language - Formatting Objects) and CSS (Cascading Style Sheets) including CSS3 (Cascading Style Sheets Level 3), which is under development by W3C.
2-1	
3-1	
Table Footer1	Table Footer2

**justify-rowspan-height="true"**

Table Header1	Table Header2
1-1	AH Formatter V6.6 is software to format XML/HTML documents and output them to paged media such as PDF, XPS and paper. It supports page layouts specified using both XSL-FO (Extensible Stylesheet Language - Formatting Objects) and CSS (Cascading Style Sheets) including CSS3 (Cascading Style Sheets Level 3), which is under development by W3C.
2-1	
3-1	
Table Footer1	Table Footer2

## ボーダーの優先度

`border-collapse="collapse"` のテーブルではセル・行・列・テーブル要素などで指定された `border` プロパティが競合することがあります。こうした場合にどのボーダースタイルを優先するか [17.6.2.1 Border conflict resolution](#) で定義されています。

### `border-collapse="collapse"`

`border-style="hidden"` のボーダーは、他のすべてのボーダーよりも優先されます。

<code>border="5pt solid"</code>	<code>border="5pt hidden"</code>	<code>border="5pt solid"</code>	<code>border="5pt solid"</code>	<code>border="5pt solid"</code>
<code>border="5pt solid"</code>	<code>border="5pt solid"</code>	<code>border="5pt solid"</code>	<code>border="5pt hidden"</code>	<code>border="5pt solid"</code>

`border-style="none"` のボーダーはもっとも優先順位が低くなります。この境界線で一致するすべての要素の `border` プロパティが `none` の場合のみボーダーは省略されます。

<code>border="5pt solid"</code>	<code>border="5pt none"</code>	<code>border="5pt solid"</code>	<code>border="5pt solid"</code>	<code>border="5pt none"</code>
<code>border="5pt solid"</code>	<code>border="5pt none"</code>	<code>border="5pt solid"</code>	<code>border="5pt none"</code>	<code>border="5pt solid"</code>

競合するスタイルのいずれも `hidden` でなく、少なくともひとつが `none` でない場合、幅の狭いボーダーは幅の広いボーダーを優先して破棄されます。

<code>border="5pt solid"</code>	<code>border="10pt solid"</code>	<code>border="5pt solid"</code>	<code>border="5pt solid"</code>	<code>border="15pt solid"</code>
<code>border="5pt solid"</code>	<code>border="5pt solid"</code>	<code>border="1pt solid"</code>	<code>border="5pt solid"</code>	<code>border="1pt solid"</code>

複数の `border-width` が同じ場合は、`double`、`solid`、`dashed`、`dotted`、`ridge`、`outset`、`groove`、`inset` の順でスタイルが優先されます。(1)

<code>"double"</code>	<code>"solid"</code>	<code>"dashed"</code>	<code>"dotted"</code>	<code>"ridge"</code>	<code>"outset"</code>	<code>"groove"</code>	<code>"inset"</code>
<code>"inset"</code>	<code>"groove"</code>	<code>"outset"</code>	<code>"ridge"</code>	<code>"dotted"</code>	<code>"dashed"</code>	<code>"solid"</code>	<code>"double"</code>

競合するボーダーの幅やスタイルが同じで色だけが異なる場合、セルのスタイルセットがもっとも強く、行・列・列グループ、最後にテーブルの順となります。隣り合わせのセルのように同じ要素が競合する場合 (`writing-mode` が `ltr` であれば)、より左や上にあるセルが優先されます。

下記のテーブルでは `fo:table` に `border="5pt solid yellow"`、`column-number="1"` の `fo:table-column` に `border="3pt solid black"` を指定、各 `fo:table-cell` に異なるボーダースタイルを指定しています。

<code>"1pt solid red"</code>	<code>"1pt solid red"</code>	<code>"1pt solid red"</code>
<code>"1pt solid red"</code>	<code>"5pt dashed blue"</code>	<code>"5pt solid green"</code>
<code>"1pt solid red"</code>	<code>"1pt solid red"</code>	<code>"1pt solid red"</code>
<code>"1pt solid red"</code>	<code>"1pt solid red"</code>	<code>"1pt solid red"</code>

(1) Antenna House Formatter ではこの他に `dot-dash`、`dot-dot-dash`、`wave` が指定できるよう拡張されています。優先度についてはオンラインマニュアル「[値の拡張](#)」をご参照ください。

テーブルに border-collapse="collapse-with-precedence" が指定された場合は、競合するボーダースタイルを解決するために border-\*-precedence プロパティを使用します。border-before-precedence/border-after-precedence/border-start-precedence/border-end-precedence の 4 つのプロパティには、force、<integer>、inherit のいずれかが指定できます。force がもっとも強く、初期値はテーブルの要素別に、fo:table: 6, fo:table-cell: 5, fo:table-column: 4, fo:table-row: 3, fo:table-body: 2, fo:table-header: 1, fo:table-footer: 0 となります。

**border-collapse="collapse-with-precedence"**

border-collapse="collapse"

"1pt solid red"	"1pt solid red"	"1pt solid red"
"1pt solid red"	"5pt dashed blue"	"5pt solid green"
"1pt solid red"	"1pt solid red"	"1pt solid red"

border-collapse="collapse-with-precedence"

"1pt solid red"	"1pt solid red"	"1pt solid red"
"1pt solid red"	"5pt dashed blue"	"5pt solid green"
"1pt solid red"	"1pt solid red"	"1pt solid red"

<fo:table-column column-number="1" border="3pt solid black" border-before-precedence="10" border-after-precedence="10" border-start-precedence="10" border-end-precedence="10"/>

"1pt solid red"	"1pt solid red"	"1pt solid red"
"1pt solid red"	"5pt dashed blue"	"5pt solid green"
"1pt solid red"	"1pt solid red"	"1pt solid red"



## 表の背景

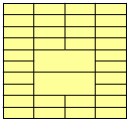
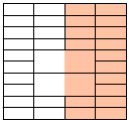
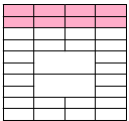
表組の要素の `background-color`（および関連するプロパティ）は、表が複数のレイヤ（階層）で構成されているかのように適用されます。「レイヤ」は背面から前面に向かって、`<fo:table>`、1 より大きい値の `number-columns-spanned` を持つ `<fo:table-column>`、`<fo:table-column>`、`<fo:table-header>` / `<fo:table-body>` / `<fo:table-footer>`（これらは重なり合いません）、`<fo:table-row>`、`<fo:table-cell>` の順で重なっていきます。各レイヤは、その上に重なるレイヤの背景が透明な場合にのみ表示されます。

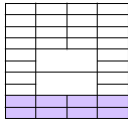
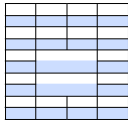
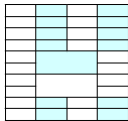
次の表のほとんどの要素で `background-color` が指定されています。各要素に異なる値を指定、一部の要素は下にあるレイヤの色が表示されるよう `background-color` を省略しています。`<fo:table-body>` の背景の色は未指定のため、下にある `<fo:table>` と `<fo:table-column>` の背景色が確認できます。

この例の背景レイヤは、PDF のレイヤ機能を使用しています。レイヤをサポートする PDF ビューアで表示している場合は、レイヤを有効または無効にして各レイヤの効果を確認できます。

header R1C1	header R1C2	header R1C3	header R1C4
header R2C1	header R2C2	header R2C3	header R2C4
body R1C1	body R1C2	body R1C3	body R1C4
body R2C1	body R2C2	body R2C3	body R2C4
body R3C1	body R3C2-R4C3		body R3C4
body R4C1			body R4C4
body R5C1	body R5C2-R6C3		body R5C4
body R6C1			body R6C4
footer R1C1	footer R1C2	footer R1C3	footer R1C4
footer R2C1	footer R2C2	footer R2C3	footer R2C4

次の表に、背景色の値とそれらが適用される領域を示します。

FO	Style	Applied to
fo:table	#FFFF99	Table 
fo:table-column	#FFC2A3	Columns 3 and 4 
fo:table-header	#FFADC9	Table header 

FO	Style	Applied to
fo:table-footer	#D6C2FF	Table footer 
fo:table-row	#CCDDFF	Even-numbered rows 
fo:table-cell	#D4FFFF	Some table cells 

## 表の行と列からプロパティを継承

`<fo:table-row>` から `<fo:table-cell>` へのプロパティ値の継承はシンプルですが、`<fo:table-column>` から `<fo:table-cell>` へのプロパティ値の継承は少しだけ複雑です。`<fo:table-row>` にはひとつ以上の `<fo:table-cell>` が含まれ、親の FO から子の FO へプロパティが継承される通常の XSL-FO のルールが適用されます。`<fo:table-column>` は空の要素であり、明らかに `<fo:table-cell>` の親 FO ではありません。ただし、FO のプロパティの値として `from-table-column()` を指定することで、`<fo:table-column>` の継承プロパティを、その列の `<fo:table-cell>` (またはその子孫) で使用できます。`from-table-column()` を指定すると、`<fo:table-column>` のプロパティが継承される値として返されます。また、プロパティ名 (例えば、`color="from-table-column(background-color)"`) を指定すると、指定されたプロパティが継承される値として返されます。

例えば、表の各列で異なるフォントの太さまたは色が必要な場合、各 `<fo:table-cell>` に目的の値を指定するために `<fo:table-cell>` の列番号を個別に追跡するよりも、`<fo:table-column>` にそれらの値を指定する方が簡単な場合があります。

次の表で Row 1 は `<fo:table-cell>` に `<fo:table-row>` のプロパティの値が継承されています。Row 2 以降は `<fo:table-cell>` に `from-table-column()` を用いて各列の `<fo:table-column>` の文字の太さ、大きさ、色などのプロパティを継承させています。

Row 1, column 1	Row 1, column 2	Row 1, column 3	Row 1, column 4
Row 2, column 1	Row 2, column 2	Row 2, column 3	Row 2, column 4
Row 3, column 1	Row 3, column 2	Row 3, column 3	Row 3, column 4
Row 4, column 1	Row 4, column 2	Row 4, column 3	Row 4, column 4
Row 5, column 1	Row 5, column 2	Row 5, column 3	Row 5, column 4

`<fo:table-row>` または `<fo:table-column>` (または `<fo:table>`、`<fo:table-header>`、`<fo:table-body>`、`<fo:table-footer>`) に指定された `background-color` およびいくつかの関連プロパティは `<fo:table-cell>` によって生成される領域よりも背後の領域に適用されます。

`<fo:table-column>` に適用されているプロパティで `from-table-column()` によって継承させる値は、`<fo:table-cell>` やその子孫で同じプロパティまたは異なるプロパティの値として設定できます。Row 4 では他の Row とは異なり、背景と文字の色が入れ替えられています。これは `color="from-table-column(background-color)"` の指定で `<fo:table-column>` の `background-color` の値を `<fo:table-cell>` の `color` へ継承させ、`background-color="from-table-column(color)"` の指定で `<fo:table-column>` の `color` の値を `<fo:table-cell>` の `background-color` へ継承させているためです。

## 表の機能を組み合わせた例

表に関するさまざまな機能を組み合わせて作成した貸借対照表の例です。

### 貸借対照表の要旨 (----年 3 月 31 日現在)

(単位：億円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	7,775	(負債の部)	2,277
<b>流動資産</b>	<b>3,000</b>	<b>流動負債</b>	<b>1,435</b>
現金及び預金	585	支払手形	757
受取手形及び売掛金	906	未払費用	315
有価証券	850	その他の流動負債	362
たな卸資産	225	<b>固定負債</b>	<b>841</b>
その他の流動資産	434	社債	514
<b>固定資産</b>	<b>4,775</b>	退職給付引当金	325
<b>有形固定資産</b>	<b>1,349</b>	その他の固定負債	2
建物	373		
機械及び装置	377		
土地	409		
その他有形固定資産	188		
<b>投資等</b>	<b>3,425</b>		
投資有価証券	1,854		
子会社株式・出資金	994		
その他	576		
<b>資産合計</b>	<b>7,775</b>	<b>負債及び資本合計</b>	<b>7,775</b>

### 損益計算書の要旨 (自 ----年 4 月 1 日 至 ----年 3 月 31 日)

(単位：億円)

科 目	金 額
<b>営業収益</b>	<b>7,408</b>
営業費用	6,916
<b>営業利益</b>	<b>491</b>
営業外収益	152
営業外費用	102
<b>経常利益</b>	<b>541</b>
<b>税引前当期利益</b>	<b>541</b>
法人税、住民税及び事業税	209
法人税等調整額	3
<b>当期利益</b>	<b>329</b>
その他	371
<b>当期末処分利益</b>	<b>700</b>

Antenna House, Inc.

## keep-together.within-\*= "always" による fo:table-row のオーバーフローを回避

表の fo:table-row などページで分割させず、ページに収まらなければ fo:table-row を改ページさせる指定として keep-together.within-page="always" があります。しかし、改ページされた fo:table-row が移動先のページに収まらない長さの場合、ページの下部からオーバーフローする現象が発生します。これは always がページで分割させるのを許さない値であるためです。このサンプルは keep-together によるオーバーフローを回避する方法を紹介します。なお、1 ページ内で keep-together 指定の表示のされ方を確認いただくため keep-together.within-page を、段組と keep-together.within-column へ置き換えて説明します。各段を 1 ページとしてご覧ください。

まず、2 ページ目の表は keep-together の指定がない例です。No.2 を含む fo:table-row が段で分割しますが、そのまま出力されます。次に 3 ページ目は各 fo:table-row へ keep-together で always を指定した表です。No.2 を含む fo:table-row が段で分割せず改段しますが、fo:table-row が移動先の 2 段目に収まらないためページの下部からオーバーフローします。

Antenna House, Inc.

- 1 -

### keep-together 指定なし

No.	Details	No.	Details	No.	Details
No.1	Item a Details sample Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Duis voluptat, quam quis aliquet tristique.		ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis voluptat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu.		Integer eu lobortis neque. Donec malesuada sed arcu vitae fringilla.
No.2	Item b Details sample Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie		Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus.	No.3	Item b Details sample Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.

Antenna House, Inc.

- 2 -

keep-together、always を指定

keep-together.within-column="always" を fo:table-row へ指定しています。

No.	Details
No.1	Item a Details sample Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique.

No.	Details
No.2	Item b Details sample Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu.  Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris3eommodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus.

No.	Details
No.3	Item b Details sample Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.

Antenna House, Inc.

keep-together、integer（数値指定）について -1-（オーバフロー回避）

keep-together の always 指定では、3 ページ目のように改段後の fo:table-row がオーバフローする場合があります。これを、XSL-FO の仕様 [7.20.3 "keep-together"](#) の integer（数値指定）に基づいた Antenna House Formatter の実装によりオーバフローしないようにできます。5 ページでは次のコードのように fo:table-row へ keep-together.within-column="1" を指定しオーバフローを回避しています。

```
<fo:table-body>
  <fo:table-row keep-together.within-column="1"><fo:table-cell>...</fo:table-cell></fo:table-row>
  <fo:table-row keep-together.within-column="1"><fo:table-cell>...</fo:table-cell></fo:table-row>
  ...
</fo:table-body>
```

keep-together へ指定する数値は強度を表し大きいほど強くなり、指定の判定は ページ、段、行のエリア中で行われます。なお、auto や指定なしでは keep-together の指定がないものとして扱われ、always は最強です。Antenna House Formatter による keep-together 数値指定の実装では、指定のある fo が生成するコンテンツが判定のエリア、例えばページに収まらない場合、keep-together 指定を効かせコンテンツを改ページします。そして、次の判定のエリアであるページにコンテンツが収まらない場合は、keep-together の指定に関わらずコンテンツをページで分割させます。よって、5 ページのサンプルでは keep-together.within-column="1" が指定されている No.2 を含む fo:table-row は 1 段目に収まらないため keep-together の指定により改段します。2 段目に送られた fo:table-row はページに収まりませんがページで分割されるためオーバフローしません。

Antenna House, Inc.

keep-together、数値を指定

keep-together.within-column="1"  
を fo:table-row へ指定しています。

No.	Details
No.1	Item a Details sample Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisc- ing elit. Aliquam biben- dum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Duis volut- pat, quam quis aliquet tris- tique.

No.	Details
No.2	Item b Details sample Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisc- ing elit. Aliquam biben- dum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tin- cidunt velit. Duis volut- pat, quam quis aliquet tris- tique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu.  Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit

No.	Details
	amet ipsum non elit tinci- dunt sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at sceler- isque urna est eget lacus. Integer eu lobortis neque. Donec malesuada sed arcu vitae fringilla.
No.3	Item b Details sample Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisc- ing elit.

Antenna House, Inc.

keep-together、integer（数値指定）について -2-

補足として keep-together の数値指定が次のコードのように複数指定されている場合を説明いたします。

```
<fo:table-body keep-together.within-column="2">  
  <fo:table-row keep-together.within-column="1"><fo:table-cell>...</fo:table-cell></fo:table-row>  
  <fo:table-row keep-together.within-column="2"><fo:table-cell>...</fo:table-cell></fo:table-row>  
  <fo:table-row keep-together.within-column="3"><fo:table-cell>...</fo:table-cell></fo:table-row>  
</fo:table-body>
```

fo に keep-together、数値 "N" が指定されており、さらにその子供の fo に keep-together、数値 "M" が指定されているケースにおいて、ふたつ目（以後）の子供が、その前の子供と同じ判定エリアであるページに入りきらないケースを想定します。このとき、数値指定による結果は次のようになります。

- ・ N ≥ M : 数値 N が有効、ふたつ目の子供の fo は前の fo と同じページから始まりページで分割します。
- ・ N < M : 数値 N が無効、ふたつ目の子供の fo の前で改ページします。

7 ページ目のサンプルは fo:table-body に keep-together.within-column="2" を指定、No.1、2、3 を含む fo:table-row へ順に keep-together.within-column="1"、"2"、"3" を指定しています。1 段目では、ふたつ目の No.2 を含む fo:table-row が 1 段目に収まりませんが、fo:table-body 数値"2"、fo:table-row 数値"1"、"2" で、fo:table-body ≥ fo:table-row となります。fo:table-body の keep-together が有効、No.1、2 の fo:table-row は同じ段から始まり、No.2 の fo:table-row は段で分割します。3 段目、No.3 を含む fo:table-row は fo:table-body 数値"2"、fo:table-row 数値"3" となり、fo:table-body<fo:table-row です。fo:table-body の keep-together は無効、No.3 の fo:table-row の前で改段されます。改段後のエリアに収まらないコンテンツは段で分割され、オーバーフローしません。

Antenna House, Inc.

**keep-together、数値を指定**

keep-together.within-column=" 数値" を fo:table-body、fo:table-row へ指定しています。

No.	Details
No.1	Item a Details sample Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisc- ing elit. Aliquam biben- dum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Duis volut- pat, quam quis aliquet tris- tique.
No.2	Item b Details sample Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisc-

No.	Details
	<p>ing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu.</p> <p>Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a</p>

No.	Details
	<p>imperdiet interdum, nulla</p> <p>velit viverra elit, at sceler-</p> <p>isque urna est eget lacus.</p> <p>Integer eu lobortis neque.</p> <p>Donec malesuada sed arcu-</p> <p>vitae fringilla.</p>

Antenna House, Inc.

- 7 -

[illegible][illegible]

Antenna House, Inc.

- 8 -

### keep-together、integer（数値指定）を fo:list-item へ適用した例

`keep-together` へ数値を指定してオーバフローを回避させる方法は、`fo:table-row` 以外に例えば `fo:list-item` の場合でも有効です。 `fo:list-item` では、次のようなコード指定となります。

```
<fo:list-block>
  <fo:list-item keep-together.within-page="1">
    <fo:list-item-label>...</fo:list-item-label>
    <fo:list-item-body>...</fo:list-item-body>
  </fo:list-item>
  <fo:list-item keep-together.within-page="1">
    <fo:list-item-label>...</fo:list-item-label>
    <fo:list-item-body>...</fo:list-item-body>
  </fo:list-item>
</fo:list-block>
```

10 ページ目は `keep-together` 指定なし、11 ページ目は `keep-together` と `always` 指定、そして、12 ページ目は `keep-together` へ数値指定した場合のサンプルです。

Antenna House, Inc.

- 9 -

**keep-together 指定なし**

label-1	list-item-sample-1
	list-item-sample-1
	list-item-sample-1
	list-item-sample-1
	list-item-sample-1
	list-item-sample-1
	list-item-sample-1
	list-item-sample-1
	list-item-sample-1
	list-item-sample-1
label-2	list-item-sample-2
	list-item-sample-2
	list-item-sample-2
	list-item-sample-2
	list-item-sample-2
	list-item-sample-2

[illegible]

	list-item-sample-2
label-3	list-item-sample-3
	list-item-sample-3
	list-item-sample-3
	list-item-sample-3
	list-item-sample-3

Antenna House, Inc.

- 10 -



keep-together.within-column="always" を fo:list-item へ指定しています。

label-3	list-item-sample-3
	list-item-sample-3
	list-item-sample-3
	list-item-sample-3
	list-item-sample-3

Antenna House, Inc.

keep-together.within-column="1"  
を fo:list-item へ指定しています。

	list-item-sample-2
	list-item-sample-2
	list-item-sample-2
	list-item-sample-2
	list-item-sample-2
	list-item-sample-2
	list-item-sample-2
label-3	list-item-sample-3
	list-item-sample-3
	list-item-sample-3
	list-item-sample-3
	list-item-sample-3

Antenna House, Inc.

## サイドフロート

`float="start"`、`float="end"` でサイドフロートを指定した例です。前半のふたつの例は本文がフロートを回りこみます。後半のふたつの例は、本文の左右インデント内に `fo:float` を配置しているために、テキストがフロートを回りこみません。

サイドフロート <fo:float float="start">

フロート領域

この段落の先頭に `fo:float` としてフロートを挿入しています。

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.

サイドフロート <fo:float float="end">

この段落の後尾に `fo:float` としてフロートを挿入しています。フロート領域

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.

左インデント内に配置したサイドフロート <fo:float float="start">

次行のブロックの左インデント内へ `fo:float` としてフロートを挿入しています。

フロート領域

この段落の先頭にフロートを挿入しています。

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.

右インデント内に配置したサイドフロート <fo:float float="end">

次行のブロックの右インデント内へ `fo:float` としてフロートを挿入しています。

この段落の後尾にフロートを挿入しています。

フロート領域

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.

```
<fo:float axf:float-reference="page" axf:float-x="none" axf:float-y="top"> (ページの上側に配置例)
```

## ページフロート

フロートをページ上の任意の場所においたり、段組の段を跨ぐ配置などできます。  
[axf:float-reference](#) でフロートを配置する参照エリアを、`auto`、`normal` (現在の参照エリア)、`page` (ページエリア (region-body))、`multicol` (段組エリア)、`column` (段エリア) により指定します。`axf:float-x` で水平方向のフロート配置、`axf:float-y` で垂直方向のフロート配置を指定します。このサンプルは、`axf:float-reference="page"` 指定によるページフロートの設定例です。

```
<fo:float axf:float-reference="page"
axf:float-x="right"
axf:float-y="top">
(ページの右上に配置例)
```

フロート関連拡張プロパティをまとめて指定するショートハンドプロパティ `axf:float` でも設定できます。次は同じ設定を個別の拡張プロパティとショートハンドプロパティで示した例です。

個別の拡張プロパティ設定 (ページ上側に配置)

```
<fo:float axf:float-reference="page" axf:float-x="none" axf:float-y="top">
```

ショートハンドプロパティ設定 (ページ上側に配置)

```
<fo:float axf:float="page top">
```

```
<fo:float axf:float-reference="page"
axf:float-x="inside"
axf:float-y="center">
(ページのノド側、中央に配置例)
```

```
<fo:float axf:float-reference="page"
axf:float-x="outside"
axf:float-y="center">
(ページの小口側、中央に配置例)
```

```
<fo:float axf:float-reference="page"
axf:float-x="left"
axf:float-y="bottom">
(ページの左下に配置例)
```

```
<fo:float axf:float-reference="page" axf:float-x="none" axf:float-y="bottom"> (ページの下側に配置例)
```

Antenna House, Inc.

## 段抜きフロート

フロートをページ上の任意の場所においたり、段組の段を跨ぐ配置などができます。[axf:float-reference](#) でフロートを配置する参照エリアを、`auto`、`normal`（現在の参照エリア）、`page`（ページエリア（`region-body`））、`multicol`（段組エリア）、`column`（段エリア）により指定します。`axf:float-x` で水平方向のフロート配置、`axf:float-y` で垂直方向のフロート配置を指定します。このサンプルは、`axf:float-reference="multicol"` 指定による段抜きフロートの設定例です。

### <fo:float axf:float-reference="muticol"> によるフロート配置例

段抜きは単位 'gr'(grid) で指定します。単位 gr は特別な長さの単位であり、段組の段幅(column-width)と段間(column-gap)の両方をそれぞれ'1gr'として数えます。2 段抜きであれば、段幅×2 と段間×1 で'3gr'となります。

左上に 2 段抜きでフロートを配置 <fo:float axf:float-reference="multicol" axf:float-x="left" axf:float-y="top">		
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at ele-	mentum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at sce-	lerisque urna est eget lacus. Integer eu lobortis neque. Donec malesuada sed arcu vitae fringilla. Quisque imperdiet tortor iaculis, pulvinar neque sit amet, aliquet massa. Sed sed auctor purus. Vivamus nec turpis elementum, iaculis lorem in, pellentesque metus. Ut blandit tortor mi, ac bibendum felis varius vitae. Ut tincidunt lorem erat,
右下に 3 段抜きでフロートを配置 <fo:float axf:float-reference="multicol" axf:float-x="right" axf:float-y="bottom">		
at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur.		

フロート関連拡張プロパティをまとめて指定するショートハンドプロパティ `axf:float` でも設定できます。次は同じ設定を個別の拡張プロパティとショートハンドプロパティで示した例です。

個別の拡張プロパティ設定（段組の左上に配置）

<fo:float axf:float-reference="multicol" axf:float-x="left" axf:float-y="top">

ショートハンドプロパティ設定（段組の左上に配置）

<fo:float axf:float="multicol left top">

## カラムフลอยト

フลอยトをページ上の任意の場所においたり、段組の段を跨ぐ配置などができます。 [axf:float-reference](#) でフลอยトを配置する参照エリアを、`auto`、`normal`（現在の参照エリア）、`page`（ページエリア（`region-body`））、`multicol`（段組エリア）、`column`（段エリア）により指定します。`axf:float-x` で水平方向のフลอยト配置、`axf:float-y` で垂直方向のフลอยト配置を指定します。このサンプルは、`axf:float-reference="column"` 指定によるカラムフลอยトの設定例です。

<fo:float axf:float-reference="column"> によるフลอยト配置例

<p>段の上に配置 &lt;fo:float axf:float-reference="column" axf:float-x="none" axf:float-y="top"&gt;</p> <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor.</p> <p>Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus. Integer eu lobortis neque. Donec malesuada sed arcu vitae fringil-</p> <p>段の下に配置 &lt;fo:float axf:float-reference="column" axf:float-x="none" axf:float-y="bottom"&gt;</p>	<p>la. Quisque imperdiet tortor iaculis, pulvinar neque sit amet, aliquet massa. Sed sed auctor purus.</p> <p>Vivamus nec turpis elementum, iaculis lorem in, pellentesque metus. Ut blandit tortor mi, ac bibendum felis varius vitae. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing.</p> <p>Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit.</p> <p>段の右上に配置 &lt;fo:float axf:float-reference="column" axf:float-x="right" axf:float-y="top"&gt;</p> <p>段の左下に配置 &lt;fo:float axf:float-reference="column" axf:float-x="left" axf:float-y="bottom"&gt;</p>
--	---

フลอยト関連拡張プロパティをまとめて指定するショートハンドプロパティ `axf:float` でも設定できます。次は同じ設定を個別の拡張プロパティとショートハンドプロパティで示した例です。

個別の拡張プロパティ設定（段の上に配置）

```
<fo:float axf:float-reference="column" axf:float-x="none" axf:float-y="top">
```

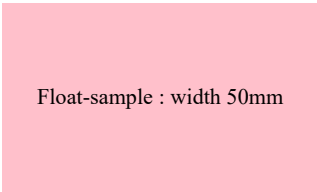
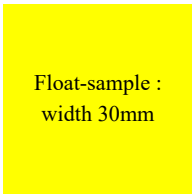
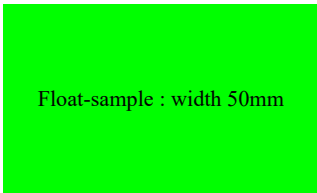
ショートハンドプロパティ設定（段の上に配置）

```
<fo:float axf:float="column top">
```

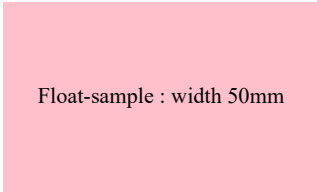
## 段組内フロートの自動配置

`axf:float-x="alternate"` で段組内に配置するフロートの水平（縦書きでは垂直）方向を自動調整できます。  
`axf:float-x="alternate"` 指定があると最初の段のときは `end` 側、最後の段のときは `start` 側、それ以外では `center` へ配置します。段組でないときは `center` へ配置します。`axf:float-x="alternate"` の指定は Antenna House Formatter V6.3 から利用いただけます。

### <axf:float-x="alternate"> 指定

<p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco. Duis aute irure dolor in</p> 	<p>occaecat cupidatat non proident, sunt in culpa qui officia</p> 	<p>aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur. Excepteur sint occaecat cupida-</p> 
<p>reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur. Excepteur sint</p>	<p>deserunt mollit anim id est laborum.</p> <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation. Duis</p>	<p>tat non proident, sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id est laborum. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi reprehenderit.</p>

### <axf:float-x="alternate"> 指定（段組ではないケース）

<p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco. Duis aute irure dolor in</p> 
<p>reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur. Excepteur sint occaecat cupidatat non proident,</p>

## 段組内フロートの自動配置（カラムの外側に配置）

`axf:float-x="column-outside"` の指定により、フロートを段組の最後の段のときは `end`、それ以外の段のときは `start` へ配置できます。段組でないときは `start` とみなします。`axf:float-x="column-outside"` の指定は Antenna House Formatter V7.1 から利用いただけます。

### `axf:float-x="column-outside"` 指定で 2 段組みのケース

<p>Float-1</p> <p>&gt;Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur. Excepteur sint occaecat cupidatat non proident, sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id est laborum.</p>	<p>Float-2</p> <p>&gt;Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur. Excepteur sint occaecat cupidatat non proident, sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id est laborum.</p>	<p>Float-3</p> <p>...</p>
--	--	---------------------------

### `axf:float-x="column-outside"` 指定で 3 段組みのケース

<p>Float-1</p> <p>...</p>	<p>Float-2</p> <p>...</p>	<p>Float-3</p> <p>...</p>
---------------------------	---------------------------	---------------------------

### `axf:float-x="column-outside"` 指定で段組みではないケース

<p>Float-1</p> <p>...</p>	<p>Float-2</p> <p>...</p>	<p>Float-3</p> <p>...</p>
---------------------------	---------------------------	---------------------------

# アンカー位置にフロートを配置

`axf:float-y="anchor"` の指定により、垂直（縦書きでは水平）方向のフロートをアンカー位置に配置できます。`axf:float-y="anchor"` の指定は Antenna House Formatter V7.2 から利用いただけます。

`axf:float-y="anchor"` の指定により、`axf:float-reference="page"`、`"multicol"` で複数段にまたがるフロートを任意のアンカー位置に配置でき、かつ指定の段以外でもフロートへのテキストの回り込みが行われます。

<p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt. <b>anchor point</b></p> <p><b>Float-1</b></p> <p>Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur. Excepteur sint occaecat cupidatat non proident, sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id est laborum. Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur</p>	<p>adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Excepteur sint occaecat cupidatat non proident, sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id est laborum.</p> <p> <p>Float-2</p> <p>Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.</p> </p>
---	---

Antenna House Formatter V7.1 以前では[制限事項](#)にある条件下において以下のサンプルのようにテキストとフロートとが重なる場合もありましたが、`axf:float-y="anchor"` 指定によりこのようなケースにも柔軟に対応できます。

<p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt. <b>anchor point</b></p> <p><b>Float-1</b></p> <p>Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur. Excepteur sint occaecat cupidatat non proident, sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id est laborum. Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur</p>	<p>adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Excepteur sint occaecat cupidatat non proident, sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id est laborum.</p> <p> <p>Float-2</p> <p>Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.</p> </p>
---	---



## 表の泣き別れを float で回避

表がページの途中から始まるなどページ内に収まらない場合、表は改ページ部分で分割され泣き別れします。このような場合に `fo:float` を利用して回避する方法があります。最初に `fo:float` で表全体を囲みます。更に `fo:float` で囲んだ表を次のページ(または段)に移動するかどうか指定する `axf:float-move` と値 `auto-next` または `auto-move` によりページで表を分割せず、次のページへ表を移動させます。2 ページ目は `axf:float-move` 指定と各値の特徴、3 ページ以降が実例サンプルとなります。

Antenna House, Inc.

### fo:float axf:float-move="auto-next" 指定

ページに表を配置する十分な余白がない場合、表を次のページに移動します。ページの余白の大きさに関係なく表が次のページへ移動するため、ページに大きな余白が生じる場合があります。

### fo:float axf:float-move="auto-move" 指定

ページに表を配置する十分な余白がない場合、表を次のページに移動します。表の移動によりページに大きな余白が生じる場合は表を次のページへ移動させずに出力しますが、`fo:float` で囲んだ表の周りのテキストが次のページに移動します。

### fo:float と axf:float-move の指定例

`fo:float` と `axf:float-move` は次のように指定します。空の `fo:float float="start"` は `fo:float` で囲んだ表の後に配置されるブロックなどが、表が次のページに移動した場合に表の前に配置されないようにするためです。

```
<fo:float float="start" axf:float-move="auto-next">
  <fo:table-and-caption>
    :
  </fo:table-and-caption>
</fo:float>
<fo:float float="start"/>
```

Antenna House, Inc.

通常の表配置

ページに収まらない表はページで分割、泣き別れて出力されます。

以下に自動サイズの表が続きます。

項目 1	項目 2	項目 3	項目 4	項目 5	金額	備考 1	備考 2
		あいうえお	あいうえお	あいうえお	百万円		
サンプル No.1	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.2	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.3	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.4	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.5	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか

Antenna House, Inc.

サンプル No.6	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.7	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか

Antenna House, Inc.

fo:float と axf:float-move="auto-next" で表を囲んだ例 -1-

ページに表を配置する十分な余白がないため、表は次のページへ移動します。次のページ移動した表はページ先頭から出力されます。

以下に自動サイズの表が続きます。

Antenna House, Inc.

項目 1	項目 2	項目 3	項目 4	項目 5	金額	備考 1	備考 2
		あいうえお	あいうえお	あいうえお	百万円		
サンプル No.1	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.2	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.3	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.4	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.5	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.6	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.7	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか

Antenna House, Inc.

**fo:float と axf:float-move="auto-next" で表を囲んだ例 -2-**

ページに表を配置する十分な余白がないため、表は次のページへ移動します。次のページ移動した表はページ先頭から出力されます。ページ先頭から出力しても表が1 ページに収まらない場合、表はページで分割し出力されます。

以下に自動サイズの表が続きます。

Antenna House, Inc.

項目 1	項目 2	項目 3	項目 4	項目 5	金額	備考 1	備考 2
		あいうえお	あいうえお	あいうえお	百万円		
サンプル No.1	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.2	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.3	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.4	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.5	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.6	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.7	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか

Antenna House, Inc.

サンプル No.8	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.9	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.10	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.11	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか

Antenna House, Inc.

fo:float と axf:float-move="auto-move" で表を囲んだ例 -1-

ページに表を配置する十分な余白がないため、表は次のページへ移動します。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.  
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.  
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.  
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.  
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.  
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.  
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.  
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.  
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.  
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.

以下に表が続きます。

Antenna House, Inc.

項目 1	項目 2	項目 3	項目 4	項目 5	金額	備考 1	備考 2
		あいうえお	あいうえお	あいうえお	百万円		
サンプル No.1	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.2	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.3	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.4	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.5	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.6	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.7	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか

Antenna House, Inc.

fo:float と axf:float-move="auto-move" で表を囲んだ例 -2-

表を配置する十分な余白はありませんが、表を次のページへ移動するとページの余白が大きくなるため表を移動させずに出力します。ただし、fo:float で囲んだ表の直前に配置したブロックのテキスト「以下に表が続きます。」は次のページ、表の後に移動します。

項目 1	項目 2	項目 3	項目 4	項目 5	金額	備考 1	備考 2
		あいうえお	あいうえお	あいうえお	百万円		
サンプル No.1	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.2	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.3	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.4	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか
サンプル No.5	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほへと	ちりぬるをわか

Antenna House, Inc.

サンプル No.6	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほ へと	ちりぬるを わか
サンプル No.7	あいうえお	あいうえお	あいうえお	あいうえお	680	いろはにほ へと	ちりぬるを わか

以下に表が続きます。

Antenna House, Inc.

## 行の高さ

行の高さを `line-height` で指定します。`line-height` を文字の大きさよりも小さくすると、行と行が重なりま

`line-height="8pt" font-size="10pt"`

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさを、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

`line-height="10pt" font-size="10pt"`

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさを、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

`line-height="15pt" font-size="10pt"`

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさを、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

`line-height="1.0em" font-size="10pt"`

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさを、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

`line-height="2.0em" font-size="10pt"`

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさを、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。



## 行送り

`line-stacking-strategy` プロパティは行送り（行ボックスの重ね方）を指定します。

`line-height` プロパティと `font-size` プロパティの値からハーフレディング（half-leading）が決まります。ハーフレディングとは、文字の上下につく余白です。次のサンプルで、青色の背景部分がフォントサイズで指定された大きさのインライン領域、その上下の赤い部分がハーフレディングです。

ABC line height

`line-stacking-strategy="max-height"`（既定値）は行間を固定にします。

行の高さは `line-height` プロパティで決まります。 `line-height="2"`（フォントサイズの2倍）で、かつ `line-stacking-strategy="max-height"` の場合、そのブロックに指定された `font-size` からハーフレディングが決定されます。ハーフレディング×2と行内の最大 `font-size` の合計がその行の高さになります。ブロック内に異なる `font-size` の文字が混在する場合、行ごとに行の高さは異なりますが、ハーフレディングの値は一定です。

`line-stacking-strategy="font-height"` は、行送り（改行ピッチ）が固定です。

行の高さは `line-height` プロパティで決まります。 `line-height="2"`（フォントサイズの2倍）で、かつ `line-stacking-strategy="font-height"` の場合、行のベースラインの間隔がそのブロックに指定されたフォントサイズの2倍に固定されます。行内の文字の大きさが異なってもブロック内すべての行が同じ行の高さになるので文字が重なる場合もあります。

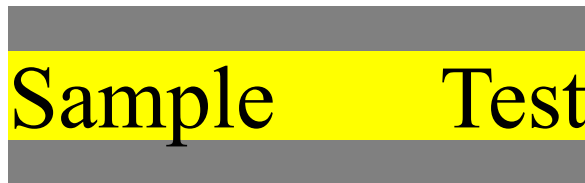
`line-stacking-strategy="line-height"` は、行ごとのインラインの高さによって行の配置が決定されます。

行の高さは `line-height` プロパティで決まります。 `line-height="2"`（フォントサイズの2倍）で、かつ `line-stacking-strategy="line-height"` の場合、ハーフレディングを含めた行の高さがそのブロックに指定された `font-size` の2倍になります。行内に異なる `font-size` の文字が混在する場合、ハーフレディングの高さも異なり、それぞれの行の高さが計算され、行ごとに行の高さが異なる場合があります。

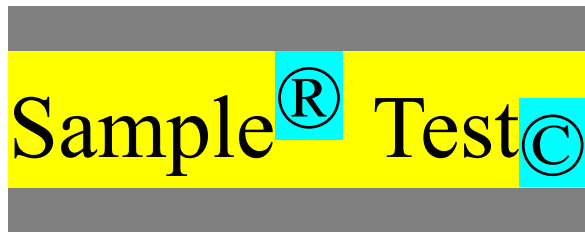
## シフトした文字がある行の高さ制御

`line-height-shift-adjustment` プロパティは行の高さを決定するとき、行内の `baseline-shift` によってシフトした上付き/下付きのテキストの高さを考慮するかどうかを指定します。`line-height-shift-adjustment="consider-shifts"` (既定値) のとき、上付き (`baseline-shift="super"`) の文字上端や、下付き (`baseline-shift="sub"`) の文字下端も行の高さに影響します。`line-height-shift-adjustment="disregard-shifts"` のときは影響しません。なお、`line-height-shift-adjustment="disregard-shifts"` で行の高さが影響しないのは `baseline-shift` のみです。`baseline-shift` 以外で行の高さに影響を与える要因がある場合は指定があっても行の高さが変化します。例えば、シフトさせる文字の `font-size` がベースのテキストより大きい場合などです。

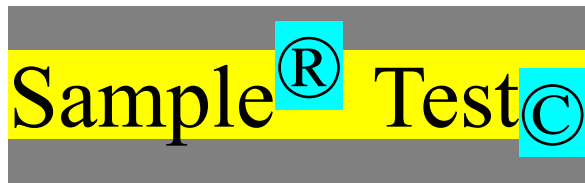
上付き/下付きのシフトさせる文字なし

A horizontal bar with a yellow center and gray ends. The text "Sample Test" is centered in the yellow area in a black serif font.

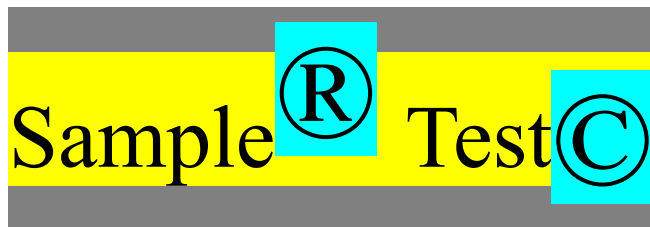
`line-height-shift-adjustment="consider-shifts"` (既定値)

A horizontal bar with a yellow center and gray ends. The text "Sample® Test©" is centered. The registered trademark symbol (®) and copyright symbol (©) are blue and positioned higher than the baseline of the letters.

`line-height-shift-adjustment="disregard-shifts"`

A horizontal bar with a yellow center and gray ends. The text "Sample® Test©" is centered. The registered trademark symbol (®) and copyright symbol (©) are blue and aligned with the baseline of the letters.

`line-height-shift-adjustment="disregard-shifts"`、シフトさせる文字サイズ 1.5em

A horizontal bar with a yellow center and gray ends. The text "Sample® Test©" is centered. The registered trademark symbol (®) and copyright symbol (©) are blue and significantly larger than the letters, but still aligned with the baseline.

## line-stacking-strategy と line-height-shift-adjustment

line-stacking-strategy と line-height-shift-adjustment は行がどのように配置されるか互いに影響を与えます。line-stacking-strategy は行送り（行ボックスを重ね方）を指定します。値として line-height、font-height と max-height（既定値）が用意されています。line-height は行ごとのインラインの高さで配置します。font-height は行送り（行ピッチ）を固定にして配置します。max-height（既定値）は行間を固定にして配置します。line-height-shift-adjustment は行の高さの調節を上付きのテキストなど baseline-shift を持つコンテンツに対して行うかどうかを制御します。値として consider-shifts（既定値）、disregard-shifts が用意されています。consider-shifts はシフトした文字の上端と下端が行の高さの計算に影響します。disregard-shifts はシフトした文字があっても、シフトしていないときの上端および下端を行の高さの計算に使用します。

line-stacking-strategy と line-height-shift-adjustment については、「[行の配置と表示のサンプル](#)」の「行送り (line-height, line-stacking-strategy)」、「シフトした文字がある行の高さ制御 (line-height, line-height-shift-adjustment)」もご参照ください。

Antenna House, Inc.

line-height-shift-adjustment	line-stacking-strategy		
	line-height	font-height	max-height (既定値)
consider-shifts (既定値)	Lorem® ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.	Lorem® ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.	Lorem® ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.
disregard-shifts	Lorem® ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.	Lorem® ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.	Lorem® ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.

Antenna House, Inc.

## タイトルをテキストブロックの上部に揃える

通常すべての行のテキストの上下にはハーフレディング（余白）<sup>(1)</sup>が追加されます。そのため大きなハーフレディングを持つテキストの反対側（段組での隣接する列や見開きページ）に小さなテキストがある場合にはハーフレディングが目立つ場合があります。例えば列の最初のタイトルが反対側のテキストの一番上の行よりも低く表示されるサンプルの1番目のケースです。line-height.conditionality="discard" が指定されている場合、列の最初の行のハーフレディングは破棄されます。また、共通の [axf:baseline-grid](#) を指定すると、最初のタイトルの行の高さに関係なく、見出しの後のテキストが隣接する列または反対側のページの行に揃えられます。

タイトルのハーフレディングが大きいと、タイトルは次の列または見開きページの本文テキストと比較して低く表示される場合があります。

<p><b>Lorem Ipsum Dolor Sit Amet, Consectetur</b></p> <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies</p>	<p>molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur.</p>
---	--

line-height.conditionality="discard" を指定すると、タイトルの先頭のハーフレディングが破棄されます。

<p><b>Lorem Ipsum Dolor Sit Amet, Consectetur</b></p> <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies</p>	<p>molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur.</p>
---	--

各 <fo:block>（または共通の祖先）で line-height.conditionality="discard" を指定すると、他の列またはページの上にある先頭のハーフレディングも破棄されます。<sup>(2)</sup>

<p><b>Lorem Ipsum Dolor Sit Amet, Consectetur</b></p> <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies</p>	<p>molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur.</p>
---	--

本文に共通の axf:baseline-grid を指定すると、行が列またはページ間で揃えられるようになります。

<p><b>Lorem Ipsum Dolor Sit Amet, Consectetur</b></p> <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies</p>	<p>molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Himenaeos scelerisque dis in congue nascetur eu rutrum.</p>
---	--

<sup>(1)</sup> ハーフレディングは、line-height プロパティの値からフォントサイズを引いた値を 1/2 にした値と等しくなります。

<sup>(2)</sup> line-height.conditionality を指定せずに line-height を指定すると、line-height.conditionality は retain に設定されます。line-height を指定せずに line-height.conditionality を指定すると、継承された行の conditionality にのみ影響します。

## リーダーの位置揃え

leader-alignment により複数の fo:leader で引かれるリーダーのパターンを揃えることができます。このとき fo:leader で引かれる記号を指定する leader-pattern の値としては dots か use-content を用いる必要があります。none は特に何も揃えません。reference-area は、現在の参照領域の start 側に揃えます。Antenna House Formatter の拡張機能として start、center、end が追加されています。start、center、end の場合はそれぞれインライン領域の start 側、中央、end 側に寄せます。leader-pattern の値が use-content の場合、その内容は同一でなければ揃いません。

以下の例で、青色と黄色のボックスは fo:block-container によって生成された領域です。灰色のボックスは fo:block です。fo:block は独自の参照領域を生成しないため、親の fo:block-container で生成されたものです。

### leader-alignment="none"

fo:block-container Label A.	. . . . .	1
fo:block Label BB.	. . . . .	2
fo:block Label CCC.	. . . . .	.22
fo:block-container Label EEEEE.	. . . . .	30
fo:block Label FFFFFF.	. . . . .	40

### leader-alignment="reference-area"

fo:block-container Label A	. . . . .	1
fo:block Label BB.	. . . . .	2
fo:block Label CCC	. . . . .	.22
fo:block-container Label EEEEE	. . . . .	30
fo:block Label FFFFFF.	. . . . .	40

### leader-alignment="start"

fo:block-container Label A.	. . . . .	1
fo:block Label BB.	. . . . .	2
fo:block Label CCC.	. . . . .	.22
fo:block-container Label EEEEE.	. . . . .	30
fo:block Label FFFFFF.	. . . . .	40

### leader-alignment="center"

fo:block-container Label A .	. . . . .	1
fo:block Label BB .	. . . . .	2
fo:block Label CCC.	. . . . .	.22
fo:block-container Label EEEEE	. . . . .	30
fo:block Label FFFFFF .	. . . . .	40

### leader-alignment="end"

fo:block-container Label A .	. . . . .	.1
fo:block Label BB	. . . . .	.2
fo:block Label CCC .	. . . . .	.22
fo:block-container Label EEEEE	. . . . .	.30
fo:block Label FFFFFF .	. . . . .	.40

## ブロック内の文字配置

ここではさまざまな文字の配置例を紹介します。

### **text-align="left"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

### **text-align="left" text-indent="1em"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

### **text-align="left" text-indent="20mm"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

### **text-align="left" text-indent="-1em"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

### **text-align="center"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

### **text-align="right"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

#### **text-align="inside"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

#### **text-align="outside"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

#### **text-align="justify"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

#### **text-align="justify" text-align-last="right"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

#### **text-align="justify" text-indent="1em"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

#### **text-align="left" text-align-last="right"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

#### **text-align="left" text-align-last="center"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

#### **text-align="right" text-align-last="center"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

## 文字の間隔

letter-spacing で文字と文字の間隔を調整、変更できます。

letter-spacing="0mm"

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

letter-spacing="1.0mm"

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

letter-spacing="2.0mm"

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

letter-spacing="-1.0mm"

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

letter-spacing="1.0em"

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。



## Breaking Paragraphs into Lines (BPIL)

行分割を Knuth-Plass の Breaking Paragraphs into Lines の行分割アルゴリズムに従って行います。BPIL は主に欧文組版のためのアルゴリズムで、ブロック全体のバランスを考慮して分割位置を決定します。BPIL は Antenna House Formatter V7.0 から利用いただけます。

BPIL は以下のようなブロックに対して適用されます。

- [axf:line-break="bpil"](#) が指定されているブロック
- [axf:line-break](#) でアルゴリズムが指定されていず、オプション設定ファイルの [bpil](#) で指定された言語であるブロック

[axf:line-break="line"](#) の場合は 1 行ずつ逐次分割する単純なアルゴリズムで行います。

オプション設定ファイルの [bpil](#) には BPIL を適用する言語またはスクリプトを空白区切りで指定します。既定値は "Latn Grek Cyril" です。スクリプトが指定されたときは、それが代表的なスクリプトである言語が指定されたとみなされます。

ただし、BPIL が適用されない場合もあります。詳細は[行分割](#)を参照してください。

Antenna House, Inc.

BPIL 処理を行った方が行末のアキの幅がより均等に近くなります。アキの幅をわかりやすくするため、あえて justify しない結果を示しています。

### BPIL なし

Everyone is entitled to all the rights and freedoms set forth in this Declaration, without distinction of any kind, such as race, colour, sex, language, religion, political or other opinion, national or social origin, property, birth or other status. Furthermore, no distinction shall be made on the basis of the political, jurisdictional or international status of the country or territory to which a person belongs, whether it be independent, trust, non-self-governing or under any other limitation of sovereignty.

### BPIL あり

Everyone is entitled to all the rights and freedoms set forth in this Declaration, without distinction of any kind, such as race, colour, sex, language, religion, political or other opinion, national or social origin, property, birth or other status. Furthermore, no distinction shall be made on the basis of the political, jurisdictional or international status of the country or territory to which a person belongs, whether it be independent, trust, non-self-governing or under any other limitation of sovereignty.

Antenna House, Inc.

BPIL はハイフネーションの発生を少なく抑えるように作られています。

#### BPIL なし、ハイフネーションあり

Lorem Ipsum is simply dummy text of the printing and typesetting industry Lorem Ipsum has been the industry's standard dummy text ever since the 1500s, when an unknown printer took a galley of type and scrambled it to make a type specimen book. It has survived not only five centuries, but also the leap into electronic typesetting, remaining essentially unchanged. It was popularised in the 1960s with the release of Letraset sheets containing Lorem Ipsum passages, and more recently with desktop publishing software like Aldus PageMaker including versions of Lorem Ipsum.

#### BPIL あり、ハイフネーションあり

Lorem Ipsum is simply dummy text of the printing and typesetting industry Lorem Ipsum has been the industry's standard dummy text ever since the 1500s, when an unknown printer took a galley of type and scrambled it to make a type specimen book. It has survived not only five centuries, but also the leap into electronic typesetting, remaining essentially unchanged. It was popularised in the 1960s with the release of Letraset sheets containing Lorem Ipsum passages, and more recently with desktop publishing software like Aldus PageMaker including versions of Lorem Ipsum.

Antenna House, Inc.

## 縦中横

縦書きの中に縦中横（たてちゅうよこ）を指定します。（縦書きの行の中に数字などを横書きにする）

縦書きの中に「08年12月8日」のように部分的に数字などを横書きにすることを「縦中横」といいます。

## 欧文約物前後、約物と数字間の空白量の調整

欧文組版における約物前後の空白量を調整できます。空白量は [axf:space-end-punctuation](#) (約物の後の空白量)、[axf:space-start-punctuation](#) (約物の前の空白量)、[axf:space-between-digit-and-punctuation](#) (数字と約物の間の空白量)、[axf:space-between-punctuation-and-digit](#) (約物と数字の間の空白量) で指定し、<fo:declarations> の直下に置きます。各指定へは、言語、空白量、コードポイントをプロパティとして指定します。これらの指定は、オプション設定ファイルで指定しておけます。

### フランス語の定義例

<fo:declarations> への指定値の例と適用例を示します。

```
<fo:declarations>
  <axf:space-start-punctuation code="?" space="1 div 3" language="fr"/>
  <axf:space-start-punctuation code="!" space="1 div 3" language="fr"/>
  <axf:space-start-punctuation code=";" space="1 div 3" language="fr"/>
  <axf:space-start-punctuation code=":" space="1 div 4" language="fr"/>
  <axf:space-start-punctuation code="»" space="1 div 4" language="fr"/>
  <axf:space-end-punctuation code="«" space="1 div 4" language="fr"/>
  <axf:space-between-punctuation-and-digit code="+" space="thin" language="fr"/>
  <axf:space-between-punctuation-and-digit code="-" space="thin" language="fr"/>
  <axf:space-between-digit-and-punctuation code="%" space="thin" language="fr"/>
</fo:declarations>
```

xml:lang="fr" を指定した組版例

Échantillon ? Échantillon ! « Échantillon » Échantillon.

Échantillon ; 123– 345+ 678 Échantillon 100 %.

xml:lang="en" を指定した組版例

Échantillon? Échantillon! «Échantillon» Échantillon.

Échantillon; 123–345+678 Échantillon 100%.

## インライン要素を句読点に食い込ませる

[axf:intrude-into-punctuation](#) の指定により、インライン要素を句読点に食い込ませます。指定は日本語かつ [axf:punctuation-trim="adjacent"](#) のときに機能し、指定値は `none`（既定値）、`start`、`end` のいずれかです。`none` は何もしません。`start` は `start` 側の直前の文字が全角閉じ括弧か全角句読点のとき、`end` は `end` 側の直後の文字が全角開き括弧のとき、それぞれの文字を半角に扱うことでインライン要素を句読点へと食い込ませます。指定の対象となる句読点については [axf:punctuation-trim](#) を参照してください。この機能は Antenna House Formatter V7.1 から利用いただけます。

**axf:intrude-into-punctuation="none"**

（インライン要素）`fo:inline`（を句読点に）食い込ませます。`fo:inline`

**axf:intrude-into-punctuation="start"**

（インライン要素）`fo:inline`（を句読点に）食い込ませます。`fo:inline`

**axf:intrude-into-punctuation="end"**

（インライン要素）`fo:inline`（を句読点に）食い込ませます。`fo:inline`

**axf:intrude-into-punctuation="start end"**

（インライン要素）`fo:inline`（を句読点に）食い込ませます。`fo:inline`

この機能は、脚注の合印を句点の後ろに配置して句点を半角に扱いたいときなどに活用できます。

**axf:intrude-into-punctuation="none"**

インライン要素を句読点に食い込ませます。<sup>1)</sup>

**axf:intrude-into-punctuation="start"**

インライン要素を句読点に食い込ませます。<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> `axf:intrude-into-punctuation="none"`

<sup>2)</sup> `axf:intrude-into-punctuation="start"`

## 欧文ペアカーニング

[axf:kerning-mode](#) の指定により、欧文フォントが持つペアカーニング値を用いて文字間を詰めるかどうか設定します。`pair` 指定でペアカーニングを処理します。`letter-spacing` が 0 でない場合は `none` を指定したのと同じになります。

ラテン文字：

To WALT

To WALT

ギリシャ文字：

ΓΑΜΜΑ

ΓΑΜΜΑ

キリル文字：

ТАЙНА

ТАЙНА

0 でない文字間を指定した場合：

To WALT

To WALT

## 欧文の合字

[axf:ligature-mode](#) 指定により、フォントで特定の文字の組合せを合字にするかどうかを設定します。  
[axf:ligature-mode](#) を `latin` にすれば欧文（ギリシャ文字、キリル文字を含む）でフォントの持つ欧文グリフが使われます。

none:

fi ffi fl ffl ft Th

latin:

fi ffi fl ffl ft Th

## 和欧文間のアキ

和欧文間（和文と欧文の間）に自動的にアキを挿入する設定です。[axf:text-autospace](#) に `none` を設定するとアキは入りません。`ideograph-numeric` に設定すると漢字、仮名と欧文の間にアキが入ります。同様に、`ideograph-alpha` で漢字、仮名とアルファベットの間に、`ideograph-parenthesis` で漢字、仮名と欧文括弧類の間（ただし、括弧類の外側のみ）にアキが入ります。和欧文間のアキ量は、`axf:text-autospace-width` の値によって設定できます。

`none`

漢0漢X漢(漢)漢[漢]漢{漢}漢

`ideograph-numeric + ideograph-alpha`

漢 0 漢 X 漢(漢)漢[漢]漢{漢}漢

`ideograph-parenthesis`

漢0漢X漢 (漢) 漢 [漢] 漢 {漢} 漢

`ideograph-numeric + ideograph-alpha + ideograph-parenthesis, axf:text-autospace-width="0.125em"`

漢 0 漢 X 漢 (漢) 漢 [漢] 漢 {漢} 漢

`ideograph-numeric + ideograph-alpha + ideograph-parenthesis, axf:text-autospace-width="0.25em"`

漢 0 漢 X 漢 (漢) 漢 [漢] 漢 {漢} 漢

`ideograph-numeric + ideograph-alpha + ideograph-parenthesis, axf:text-autospace-width="0.5em"`

漢 0 漢 X 漢 (漢) 漢 [漢] 漢 {漢} 漢



## 行末での追い込み

[axf:text-justify-trim](#) 指定により、追い込みの処理を行うかどうかを指定します。axf:text-justify-trim に none を設定すると追い込みの処理をしません。punctuation の設定では日本語で、全角の括弧類、中点類、句読点類を詰めの対象として追い込み処理します。その他に kana ではひらがなとカタカナ、ideograph は漢字とかなの間、inter-word は欧文単語間の追い込み処理をします。

none

(あいうえお。かき・くけこ)

punctuation

(あいうえお。かき・くけこ)

punctuation-except-fullstop

punctuation と同じですが、U+3002 (。)、U+FF0E (．) の 2 文字を除外します。

(あいうえお。かき・くけこ)

punctuation-except-middledot

punctuation と同じですが、U+30FB (・)、U+FF1A (:)、U+FF1B (;) の中点類を除外します。

(あいうえお。かき・くけこ)

none

さんぷるとサンプル、ひらがなとカタカナ

kana

さんぷるとサンプル、ひらがなとカタカナ

none

追い込みの処理を行うかどうかを指定します。

ideograph

追い込みの処理を行うかどうかを指定します。

none

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur  
adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt  
pharetra.

inter-word

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing  
elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.

## 行頭での突き出し、行末でのぶら下げ

`axf:hanging-punctuation` の指定により行頭での突き出し、行末でのぶら下げを行うかどうかを指定します。`axf:hanging-punctuation` に `none` を設定すると行頭での突き出し、行末でのぶら下げを処理しません。`start` の設定では行頭での突き出しを処理します。`force-end` の設定では `text-align="right"` または `text-align="justify"` の指定があり、全角約物の位置が行末の場合に強制的にぶら下げで処理します。その他の設定はサンプル内にて説明します。突き出し、ぶら下げの対象となる約物はオンラインマニュアルの「[axf:hanging-punctuation](#)」をご参照ください。

### none

「あいうえ  
お、

### start

「あいうえお、

### force-end

「あいうえお、

### first

段落の先頭行でのみ、`start` と同じ処理をします。

「あいうえお」  
「かきく

### allow-end

ぶら下げ対象文字が行末に位置した場合、行に収まればぶら下げず、収まらなければぶら下げられます。

あいうえお、  
「かきくけこ、

### last

段落末でのみ、`force-end` と同じぶら下げを処理します。

あいうえお  
かきくけ  
こ、さしす  
せそたちつ、

## 行頭での突き出し、行末でのぶら下げ（英文）

`axf:hanging-punctuation` の指定により行頭での突き出し、行末でのぶら下げまたはその両方を行うかどうかを指定します。`axf:hanging-punctuation` に `none` を設定すると行頭での突き出し、行末でのぶら下げを処理しません。`start` は行頭での突き出しを処理します。`force-end` は `text-align="right"` または `text-align="justify"` のとき、行末の対象文字が強制的にぶら下げ処理されます。`first` は段落先頭でのみ `start` と同じ処理、`last` は段落末でのみ `force-end` と同じ処理をします。`allow-end` は対象文字が行内に収まらない場合にのみぶら下げ処理されます。また値（`none` を除く）は複数指定ができます。突き出し、ぶら下げの対象となる約物など詳細についてはオンラインマニュアルの「[axf:hanging-punctuation](#)」をご参照ください。

レイヤをサポートする PDF ビューアで表示している場合は、「borders」レイヤを有効にして約物の突き出し、ぶら下がっている場所を強調表示できます。

### none

“Lorem ipsum dolor sit amet,” consectetur adipiscing elit sed. Class velit praesent felis montes quisque aliquet, phasellus fusce imperdiet nisl. “Suspendisse facilisis fringilla proin,” interdum faucibus “quam felis malesuada.” Vivamus nam senectus maecenas.

Vitae euismod mattis, pretium sodales auctor netus blandit dictum erat. Etiam imperdiet magnis senectus sed taciti cubilia facilisis, euismod id donec a sociosqu consequat, lecateus (sociis sollicitudin) aliquam lobortis eros ligula.

“Suscipit fringilla blandit tristique.” auctor natoque.

“Varius bibendum pulvinar laoreet senectus semper torquent.”

Iiaculis egestas sem nisi metus maecenas velit leo. Augue purus lacinia turpis conubia potenti orci, interdum fames phasellus mi (nascetur nullam), consequat tempor imperdiet commodo curae. Nisi congue pretium ligula egestas quisque dignissimi mollis, convallis mi ut nunc ultrices suscipit interdum, vel orteii [sagittis risus] or aliquam. Hac fusce ridiculus interdum egestas (pharetra faucibus) praesent montes facilisis lectus sem arcu, integer velit eu fermentum magna metus cras.

### start force-end

“Lorem ipsum dolor sit amet,” consectetur adipiscing elit sed. Class velit praesent felis montes quisque aliquet, phasellus fusce imperdiet nisl. “Suspendisse facilisis fringilla proin,” interdum faucibus “quam felis malesuada.” Vivamus nam senectus maecenas.

Vitae euismod mattis, pretium sodales auctor netus blandit dictum erat. Etiam imperdiet magnis senectus sed taciti cubilia facilisis, euismod id donec a sociosqu consequat, lecateus (sociis sollicitudin) aliquam lobortis eros ligula.

“Suscipit fringilla blandit tristique.” auctor natoque.

“Varius bibendum pulvinar laoreet senectus semper torquent.”

Iiaculis egestas sem nisi metus maecenas velit leo. Augue purus lacinia turpis conubia potenti orci, interdum fames phasellus mi (nascetur nullam), consequat tempor imperdiet commodo curae. Nisi congue pretium ligula egestas quisque dignissimi mollis, convallis mi ut nunc ultrices suscipit interdum, vel orteii [sagittis risus] or aliquam. Hac fusce ridiculus interdum egestas (pharetra faucibus) praesent montes facilisis lectus sem arcu, integer velit eu fermentum magna metus cras.

### first last

“Lorem ipsum dolor sit amet,” consectetur adipiscing elit sed. Class velit praesent felis montes quisque aliquet, phasellus fusce imperdiet nisl. “Suspendisse facilisis fringilla proin,” interdum faucibus “quam felis malesuada.” Vivamus nam senectus maecenas.

Vitae euismod mattis, pretium sodales auctor netus blandit dictum erat. Etiam imperdiet magnis senectus sed taciti cubilia facilisis, euismod id donec a sociosqu consequat, lecateus (sociis sollicitudin) aliquam lobortis eros ligula.

“Suscipit fringilla blandit tristique.” auctor natoque.

“Varius bibendum pulvinar laoreet senectus semper torquent.”

Iiaculis egestas sem nisi metus maecenas velit leo. Augue purus lacinia turpis conubia potenti orci, interdum fames phasellus mi (nascetur nullam), consequat tempor imperdiet commodo curae. Nisi congue pretium ligula egestas quisque dignissimi mollis, convallis mi ut nunc ultrices suscipit interdum, vel orteii [sagittis risus] or aliquam. Hac fusce ridiculus interdum egestas (pharetra faucibus) praesent montes facilisis lectus sem arcu, integer velit eu fermentum magna metus cras.

## ページ先頭の text-indent

ページ先頭または段先頭のブロックの `text-indent` を [axf:text-indent-if-first-on-page](#) で指定します。ブロックがページ先頭または段先頭にきたとき、最初の行がそのページまたは段にあれば、`text-indent` の値をこのプロパティの値で代替します。この機能は Antenna House Formatter V7.0 から利用いただけます。

サンプルデータは次のページ以降にあります。

Antenna House, Inc.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Fusce sit amet risus ut sapien vehicula aliquam molestie vitae lacus. In aliquam sem quis suscipit iaculis. In vitae nibh volutpat, blandit mi at, cursus ipsum.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Fusce sit amet risus ut sapien vehicula aliquam molestie vitae lacus. In aliquam sem quis suscipit iaculis. In vitae nibh volutpat, blandit mi at, cursus ipsum.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Fusce sit amet risus ut sapien vehicula aliquam molestie vitae lacus. In aliquam sem quis suscipit iaculis. In vitae nibh volutpat, blandit mi at, cursus ipsum.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Fusce sit amet risus ut sapien vehicula aliquam molestie vitae lacus. In aliquam sem quis suscipit iaculis. In vitae nibh volutpat, blandit mi at, cursus ipsum.

このページのブロックには、`text-indent="1em"` だけが指定されています。

Antenna House, Inc.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Fusce sit amet risus ut sapien vehicula aliquam molestie vitae lacus. In aliquam sem quis suscipit iaculis. In vitae nibh volutpat, blandit mi at, cursus ipsum.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Fusce sit amet risus ut sapien vehicula aliquam molestie vitae lacus. In aliquam sem quis suscipit iaculis. In vitae nibh volutpat, blandit mi at, cursus ipsum.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Fusce sit amet risus ut sapien vehicula aliquam molestie vitae lacus. In aliquam sem quis suscipit iaculis. In vitae nibh volutpat, blandit mi at, cursus ipsum.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Fusce sit amet risus ut sapien vehicula aliquam molestie vitae lacus. In aliquam sem quis suscipit iaculis. In vitae nibh volutpat, blandit mi at, cursus ipsum.

このページのブロックには、text-indent と axf:text-indent-if-first-on-page が指定されています。ページ先頭のブロックの text-indent="1em" を抑止するために、axf:text-indent-if-first-on-page="0pt" としています。

Antenna House, Inc.

## 最後の行末のアキの調整

最後の行末のアキの調整をします。[axf:flush-zone](#) に値 (<length> または <percentage>) が指定されて、`text-align="justify"` で `text-align-last="justify"` でないとき、最後の行末のアキが指定された値以下の場合に `text-align-last="justify"` として最後の行を処理します。この機能は Antenna House Formatter V7.0 から利用いただけます。

`axf:flush-zone` 指定なしと `axf:flush-zone="15mm"` を指定した結果で比較しています。指定された幅がわかりやすいように行末に背景色を設定しています。行末のアキが `axf:flush-zone` で指定した値以下の場合には最終行も均等割り付けされます。

`axf:flush-zone` 指定なし

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, et magna aliqua. Excepteur sint occaecat cupidatat non proident, sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id xxx xxx est laborum.

`axf:flush-zone="15mm"` 指定

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, et magna aliqua. Excepteur sint occaecat cupidatat non proident, sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id xxx xxx est laborum.

行末のアキが `axf:flush-zone` の値より小さいので、均等割り付けされます。

`axf:flush-zone` 指定なし

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, et magna aliqua. Excepteur sint occaecat cupidatat non proident, sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id xxx est laborum.

`axf:flush-zone="15mm"` 指定

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, et magna aliqua. Excepteur sint occaecat cupidatat non proident, sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id xxx est laborum.

行末のアキが `axf:flush-zone` の値より大きいので、均等割り付けされません。

## 最終行の空白の調整

[axf:adjust-last-line-spacing](#) で最終行の空白の調整ができます。`text-align="justify"` による調整では最終行と直前の行の単語間の空白(アキ)に差が生じるケースがあります。そのような場合に `axf:adjust-last-line-spacing` に `true` を指定して最終行と直前の行のアキの差を小さくできます。既定値は `false` で何もしません。なお、この処理は、"`text-align` が `justify` である"、"`text-align-last` が `justify` でない"、"[axf:line-break="bpil"](#) など Breaking Paragraphs into Lines (BPIL)<sup>1)</sup> の行分割アルゴリズムが適用される"のすべての条件を満たしたときに適用されます。この機能は Antenna House Formatter V7.2 から利用いただけます。

**`axf:adjust-last-line-spacing="false"`**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing.  
Pellentesque sapien sapien. Morbi in pharetra antesed  
tincidunt ni si cur sus luctus.

**`axf:adjust-last-line-spacing="true"`**

`true` 指定では、最終行の 3 行目と直前の 2 行目の単語間のアキの差が小さくなるよう 3 行目のアキを広げる調整ができます。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing.  
Pellentesque sapien sapien. Morbi in pharetra antesed  
tincidunt ni si cur sus luctus.

**`axf:flush-zone` 指定時の動作**

[axf:flush-zone](#)<sup>2)</sup> は最終行の行末のアキを調整する指定ですが、`axf:adjust-last-line-spacing` 指定によるアキの調整をした結果、`axf:flush-zone` の条件を満たすと、`axf:flush-zone` が適用されます。

**`axf:adjust-last-line-spacing="true"`、`axf:flush-zone="2em"`**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing.  
Pellentesque sapien sapien. Morbi in pharetra antesed  
tincidunt ni si cur sus luctus tempus quam convallis.

<sup>1)</sup> BPIL については、「[行の配置と表示のサンプル](#)」の「Breaking Paragraphs into Lines (BPIL)」もご参照ください。

<sup>2)</sup> `axf:flush-zone` については、「[行の配置と表示のサンプル](#)」の「最後の行末のアキの調整 (`axf:flush-zone`)」もご参照ください。



## 段落末尾の処理

[axf:avoid-widow-words](#) は段落の最後の行が 1 語だけにならないようにします。Antenna House Formatter V7.0 以降は `<length>` や `<percentage>` も値として指定することができます。

### **axf:avoid-widow-words="false"**

段落の最後の行が 1 語だけになる場合があります。

Lorem Ipsum is simply dummy text of the printing and typesetting industry Lorem Ipsum has been the industry's standard dummy text ever since the 1500s, when an unknown printer took a galley of type and scrambled it to make a type specimen book. It has survived not only five centuries, but also the leap into electronic typesetting, remaining essentially unchanged. It was popularised in the 1960s with the release of Letraset sheets containing Lorem Ipsum passages, and more recently with desktop publishing software like Aldus PageMaker including versions of Lorem Ipsum.

### **axf:avoid-widow-words="true"**

段落の最後の行が 1 語（CJK のときは 1 文字）だけにならないように追い込み処理をします。[axf:text-justify-trim](#) が auto のときは、"ideograph inter-word" が指定されているとみなされます。

Lorem Ipsum is simply dummy text of the printing and typesetting industry Lorem Ipsum has been the industry's standard dummy text ever since the 1500s, when an unknown printer took a galley of type and scrambled it to make a type specimen book. It has survived not only five centuries, but also the leap into electronic typesetting, remaining essentially unchanged. It was popularised in the 1960s with the release of Letraset sheets containing Lorem Ipsum passages, and more recently with desktop publishing software like Aldus PageMaker including versions of Lorem Ipsum.

Antenna House Formatter V7.0 以降で、`axf:avoid-widow-words` に `<length>` や `<percentage>` を指定したとき、段落の最後の行に指定した幅のテキストを残すようにします。この指定は、[axf:line-break="bpil"](#) のときなど、Breaking Paragraphs into Lines の行分割アルゴリズムが適用されるときのみ有効です。

以下のブロックには `axf:avoid-widow-words="460pt"` が指定されています。

Lorem Ipsum is simply dummy text of the printing and typesetting industry Lorem Ipsum has been the industry's standard dummy text ever since the 1500s, when an unknown printer took a galley of type and scrambled it to make a type specimen book. It has survived not only five centuries, but also the leap into electronic typesetting, remaining essentially unchanged. It was popularised in the 1960s with the release of Letraset sheets containing Lorem Ipsum passages, and more recently with desktop publishing software like Aldus PageMaker including versions of Lorem Ipsum.

以下のブロックには `axf:avoid-widow-words="80%"` が指定されています。

Lorem Ipsum is simply dummy text of the printing and typesetting industry Lorem Ipsum has been the industry's standard dummy text ever since the 1500s, when an unknown printer took a galley of type and scrambled it to make a type specimen book. It has survived not only five centuries, but also the leap into electronic typesetting, remaining essentially unchanged. It was popularised in the 1960s with the release of Letraset sheets containing Lorem Ipsum passages, and more recently with desktop publishing software like Aldus PageMaker including versions of Lorem Ipsum.

## 段落末尾の文字数に約物を含めない

[axf:avoid-widow-word="true"](#) 指定で CJK のときは、段落の最後の行が 1 文字だけにならないようにします。このとき、[axf:avoid-widow-words-cjk-punctuation](#) によって最後の文字に約物を含めて数えるかどうかを指定できます。この機能は Antenna House Formatter V7.1 から利用いただけます。

`axf:avoid-widow-word` については、「[行の配置と表示のサンプル](#)」の「段落末尾の処理 (`axf:avoid-widow-words`)」もご参照ください。

### **`axf:avoid-widow-words-cjk-punctuation="false"`**

約物も 1 文字として数えるため「る。」のような行になることがあります。

PDF が普及した要因のひとつは、PDF の仕様書が「PDF Reference」として PDF 誕生当初から公開されてきたことである。

### **`axf:avoid-widow-words-cjk-punctuation="true"`**

約物を 1 文字として数えないため「る。」のような行にはならず、「ある。」のような行になります。指定の対象となる約物は、UAX#14: Line Breaking Properties で CL または CP に分類されている文字（閉じ括弧や句読点など）と、'（U+2019）および”（U+201D）です。

PDF が普及した要因のひとつは、PDF の仕様書が「PDF Reference」として PDF 誕生当初から公開されてきたことである。

### **`axf:avoid-widow-words-cjk-punctuation=<string>`**

`axf:avoid-widow-words-cjk-punctuation="?!"` のように `true/false` 以外の文字列を指定すると、それらの文字も上記に加えて指定の対象となる約物として扱われます。

PDF が普及した要因のひとつは、PDF の仕様書が「PDF Reference」として PDF 誕生当初から公開されてきたことである？

### **`axf:avoid-widow-words-cjk-punctuation="auto"`**

`axf:avoid-widow-words-cjk-punctuation="auto"` の場合は、オプション設定ファイル [avoid-widow-words-cjk-punctuation](#) の指定に従います。

## 分割禁止語の指定

オプション設定ファイルの [unbreakable-words](#) 要素の内容に、改行区切りで分割禁止語を列挙します。空白を含む語句やハイフンを含めた単語なども登録して分割禁止とすることが可能です。行頭、行末の空白は削除され、連続した空白はひとつにまとめられます。詳細は [unbreakable-words](#) を参照してください。この機能は Antenna House Formatter V7.0 から利用いただけます。

オプション設定ファイルの例

```
<?xml version="1.0"?>
<formatter-config>
  <formatter-settings>
    <unbreakable-words>
      アンテナハウス<!-- "アンテナハウス" を登録 -->
      Antenna House<!-- "Antenna House" を登録 -->
      Sampleデータ<!-- 和文欧文混合 "Sampleデータ" を登録 -->
      support-team<!-- ハイフンを含む "support-team" を登録 -->
    </unbreakable-words>
  </formatter-settings>
</formatter-config>
```

Antenna House Formatter V7.0 以降で、黄色の背景色の単語を [unbreakable-words](#) に登録したオプション設定ファイルを適用してこの FO を組版すると実行結果が確認できます。

アンテナハウス株式会社、アンテナハウス株式会社サンプルデータ、アンテナハウス株式会社、アンテナハウス株式会社サンプルデータ、アンテナハウス株式会社、アンテナハウス株式会社サンプル。

Antenna House Sample Data, Antenna House, Antenna House Sample Data, Antenna House Sample, Antenna House Sample Data, Antenna House, Antenna House Sample Data, Antenna House, Antenna House Sample Data, Antenna House.

Sample、データ、Sampleデータ、Sample データ (スペース有) Sampleデータ、Sampleデータ、データ、Sample データ (スペース有)、Sampleデータ、Sampleデータ、Sampleデータ、Sample データ (スペース有)

Antenna support team support team support team support team support team  
Antenna support-team support-team support-team support-team support-team  
Antenna supportteam supportteam supportteam supportteam supportteam

ハイフンを含む指定フレーズのみ処理されます。

オプション設定の [unbreakable-words](#) を適用しない場合は以下のような結果になります。

アンテナハウス株式会社、アンテナハウス株式会社サンプルデータ、アンテナハウス株式会社、アンテナハウス株式会社サンプルデータ、アンテナハウス株式会社、アンテナハウス株式会社サンプル。

Antenna House Sample Data, Antenna House, Antenna House Sample Data, Antenna House Sample, Antenna House Sample Data, Antenna House, Antenna House Sample Data, Antenna House, Antenna House Sample Data, Antenna House.

Sample、データ、Sampleデータ、Sample データ (スペース有) Sampleデータ、Sampleデータ、データ、Sample データ (スペース有)、Sampleデータ、Sampleデータ、Sampleデータ、Sample データ (スペース有)

Antenna support team support team support team support team support team  
Antenna support-team support-team support-team support-team support-team  
Antenna supportteam supportteam supportteam supportteam supportteam

## 行頭禁則和字の扱い

[axf:line-break](#) 指定により、Nonstarter 文字のうち、JIS X 4051:2004 における〈行頭禁則和字〉を行頭禁則にするかどうか設定します。`axf:line-break` に `normal` を指定すると行頭禁則対象にしません（弱い禁則の一種）。`strict` にすると行頭禁則対象になります（強い禁則）。終わり括弧類・句点類・中点類などは行頭禁則和字でないので `normal`、`strict` 指定いずれの場合も行頭禁則対象です。

### normal

あいうえお  
つかき

あいうえお  
々かき

あいうえお  
一かき

あいうえ  
お：かき

あいうえ  
お～かき

あいうえ  
お」かき

### strict

あいうえ  
おつかき

あいうえ  
お々かき

あいうえ  
お一かき

あいうえ  
お：かき

あいうえ  
お～かき

あいうえ  
お」かき

## 全角約物の詰め処理

[axf:punctuation-trim](#) の指定により、日本語の全角約物（開きや閉じ括弧、"。"などの句読点）の詰め処理をするかどうかを指定します。[axf:punctuation-trim](#) に `none` を設定すると全角約物の詰めを処理しません。`start` の設定では行頭での全角約物を半角に扱い、`end` の設定では `text-align="right"` または `text-align="justify"` の指定があり、全角約物の位置が行末の場合に強制的に半角で扱います。[axf:punctuation-trim](#) で処理される文字列を指定して半角で扱わせることなどもできます。その他の設定はサンプル内にて説明します。

`none`

(あいうえ  
お)

`start`

(あいうえお)

`end`

(あいうえお)

`start-except-first`

`start` と同じですが、先頭の行や強制改行直後の行を除きます。

(あいうえ  
(お) )

`allow-end`

全角約物が行末に位置した場合、行に収まるときは全角のままとし、収まらないときは半角に扱います。

(あいうえお  
か) きくけこ)

`end-except-fullstop`

`end` と同じですが U+3002 (。) と U+FF0E (.) の 2 文字を除外します。

(あいうえお)  
( か き く け  
こ。

`adjacent`

全角開き括弧と全角開き括弧の間など、全角約物と全角文字の間の詰めを処理します。処理される組み合わせはオンラインマニュアルの「[axf:punctuation-trim](#)」をご参照ください。

`axf:punctuation-trim="none"`

((あいう) ; かき) 、 けこ

`axf:punctuation-trim="adjacent"`

((あいう) ; かき) 、 けこ

all、<string>

all は、全角の括弧類、中点類、句読点類をすべて詰めて半角扱いにします。<string> は、指定した文字列に含まれる文字のみが半角扱いされます。指定可能な文字列は adjacent と同様にオンラインマニュアルの「[axf:punctuation-trim](#)」をご参照ください。

axf:punctuation-trim="none"

【あ（あ“あ：あ〈・〉あ、あ”あ）あ】

axf:punctuation-trim="all"

【あ(あ“あ:あ〈・〉あ、あ”あ)あ】

axf:punctuation-trim="〉,、,”,),,】"

【あ（あ“あ：あ〈・〉あ、あ”あ）あ】

## 全角約物と全角文字の詰め間隔

[axf:punctuation-spacing](#) の指定により、日本語の全角約物と全角文字の間の詰めの間隔を指定できます。指定した間隔は、`axf:punctuation-trim="adjacent"` の全角閉じ括弧と全角開き括弧の間、全角閉じ括弧と全角非約物の間、全角非約物と全角開き括弧の間のアキ量に使用されます。値は絶対値と適用されるフォントサイズの相対であるパーセンテージで指定します。また、詰めの間隔の初期値は、オプション設定ファイルの `punctuation-spacing` で設定しておけます。`punctuation-spacing` の初期値は 50% です。

`axf:punctuation-trim="adjacent" axf:punctuation-spacing` 指定なし

(あい「うえお」「かきく」けこ)

`axf:punctuation-trim="adjacent" axf:punctuation-spacing="1em"`

(あい 「うえお」 「かきく」 けこ)

`axf:punctuation-trim="adjacent" axf:punctuation-spacing="2em"`

(あい 「うえお」 「かきく」 けこ)

`axf:punctuation-trim="adjacent" axf:punctuation-spacing="0%"`

(あい「うえお」「かきく」けこ)

`axf:punctuation-trim="adjacent" axf:punctuation-spacing="50%"`

(あい「うえお」「かきく」けこ)

`axf:punctuation-trim="adjacent" axf:punctuation-spacing="200%"`

(あい 「うえお」 「かきく」 けこ)



## ハイフネーション処理と SOFT HYPHEN

単語中のハイフネーションの位置を任意に明示するために SOFT HYPHEN (U+00AD) が使われます。ハイフネーションが行われない場合は SOFT HYPHEN は表示結果に影響しません。[hyphenate](#) を拡張して SOFT HYPHEN でのハイフネーションを行うかどうかを指定できます。hyphenate="none" の指定は Antenna House Formatter V7.2 から利用いただけます。

hyphenate="true" を指定すると、通常のハイフネーションが行われます。辞書によるハイフネーションと、SOFT HYPHEN でのハイフネーションを行います。

sample padding padding padding padding padding padding padding padding **hyphenated**  
sample padding padding padding padding padding padding padding padding **hyphenated**

hyphenate="false" (既定値) を指定すると、辞書によるハイフネーションは行いませんが、SOFT HYPHEN でのハイフネーションは行います。

sample padding padding padding padding padding padding padding padding **hyphenated**  
sample padding padding padding padding padding padding padding padding **hyphenated**

hyphenate="none" を指定すると、辞書によるハイフネーションも、SOFT HYPHEN でのハイフネーションも行いません。

sample padding padding padding padding padding padding padding padding **hyphenated**  
sample padding padding padding padding padding padding padding padding **hyphenated**

## ハイフン付き単語のハイフネーション処理

[axf:hyphenate-hyphenated-word](#) により別々の単語をつないでひとつの単語にするため、すでにハイフン付けされている語（サンプル内では"hyphenated-word"）をハイフネーションするかどうか指定できます。

`axf:hyphenate-hyphenated-word="true"`（既定値）を指定すると、単語中のハイフン以外が行末に位置するとき、通常のハイフネーションが行われます。

```
a padding padding padding padding padding padding padding hyphenated-  
word  
padding padding padding padding padding padding padding padding hy-  
phenated-word
```

`axf:hyphenate-hyphenated-word="false"` を指定すると、すでにハイフン付けされている単語はハイフネーションしません。単語中のハイフン以外の場所で改行するのを防ぎます。

```
a padding padding padding padding padding padding padding hyphenated-  
word  
padding padding padding padding padding padding padding padding  
hyphenated-word
```

## ハイフネーションする文字数と範囲

[axf:hyphenation-minimum-character-count](#) でハイフネーション処理をする語の最小文字数（1 以上の整数）を指定します。また、[axf:hyphenation-zone](#) でハイフネーション可能な範囲を制限します。[axf:hyphenation-zone](#) は、ある単語末から行末までの幅が、指定された値以下の場合には、次の単語でハイフネーションしません。0 以下の値を指定したときは無効です。

### **axf:hyphenation-minimum-character-count の指定なし**

a sample sample sample sample sample sample sample sample **hyphenation** sample sample sample sample

### **axf:hyphenation-minimum-character-count="12"**

a sample sample sample sample sample sample sample sample **hyphenation** sample sample sample sample

### **axf:hyphenation-zone="none"**

a sample sample sample sample sample sample sample sample **hyphenation** sample sample sample sample

### **axf:hyphenation-zone="4em"**

a sample sample sample sample sample sample sample sample **hyphenation** sample sample sample sample

### **axf:hyphenation-zone="5em"**

a sample sample sample sample sample sample sample sample **hyphenation** sample sample sample sample

## 大文字からなる語のハイフネーション処理

[axf:hyphenate-caps-word](#) により大文字からなる語をハイフネーションするかどうかを指定できます。指定は `hyphenate="true"` のときに有効です。small-caps 処理された文字でも、元の文字が小文字なら小文字とみなされます。`axf:hyphenate-caps-word="false-all"` の指定は Antenna House Formatter V7.2 から利用いただけます。

`axf:hyphenate-caps-word="true"` (既定値) を指定すると、通常のハイフネーションが行われます。単語が大文字でも小文字でもハイフネーションされます。

a padding padding padding padding padding padding padding padding **HYPHEN-  
ATED**  
padding padding padding padding padding padding padding padding **Hy-  
phenated**

`axf:hyphenate-caps-word="false"` を指定すると、すべてが大文字である単語はハイフネーションしません。先頭文字のみ大文字の単語のように、すべてが大文字でない単語はハイフネーションします。

a padding padding padding padding padding padding padding padding **HYPHENATED**  
padding padding padding padding padding padding padding padding **Hy-  
phenated**

`axf:hyphenate-caps-word="false-all"` を指定すると、先頭文字が大文字の単語はすべてハイフネーションしません。

a padding padding padding padding padding padding padding padding **HYPHENATED**  
padding padding padding padding padding padding padding padding **Hyphenated**

ハイフンの含まれる ANTENNA-HOUSE のようなものは、複数の単語とみなされます。そのためハイフンの位置で行分割の可能性があります。

## ハイフネーション情報の追加

[axf:hyphenation-info](#) を指定して追加のハイフネーション情報を指定できます。もともとハイフネーションできない言語を指定しても、ハイフネーションができるようになるわけではありません。同じ綴りの単語が複数登録されていた場合は、後から登録されている単語の情報が有効となります。

このサンプルでは <fo:declarations> へ次のように指定しています。

```
<fo:declarations>
  <axf:hyphenation-info language="eng"
    xmlns:axh="http://www.antennahouse.com/names/XSL/Hyphenations">
    <axh:exceptions>
      abc-defg
    </axh:exceptions>
  </axf:hyphenation-info>
</fo:declarations>
```

"abcdefg" という単語に対して "abc-defg" というハイフネーション指定を登録しています。language プロパティは必須です。また、外部にある例外辞書を src="en-add.xml" のように指定できます。外部の例外辞書は、ドキュメント要素として <hyphenation-info> を含む完全な内容の [ハイフネーション例外辞書](#) を用意する必要があります。

sample sample sample sample sample sample sample **abc-**  
**defg** sample sample sample sample sample

## ハイフンの位置で改行したとき行頭にもハイフンを置く

ポルトガル語のハイフネーションでは、ハイフンの位置で行分割が起こったときに行頭にもハイフンを置くになっています。[axf:double-hyphen-translineation](#) は言語によらずこのようなハイフネーション処理を行うことができます。この機能は Antenna House Formatter V7.4 から利用いただけます。

### **axf:double-hyphen-translineation="auto"**

オプション設定ファイルの `double-hyphen-translineation` で指定された言語のとき `true` として動作します。`double-hyphen-translineation` の既定値は `"por"` です。

Este é um teste de hifenização para "Antenna-House-Formatter", em que o valor do atributo `axf:double-hyphen-translineation` é "auto". Este é um teste de hifenização para "Antenna-House-Formatter", em que o valor do atributo `axf:double-hyphen-translineation` é "auto".

### **axf:double-hyphen-translineation="true"**

言語に関係なくハイフンの位置で行分割が起こったときに行頭にハイフンを置きます。

これは、"Antenna-House-Formatter" のハイフネーションテストです。`axf:double-hyphen-translineation="true"` を指定しています。これは、"Antenna-House-Formatter" のハイフネーションテストです。`axf:double-hyphen-translineation="true"` を指定しています。

This is a hyphenation test for "Antenna-House-Formatter", where the value of the `axf:double-hyphen-translineation` attribute is "true". This is a hyphenation test for "Antenna-House-Formatter", where the value of the `axf:double-hyphen-translineation` attribute is "true".

### **axf:double-hyphen-translineation="false"**

ハイフンの位置で行分割が起こったとき行頭にハイフンを置きません。

This is a hyphenation test for "Antenna-House-Formatter", where the value of the `axf:double-hyphen-translineation` attribute is "false". This is a hyphenation test for "Antenna-House-Formatter", where the value of the `axf:double-hyphen-translineation` attribute is "false".

Este é um teste de hifenização para "Antenna-House-Formatter", em que o valor do atributo `axf:double-hyphen-translineation` é "false". Este é um teste de hifenização para "Antenna-House-Formatter", em que o valor do atributo `axf:double-hyphen-translineation` é "false".

## 略語とみなす最大文字数と行分割制御

[axf:abbreviation-character-count](#) で略語とみなす最大文字数を指定できます。通常、/ の直後は行分割の対象であるため、km/h や w/o などで行分割が起こり得ますが、指定により行分割を防ぐことができます。/ の後の語が axf:abbreviation-character-count で指定された文字数以下のときは略語とみなして行分割を行いません。axf:abbreviation-character-count の既定値 auto は、オプション設定ファイルの abbreviation-character-count によって既定値が 3 に設定されています。

axf:abbreviation-character-count="auto"

sample sample sample sample sample sample sample sample  
km/hr sample

axf:abbreviation-character-count="2"

sample sample sample sample sample sample sample sample  
km/hr sample

axf:abbreviation-character-count="1"

sample sample sample sample sample sample sample sample km/  
hr sample

## 行番号

[axf:line-number](#) により行番号を付ける指定ができます。また、[axf:line-number-color](#)、[axf:line-number-font-family](#) により行番号の色、フォントなどの指定もできます。

1 Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. 11 interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est  
2 Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies 12 eget lacus.  
3 molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut 13 Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius  
4 porttitor felis, vel tincidunt velit. 14 consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at  
5 Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui 15 dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit  
6 malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut 16 tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a  
7 tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consecte- 17 imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque  
8 tur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim 18 urna est eget lacus. Sed viverra metus quis nibh pulvinar,  
9 nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt 19 at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non  
10 sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet 20 elit tincidunt sagittis ac non tortor.

Antenna House, Inc.

行番号のオプションは豊富です。[axf:line-number-start](#) で開始する行番号、[axf:line-number-interval](#) で行番号の間隔、[axf:line-number-reset](#) で行番号のリセットなど指定できます。このページでは、5 行おきに行番号を出力し、段毎に値をリセット、最終段では右側に行番号を表示させています。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

05 Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt

10 sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus.

Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at

15 dignissim nibh adipiscing.

Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus. Integer eu lobortis neque. Donec malesuada sed arcu vitae fringilla. Quisque imperdiet tortor iaculis, pulvinar 05 neque sit amet, aliquet massa.

Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est 10 eget lacus. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing.

Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. 15

Antenna House, Inc.



■未訳■

**Ode to Lorem Ipsum I**

Lorem ipsum dolor sit amet,  
Consectetur adipiscing elit.  
Aliquam bibendum,  
Aenean ultricies molestie ante.

5 Sit amet ultricies nunc mollis id,  
Integer ut porttitor felis.  
Vel tincidunt velit.  
Duis volutpat, quam quis aliquet.

Tristique, nulla dui malesuada velit,  
10 Et consectetur tellus ipsum et arcu.  
Ut tincidunt lorem,  
At elementum nibh varius consectetur.

**Ode to Lorem Ipsum II**

*I*  
Lorem ipsum dolor sit amet consectetur adipiscing elit  
rutrum.  
Mus porta luctus, torquent, mauris sapien.

*II*  
Nec libero donec cum rutrum viverra, nulla velit viverra  
elit, at scelerisque.  
Consequat urna, fames pellentesque.

*III*  
5 Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh  
adipiscing.  
Duis sit amet ipsum.

Antenna House, Inc.

■未訳■

**1. Lorem Ipsum**

2 Lorem ipsum dolor sit amet consectetur  
adipiscing elit potenti, lectus per et  
4 gravida malesuada in massa maecenas,  
dignissim convallis quis eros metus  
6 himenaeos tincidunt. Turpis mattis  
quisque eros egestas luctus lectus  
8 cubilia malesuada semper, aliquet  
elementum natoque nisi facilisi  
10 phasellus inceptos arcu, augue sem  
curabitur tortor eu facilisis euismod  
12 nullam.

14 Habitasse class parturient morbi  
sollicitudin suspendisse orci platea  
16 ante, convallis quisque malesuada eros  
taciti dis sociis senectus neque,

18 netus magnis in ridiculus libero  
sociosqu nibh.

**2. Dolor sit amet consectetur  
adipiscing elit**

Nec libero donec cum rutrum viverra,  
24 nulla velit viverra elit, at  
scelerisque.

Gravida est posuere dui pulvinar  
28 purus class porta odio blandit  
luctus, inceptos faucibus habitant  
30 taciti ligula proin bibendum neque  
felis, himenaeos orci montes lobortis  
32 ridiculus venenatis molestie quam  
nascetur. Sagittis justo ullamcorper  
34 commodo purus faucibus.

Antenna House, Inc.

# 表の段へ独立した行番号を表示

fo:table-column に [axf:line-number](#) を指定することで、その表の段ごとに独立の行番号を割り当てられます。このとき、fo:page-sequence に指定できるものと同じ指定ができます。この例では左の段は 5 行おき、右の段は 10 行おきに独立した行番号を出力、値をページ単位でリセットせずに表示させています。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。

人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Nullam purus. In porttitor, dui eget placerat pretium, mauris arcu ultrices nisl, quis mattis nisi turpis in velit. Cras et tellus quis nulla ultricies tristique. Ut at lacus at nibh cursus vestibulum. Praesent nec dui. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue.

Antenna House, Inc.

- 10 即ち、PDF ファイルには 1 枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。

人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo. Pellentesque eu nunc ac lectus viverra pretium. Nunc nibh purus, adipiscing et, vehicula vel, feugiat nec, elit. Praesent nisi. Sed tincidunt.

Aliquam erat volutpat. Aenean lacus. Suspendisse id ligula. Nulla facilisi. Sed et orci. Curabitur imperdiet odio non nisl. Sed mauris ante, laoreet eget, egestas ac, bibendum quis, quam. Nullam tincidunt vulputate leo. Cras orci purus, eleifend et, aliquet sed, tempor id, neque. Nam vulputate, tortor a congue pulvinar, pede lacus ornare erat, vel euismod felis tortor eu libero. Class aptent taciti sociosqu ad litora torquent per conubia nostra, per inceptos hymenaeos.

Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo.

Antenna House, Inc.

## 常に表示される行番号を指定

`axf:line-number-show` を指定することで常に表示される行番号を指定します。[axf:line-number-interval](#) などによって出力されない番号でも、ここで指定した番号を常に出力します。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:line-number-show](#)」をご参照ください。`axf:line-number-show` の指定は Antenna House Formatter V6.5 から利用いただけます。

このサンプルで左の段は `axf:line-number-interval="10"` の指定により行番号が 10 行おきに表示されます。右の段では `axf:line-number-interval="10"` に加え `axf:line-number-show="1"` を指定し、行番号 1 を表示させています。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Nullam purus. In porttitor, dui eget placerat pretium, mauris arcu ultrices nisl, quis mattis nisi turpis in velit. Cras et tellus quis nulla ultricies tristique. Ut at lacus at nibh cursus vestibulum. Praesent nec dui.

10 Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo. Pellentesque eu nunc ac lectus viverra pretium. Nunc nibh purus, adipiscing et, vehicula vel, feugiat nec, elit. Praesent nisi. Sed tincidunt.

Aliquam erat volutpat. Aenean lacus. Suspendisse id ligula. Nulla facilisi. Sed et orci. Curabitur imperdiet odio non nisl. Sed mauris ante, laoreet eget, egestas ac, bibendum quis, quam. Nullam tincidunt vulputate leo. Cras orci purus, eleifend et, aliquet sed, tempor id, neque. Nam vulputate, tortor a congue pulvinar, pede lacus ornare erat, vel euismod felis tortor eu libero. Class aptent taciti sociosqu ad litora torquent per conubia nostra, per inceptos hymenaeos.

20 Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo. Pellentesque eu nunc ac lectus viverra pretium. Nunc nibh purus, adipiscing et, vehicula vel, feugiat nec, elit.

30

1 Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Nullam purus. In porttitor, dui eget placerat pretium, mauris arcu ultrices nisl, quis mattis nisi turpis in velit. Cras et tellus quis nulla ultricies tristique. Ut at lacus at nibh cursus vestibulum. Praesent nec dui.

10 Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo. Pellentesque eu nunc ac lectus viverra pretium. Nunc nibh purus, adipiscing et, vehicula vel, feugiat nec, elit. Praesent nisi. Sed tincidunt.

Aliquam erat volutpat. Aenean lacus. Suspendisse id ligula. Nulla facilisi. Sed et orci. Curabitur imperdiet odio non nisl. Sed mauris ante, laoreet eget, egestas ac, bibendum quis, quam. Nullam tincidunt vulputate leo. Cras orci purus, eleifend et, aliquet sed, tempor id, neque. Nam vulputate, tortor a congue pulvinar, pede lacus ornare erat, vel euismod felis tortor eu libero. Class aptent taciti sociosqu ad litora torquent per conubia nostra, per inceptos hymenaeos.

20 Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo. Pellentesque eu nunc ac lectus viverra pretium. Nunc nibh purus, adipiscing et, vehicula vel, feugiat nec, elit.

30

## 行番号の向き、回転

[axf:line-number-orientation](#) により行番号の向きを回転できます。この設定を利用して縦書き文書の行番号にアラビア数字、ローマ数字を使えます。

axf:line-number-orientation="90"

01 電子ファイルの形式としての  
02 PDF を大雑把にいうと紙のページ  
03 を電子的に表現したものである。  
04 人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で  
05 文字を書いたり、線を引くときは、  
06 頭の中でどの位置に、どんな大きさ  
07 で、どんな文字や絵を描こうかと考  
08 え、考えたとおりに手を動かして、  
09 文字と絵を書く。  
10 これと同じように PDF のファイ  
11 ルの中には、頭の中で考えた状態と  
12 同じような情報がプログラムへの  
13 「命令」として記述されている。  
14 即ち、PDF ファイルには一枚の紙  
15 の左上を原点にして、下方向と右方  
16 向に座標軸をとってできる平面を  
17 定義し、その平面のどこに、どんな  
18 大きさで、なんとという文字を書く  
19 か、どんな太さで、どんな種類（直  
20 線、点線、…）の線を引くか、どん  
21 な画像をどこにどんな大きさで配  
22 置するか、といった命令がページ  
23 毎に記録されている。  
24 電子ファイルの形式としての  
25 PDF を大雑把にいうと紙のページ  
26 を電子的に表現したものである。

Antenna House, Inc.

## 継続行を除いて行番号を振る

行番号を振るときに、通常は各行に対して行番号が与えられますが、[axf:line-number-except-continued-line](#) の指定によって、長い行が折り返されたとき最初の行だけに行番号を振ることができます。このとき、継続行は行数にカウントされません。この機能は Antenna House Formatter V7.1 から利用いただけます。

### **axf:line-number-except-continued-line="false"**

```

1      XfoObj axfo = null;
2      try {
3          axfo = new XfoObj();
4          ErrDump eDump = new ErrDump();
5          axfo.setMessageListener(eDump);
6          axfo.setDocumentURI(args[0]);
7          axfo.setOutputFilePath(args[1]);
8          axfo.setExitLevel(4);
9          axfo.execute();
10     }
11     catch (XfoException e) {
12         System.out.println("ErrorLevel = " + e.getErrorLevel() + "\nError-
13 Code = " + e.getErrorCode() + "\n" + e.getErrorMessage());
14         return;
15     }

```

### **axf:line-number-except-continued-line="true"**

```

1      XfoObj axfo = null;
2      try {
3          axfo = new XfoObj();
4          ErrDump eDump = new ErrDump();
5          axfo.setMessageListener(eDump);
6          axfo.setDocumentURI(args[0]);
7          axfo.setOutputFilePath(args[1]);
8          axfo.setExitLevel(4);
9          axfo.execute();
10     }
11     catch (XfoException e) {
12         System.out.println("ErrorLevel = " + e.getErrorLevel() + "\nError-
13 Code = " + e.getErrorCode() + "\n" + e.getErrorMessage());
14         return;
15     }

```

## 行継続マーク

[axf:line-continued-mark](#) を使用して行継続マークを設定できます。行継続マークは `fo:block` を単位として付けられます。この場合は "-" (ハイフン) を指定しています。また、`axf:line-continued-mark-color` で継続マークの色、`axf:line-continued-mark-font-family` でフォントを、`axf:line-continued-mark-background-color` で改行マークの背景色を指定できます。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur.

Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus.

Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor.

Antenna House, Inc.

# タブ

タブ構造を表現するサンプルです。<axf:tab> でタブ位置までスペースを空けます。タブ位置は、axf:tab-stops で指定します。また、他にタブの配置指定 axf:tab-align、タブ文字の扱いの指定 axf:tab-treatment、タブ揃えで文字が重なるときの扱いを指定する axf:tab-overlap-treatment の指定があります。詳しくはオンラインマニュアル「[タブ](#)」をご参照ください。タブの指定は Antenna House Formatter V6.3 から利用いただけます。

## <axf:tab/> のみ指定した例

AA	BBBBBBBB	C
DDD	EE	FFF GGGG

## axf:tab-stops="2em"

AA	BBBBBBBB	C
DDD	EE	FFF GGGG

## axf:tab-stops="10em"

AA	BBBBBBBB	C
DDD	EE	FFF GGGG

## axf:tab-stops="5em 3em 3em 5em"

AA	BBBBBBBB	C
DDD	EE	FFF GGGG

## axf:tab-stops="decimal 5em end 10em start 5em"

1.2345	12.345	123.45
123.4567	1234.567	12345.67

## tab-align の使用例 (tab-align="decimal")

1.2345	12.345	123.45
123.4567	1234.567	12345.67

## axf:tab-treatment の使用例 (axf:tab-treatment="20")

AA	BBBBBBBB	C
DDD	EE	FFF GGGG

## axf:tab-overlap-treatment の使用例

axf:tab-overlap-treatment="auto"	AABBBBBBBB CDDD EE FFFGGGG
axf:tab-overlap-treatment="ignore-tab"	AABBBBBBBB CDDD EE FFFGGGG
axf:tab-overlap-treatment="next-tab"	AA BBBBBBBB C DDD EE FFF GGGG

## 段落最後の文字列を右寄せにする

このサンプルでは段落最後の文字列を右寄せする方法をご紹介します。例えば段落の本文の最後に著者名や企業名などの文字列があり、その文字列のみ右寄せすることを `fo:leader`（リーダー）や `Antenna House Formatter` の拡張機能 `axf:tab`（タブ）を用いて実現できます。

### `fo:leader` を使用する例

水平線（リーダー）を引く `fo:leader` を使用する例です。段落全体に両端揃え（`text-align="justify"`）、最終行は右揃え（`text-align-last="right"`）になるよう指定します。次に本文と右寄せする文字列の間に `fo:leader` をふたつ置き、`fo:leader` で引かれる記号は共に `leader-pattern` で `space`（空白）を指定します。ふたつ目の `fo:leader` にはリーダー線の長さを `leader-length.optimum="100%"` と指定します。`%` 指定は親の内容領域の幅に対する割合です。100% に指定すると最大を親の内容領域の幅として適正な長さになります。なお、右寄せする文字列には途中で改行が発生しないよう `keep-together.within-line="always"` を指定しています。指定により右寄せする文字列が本文と同じ行に入りきれば収め、入りきらなければ次の行に自動的に送ります。

```
<fo:block-container text-align="justify" text-align-last="right">
  <fo:block>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit...
  <fo:leader leader-pattern="space" />
  <fo:leader leader-pattern="space" leader-length.optimum="100%" />
  <fo:inline keep-together.within-line="always">Antenna House</fo:inline>
</fo:block>
</fo:block-container>
```

### 同じ行に本文と右寄せする文字列が収まるケース

本文と右寄せする文字列が同じ行に収まる場合は、`text-align="justify"` の効果でひとつ目の `fo:leader` の幅は 0、ふたつ目の `fo:leader` の空白が残りの幅を埋めて本文は左、文字列は右に寄ります。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.  
 Quisque at semper ante. Proin bibendum turpis vitae  
 erat sollicitudin viverra. *Antenna House*

### 同じ行に本文と右寄せする文字列が収まらないケース

本文と右寄せする文字列が同じ行に収まらない場合は、`keep-together.within-line="always"` の指定により文字列は自動的に次の行へ送られます。送られた文字列は `text-align-last="right"` により右に寄せられます。本文の後ろはひとつ目の `fo:leader` の `text-align="justify"` の効果で空白が行末まで埋めます。最終行に送られた文字列の手前にあるアキはふたつ目の `fo:leader` の指定 `leader-length.optimum="100%"` による空白が行頭まで伸び埋めます。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.  
 Quisque at semper ante. Proin bibendum turpis vitae  
 erat sollicitudin, sed dapibus urna facilisis.  
*Antenna House*

Antenna House, Inc.



## axf:tab を使用する例

axf:tab によるタブ構造で調整する例です。右寄せする文字列の前にタブ位置までスペースを空ける axf:tab を指定します。タブ位置は axf:tab-stops へ eol を指定し段落の行末にあるとみなされます。タブ位置における文字列の配置（揃え）は axf:tab-align に end を指定しタブ位置と文字列の末尾を揃えます。axf:tab の効果で右寄せする文字列の前に行末までのスペースが空き、かつ行末と文字列の末尾を揃えさせることで文字列の右寄せが実現します。axf:tab について詳細はオンラインマニュアル「[タブ](#)」をご参照ください。

```
<fo:block-container text-align="justify" axf:tab-stops="eol">
  <fo:block>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit...
    <fo:inline keep-together.within-line="always"><axf:tab axf:tab-align="end" />Antenna House</fo:inline>
  </fo:block>
</fo:block-container>
```

### 同じ行に本文と右寄せする文字列が収まるケース

段落末のタブ位置に文字列の末尾が揃い右寄せが実現します。

<p>           Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.            Quisque at semper ante. Proin bibendum turpis vitae            erat sollicitudin viverra.         </p>	<p><i>Antenna House</i></p>
--	-----------------------------

### 同じ行に本文と右寄せする文字列が収まらないケース

右寄せする文字列には keep-together.within-line="always" が指定してあります。本文と文字列が同じ行に収まらない場合、文字列は自動的に次の行へ送られます。送られた行の行末がタブ位置になりますので、送られた行末と文字列の末尾が揃い右寄せが実現します。

<p>           Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.            Quisque at semper ante. Proin bibendum turpis vitae            erat sollicitudin, sed dapibus urna facilisis.         </p>	<p><i>Antenna House</i></p>
--	-----------------------------

## フォントサイズ

フォントサイズを文字単位または段落単位で任意に設定できます。

### 文字単位でフォントサイズを設定する例

あいうえおかきくけこさしすせそ

### 段落単位でフォントサイズを設定する例

こんにちは。アンテナハウスです。

こんにちは。アンテナハウスです。

こんにちは。アンテナハウスです。

こんにちは。アンテナハウスです。

こんにちは。アンテナハウスです。

## フォントストレッチ

フォントストレッチでフォントを長体にしたり、平体にする例です。Antenna House Formatter ではパーセント、数値が指定できる値として拡張されています。

### 段落指定（上から）

1. ultra-condensed
2. extra-condensed
3. condensed
4. semi-condensed
5. normal
6. semi-expanded
7. expanded
8. extra-expanded
9. ultra-expanded

font-family="serif"

1. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
2. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
3. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
4. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
5. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
6. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
7. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
8. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
9. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.

font-family="sans-serif"

1. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
2. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
3. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
4. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
5. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
6. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
7. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
8. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
9. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.

Antenna House, Inc.

### 相対指定（上から）

1. normal
2. wider
3. wider\*wider
4. narrower
5. narrower\*narrower

font-family="serif"

1. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
2. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
3. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
4. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
5. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.

font-family="sans-serif"

1. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
2. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
3. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
4. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
5. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.

### パーセント指定（上から）

1. 50%
2. 75%
3. 100%
4. 150%
5. 200%

font-family="serif"

1. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
2. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
3. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
4. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
5. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.

font-family="sans-serif"

1. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
2. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
3. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
4. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
5. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.

Antenna House, Inc.

## 数値指定（上から）

1. 0.5
2. 0.75
3. 1.0
4. 1.5
5. 2.0

font-family="serif"

1. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
2. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
3. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
4. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
5. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.

font-family="sans-serif"

1. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
2. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
3. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
4. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
5. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.

Antenna House, Inc.

## 文字修飾

文字を斜体にしたり太字にしたり、その他修飾する例です。

これは**太字**です。

これは*斜体*です。

これは***太字と斜体の組み合わせ***です。

これは上付文字です。

これは下付文字です。

これはアンダーラインです。

これは~~オーバーライン~~です。

これは取消線です。

文字を**実線で囲む**例です。

文字を**ドットで囲む**例です。

文字を**赤にする**例です。

文字の背景を**水色にする**例です。

このように**文字単位**で**さまざまな修飾**を**単独**で、あるいは**いくつかの修飾を複合**して使うことが**できます**。

## 日本語の字体指定

<font-variant> に東アジア圏のテキスト描画を制御する <font-variant-east-asian> の設定により特定の OpenType の置換機能を持つ漢字など字体や表示フォントを指定できます。<font-variant-east-asian> へ字体を <east-asian-variant-values>、フォント表示を <east-asian-width-values> の値で指定します。値 <east-asian-variant-values> は、JIS 規格に対応した字体 jis78、jis83、jis90、jis04、他に simplified（簡体字）、traditional（繁体字）、hojo-kanji（補助漢字仕様）、nlckanji（国語審議会（NLC）仕様）の指定があります。値 <east-asian-width-values> は、full-width、half-width、third-width、quarter-width、proportional-width の指定があり、full-width は等幅フォント、proportional-width はプロポーショナル・フォントで表示します。ただし各指定は、フォントがその字体などの機能を持っている場合に限られます。

<font-variant-east-asian> 指定の表示には、フォントが指定する各値の機能を持っている必要があるため、本サンプルでは font-family="ヒラギノ明朝 Pro" を指定しています。環境に該当フォントが存在しない場合、FO からはサンプルの指定通りの組版が行われません。FO と共に公開されている PDF から出力結果をご覧ください。

字体の変更を行わない例です。通常の字体で表示されます。

鰺 壺 桧 藪 籠 学 国 麴 醬 搔 填 泡

次は同じフォント、同じ文字コードで、font-variant="jis78" を指定しています。

鰺 壺 檜 藪 箆 学 国 麴 醬 搔 填 泡

<east-asian-width-values> は、日本語の仮名文字などを等幅、プロポーショナルに描画できます。

font-variant の変更を行わない例です。

"プロポーショナル"に描画

font-variant="full-width" を指定しています。

" プロポーショナル " に描画

font-variant="proportional-width" を指定しています。

"プロポーショナル"に描画

## axf:font-face で追加のフォントを指定

axf:font-face の指定により Antenna House Formatter の設定を変更することなく、また動作環境にフォントをインストールせずに文書内で利用するフォントを追加指定することができます。axf:font-face には font-family、font-style、font-weight、src などの属性があります。font-family は追加指定するフォントのフォントファミリ名に使用される名前です。この値はフォントデータのファミリ名よりも優先されます。オプションの font-style 属性と font-weight 属性はフォントのスタイルと太さを指定します。font-family と同様に追加指定するフォントに対し使用されます。src は代替フォントファイルの場所をカンマで区切ったリストです。src にはフォントの代替としてインストールされているフォントの別名（エイリアス）も含めることができます。Antenna House Formatter は src リストから最初に使用可能なフォントを利用します。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:font-face](#)」をご参照ください。

### 宣言して追加のフォントを使用

<fo:declarations> 内にある axf:font-face を使用してフォントを指定します。各 URL は format() 関数で、フォントの種類を指定することができます。Antenna House Formatter は woff（Web Open Font Format）、woff2、truetype、opentype に対応しています。

```
<fo:declarations>
  <axf:font-face font-family="Shakespeare"
    src="url('../img/ILShakeFest.ttf') format('truetype')" />
</fo:declarations>
...
<fo:block font-family="Shakespeare" text-align="center">Shakespeare</fo:block>
```

*Shakespeare*

### 代替フォントファイル

以下の例では、リモートフォントファイルをダウンロードするよりローカルフォントファイルが優先して使用されます。いずれも存在しない場合は、別名のローカルフォントが使用されます。

```
<axf:font-face font-family="Not Available"
  font-style="italic"
  src="url('NotAvailable.ttf'),
    url(https://example.com/font/NotAvailable.ttf),
    local(Arial)" />
```

*Not Available*



## 複数プラットフォームでの別名フォント（エイリアス）

異なるプラットフォーム上で日本語フォントの別名（エイリアス）を作成します。

```
<axf:font-face  
  font-family="jpgothic"  
  src="local(HiraKakuPro-W3), local(Meiryo), local(IPAPGothic)" />
```

# ゴシック系のフォント

## axf:font-face で追加したフォントの Unicode 範囲を指定、およびフォントサイズを調整する

Antenna House Formatter V7.3 では、axf:font-face で追加フォントを指定する場合に、unicode-range 属性でこのフォントを適用する Unicode 範囲を指定することができます。また、size-adjust 属性でこのフォントのサイズを調整することができます。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:font-face](#)」をご参照ください。

### フォントの Unicode 範囲を指定する

unicode-range 属性でこのフォントを適用する Unicode 範囲を指定します。

```
<fo:declarations>
  <axf:font-face font-family="Shakespeare-Normal"
    src="url('../img/ILShakeFest.ttf') format('truetype')" />
  <axf:font-face font-family="Shakespeare"
    src="url('../img/ILShakeFest.ttf') format('truetype')"
    unicode-range="U+0040-0060" />
</s:declarations>
```

font-family="Shakespeare-Normal, serif" :

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

font-family="Shakespeare, serif" :

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

### フォントのサイズを変更する

日本語の文字は英語の大文字と同じくらいの大きさであるため、アルファベットより大きく見えます。

axf:font-face の size-adjust によって対象となるフォントのサイズを調整することができます。

```
<fo:declarations>
  <axf:font-face font-family="MySourceHanSans"
    src="url('../img/SourceHanSans-Regular.otf') format('opentype')" />
  <axf:font-face font-family="MySourceHanSans-adjust"
    src="url('../img/SourceHanSans-Regular.otf') format('opentype')"
    size-adjust="0.85" />
</s:declarations>
```

font-family="Arial, MySourceHanSans" : 日本語と英語が混在すると、Alphabet が小さく、日本語の文字が大きく見えます。日本語のフォントサイズを 10～15% 小さくすることで、英字とのバランスを取ることができます。

font-family="Arial, MySourceHanSans-adjust" : 日本語を少し小さくすると、日本語と Alphabet の大きさを揃えて見やすくなります。日本語のフォントサイズを 10～15% 小さくすることで、英字とのバランスを取ることができます。

## テキストシャドウ

`text-shadow` の指定でテキストシャドウを指定できます。`text-shadow="10px 10px 10px darkgray"` のように設定し、値は順に、水平方向の影のオフセット、垂直方向の影のオフセット、影のぼかし半径、影の色の指定となります。影のぼかし半径は非負でなければならず、0 ならぼかしはありません。テキストシャドウの指定は注意点などございますので、詳しくはオンラインマニュアル「[テキストシャドウ](#)」をご参照ください。なお、テキストシャドウのぼかし指定は Antenna House Formatter V6.4 から利用いただけます。

`text-shadow="8px 5px 0px green"`

Antenna House

`text-shadow="8px 5px 3px green"`

Antenna House

`text-shadow="8px 5px 6px green"`

Antenna House

影のオフセットが負の値のとき、正の値と逆側の領域が影となります。値の組は複数指定ができ、幾重にも影を付けられます。

`text-shadow="-8px -5px 0px green"`

Antenna House

`text-shadow="10px 10px 0px green, 20px 20px 0px lightgreen"`

Antenna House

`text-shadow="10px 10px 2px green, 20px 20px 4px lightgreen"`

Antenna House

Antenna House, Inc.

## 文字の輪郭

`axf:text-stroke` の指定で文字の輪郭を指定します。`color` は塗りつぶしの色を指定します。`axf:text-stroke="2pt green"` のように設定し、値は順に、文字の輪郭の幅、色の指定となります。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:text-stroke](#)」をご参照ください。なお、この機能は Antenna House Formatter V6.5 から利用いただけます。

`axf:text-stroke="2pt green" color="white"`

アンテナハウス株式会社

`axf:text-stroke="1pt darkred" color="gold"`

*Antenna House*

`axf:text-stroke="1pt orange" color="white"`

ฉันเป็นคนญี่ปุ่น

`axf:text-stroke="1pt green" color="white" text-shadow="5px 3px 3px gray"`

Antenna House

`axf:text-stroke="2pt rgba(255,0,0,0.3)" color="white" text-shadow="5px 3px 3px silver"`

Antenna House

`axf:text-stroke="1pt blue" color="transparent" text-shadow="5px 3px 3px lightblue"`

Antenna House

## ドロップキャップ

[axf:initial-letters](#) を使って、[ドロップキャップ](#)することができます。ドロップキャップとは、段落の先頭文字を大きくするレイアウトの方法です。この機能は Antenna House Formatter V7.0 から利用いただけます。

axf:initial-letters="3"

文字サイズを 3 行で指定


Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Fusce sit amet risus ut sapien vehicula aliquam molestie vitae lacus. In aliquam sem quis suscipit iaculis.

axf:initial-letters="3 adjacent"

ブロック内すべての行をインデント

Zorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Fusce sit amet risus ut sapien vehicula aliquam molestie vitae lacus. In aliquam sem quis suscipit iaculis.

段落の先頭にインライン画像を指定

 Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Fusce sit amet risus ut sapien vehicula aliquam molestie vitae lacus. In aliquam sem quis suscipit iaculis.

右から左へ書く言語

ואיל והכרה בכבוד הטבעי אשר לכל בני משפחת האדם  
ובזכויותיהם השוות והבלתי נפקעות הוא יסוד החופש, הצדק  
והשלום בעולם.

Antenna House, Inc.

ドロップキャップの高さは [axf:initial-letters-first-line-head-height](#) の指定により、最初の行の cap-height または x-height に合わせられます。しかし、フォントによっては cap-height、x-height の情報を持っていないことがあり、ドロップキャップされる文字と最初の行の高さが合わなくなります。このような場合、Antenna House Formatter の [フォント構築ファイル](#) で調整が可能です。フォント構築ファイルへの設定は例えば次のように行います。

```
<font-folder path="C:\*****">
  <font-entry file="frank.ttf" cap-height="0.46"/>
</font-folder>
```

ואיל והכרה בכבוד הטבעי אשר לכל בני משפחת האדם  
ובזכויותיהם השוות והבלתי נפקעות הוא יסוד החופש, הצדק  
והשלום בעולם.

フォント構築ファイルの調整により上のサンプルは次のように変化します。

調整した場合の結果

ואיל והכרה בכבוד הטבעי אשר לכל בני משפחת האדם  
ובזכויותיהם השוות והבלתי נפקעות הוא יסוד החופש, הצדק  
והשלום בעולם.

ואיל והכרה בכבוד הטבעי אשר לכל בני משפחת האדם  
ובזכויותיהם השוות והבלתי נפקעות הוא יסוד החופש, הצדק  
והשלום בעולם.

調整しない場合の結果

Antenna House, Inc.

その他、ドロップキャップのための指定を組み合わせると色々なレイアウトが作成できます。詳細はオンラインマニュアルの[ドロップキャップ](#)とこのFOをダウンロード後、エディタなどで参照してください。

レイズドキャップ<sup>o</sup>

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Fusce sit amet risus ut sapien vehicula aliquam molestie vitae lacus.

## 先頭行のみインデントを変更

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing  
 elit. Fusce sit amet risus ut sapien vehicula ali-  
 quam molestie vitae lacus. In aliquam sem quis  
 suscipit iaculis. In vitae nibh volutpat, blandit mi at,  
 cursus ipsum.

## 言語固有の文字選択

IJzel zorgt voor zeer gevaarlijke omstandigheden op de weg. IJzel zorgt voor zeer gevaarlijke omstandigheden op de weg.

Black ice creates very dangerous conditions on the road. Black ice creates very dangerous conditions on the road.

## スモールキャピタルとの組み合わせ

LOREM IPSUM dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Fusce sit amet risus ut sapien vehicula aliquam molestie vitae lacus. In aliquam sem quis suscipit iaculis. In vitae nibh volutpat, blandit mi at, cursus ipsum.

ドロップキャップと文字色を指定

**Z**orem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Fusce sit amet risus ut sapien vehicula aliquam molestie vitae lacus.

## 部分的なレイズドキャップ

gazing on that which seems to dim thy sight? What seest thou there? King Henry's diadem, encased with all the honours of the world? If so, gaze on, and grovel on thy face, until thy head be circled with the same.

Antenna House, Inc.

## 約物の突き出し

«Har De seet Oscarshall?» spør demiske Ungdomsven fra La Slutnig besøger Hovedstad med Videnskab og Kunst,

### 約物のサイズと位置を変える

«**A**ar De seet Oscarshall?» spør demiske Ungdomsven fra La Slutnig besøger Hovedstad med Videnskab og Kunst, end

先行する約物を表示しない

**H**ar De seet Oscarshall?» spør demiske Ungdomsven fra La Slutnig besøger Hovedstad med Videnskab og Kunst, end

## 縦書き

吾輩は猫である。名前はまだ無い。どこで生れたかとんと見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここから始めて人間といふものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生という人間中で一番癡悪な種族であつたそうである。この書生というのとは時々我々を捕えて煮て食うという話である。しかしその当時は何という考もなかつたから別段恐しいとも思わなかつた。

Antenna House, Inc.

## start フロートをドロップキャップされる文字よりも外側に置く

[axf:initial-letters-start-intrusion](#) を指定することで、フロートのアンカーがドロップキャップされる文字よりも後で、かつそのブロックの先頭行にあるとき、フロートをドロップキャップの start 側に配置することができます。この機能は Antenna House Formatter V7.4 から利用いただけます。

### axf:initial-letters-start-intrusion="none"

ドロップキャップを避けて after 側に配置します。

**L**orem ipsum dolor sit amet, (Float#1)→ consectetur adipiscing elit. Proin convallis, odio ut dignissim convallis, orci nisi tincidunt nunc, sit amet consequat sem urna ac elit. Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aenean commodo ligula eget dolor. Aenean massa. Cum sociis natoque penatibus et magnis dis parturient montes, nascetur ridiculus mus. Donec quam felis, ultricies nec, pellentesque eu, pretium quis, sem. Nulla consequat massa quis enim. Donec pede justo, fringilla vel, aliquet nec, vulputate eget, arcu. In enim justo, rhoncus ut, imperdiet a, venenatis vitae, justo.

(Float#1) Ut ac pharetra velit.  
Nullam enim felis, pulvinar vitae hendrerit vel, consectetur in nunc.

### axf:initial-letters-start-intrusion="first-line"

フロートをドロップキャップの start 側に配置します。

(Float#1) Ut ac pharetra velit.  
Nullam enim felis, pulvinar vitae hendrerit vel, consectetur in nunc.

**L**orem ipsum dolor sit amet, (Float#1)→ consectetur adipiscing elit. Proin convallis, odio ut dignissim convallis, orci nisi tincidunt nunc, sit amet consequat sem urna ac elit. Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aenean commodo ligula eget dolor. Aenean massa. Cum sociis natoque penatibus et magnis dis parturient montes, nascetur ridiculus mus. Donec quam felis, ultricies nec, pellentesque eu, pretium quis, sem. Nulla consequat massa quis enim. Donec pede justo, fringilla vel, aliquet nec, vulputate eget, arcu. In enim justo, rhoncus ut, imperdiet a, venenatis vitae, justo.

## ホワイトスペースの保持

一般的に C/C++ や Java など記述されたプログラムのソースコードの印刷は等幅フォントを使用します。また、コード内で使用されているホワイトスペースも重要な意味を持つため省略して印刷するわけにはいきません。このようなとき `fo:block` のプロパティを `font-family="monospace"`、`white-space="pre"` として、等幅フォントでコード内のホワイトスペースを無視せずに印刷できます。

下記の例は `fo:block` の内容にプログラムのソースコードを変更せずに、そのまま貼りつけたものです。

```
void main(void)
{
    printf("Hello, XML world!");
}
```

`white-space="pre"` は、ショートハンドプロパティです。次のように指定するのと同じです。

```
linefeed-treatment="preserve"
white-space-collapse="false"
white-space-treatment="preserve"
wrap-option="no-wrap"
```

`wrap-option="no-wrap"` を指定すると行が折り返さなくなります。行を折り返させるには `wrap-option="wrap"` (既定値) を指定する必要があります。



## テキストの大文字と小文字の調整

`text-transform` を指定して英文の単語の先頭を自動的に大文字にしたり、すべてを大文字にしたり、あるいは小文字にできます。

### 上から

1. capitalize
2. uppercase
3. lowercase
4. none

1.  
SCENE I. Orchard Of Oliver's House.  
Enter ORLANDO And ADAM ORLANDO  
As I Remember, Adam, It Was Upon This Fashion Bequeathed Me By Will But Poor A Thousand Crowns, And, As Thou Sayest, Charged My Brother, On His Blessing, To Breed Me Well: And There Begins My Sadness.

2.  
SCENE I. ORCHARD OF OLIVER'S HOUSE.  
ENTER ORLANDO AND ADAM ORLANDO  
AS I REMEMBER, ADAM, IT WAS UPON THIS FASHION BEQUEATHED ME BY WILL BUT POOR A THOUSAND CROWNS, AND, AS THOU SAYEST, CHARGED MY BROTHER, ON HIS BLESSING, TO BREED ME WELL: AND THERE BEGINS MY SADNESS.

3.  
scene i. orchard of oliver's house.  
enter orlando and adam orlando  
as i remember, adam, it was upon this fashion bequeathed me by will but poor a thousand crowns, and, as thou sayest, charged my brother, on his blessing, to breed me well: and there begins my sadness.

4.  
SCENE I. Orchard of Oliver's house.  
Enter ORLANDO and ADAM ORLANDO  
As I remember, Adam, it was upon this fashion bequeathed me by will but poor a thousand crowns, and, as thou sayest, charged my brother, on his blessing, to breed me well: and there begins my sadness.

## 文字列の置換

[axf:text-replace](#) を使って組版時に文字列の置換を行います。文字列は対で指定します。対の最初の文字列を 2 番目の文字列にそのまま置換します。'Antenna House' のようにスペースを含む文字列を指定する場合は、文字列を引用符で囲んでください。

元の文字列

sample. 1999-2008, sample. sample. Antenna House, sample. sample. Antenna House, sample.

axf:text-replace="2008 2010"を指定

sample. 1999-2010, sample. sample. Antenna House, sample. sample. Antenna House, sample.

axf:text-replace="2008 2010 Antenna AAA"を指定

sample. 1999-2010, sample. sample. AAA House, sample. sample. AAA House, sample.

axf:text-replace="2008 2010 'Antenna House' AAA"を指定

sample. 1999-2010, sample. sample. AAA, sample. sample. AAA, sample.

axf:text-replace='2008 2010 "Antenna House" AAA'を指定

sample. 1999-2010, sample. sample. AAA, sample. sample. AAA, sample.

axf:text-replace='2008 2010 "Antenna House" "AAA's"'を指定

sample. 1999-2010, sample. sample. AAA's, sample. sample. AAA's, sample.

axf:text-replace="sample. " ""を指定

1999-2008, Antenna House, Antenna House, sample.

# グリフの方位

グリフの方位を設定できます。横書きのテキストに対しては `glyph-orientation-horizontal` の値として、縦書き（`writing-mode` が `tb-rl`）のテキストに対しては `glyph-orientation-vertical` の値としてグリフの方位を指定します。

上から

- 1. `glyph-orientation-horizontal="0deg"`
- 2. `glyph-orientation-horizontal="90deg"`
- 3. `glyph-orientation-horizontal="180deg"`
- 4. `glyph-orientation-horizontal="270deg"`

- 1. あいうえおかきくけこ-ABCDEFGH
- 2. あいうえおかきくけこ-ABCDEFGH
- 3. あいうえおかきくけこ-ABCDEFGH
- 4. あいうえおかきくけこ-ABCDEFGH

## グリフの方位を定めるサンプル（縦書きテキスト）

右から

1. `glyph-orientation-vertical="auto"`
  2. `glyph-orientation-vertical="0deg"`
  3. `glyph-orientation-vertical="90deg"`
  4. `glyph-orientation-vertical="180deg"`
  5. `glyph-orientation-vertical="270deg"`
1. あいうえおかきくけこ-ABCDEFG  
2. あいうえおかきくけこ-ABCDEF  
3. あいうえおかきくけこ-ABCDEFG  
4. あいうえおかきくけこ-ABCDEF  
5. あいうえおかきくけこ-EDCBA

Antenna House, Inc.

## 引用符の向きを指定

[axf:quotetype](#) により引用符の向きを指定できます。指定できる値は QU、OP、CL です。QU は向きのない引用符、OP は開き引用符、CL は閉じ引用符とみなします。この拡張を使用することで U+0022 のような向きのない引用符に対して明示的に向きを指定したり、特定の言語用に引用符の向きを明示、変更することができます。axf:quotetype の指定は引用符以外の文字に指定しても無効です。引用符の扱いについて詳しくはマニュアル「技術的資料」の「[引用符](#)」もご参照ください。この機能は Antenna House Formatter V7.1 から利用いただけます。

### axf:quotetype の指定なし

Quotation Mark(U+0022: ") は向きのない引用符 QU クラスです。QU クラスは Unicode の行分割仕様により、その前と後の行分割が禁止されています。そのため、次の例のように U+0022 の前の文字で改行することになります。

XSL-FO を使った"組版"、CSS を使った HTML などの"組版"ができます。

むかしむかしあるところにおじいさんと"おばあさん"がいました。

### axf:quotetype="OP"、"CL" 指定

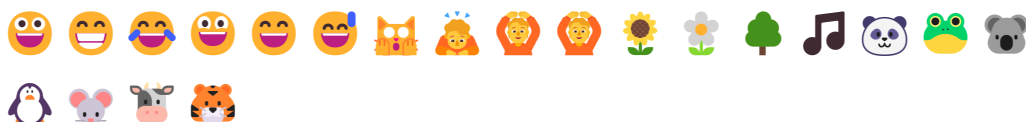
Quotation Mark(U+0022: ") に OP、CL を明示することで、それぞれの向きに準じた改行が行われます。

XSL-FO を使った"組版"、CSS を使った HTML などの"組版"ができます。

むかしむかしあるところにおじいさんと"おばあさん"がいました。

## 絵文字のサポート

Antenna House Formatter V7.3 は、絵文字 ([UTS#51: Unicode Emoji](#)) を一部サポートしています。詳しくはオンラインマニュアル「[絵文字](#)」をご参照ください。



### 縦書きの絵文字もサポート

axf:text-combine-horizontal="emoji"を指定することで縦書き中の絵文字も正しい向きで表示されます。



axf:text-combine-horizontal="emoji" を指定すると



## ルビ

[axf:ruby](#)、[axf:ruby-base](#)、[axf:ruby-text](#) によってルビを表現できます。[axf:ruby-base](#) が親文字、[axf:ruby-text](#) がルビ文字です。ひとつの [axf:ruby-base](#) にはひとつの [axf:ruby-text](#) が対応し、これをルビコンテナとして [axf:ruby](#) の中に複数配置して表現します。ルビには、三つの形態があり次のように分類されます。

### モノルビ

個々のルビコンテナが独立で、隣のルビの親文字にルビが掛かりません。

きょう と ふ  
京 都 府

### グループルビ

ひとつのルビコンテナだけから成り、親文字全体にルビを均等に配置します。

きょうとふ  
京 都 府

### 熟語ルビ

熟語ルビは、ひとつ以上のルビコンテナから成るルビ構造です。ルビが親文字をはみ出すような場合、隣の親文字へルビを掛けるなどして位置を調整します。

きょうとふ  
京 都 府

ルビコンテナとルビコンテナの間では行分割が可能です。

ぎょう  
鬼門の方角を凝  
し  
視する。

## 縦書き文書におけるルビ

`<axf:ruby>`、`<axf:ruby-base>`、`<axf:ruby-text>` によってルビを表現でき、Antenna House Formatter は縦書き文書へのルビもサポートしています。`<axf:ruby-base>` が親文字、`<axf:ruby-text>` がルビ文字です。ひとつの `<axf:ruby-base>` にはひとつの `<axf:ruby-text>` が対応し、これをルビコンテナとして `<axf:ruby>` の中に複数配置して表現します。ルビには、三つの形態があり次のように分類されます。

### モノルビ

個々のルビコンテナが独立で、隣のルビの親文字にルビが掛かりません。

電子ファイルの  
形式としての  
PDFを大雑把に  
いうと紙のページ  
を電子的に表現し  
たものである。

### グループルビ

ひとつのルビコンテナだけから成り、親文字全体にルビを均等に配置します。

電子ファイルの  
形式としての  
PDFを大雑把に  
いうと紙のページ  
を電子的に表現し  
たものである。

### 熟語ルビ

熟語ルビは、ひとつ以上のルビコンテナから成るルビ構造です。ルビが親文字をはみ出すような場合、隣の親文字へルビを掛けるなどして位置を調整します。

電子ファイルの  
形式としての  
PDFを大雑把に  
いうと紙のページ  
を電子的に表現し  
たものである。



このページの例は「日本語組版処理の要件」の第3章、3.3「ルビと圈点処理」から抜粋したものです。

鬼門 <small>きもん</small> の方角 <small>ほうかく</small> を凝視 <small>ぎようし</small> する	鬼門 <small>きもん</small> の方角 <small>ほうかく</small> を凝視 <small>ぎようし</small> する	茅場町 <small>かやばちよう</small>	田舎 <small>いなか</small>	模型 <small>モデル</small>	editor	に幟 <small>のぼり</small> を	東南 <small>とうなん</small> の方角 <small>たつみ</small>
		茅場町 <small>かやばちよう</small>	埧 <small>るつば</small>	顧客 <small>クライアント</small>	編集者 <small>editor</small>	に幟 <small>のぼり</small> を	
			紫陽花 <small>あじさい</small>	境界面 <small>インターフェイス</small>			

## ルビの配置

[axf:ruby-align](#) によりルビの配置を指定できます。また、親文字に対しての配置を [axf:ruby-position](#)、ルビと親文字の間隔を [axf:ruby-offset](#)、ルビに小書きのかなを許すかどうかを [axf:ruby-small-kana](#) により指定できます。

### axf:ruby-align（ルビの配置指定）

start 側、center（中央）、end 側 への配置指定

ruby-align="start"

ち  
地

ruby-align="center"

ち  
地

ruby-align="end"

ち  
地

均等割り付け distribute-space（ルビ前後を空ける）、distribute-letter（ルビ前後を空けない）の配置指定

ruby-align="distribute-space"

あじさい  
紫陽花

ruby-align="distribute-letter"

あじさい  
紫陽花

### axf:ruby-position（親文字に対する配置指定）

ルビを親文字の before 側、after 側 への配置指定

axf:ruby-position="before"（既定値）

あじさい  
紫陽花

axf:ruby-position="after"

紫陽花  
あじさい

### axf:ruby-offset（ルビと親文字の間隔の指定）

ルビと親文字の間隔の指定。間隔は number（ルビのフォントサイズと掛け合わせた値）、length（長さ指定）、percentage（フォントサイズと掛け合わせた値）で指定します。

axf:ruby axf:ruby-offset="0pt"（既定値）

あじさい  
紫陽花

axf:ruby axf:ruby-offset="5pt"

あじさい  
紫陽花

### axf:ruby-small-kana（ルビへの小文字の許可を指定）

auto（何もしませんが）、convert（小書きのかなは普通のかなに変換されます）

axf:ruby-small-kana="auto"（既定値）

ちよつと  
一寸

axf:ruby-small-kana="convert"

ちよつと  
一寸

## ルビの文字への掛け方

[axf:ruby-overhang](#) によりルビを隣の文字にどのように掛けるか指定します。ルビが親文字より長い場合は、[axf:ruby-limit-overhang](#) で掛かる量の限界値を指定できます。また、ルビが親文字と同じ幅になるよう [axf:ruby-condense](#) でルビのテキストの伸縮を指定できます。ルビが親文字より短い場合は [axf:ruby-limit-space](#) で前後の空き量を指定できます。

### axf:ruby-overhang（ルビを隣の文字へ掛ける方法の設定）

none（隣の文字へ掛けません）、start（start 側の文字に掛けます）、end（end 側の文字に掛けます）

axf:ruby-overhang="none"

つばめ  
あ 燕 あ

axf:ruby-overhang="start"

つばめ  
あ 燕 あ

axf:ruby-overhang="end"

つばめ  
あ 燕 あ

except-kanji（隣が漢字のときは掛けません）、except-katakana（隣が片仮名のときは掛けません）

axf:ruby-overhang="except-kanji"

つばめ  
あ 燕 ア

axf:ruby-overhang="except-katakana"

つばめ  
あ 燕 ア

except-start-open-parenthesis（start 側が開き括弧類のときは掛けません）、except-end-close-parenthesis（end 側が閉じ括弧類のときは掛けません）

axf:ruby-overhang="except-start-open-parenthesis"

つばめ  
( 燕 あ

axf:ruby-overhang="except-end-close-parenthesis"

つばめ  
あ 燕 )

### axf:ruby-limit-overhang（ルビが親文字より長い場合の隣の文字に掛ける限界量）

限界量は number（ルビのフォントサイズと掛け合わせた値）、length（長さ指定）、percentage（フォントサイズと掛け合わせた値）で指定します。

axf:ruby-limit-overhang="1.0"（既定値） axf:ruby-limit-overhang="0"

つばめ  
あ 燕 あ

つばめ  
あ 燕 あ

### axf:ruby-condense（ルビが親文字より長い場合のルビテキストの伸縮量）

伸縮の限界量を none（ルビのテキストを伸縮しない）、number（ルビのフォントサイズを掛け合わせた値）、percentage（フォントサイズと掛け合わせた値）で指定します。

axf:ruby-condense="none"（既定値）

つばめ  
あ 燕 あ

axf:ruby-condense="0.75"

つばめ  
あ 燕 あ

axf:ruby-condense="50%"

つばめ  
あ 燕 あ

### axf:ruby-limit-space（ルビが親文字より短い場合の前後のアキ量の限界）

アキ量の限界は **number**（ルビのフォントサイズと掛け合わせた値）、**length**（長さ指定）、**percentage**（フォントサイズと掛け合わせた値）で指定、**none** はアキ量の制限をしません。

axf:ruby-limit-space="1.0"（既定値）

なげきの聖母像

axf:ruby-limit-space="0"

なげきの聖母像

axf:ruby-limit-space="none"

なげきの聖母像

## ルビ文字の外観

Antenna House Formatter は、ルビ文字の外観を制御するための複数の[拡張プロパティ](#)を用意しています。拡張プロパティによりフォントサイズ、フォントの太さ、フォントスタイルおよび色などを指定できます。

### axf:ruby-font-size（ルビのフォントサイズを指定）、axf:ruby-minimum-font-size（ルビの最小フォントサイズを指定）

axf:ruby-font-size は親文字のフォントサイズの相対、または絶対サイズで指定できます。

font-size	axf:ruby-font-size			
	0.5（既定値）	0.3em	8pt	5pt
30pt	つばめ あ燕あ	つばめ あ燕あ	つばめ あ燕あ	つばめ あ燕あ
12pt	つばめ あ燕あ	つばめ あ燕あ	つばめ あ燕あ	つばめ あ燕あ
8pt	つばめ あ燕あ	つばめ あ燕あ	つばめ あ燕あ	つばめ あ燕あ

同じ例でルビの最小フォントサイズを axf:ruby-minimum-font-size="6pt" と指定すると次のようになります。

font-size	axf:ruby-font-size			
	0.5（既定値）	0.3em	8pt	5pt
30pt	つばめ あ燕あ	つばめ あ燕あ	つばめ あ燕あ	つばめ あ燕あ
12pt	つばめ あ燕あ	つばめ あ燕あ	つばめ あ燕あ	つばめ あ燕あ
8pt	つばめ あ燕あ	つばめ あ燕あ	つばめ あ燕あ	つばめ あ燕あ

### axf:ruby-small-kana（ルビに小書きのかなを許すかどうかを指定）

ルビを正確に読み取るためにルビに小書きのかなが必要になる場合がありますが、ルビが非常に小さいと判読できません。axf:ruby-small-kana="convert" を使用すると、小書きのかなが普通のかなに変換されます。

font-size	axf:ruby-small-kana="auto"（既定値）	axf:ruby-small-kana="convert"
30pt	ちよつと 一寸	ちよつと 一寸
12pt	ちよつと 一寸	ちよつと 一寸
8pt	ちよつと 一寸	ちよつと 一寸

### axf:ruby-color

axf:ruby-color が指定されていない場合は、color と同じになります。

axf:ruby-color="" (既定値)

つばめ  
あ燕あ

color="green"

つばめ  
あ燕あ

axf:ruby-color="green"

つばめ  
あ燕あ

### axf:ruby-font-family

axf:ruby-font-family が指定されていない場合は、font-family と同じになります。

axf:ruby-font-family="" (既定値)

つばめ  
あ燕あ

axf:ruby-font-family="sans-serif"

つばめ  
あ燕あ

axf:ruby-font-family="serif"

つばめ  
あ燕あ

### axf:ruby-font-weight

axf:ruby-font-weight が指定されていない場合は、font-weight と同じになります。

axf:ruby-font-weight="" (既定値)

つばめ  
あ燕あ

axf:ruby-font-weight="bold"

つばめ  
あ燕あ

axf:ruby-font-weight="lighter"

つばめ  
あ燕あ

### axf:ruby-font-style

axf:ruby-font-style が指定されていない場合は、font-style と同じになります。

axf:ruby-font-style="" (既定値)

Le Comte de Monte-Cristo  
『モンテ・クリスト伯』

axf:ruby-font-style="normal"

Le Comte de Monte-Cristo  
『モンテ・クリスト伯』

axf:ruby-font-style="italic"

Le Comte de Monte-Cristo  
『モンテ・クリスト伯』

### axf:ruby-font-stretch

axf:ruby-font-stretch が指定されていない場合は、font-stretch と同じになります。

axf:ruby-font-stretch="" (既定値)

つばめ  
あ燕あ

axf:ruby-font-stretch="condensed"

つばめ  
あ燕あ

axf:ruby-font-stretch="expanded"

つばめ  
あ燕あ

## 圏点とルビ

[axf:text-emphasis-style](#) により文字列に対して圏点を付ける指定ができます。親文字との間隔、圏点のフォントやサイズなども指定できます。圏点は CJK 以外では Latn、Cyr、Grek、Zyyy のスクリプトにのみ適用できます。また、ルビの親文字に圏点を付ける併用指定もできますが、ルビ文字に圏点は付けられません。

### 圏点

● ● ● ● ●  
ルビと圏点

### 圏点のスタイル

圏点のスタイルは dot (点)、circle (円)、double-circle (二重円)、triangle (三角形)、sesame (ゴマ点) を指定します。filled で塗りつぶし、open で白抜き文字を指定します。任意の文字列を圏点として指定できます。

● ● ○ ○ ▲ ▲ △ △ 、 、 、 、 A A  
圏点 圏点 圏点 圏点 圏点 圏点 圏点

### 圏点とルビの併用

ルビと圏点を同じ側へ付けるとき、圏点はルビの外側に付きます。

● ● ● ● ●  
ルビと圏点

### 圏点とルビの併用（圏点を揃える）

axf:text-emphasis-offset 指定で圏点を揃えます。

● ● ● ● ●  
ルビと圏点

### 圏点を親文字に付ける方向

axf:text-emphasis-position 指定で圏点を親文字の before 側、または、after 側へ付けます。

● ● ● ● ●  
圏点 圏点

### 圏点を付けない文字

axf:text-emphasis-skip 指定で圏点を付けない文字を指定します。spaces (空白文字)、punctuation (約物)、symbols (シンボル)、narrow (半角文字など) を除きます。

・ ・  
圏点 (AAA)

## 多言語組版

Antenna House Formatter は、ラテン文字、キリル文字、ギリシャ文字、日本文字、中国簡体字、中国繁体字、ハングル、アラビア文字、ヘブライ文字、デヴァナガリ文字、タイ文字など、Unicode で扱えるほとんどの文字を扱うことができ、80 以上の言語に対応しています。これは、いくつかの言語で組版を行ったサンプルとなります。ミャンマー文字（Burmese（Myanmar））は、Antenna House Formatter V6.3 から扱えます。エチオピア文字（Ethiopic）とシリア文字（Syriac）は、Antenna House Formatter V6.6 から扱えます。アルメニア文字（Armenian）とジョージア文字（Georgian）は、Antenna House Formatter V7.1 から扱えます。

多言語のサンプルは[世界人権宣言](#)の一節です。Telugu、Oriya、Sinhala、Ethiopic、Syriac は [Wikipedia](#) から引用しました。

### English

All human beings are born free and equal in dignity and rights. They are endowed with reason and conscience and should act towards one another in a spirit of brotherhood.

### French

Tous les êtres humains naissent libres et égaux en dignité et en droits. Ils sont doués de raison et de conscience et doivent agir les uns envers les autres dans un esprit de fraternité.

### German

Alle Menschen sind frei und gleich an Würde und Rechten geboren. Sie sind mit Vernunft und Gewissen begabt und sollen einander im Geist der Brüderlichkeit begegnen.

### Dutch

Alle mensen worden vrij en gelijk in waardigheid en rechten geboren. Zij zijn begiftigd met verstand en geweten, en behoren zich jegens elkander in een geest van broederschap te gedragen.

### Spanish

Todos los seres humanos nacen libres e iguales en dignidad y derechos y, dotados como están de razón y conciencia, deben comportarse fraternalmente los unos con los otros.

### Portuguese

Todos os seres humanos nascem livres e iguais em dignidade e direitos. São dotados de razão e consciência e devem agir em relação uns aos outros com espírito de fraternidade.

Antenna House, Inc.



**Greek**

'Ολοι οι άνθρωποι γεννιούνται ελεύθεροι και ίσοι στην αξιοπρέπεια και τα δικαιώματα. Είναι προικισμένοι με λογική και συνείδηση, και οφείλουν να συμπεριφέρονται μεταξύ τους με πνεύμα αδελφοσύνης.

**Russian**

Все люди рождаются свободными и равными в своем достоинстве и правах. Они наделены разумом и совестью и должны поступать в отношении друг друга в духе братства.

**Japanese**

すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。

**Chinese (Simplified)**

人人生而自由，在尊严和权利上一律平等。他们赋有理性和良心，并应以兄弟关系的精神相对待。

**Chinese (Traditional)**

人人生而自由，在尊嚴和權利上一律平等。他們賦有理性和良心，並應以兄弟關係的精神相對待。

**Korean**

모든 인간은 태어날 때부터 자유로우며 그 존엄과 권리에 있어 동등하다. 인간은 천부적으로 이성과 양심을 부여받았으며 서로 형제애의 정신으로 행동하여야 한다.

**Vietnamese**

Tất cả mọi người sinh ra đều được tự do và bình đẳng về nhân phẩm và quyền. Mọi con người đều được tạo hoá ban cho lý trí và lương tâm và cần phải đối xử với nhau trong tình bằng hữu.

**Arabic**

يولد جميع الناس أحرارًا متساوين في الكرامة والحقوق. وقد وهبوا عقلاً وضميراً وعليهم أن يعامل بعضهم بعضاً بروح الإخاء.

**Urdu**

تمام انسان آزادی اور حقوق و عزت کے اعتبار سے برابر پیدا ہوئے ہیں۔ انہیں ضمیر اور عقل و دیعت ہوئی ہے۔ اس لئے انہیں ایک دوسرے کے ساتھ بھائی چارے کا سلوک کرنا چاہیے۔

## Hebrew

כל בני אדם נולדו בני חורין ושווים בערכם ובזכויותיהם. כולם חנונו בתבונה ובמצפון, לפיכך חובה עליהם לנהוג איש ברעהו ברוח של אהבה.

## Hindi

सभी मनुष्यों को गौरव और अधिकारों के मामले में जन्मजात स्वतन्त्रता और समानता प्राप्त है। उन्हें बुद्धि और अन्तरात्मा की देन प्राप्त है और परस्पर उन्हें भाईचारे के भाव से बर्ताव करना चाहिए।

## Bengali

সমস্ত মানুষ স্বাধীনভাবে সমান মর্যাদা এবং অধিকার নিয়ে জন্মগ্রহণ করে। তাঁদের বিবেক এবং বুদ্ধি আছে; সুতরাং সকলেরই একে অপরের প্রতি ভ্রাতৃস্নেহের মনোভাব নিয়ে আচরণ করা উচিত।

## Panjabi

ਸਾਰਾ ਮਨੁੱਖੀ ਪਰਿਵਾਰ ਆਪਣੀ ਮਹਿਮਾ, ਸ਼ਾਨ ਅਤੇ ਹੱਕਾਂ ਦੇ ਪੱਖੋਂ ਜਨਮ ਤੋਂ ਹੀ ਆਜ਼ਾਦ ਹੈ ਅਤੇ ਸੁਤੇ ਸਿੱਧ ਸਾਰੇ ਲੋਕ ਬਰਾਬਰ ਹਨ। ਉਨ੍ਹਾਂ ਸਭਨਾ ਨੂੰ ਤਰਕ ਅਤੇ ਜ਼ਮੀਰ ਦੀ ਸੰਗਤ ਮਿਲੀ ਹੋਈ ਹੈ ਅਤੇ ਉਨ੍ਹਾਂ ਨੂੰ ਭਰਾਤਰੀਭਾਵ ਦੀ ਭਾਵਨਾ ਰਖਦਿਆਂ ਆਪਸ ਵਿਚ ਵਿਚਰਣਾ ਚਾਹੀਦਾ ਹੈ।

## Gujarati

પ્રતિજ્ઞા અને અધિકારોની દૃષ્ટિએ સર્વ માનવો જન્મથી સ્વતંત્ર અને સમાન હોય છે. તેમનામાં વિચારશક્તિ અને અંતઃકરણ હોય છે અને તેમણે પરસ્પર બંધુત્વની ભાવનાથી વર્તવું જોઈએ.

## Tamil

மனிதப் பிறிவிபின்னர் சகலரும் சுதந்திரமாகவே பிறக்கின்றனர்; அவர்கள் மதிப்பிலும், உரிமைகளிலும் சமமானவர்கள், அவர்கள் நியாயத்தையும் மனச்சாட்சியையும் இயற்பண்பாகப் பெற்றவர்கள். அவர்கள் ஒருவருடனொருவர் சகோதர உணர்வுப் பாங்கில் நடந்துகொள்ளல் வேண்டும்.

## Kannada

ಎಲ್ಲಾ ಮಾನವರೂ ಸ್ವತಂತ್ರರಾಗಿಯೇ ಜನಿಸಿದ್ದಾರೆ. ಹಾಗೂ ಘನತೆ ಮತ್ತು ಹಕ್ಕುಗಳಲ್ಲಿ ಸಮಾನರಾಗಿದ್ದಾರೆ. ವಿವೇಕ ಮತ್ತು ಅಂತಃಕರಣ ಗಳನ್ನು ಪದವರಾದ್ದ ರಿಂದ ಅವರು ಪರಸ್ಪರ ಸಹೋದರ ಭಾವದಿಂದ ವರ್ತಿಸಬೇಕು.

## Malayalam

മനുഷ്യരെല്ലാവരും തുല്യാവകാശങ്ങളോടും അനുസ്ഥോടും സ്വാതന്ത്ര്യത്തോടുംകൂടി ജനിച്ചിട്ടുള്ളവരാണ്. അന്യോന്യം ഭ്രാതൃഭാവത്തോടെ പെരുമാറുവാനാണ് മനുഷ്യനു വിവേകബുദ്ധിയും മനസ്സാക്ഷിയും സിദ്ധമായിരിക്കുന്നത്.

## Thai

มนุษย์ทั้งหลายเกิดมามีอิสระและเสมอภาคกันในเกียรติศักดิ์[เกียรติศักดิ์]และสิทธิ ต่างมีเหตุผลและ-  
มโนธรรม และควรปฏิบัติต่อกันด้วยเจตนารมณ์แห่งการเคารพ

មនុស្សទាំងអស់ កើតមកមានសេរីភាព និងសមភាព ក្នុងផ្នែកសេចក្តីថ្លៃថ្នូរនិងសិទ្ធិ។ មនុស្ស មានវិចារណញ្ញាណនិង  
សតិសម្បជញ្ញៈជាប់ពីកំណើត ហើយគប្បីប្រព្រឹត្តចំពោះគ្នាទៅវិញទៅមក ក្នុង ស្មារតីភាគរភាពជាបងប្អូន។

ມະນຸດເກີດມາມີສິດເສລີພາບ ແລະ ສະເໝີໜ້າກັນໃນທາງກຽດຕິສັກ ແລະ ທາງສິດດ້ວຍມະນຸດ  
ມີສະຕິສຳປັດຊັບຍະ (ຮັຕິຮຸ້ວ) ແລະ ມີມະນະໃນທຳລິ້ງຕ້ອງປະພຶດຕົນຕໍ່ກັນໃນທາງພິ່ນ້ອງ.

ఆంధ్ర ప్రదేశ్ మరియు తెలంగాణ రాష్ట్రాల అధికార భాష తెలుగు. భారత దేశం లో తెలుగు మాతృభాషగా మాట్లాడే 8.7 కోట్ల (2001 ) జనాభాతో [1] ప్రాంతీయ భాషలలో మొదటి స్థానంలో ఉంది.

ଖୋଜିବାକୁ ଚାହୁଁଥିବା ପ୍ରସଙ୍ଗର ପଥନାମର ଉପରେ କିମ୍ବା ଶେଷ ଉପରେ କ୍ଲିକ୍ କରନ୍ତୁ ।

ශ්‍රී ලංකාවේ ප්‍රධාන ජාතික වන සිංහල ජනයාගේ මව් බය සිංහල වෙයි. අද වන විට මිලියන 20 කට අධික සිංහල සහ මිලියන 3කට අධික සිංහල නොවන ජනගහනයක් සිංහල භාෂාව භාවිත කරති.

၁၉၄၈ ခုနှစ်ဒီဇင်ဘာလ ၁၀ ရက်နေ့တွင် ကမ္ဘာ့ကုလသမဂ္ဂအဖွဲ့ ညီလာခံ အစည်းအဝေးကြီးက လူ့အခွင့်အရေး

ውኩዲዲዩ ዓለም-ዓቀፍ፣ የዕውቀትን ማከማቻ፣ ድረ-ገጽ ነው። ውኩዲዲዩ የፆራ ነው። ሁሉም ሰው በመዝገበ ዕውቀቱ እንዲሳተፍ፣ ተፈቅዷል። አዳዲስ ተሳታፊዎች፣ የጀማሪዎች ማየጭን በመጫን በፍጥነት ስለ ድረ-ገጹ መረጃ ማግኘት ይችላሉ።

[illegible]

Բոլոր մարդիկ ծնվում են ազատ ու հավասար իրենց արժանապատվությամբ ու իրավունքներով։  
Նրանք ունեն բանականություն ու խիղճ և միմյանց պետք է եղբայրաբար վերաբերվեն։

ყველა ადამიანი იზადება თავისუფალი და თანასწორი თავისი ღირსებითა და უფლებებით. მათ მინიჭებული აქვთ გონება და სინდისი და ერთმანეთის მიმართ უნდა იქცეოდნენ ძმობის სულისკვეთებით.

## オランダ語のレイアウト

W3C 国際化ワーキンググループは、<https://w3c.github.io/eurreq/gap-analysis/latn-nl-gap> で「Dutch Gap Analysis」のドキュメントを管理しています。Antenna House Formatter は「Dutch Gap Analysis」で、Web および eBook がオランダ語のサポートに欠けていると指摘しているレイアウト機能の多くを実装しています。これには、オランダ語固有のハイフネーションと「IJ」の正しい処理が含まれます。

### Hyphenation

Antenna House Formatter には、オランダ語のハイフネーション規則が組み込まれています。

Alle mensen worden vrij en gelijk in waardig- elkander in een geest van broederschap te ge-  
heid en rechten geboren. Zij zijn begiftigd met dragen.  
verstand en geweten, en behoren zich jegens

「Dutch Gap Analysis」では、ハイフンでつながれると文字が変わるいくつかのオランダ語を挙げています。  
‘cafeetje → café-tje、autootje → auto-tje、skiërs → ski-ers’ です。これらを正しくハイフネーションします。

cafeetje, café-  
tje

autootje, auto-  
tje

skiërs, ski-  
ers

オランダ語のハイフネーションの修正は、Antenna House Formatter の hyphenation ディレクトリ内の nl.xml で追加できます。修正方法はオンラインマニュアルの「[例外辞書](#)」をご参照ください。nl.xml は Antenna House Formatter V7.1MR1 以降の hyphenation ディレクトリに格納されています。

### Letter-spacing

Antenna House Formatter は「IJ」、「ij」のレタースペースを1文字として「IJ S R V IJ ij s e v ij」のように扱えます。Antenna House Formatter V7.2 以降では、オプション設定ファイルの [text-replace-Dutch-IJ](#) の設定で「IJ」などを1文字として置換するかどうかを指定できます。true（既定値）で「IJ」→ U+0132、「ij」→ U+0133 のように1文字へ置換させ、false で1文字への置換を無効にできます。

### Capitalization

Antenna House Formatter は text-transform による変換時に「ij」を「IJsrvij」のように1文字として大文字にします。

### ドロップキャップ

Antenna House Formatter は、ブロックの先頭にある「IJ」を頭文字として扱えます。

**IJ**zel zorgt voor zeer gevaarlijke omstandigheden op de weg. IJzel zorgt voor zeer gevaarlijke omstandighe-  
den op de weg.  
**B**lack ice creates very dangerous conditions on the road. Black ice creates very dangerous conditions on the  
road.

## Vertical text

Antenna House Formatter は縦書き時にブロック先頭の「IJ」を 1 文字として扱えます。

z	r	IJ
e	g	z
e	t	e
r		l
	v	
	o	z
	o	o
	r	

## 縦書き

ページの本文領域 (region-body) に `writing-mode="tb-rl"` を指定して本文全体を縦書きにした例です。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。

人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

即ち、PDF ファイルには一枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさで、なんと  
いう文字を書くか、どんな太さで、どんな種類 (直線、点線、...) の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令がページ毎  
に記録されている。

Antenna House, Inc.

## ページの一部を縦書きにするサンプル

fo:block-container を使用してページ内で部分的に縦書きにした例です。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。

人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

即ち、PDF ファイルには一枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさに配置するか、といった命令がページ毎に記録されている。

このようにページの中に縦書きと横書きの領域を混在させることもできます。

## 文書情報の埋め込み

PDF には、著者やタイトルなどの文書情報を埋め込んでおくことができます。Antenna House Formatter では、独自拡張した要素 `axf:document-info` を用いてそれらを指定できます。また、PDF の表示方法やメニュー、ツールバーを隠す指定もできます。詳しくは、オンラインマニュアルの「[axf:document-info](#)」をご参照ください。PDF に埋め込まれたこれらの情報は、Adobe Acrobat または Reader で参照できます。

### 指定例

`axf:document-info` 拡張要素は、`fo:declarations` の子、または `fo:page-sequence` の最初の子要素に置くことができます（分冊出力のときにのみ有効）。また、そのプロパティは `name` と `value` で、いずれも必須のプロパティです。指定できる `name` の値と指定方法は次のようになります。`name` へ指定できる値 `createdate`、`modifydate` は Antenna House Formatter V6.6 MR5 から利用いただけます。

```
<fo:root xmlns:fo="http://www.w3.org/1999/XSL/Format"
  xmlns:axf="http://www.antennahouse.com/names/XSL/Extensions">
  ...
  <fo:declarations>
    <axf:document-info name="document-title" value="文書のタイトルを指定します"/>
    <axf:document-info name="subject" value="文書のサブタイトルを指定します"/>
    <axf:document-info name="author" value="著者名を指定します"/>
    <axf:document-info name="author-title" value="文書の著者の役職などを指定します"/>
    <axf:document-info name="description-writer" value="文書の説明の書き手を指定します"/>
    <axf:document-info name="keywords" value="キーワードをカンマ区切りで列挙します"/>
    <axf:document-info name="copyright-status" value="著作権のステータスを指定します"/>
    <axf:document-info name="copyright-notice" value="著作権の情報を指定します"/>
    <axf:document-info name="copyright-info-url" value="著作権情報の URL を指定します"/>
    <axf:document-info name="xmp" value="PDF に埋め込む XMP の URL を指定します"/>
    <axf:document-info name="pagemode" value="文書を開いたときの表示方法を指定します"/>
    <axf:document-info name="pagelayout" value="文書を開いたとき、使われるページレイアウトを指定します"/>
    <axf:document-info name="hidetoolbar" value="文書を開いたとき、ツールバーを隠すかを指定します"/>
    <axf:document-info name="hidemenubar" value="文書を開いたとき、メニューバーを隠すかを指定します"/>
    <axf:document-info name="hidewindowui" value="文書を開いたとき、ユーザインターフェイス要素を隠すかを指定します"/>
    <axf:document-info name="fitwindow"
      value="文書を開いたとき、ページサイズに適合するよう文書ウィンドウサイズを変更するかを指定します"/>
    <axf:document-info name="centerwindow" value="文書を開いたとき、文書ウィンドウを画面の中央に配置するかを指定します"/>
    <axf:document-info name="displaydoctitle" value="文書を開いたとき、文書のタイトルを表示するかを指定します"/>
    <axf:document-info name="openaction" value="文書を開いたときに表示される宛先または実行されるアクションを指定します"/>
    <axf:document-info name="createdate" value="文書が作成された日時を指定します"/>
    <axf:document-info name="modifydate" value="文書が最後に変更された日時を指定します"/>
  </fo:declarations>
  ...
```

このサンプルでは、`document-title`、`author`、`keywords` を指定しています。  
これらの情報は、Antenna House Formatter の「文書情報ダイアログ」でも表示できます。

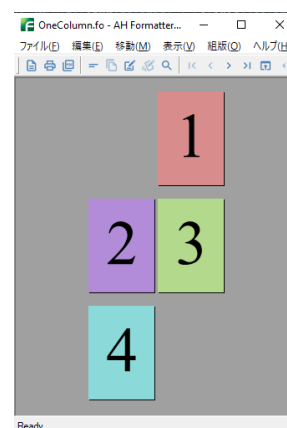


## PDF を開いたときのページレイアウト

`<axf:document-info>` の `name` に `pagelayout` を設定し、PDF ビューアで文書を開いたときに使われるページレイアウトを指定することができます。値は `SinglePage`、`OneColumn`、`TwoColumnLeft`、`TwoColumnRight`、`TwoPageLeft`、`TwoPageRight` のいずれかが指定できます。`TwoPageLeft` および `TwoPageRight` は、PDF1.5 以降でのみ指定できます。指定されなかったときは、PDF のビューアアプリケーションの動作に依存します。このサンプルでは `pagelayout` で `TwoPageLeft` を指定しています。

このサンプルの解説では、右の Antenna House Formatter の GUI のスクリーンショットで開かれている 4 ページの文書を例として使用します。

すべてのスクリーンショットは、`pagelayout` の値により最初の表示で複数のページを表示できる場合とできない場合を示すためにページを 10% に縮小しています。また、スペースを節約するために各スクリーンショットは PDF ビューアのウィンドウ全体ではなくページ部分のみとなります。



`<axf:document-info name="pagelayout" value="SinglePage">`

一度に 1 ページを表示させます。文書をスクロールすると、PDF ビューアには 2 ページ、3 ページというように表示されます。



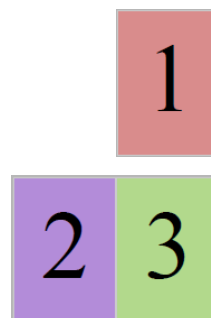
`<axf:document-info name="pagelayout" value="TwoPageLeft">`

奇数ページを左側にして見開きの 2 ページずつで表示されます。文書をスクロールすると、PDF ビューアに 3 ページと 4 ページが表示され、次に 5 ページと 6 ページと続いていきます。



`<axf:document-info name="pagelayout" value="TwoPageRight">`

奇数ページを右側にして見開きの 2 ページずつで表示させます。PDF ビューアには最初に 1 ページだけ表示されます。文書をスクロールすると、PDF ビューアに 2 ページと 3 ページが表示され、次に 4 ページと 5 ページと続いていきます。



Antenna House, Inc.

**<axf:document-info name="pagelayout" value="OneColumn">**

ページを1列で表示させます。ページは連続して表示されるため、文書をスクロールするとPDFビューアのウィンドウの上部または下部に他ページの一部が表示される場合があります。

**<axf:document-info name="pagelayout" value="TwoColumnLeft">**

奇数ページを左側にして2列で表示させます。ページは連続して表示されるため、文書をスクロールするとPDFビューアのウィンドウの上部または下部に他ページの一部が表示される場合があります。

**<axf:document-info name="pagelayout" value="TwoColumnRight">**

奇数ページを右側にして2列で表示させます。ページは連続して表示されるため、文書をスクロールするとPDFビューアのウィンドウの上部または下部に他ページの一部が表示される場合があります。



## PDF にしおりを付ける

PDF にはしおりと呼ばれる目次を階層化する機能があります。PDF を表示してしおりの項目をクリックすると目的の位置へジャンプします。FO では `fo:bookmark-tree` の指定と子要素 `fo:bookmark` でしおりの構成を階層的に表します。`fo:bookmark-title` でタイトルは、`internal-destination` もしくは `external-destination` プロパティでジャンプ先を与えます。`fo:bookmark-tree` の配置は `fo:root` の直下、`fo:declarations` と `fo:page-sequence` の間です。

## Bookmark sample-1

### Lorem Ipsum

#### **Lorem ipsum dolor sit amet**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu.

#### **Ut tincidunt lorem erat**

Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor.

#### **Mauris commodo, elit a imperdiet interdum**

Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus. Integer eu lobortis neque. Donec malesuada sed arcu vitae fringilla.

## Bookmark sample-2

Quisque imperdiet tortor iaculis, pulvinar neque sit amet, aliquet massa. Sed sed auctor purus.

Antenna House, Inc.

## PDF の内部リンクと外部リンク

PDF のリンクは、PDF 文書内の特定位置へのリンクと外部へのリンクに分類されます。文書内へのリンクは `fo:basic-link` の `internal-destination` プロパティで表します。外部へのリンクは `external-destination` プロパティで表します。内部リンクに対しては ID、ページ番号指定ができます。外部リンクは、ファイルの展開、ウェブサイトへのリンクが指定できます。

### 内部リンクの例

[ID を指定](#) : リンク元に `internal-destination="Link-01"` を、リンク先に `id="Link-01"` を指定

[ページ番号 \(2 ページ\) を指定](#) : `internal-destination="2"`

[ページ番号 \(2 ページ\) と表示倍率 \(200%\) を指定](#) : `internal-destination="2#zoom=200"`

### 外部リンクの例

[外部ファイル \(attachment-sample-1.pdf\) を指定](#) : `external-destination="/attachment-sample-1.pdf"`

[ウェブサイト \(https://www.antenna.co.jp/\) を指定](#) : `external-destination="https://www.antenna.co.jp/"`

## アンテナハウスについて

詳細は <https://www.antenna.co.jp/> をご覧ください。

Antenna House, Inc.

## 宛先形式を指定したリンク

axf:destination-type により、リンク先をどのように表示するか宛先形式を指定したリンクを生成できます。指定できる宛先形式の値は、xyz-left-top：コンテンツがウィンドの左上になるよう表示、fit：全体表示、fith：ウィンドウの幅に合わせて表示、その他、描画領域の幅に合わせて表示する fitbh などがあります。詳細はオンラインマニュアルの「[axf:destination-type](#)」をご参照ください。なお、外部リンクは宛先形式に加え、axf:action-type でリンク先の URI は PDF であるとみなす gotor を指定して内部リンクと同様に ID、ページ番号の指定ができます。

### 宛先形式を設定した内部リンクの例

[宛先形式 xyz-left-top、ID 指定、表示倍率 \(100%\)](#)：

リンク元に internal-destination="link-xyz"、リンク先に id="link-xyz" axf:destination-type="xyz-left-top 100" 指定

[宛先形式 fit、ページ番号 \(2 ページ目\) 指定](#)：

internal-destination="2#view=fit" 指定

[宛先形式 fith、ページ番号 \(2 ページ目\) 指定](#)：

internal-destination="2#view=fith" 指定

[宛先形式 fitbh、ページ番号 \(2 ページ目\) 指定](#)：

internal-destination="2#view=fitbh" 指定

### 宛先形式を設定した外部リンクの例

[外部ファイル \(attachment-sample-2.pdf\) へ宛先形式 xyz-left-top、ID 指定、表示倍率 \(100%\)](#)：

リンク元に external-destination="/attachment-sample-2.pdf#nameddest=external-link-xyz" axf:action-type="gotor"、リンク先の外部 PDF へ id="external-link-xyz" axf:destination-type="xyz-left-top 100" 指定。URI 中のパラメータは nameddest のみが有効です。

[外部ファイル \(attachment-sample-2.pdf\) へ宛先形式 fit、ページ番号 \(2 ページ目\) 指定](#)：

リンク元に external-destination="/attachment-sample-2.pdf#page=2&view=fit" axf:action-type="gotor" 指定

指定したリンク先の宛先形式の位置が分かりやすいように各領域に線を引いています。

`id="link-xyz" axf:destination-type="xyz-left-top 100"` が指定されている `fo:block`

Antenna House, Inc.



## PDF の埋め込み

Antenna House Formatter は、`<fo:external-graphic>` を使用して、PDF を画像のように埋め込むことができます。`<fo:external-graphic src="embedded.pdf"/>` のように指定します。フォームによる記入欄のある PDF を埋め込むこともできます。サイズ指定がない場合は、埋め込まれる PDF のページサイズで埋め込みますが、`content-height` または `content-width` を使用して拡大縮小することもできます。また、PDF のページを `<fo:simple-page-master>` や `<fo:page-sequence>` の背景画像として使用することもできます。詳細については、マニュアルの「[PDF 埋め込み](#)」を参照してください。

### content-height、content-width 指定なしで PDF 埋め込み

Embedded PDF sample

### content-height="40%" 指定で PDF 埋め込み

Embedded PDF sample

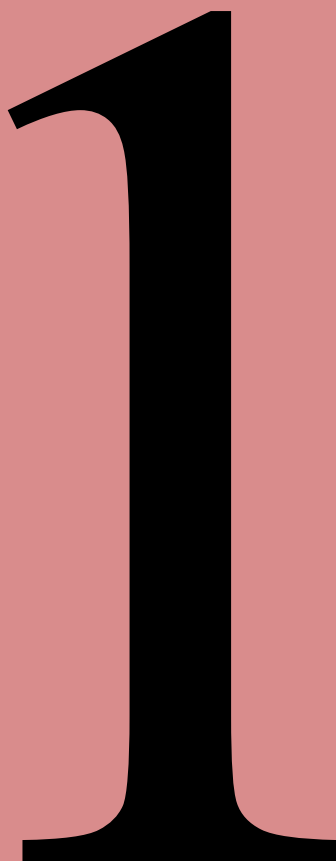
### フォームによる記入欄のある PDF 埋め込み

Text Field (axf:form-field field-type="text"):

Field 1:





Field 2:








このページでは、PDF **1** を <fo:simple-page-master> オブジェクトの background-image 属性へ指定することで背景として使用しています。



## ページを指定して PDF を埋め込む

Antenna House Formatter は、<fo:external-graphic> を使用して、PDF を画像のように埋め込むことができます。埋め込まれる PDF は既定で 1 ページ目が埋め込まれますが、ページを指定した埋め込みもできます。ページ指定は #page=<FirstPage>-<LastPage> の形式で、特定ページ、連続したページ、ページ範囲を指定した埋め込みを行います。詳細については、マニュアルの「[PDF 埋め込み](#)」を参照してください。

以下の表は 、、、 の 4 ページの PDF ファイルをページ指定で埋め込みに使用した例です。

src="..."	効果	埋め込み結果
src="embedded.pdf"	最初のページのみ	
src="embedded.pdf#page=2"	特定のページ	
src="embedded.pdf#page=2-3"	ページ範囲	 
src="embedded.pdf#page=2-"	指定ページから最後まで	  
src="embedded.pdf#page=1-"	すべてのページ	   

## 埋め込まれた PDF を使った差し込み印刷

Antenna House Formatter は、PDF のページを <fo:simple-page-master> または <fo:page-sequence> の背景画像として使用できます。このとき背景として埋め込まれた PDF を雛形として、背景の上にデータを差し込み新しい PDF を生成、印刷することもできます。PDF の埋め込みの詳細については、マニュアルの「[PDF 埋め込み](#)」を参照してください。

最初に雛形となる PDF と差し込みデータとなる FO を作成します。次に雛形となる PDF を、`<fo:simple-page-master>` オブジェクトの `background-image` 属性へ次のように指定します。

```
<fo:simple-page-master
  master-name="PageMaster-*"
  page-width="297mm"
  page-height="210mm"
  background-image="order.pdf"
>
```

上の例では、縦 297mm、横 210mm のページを使い、その全面に **order.pdf** を背景として表示します。

雛形へ差し込むデータは、ほとんどの場合ページの中で絶対位置を指定して配置します。差し込みデータを `<fo:block-container>` オブジェクトの中に含め `absolute-position="absolute"` 属性を指定し、さら `left`、`right`、`top`、`bottom` 属性で `<fo:block-container>` オブジェクトの絶対位置を次のように指定します。

```
<fo:block-container
  absolute-position="absolute"
  left="10mm"
  right="30mm"
  top="50mm"
  bottom="20mm"
>
```

上の例では、<fo:block-container> オブジェクトの位置は、親のオブジェクトから左辺 10mm、右辺 30mm、上辺 50mm、下辺 20mm の位置に配置されます。

このサンプルでは雛形として以下の PDF を 2 ページ目の背景として埋め込み、その PDF ヘデータを差し込んでいます。

<b>注文書</b>				
_____ 御中		注文 No. 注文日		
下記の通り、注文いたします。				
税込合計金額      ¥ _____				
No.	品名	数量	単価	金額
		小計		
		消費税		
		合計金額		
備考				

注文書

〇〇〇〇〇〇 株式会社      御中

注文 No.    1234567-1234567  
注文日      20xx 年 xx 月 xx 日

下記の通り、注文いたします。

税込合計金額                      ¥82,500

No.	品名	数量	単価	金額
1	〇〇〇	10	3,000	30,000
2	△△△	5	5,000	25,000
3	□□□	8	2,500	20,000
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
		小計		75,000
		消費税		7,500
		合計金額		82,500

備考
〇△□

## PDF へ注釈を付ける

「[axf:annotation-type](#)」により PDF へ注釈を付ける指定ができます。指定できる注釈の種類は、テキスト注釈 (Text)、フリーテキスト注釈 (FreeText)、ラバースタンプ注釈 (Stamp)、ファイル添付注釈 (FileAttachment) です。それぞれの注釈の制作者、タイトル、内容の指定、PDF 展開時の状態、表示アイコンなどを指定もできます。

このサンプルでは、それぞれの注釈に対してタイトル (`axf:annotation-title="Annotation"`)、制作者 (`axf:annotation-author="Antenna House"`)、内容 (`axf:annotation-contents="Sample"`) を指定しています。

### **axf:annotation-type="Text"**

Text は展開時の表示状態を (`axf:annotation-open`) で指定できます。ここでは `true` 指定で表示させています。



### **axf:annotation-type="FreeText"**

FreeText ではフォント、フォントサイズ、太さ、色など指定できます。

Sample

### **axf:annotation-type="Stamp"**

Stamp は `axf:annotation-icon-name` で任意の表示を指定できます。ここではいくつかの例を示します。

`axf:annotation-icon-name="Draft"`

`axf:annotation-icon-name="ForPublicRelease"`

`axf:annotation-icon-name="TopSecret"`

### **axf:annotation-type="FileAttachment"**

FileAttachment は `axf:annotation-file-attachment` で関連付けられるファイルを指定します。

Antenna House, Inc.

**axf:annotation-file-attachment へ data:スキーム を指定する**

axf:annotation-file-attachment へは ファイル名だけでなく、data:スキーム を使って直接データを指定することが可能です。その場合、axf:annotation-file-name に出力する代替ファイル名を指定する必要があります。

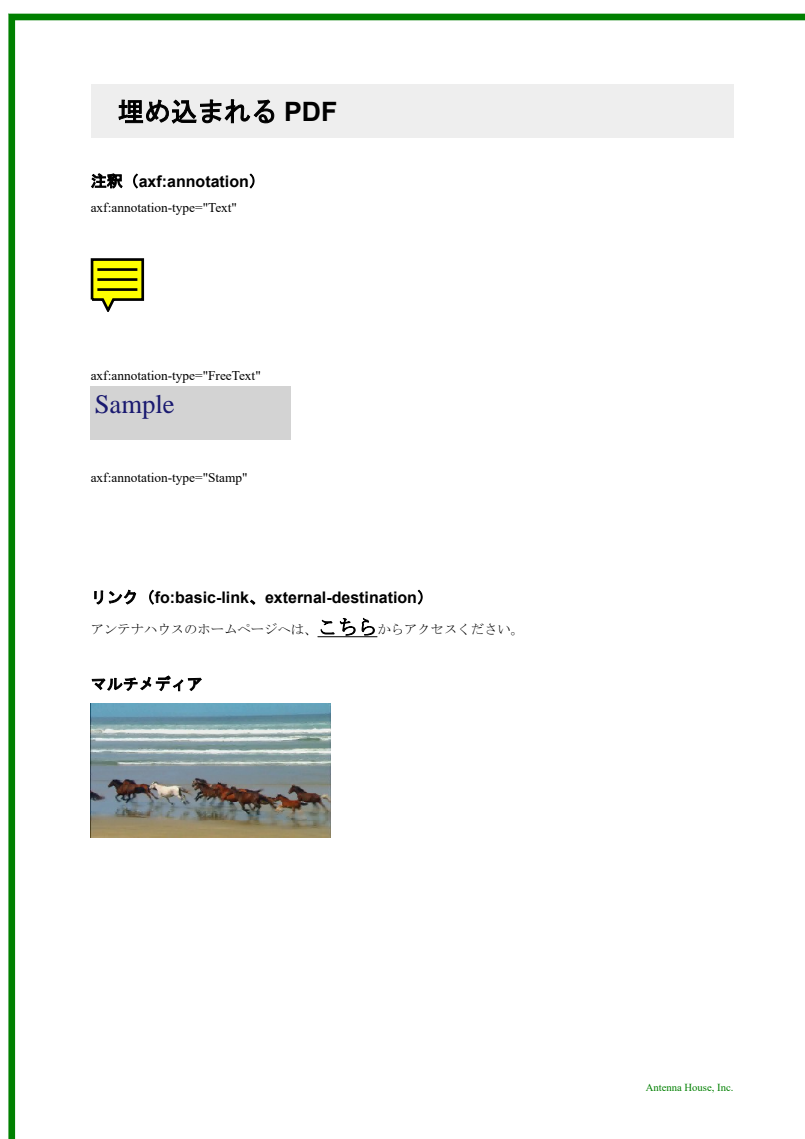
この機能は、Antenna House Formatter V7.3 改訂 1 版以降からお使いになれます。

## 埋め込んだ PDF の注釈を保持

Antenna House Formatter のオプション設定ファイル、PDF 出力の設定 <pdf-settings> の `import-annotation-types` で PDF に埋め込む別の PDF にある注釈を保持するか指定できます。埋め込む注釈の種類は "Text"、"Link" など個別指定、または "All" で埋め込み可能なすべての注釈を指定できます。指定されていない注釈は無視されます。グラフィカルユーザインターフェイスでは [PDF オプション設定ダイアログ] の [その他] ページで指定できます。

### Antenna House Formatter で出力した PDF を埋め込んだ例

緑色の線で囲まれた部分が埋め込んだ PDF です。

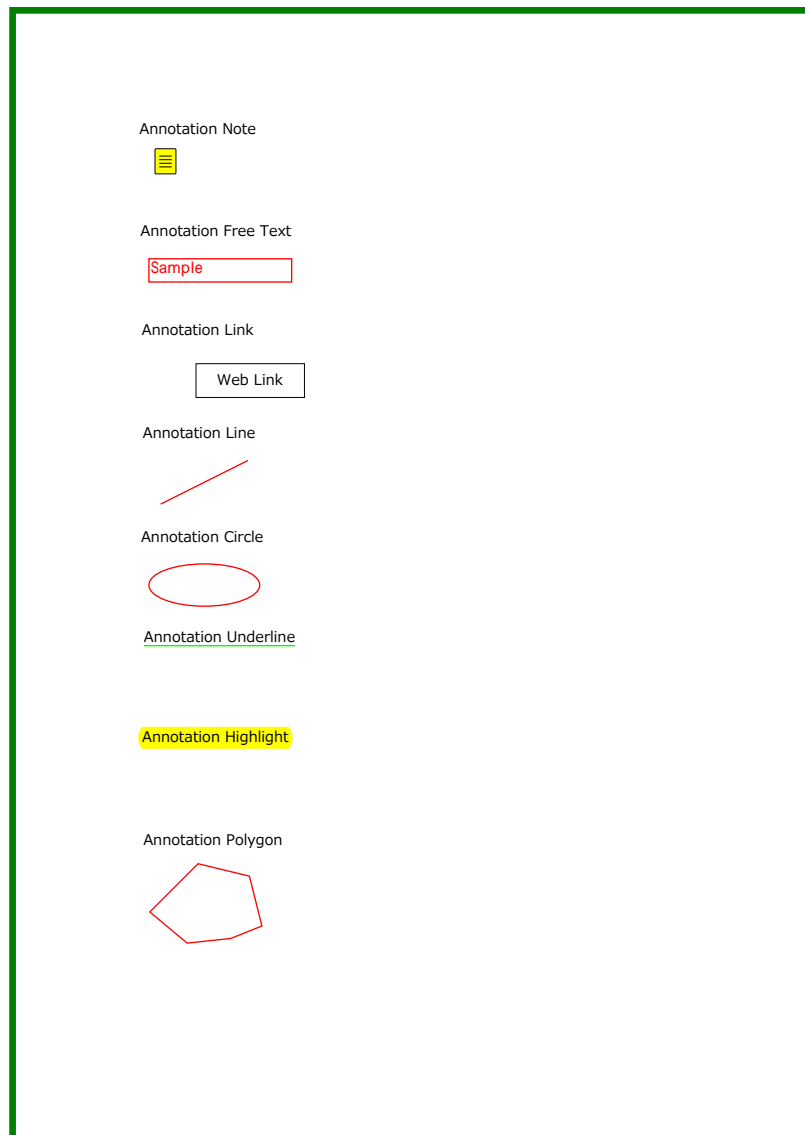


Antenna House, Inc.



## Antenna House Formatter 以外で作成された PDF を埋め込んだ例

2 ページ目に埋め込んだ PDF は Adobe Acrobat で作成した注釈を含んだ PDF です。



## PDF 注釈の作成日や修正日を指定

[axf:annotation-createdate](#) および [axf:annotation-modifydate](#) で PDF 注釈の作成日や修正日を指定することができます。指定できる文字列については「[日付の書式](#)」をご参照ください。この機能は Antenna House Formatter V7.1 から利用いただけます。

### **axf:annotation-createdate**

注釈の作成日を指定できます。省略されたときは `axf:annotation-modifydate` と同じ値とみなされます。



### **axf:annotation-modifydate**

注釈の修正日を指定できます。省略されたときは `<axf:document-info>` の `modifydate` の値とみなされます。



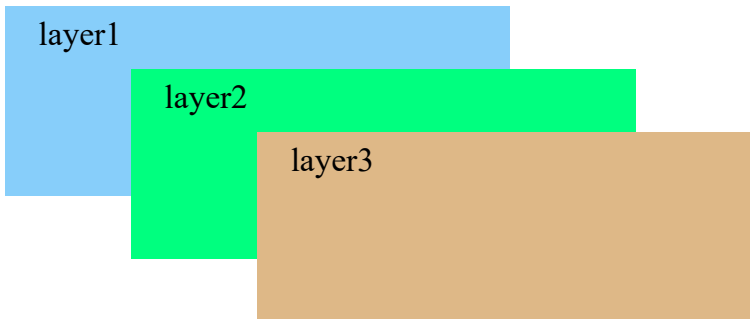
PDF ビューアで注釈のプロパティや注釈の一覧で作成日や修正日が確認できます。PDF ビューアによっては修正日のみが表示され、作成日は表示されない場合があります。

## PDF 出力におけるレイヤ

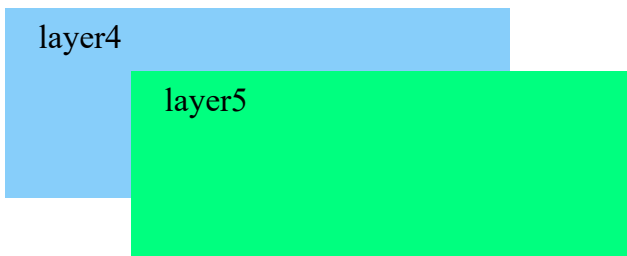
axf:layer-settings、axf:layer で PDF へレイヤを指定できます。fo:root に axf:layer-settings="layer1',layer2'" のように定義し、エリアをどのレイヤに配置するか axf:layer="layer1" のように指定します。指定できるパラメータは intent、view、print、export、lang、zoom、locked で順にレイヤのインテント、表示、印刷、出力、表示する倍率、表示する言語、ロックを表します。文書を開いたときの初期状態などの指定も可能です。詳しくはオンラインマニュアルの「[axf:layer-settings](#)」をご参照ください。レイヤの指定は PDF1.5 以降、レイヤの locked は PDF1.6 以降で有効です。なお、このサンプルでは文書を開く PDF ビューアでレイヤパネルが表示されるように <axf:document-info name="pagemode" value="UseOC" /> を指定しています。

### レイヤの指定例

layer1、layer2、layer3 を定義、fo:block-container にレイヤを配置した例です。



layer4 を ['layer4' intent view] で定義、layer5 を ['layer5' intent design] で定義しています。view（既定値）ではレイヤの表示、非表示の切り替えができますが、design 指定では切り替えができなくなります。intent の指定は Antenna House Formatter V6.5 から利用いただけます。



layer6 を ['layer6' view off] で定義、view が off のため初期状態でレイヤを非表示とする例です。

layer7 を ['layer7' view on print off export off] で定義、レイヤは表示されますが print と export が off のため印刷時や出力時には非表示にする例です。



layer8 を ['layer8' zoom 50% 100%] で定義した例です。zoom はレイヤを表示する倍率を指定します。値は順に最小値、最大値を表し、layer8 はビューアの倍率で 50% から 100% の範囲では表示され、それ以外の範囲では非表示になります。<sup>(1)</sup>zoom の指定は Antenna House Formatter V6.5 から利用いただけます。

layer8

layer9 を定義、配置した fo:block-container 内の fo:block へ layer10 を定義、配置した例です。layer9 のレイヤを非表示にすると layer10 も非表示にできます。<sup>(1)</sup>

layer9 (fo:block-container)

layer10 (fo:block)

layer11 を ['layer11' lang 'ja-jp' preferred locked] で定義、locked でレイヤの編集を無効にしています。lang は指定した言語とビューアアプリケーションの言語が一致すればレイヤを表示します。<sup>(1)</sup>このサンプルでは lang 'ja-jp' のためビューアアプリケーションの言語が日本語であれば "layer11 (ja-jp)" が表示され、そうでなければ "en" が表示されます。

layer11 (ja-jp)

<sup>(1)</sup>PDF/X、PDF/A、PDF/UA では、view、print、export の指定は無視されます。

## マルチメディアの埋め込み

ビデオやオーディオなどのマルチメディアデータを PDF へ埋め込みます。指定は `<fo:external-graphic src="video.mpg" content-type="video/mpeg">` のように行います。`axf:poster-image` でポスター画像を指定できます。また、再生コントロールバーを `axf:show-controls`、再生時の音量を `axf:media-volume`、再生回数を `axf:media-play-mode` などの指定もできます。マルチメディアファイルの埋め込みは、PDF1.5 以降のときのみ有効です。

### `axf:poster-image` の指定なし



### `axf:poster-image` の指定あり



### `axf:show-controls="true"`、`axf:media-volume="10%"`、`axf:media-play-mode="2"`



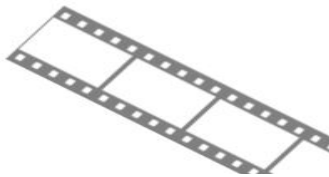
コントロールバーは再生中のマルチメディアの下側に表示されます。マルチメディア要素の下側に十分なスペースの確保が必要です。なお、`axf:show-controls`、`axf:media-volume`、`axf:media-play-mode` など一部の指定が有効となるか否かは、マルチメディアデータ、ビューア、プレイヤーに依存します。

## マルチメディアの参照

axf:multimedia-treatment によりマルチメディアデータを PDF に埋め込むか参照させるかを指定できます。指定は <fo:external-graphic src="video.mpg" content-type="video/mpeg" axf:multimedia-treatment="relative-link"> のように行います。axf:poster-image でポスター画像を指定できます。axf:multimedia-treatment に対しては、auto (オプション設定ファイル [multimedia-treatment](#) の値が採用)、embed (埋め込み)、absolute-link (絶対パスで参照)、relative-link (相対パスで参照)、richmedia (リッチメディア注釈として埋め込み)、richmedia-windowed (リッチメディア注釈として埋め込みますが、再生時には別のウィンドウに表示) などの指定ができます。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:multimedia-treatment](#)」をご参照ください。axf:multimedia-treatment の指定は Antenna House Formatter V6.3 から利用いただけます。なお、マルチメディアの取り扱いは、PDF1.5 以降で有効です。richmedia と richmedia-windowed は、Antenna House Formatter V6.5 かつ PDF1.7 以降で有効です。

このサンプルでは axf:multimedia-treatment="relative-link" の指定でマルチメディアを相対パスで参照させています。axf:multimedia-treatment="embed" の指定でマルチメディアを埋め込むとマルチメディアのサイズに応じて PDF のサイズが大きくなります。

### axf:poster-image の指定なし



### axf:poster-image の指定あり



### axf:show-controls="true"、axf:media-volume="10%"、axf:media-play-mode="2"



`axf:show-controls`（再生コントロールバー）、`axf:media-volume`（再生音量）、`axf:media-play-mode`（再生回数）など一部の指定が有効となるか否かは、マルチメディアデータ、ビューア、プレイヤーに依存します。

## リッチメディア注釈

`axf:multimedia-treatment="richmedia"` の指定によりマルチメディアデータをリッチメディア注釈として PDF へ埋め込むことができます。指定は `<fo:external-graphic src="video.mp4" contenttype="video/mp4" axf:multimedia-treatment="richmedia">` のように行います。`axf:multimedia-treatment="richmedia-windowed"` 指定では別ウィンドウで表示、再生されます。リッチメディア注釈では再生のために外部プレイヤーなどを必要としません。`axf:multimedia-treatment="auto"` などによるマルチメディア埋め込みとはサポートしているデータ形式、有効なプロパティなど異なります。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:multimedia-treatment](#)」をご参照ください。リッチメディア注釈は Antenna House Formatter V6.5 から利用いただけます。なお、取り扱いは PDF1.7 以降で有効です。

### `axf:multimedia-treatment="richmedia"`



### `axf:multimedia-treatment="richmedia-windowed"`



### `axf:media-skin-control="all"`、`axf:media-skin-color="red"`、`axf:media-skin-auto-hide="false"`

リッチメディアの再生、停止などが表示されるスキンは `axf:media-skin-control` (スキンのコントロール)、`axf:media-skin-color` (スキンの色)、`axf:media-skin-auto-hide` (スキンを自動的に隠すかどうか) など指定できます。





**axf:media-activation**

axf:media-activation はリッチメディアを有効無効にするタイミングを指定します。指定できる値など詳細は「[axf:media-activation](#)」をご覧ください。次のサンプルは PageOpen（コンテンツが含まれるページを開いたときに有効）と PageClose（コンテンツが含まれるページを閉じたときに無効）を組み合わせた例です。

**axf:media-activation="PageOpen PageClose"**

## フォームフィールド

axf:form、axf:form-field を使用して、PDF にフォームを生成できます。フィールドにはテキスト、プッシュボタン、チェックボックス、ラジオボタン、リストボックス、コンボボックス、電子署名フィールドなどの種類があります。

### テキストフィールド (field-type="text")

axf:field-default-text でテキストフィールドに最初から入力されるテキストを指定、axf:field-multiline でテキストフィールドが単一行か複数行か指定が行えます。また、書式、入力可能な最大文字数の指定などもできます。[axf:field-font-size](#) と [axf:field-text-align](#) の指定は Antenna House Formatter V6.5 から利用いただけます。

Text Field:

Text Field (field-multiline="true"):

Text Field (axf:field-font-size="auto"):

Text Field (axf:field-text-align="center"):

Text Field (axf:field-text-align="right"):

### プッシュボタンフィールド (field-type="button")

プッシュボタンフィールドには、キャプションを axf:field-button-face、アイコンを axf:field-button-icon で指定でき、表示関係を axf:field-button-layout で指定します。また、ボタン押下時 (down)、ボタンロールオーバー時 (rollover) のキャプション、アイコンを別々に指定できます。ボタン押下時のアクションとして action-type によりリセット、サブミット、リンクの指定が可能です。サンプルのためサブミットは無効です。

Push Button (URI "https://www.antenna.co.jp/AHF/"):

Push Button (Submit):

Push Button (Reset):

### チェックボックスフィールド、ラジオボタンフィールド (field-type="checkbox"、"radio")

field-checked で初期状態のチェック表示、非表示を、field-checked-style でチェックの形状を指定できます。

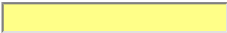
Check Box (field-checked-style="checkmark"): ☐ Check Me!

Radio Button (field-checked-style="circle"): ☐ Cat ☐ Dog

### リストボックスフィールド、コンボボックスフィールド (`field-type="listbox"`、`"combobox"`)

表示内容を、`axf:form-field-option` で指定します。内容が空ではいけません。リストボックス、コンボボックスの内容は、`axf:form-field-option` で指定した出現順序どおりに並びます。

List Box: 

Combo Box: 

### 電子署名フィールド (`field-type="signature"`)

電子署名フィールドは、`field-type="signature"` で指定します。内容は空です。あらかじめ外観を指定しておくことはできません。

Digital Signature: 

Text Field:

## フォームフィールドの名前にページ番号を付加

axf:field-name-suffix-page-number によって PDF のフォームフィールドの名前にページ番号を付加することができます。この機能は Antenna House Formatter V6.6 から利用いただけます。

フォームフィールドには axf:field-name で任意の名前を指定できます。fo:static-content にフォームを作成してページ単位に固有の名前を指定する場合に axf:field-name-suffix-page-number を使用します。各ページのフォームフィールドの名前にページ番号が付加されます。

```
<fo:static-content flow-name="xsl-region-before" >
<fo:block text-align="right">
<axf:form field-submit-method="post" field-submit-coordinates="true">
<fo:block space-before="0.5em">
Text Field:<axf:form-field field-type="text" field-name="InputText-Page"
axf:field-name-suffix-page-number="1"
field-default-text="yyyy/mm/dd"
width="10em" height="1.2em"
background-color="#ff8" border="1pt silver inset" />
</fo:block>
</axf:form>
</fo:block>
</fo:static-content>
```

1 ページ目のフォームフィールドの名前は InputText-Page1 になります。

Text Field:

2 ページ目のフォームフィールドの名前は InputText-Page2 になります。

Antenna House, Inc.

## フォームイベント

axf:form-field-event を使用して、PDF フォームのイベントに対応したフォームアクションを JavaScript で定義します。この機能は Antenna House Formatter V6.4 から利用いただけます。

- axf:form-field-event の name プロパティにイベントの種類（MouseUp, MouseDown, MouseEnter, MouseExit, OnFocus, OnBlur のいずれか）を指定します（必須）。
- axf:form-field-event の action-type プロパティに "javascript" を指定します（必須）。
- axf:form-field-event 要素の内容に JavaScript プログラムを記述します。

Push Button field:

この PDF フォームには以下のように定義されています。

```
<axf:form>
  <fo:block>
    Push Button field:
    <axf:form-field field-type="button" field-name="chkButton"
      field-button-layout="caption" field-button-face="chk button"
      width="10em" height="1.2em"
      background-color="#eee" border="2px silver outset" >
      <axf:form-field-event name="MouseUp" action-type="javascript">
        this.zoomType = zoomtype.fitW; /* マウスボタンを放すと表示倍率をビューアの幅に合わせる */
      </axf:form-field-event>
      <axf:form-field-event name="MouseEnter" action-type="javascript">
        var f = this.getField("chkButton");
        f.fillColor = color.red; /* ポインターを範囲内に入れると背景を赤色に変更 */
      </axf:form-field-event>
      <axf:form-field-event name="MouseDown" action-type="javascript">
        var f = this.getField("chkButton");
        f.fillColor = color.blue; /* マウスボタンを押すと背景を青色に変更 */
      </axf:form-field-event>
      <axf:form-field-event name="MouseExit" action-type="javascript">
        var f = this.getField("chkButton");
        f.fillColor = color.yellow; /* ポインターを範囲外に出すと背景を黄色に変更 */
      </axf:form-field-event>
    </axf:form-field>
  </fo:block>
</axf:form>
```

テーブルのセルの中に PDF フォームを作成して JavaScript で計算結果を表示させることもできます。詳しくはこの FO の内容を参照してください。

製品名	単価（円）	個数	小計
A-001	¥ 1,000	<input type="text"/>	<input type="text"/>
A-002	¥ 2,000	<input type="text"/>	<input type="text"/>
A-003	¥ 3,000	<input type="text"/>	<input type="text"/>
合計			<input type="text"/>

## トンボの描画

Antenna House Formatter はトンボを描画できます。axf:crop-offset で、物理的な紙の端から仕上がり位置までの距離を指定します。axf:bleed で、裁ち落としのための塗り足しの領域の幅を指定します。この例では、仕上がり寸法を B5（182mm×257mm）、印刷する用紙を A4（210mm×297mm）と想定して、トンボをつけています。

Antenna House, Inc.

## 内トンボ、センタートンボ、西洋トンボ

axf:printer-marks によって指定できるトンボなどの印刷マークの種類が **crop**（コーナートンボ）、**cross**（センタートンボ）、**<uri-specification>**（画像）の他に **crop-trim**（内トンボ）、**cross-circle**（丸付きセンタートンボ）、**cross-registration**（西洋トンボ）が追加されています。この追加されたマークは Antenna House Formatter V6.6 から利用いただけます。

### **axf:printer-marks="crop-trim"**

仕上がり寸法の位置にのみコーナートンボを出力します（内トンボ）。

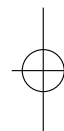
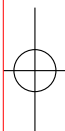
Antenna House, Inc.



### **axf:printer-marks="cross-circle"**

十字のセンタートンボに円を付けて出力します。

Antenna House, Inc.





**axf:printer-marks="cross-registration"**

西洋トンボ（registration marks）を出力します。



Antenna House, Inc.

**axf:printer-marks="crop-trim cross-registration"**

axf:printer-marks="crop-trim cross-registration" のように列挙して組み合わせることも可能です。



Antenna House, Inc.



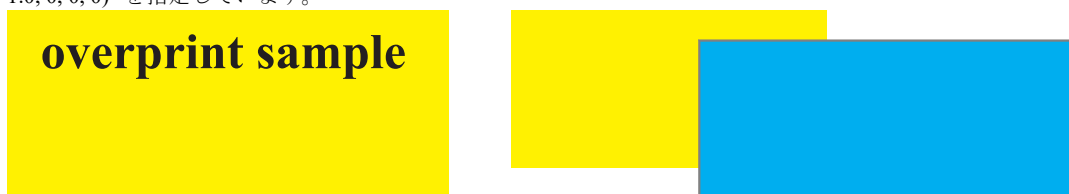


## オーバープリント

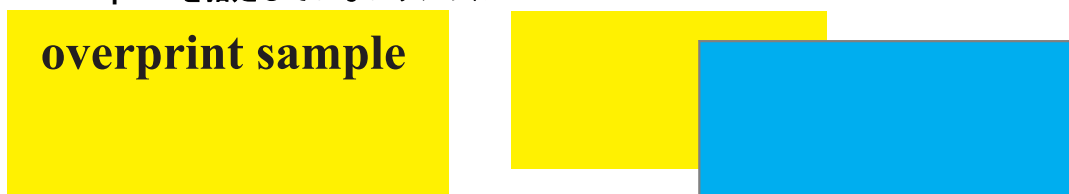
`axf:overprint` の設定によりオーバープリントを指定できます。オーバープリントは文字や図形などオブジェクトの色が重なって配置された場合に上下のオブジェクトの色を重ねて印刷する状態のことです。`axf:overprint` で設定できる値は、"`<color>`" : オーバープリントを適用するカラーを指定、"`k100`" : `rgb-icc(#CMYK,0,0,0,1)` に適用、"`separation`" : `rgb-icc(#Separation)` で示されるセパレーションカラーに適用、"`all`" : すべてのカラーに適用、"`stroke`" : 線の描画に対して適用、"`paint`" : 塗りの描画に対して適用などがあります。詳しい機能、制限などはオンラインマニュアルの「[axf:overprint](#)」をご参照ください。

### `axf:overprint` が指定されているサンプル

左側は、文字の色に `rgb-icc(#CMYK, 0, 0, 0, 1.0)`、`axf:overprint="k100"` 指定がされています。右側は重なって手前に表示されているオブジェクト (カラー、`rgb-icc(#CMYK, 1.0, 0, 0, 0)`) に `axf:overprint="rgb-icc(#CMYK, 1.0, 0, 0, 0)"` を指定しています。



### `axf:overprint` を指定していないサンプル



### オーバープリント設定による差異

次の画像は Adobe Acrobat の色分解プレビューで各サンプルの左側の文字、右側の重なって手前に表示されているオブジェクトの色を非表示にしたものです。オーバープリントの設定では色を重ねて出力するため、文字や手前のオブジェクトの色を非表示にしても奥のオブジェクトの色が保持されます。

#### `axf:overprint` が指定されているサンプル



#### `axf:overprint` を指定していないサンプル



## タグ付き PDF でのタグに拡張テキストを指定

アクセシビリティのためにタグ付き PDF を作成する場合、[axf:expansion-text](#) を使ってタグ付き PDF で略字に対する説明文などを指定するための拡張テキストを指定できます。axf:expansion-text の指定は Antenna House Formatter V7.2 から利用いただけます。

このサンプルでは、以下のように axf:expansion-text で拡張テキストを指定しています。Antenna House Formatter からタグ付き PDF で出力した PDF 文書のテキストが音声読み上げソフトで読み上げられる場合に、略語と共に拡張テキストも読み上げられます。

```
<fo:block>  
  <fo:inline axf:expansion-text="Cascading Style Sheets">CSS</fo:inline>は、  
  HTML や XML の要素をどのように修飾するかを指示する仕様のひとつです。  
</fo:block>
```

CSS は、HTML や XML の要素をどのように修飾するかを指示する仕様のひとつです。

## グラフィックスの表示

`fo:external-graphic` 指定で外部ファイルとして存在するグラフィックスを読み込ませることができます。`content-width`、`content-height` で読み込ませたグラフィックスの幅、高さを指定します。Antenna House Formatter では BMP、JPEG、JPEG2000、PNG、TIFF、GIF、WMF、EMF、EPS、SVG、MathML、CGM、WebP の読み込みをサポートしています。WebP は Antenna House Formatter V7.0 から利用いただけます。

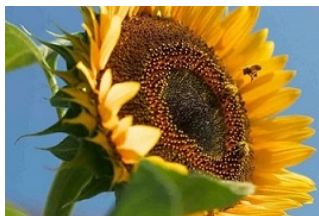
### `content-width`、`content-height` の指定なし



### `content-width="5.0cm"` `content-height="3.5cm"`



グラフィックスを読み込ませた `fo:block` 内の配置を `display-align`、`text-align` で調整できます。次のサンプルでは `display-align="center"` `text-align="center"` 指定で中央に配置しています。



## 描画領域へグラフィックスを自動調整

描画領域の幅や高さが、読み込ませるグラフィックスの幅や高さ異なる場合に描画領域に入るようにグラフィックスを拡大、縮小できます。幅に合わせるのであれば `content-width="scale-to-fit"`、または `content-width="scale-down-to-fit"` 指定で描画領域に入るようにグラフィックスを縮小、`content-width="scale-to-fit"`、または `content-width="scale-up-to-fit"` 指定で描画領域に入るようにグラフィックスを拡大します。高さに合わせるのであれば `content-height` へ指定します。

### `content-width` 指定なし



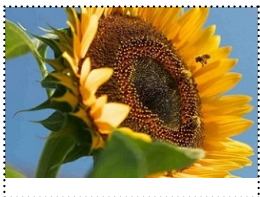
### `width="4cm" height="3cm" content-width="scale-to-fit"`



### `width="10cm" height="8cm" content-width="scale-to-fit"`



**width="4cm" height="3cm" content-width="scale-down-to-fit"**



**width="8cm" height="6cm" content-width="scale-down-to-fit"**

描画領域より、グラフィックスが小さい場合はオリジナルサイズにて表示されます。

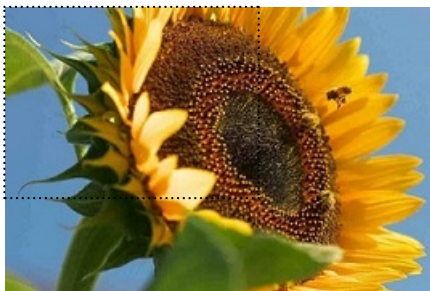


**width="8cm" height="6cm" content-width="scale-up-to-fit"**



**width="4cm" height="3cm" content-width="scale-up-to-fit"**

描画領域より、グラフィックスが大きい場合はオリジナルサイズにて表示されます。



Antenna House, Inc.

## 画像のスケーリング値を段階的に指定

`allowed-height-scale` と `allowed-width-scale` により画像の高さと幅のスケーリングの値を段階的に指定できます。指定する値は、許容されるスケール値に対するパーセンテージのリストの列挙、またはスケール値に対する制約を指定しないための `any` です。画像を表示させるエリアの大きさを評価し、リストから最適なパーセント値で画像をスケーリングし表示させます。`any` は最後に考慮されリストした値のいずれを使用しても制約を満たすことができない場合に使用されます。

ラスト画像のスケーリングを制御することで、任意の縮尺でレンダリングされないようにすることができます。`fo:scaling-value-citation` を使い対象画像のスケーリング値を表示できます。

### **content-width 指定なし**



Scaling value: 100%

**`width="4cm" height="2.5cm" content-height="scale-to-fit"`**



Scaling value: 55%

**`allowed-height-scale="25% 50% 75% 100%" width="4cm" height="2.5cm" content-height="scale-to-fit"`**



Scaling value: 50%



**allowed-width-scale="100% 75% 25% 50%" max-width="4cm" max-height="2.5cm"**  
**content-width="scale-to-fit"**



Scaling value: 50%

**allowed-width-scale="100% 75%" allowed-height-scale="100% 75%" width="4cm"**  
**height="2.5cm" content-width="scale-to-fit" content-height="scale-to-fit"**



Scaling value: 100%

**allowed-width-scale="100% 75% any" allowed-height-scale="100% 75% any"**  
**width="4cm" height="2.5cm" content-width="scale-to-fit" content-height="scale-to-fit"**



Scaling value: 55%

## XSL-FO に直接グラフィックスを埋め込む

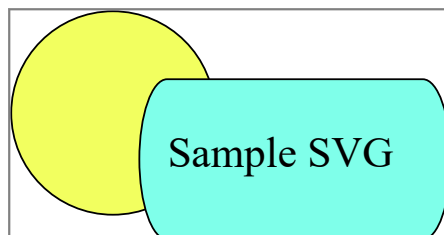
PNG や JPEG などのバイナリ形式のグラフィックスファイルは、data スキーム ([RFC2397](#)) を使用して base64 にエンコードすることで、外部ファイルを用意することなく直接 XSL-FO 中に埋め込みます。data スキームは fo:external-graphic の src プロパティや、fo:simple-page-master の axf:background-image プロパティに指定でき、例えば <fo:external-graphic src="data:image/png;base64,iVBORw0K..."> のようになります。data スキーム中にメディアタイプ (content-type) を指定する必要はありませんが、指定してある場合は、それを仮定します。グラフィックス形式は常にデータから決定され、指定したメディアタイプが競合する場合はエラーが発生します。data スキームの使用については、オンラインマニュアルの「[グラフィックス](#)」を参照してください。(data スキームは、「[Antenna House Formatter バーコードジェネレータオプション](#)」を使用してバーコードを生成するときにも使用されます。)



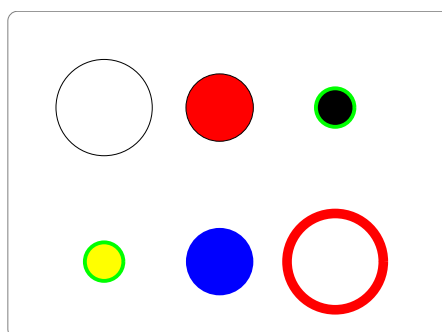
## グラフィックス SVG の表示

Antenna House Formatter は、[Scalable Vector Graphics \(SVG\) 1.1](#) に対応しています。独自開発したエンジンにより描画するため、PDF へのイメージを高い解像度で描画できます。SVG 画像の処理には、「[Antenna House Formatter SVG 出力オプション](#)」をご購入していただく必要があります。

外部グラフィックス SVG を読み込み表示させた例



FO 中に、SVG を直接記述できます。記述は、`<fo:instream-foreign-object>` を利用します。次の SVG は、FO 内へ記述した結果です。



### SVG 記述例

```
<fo:instream-foreign-object
  width="85mm" height="60mm"
  content-width="80mm" content-height="55mm"
  display-align="center" text-align="center">
  <svg version="1.1" xmlns="http://www.w3.org/2000/svg" viewBox="0 0 480 360">
    <rect x="0" y="0" width="460" height="340" rx="10" ry="10" fill="none" stroke="gray"/>
    <circle cx="100" cy="100" r="50" fill="none" stroke="black"/>
    <circle cx="220" cy="100" r="35" fill="red" stroke="black"/>
    <circle cx="340" cy="100" r="20" fill="black" stroke="lime" stroke-width="4"/>
    <circle cx="100" cy="260" r="20" stroke="lime" fill="yellow" stroke-width="4"/>
    <circle cx="220" cy="260" r="35" stroke="none" fill="blue"/>
    <circle cx="340" cy="260" r="50" stroke="red" fill="none" stroke-width="10"/>
  </svg>
</fo:instream-foreign-object>
```

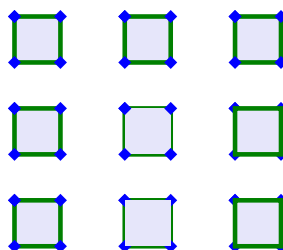
## グラフィックス Scalable Vector Graphics (SVG) 2 の表示

Antenna House Formatter V7.3 は、[Scalable Vector Graphics \(SVG\) 2](#) に対応しています。独自開発したエンジンにより描画するため、PDF へのイメージを高い解像度で描画できます。SVG 画像の処理には、「[Antenna House Formatter SVG 出力オプション](#)」をご購入していただく必要があります。

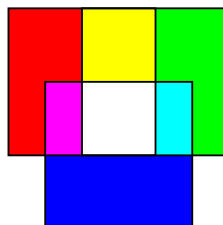
<filter>要素を使ったサンプル



paint-order を使ったサンプル



Filter Effects Module Level1 を組み合わせ  
て使ったサンプル



<mask>を使ったサンプル

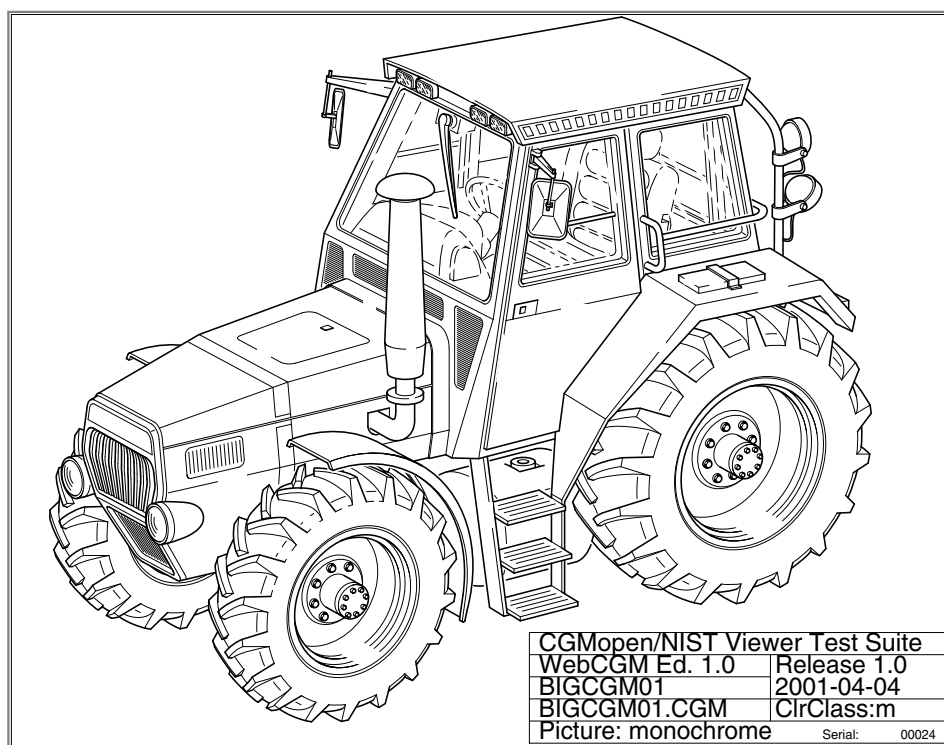


## グラフィクス CGM の表示

Antenna House Formatter は、ISO/IEC 8632 で定められている Computer Graphics Metafile (CGM) に対応しています。CGM 画像はベクタ画像として出力されるため画質の劣化は発生しません。また Antenna House Formatter V6.4 において描画エンジンを完全書き替え、これまで以上に多くの要素へ対応いたしました。2 ページ目では V6.4 における描画の一部を V6.3 と比較しています。CGM の描画機能はオプションです。CGM を描画するには、「[Antenna House Formatter CGM オプション](#)」をご購入していただく必要があります。

本サンプルの CGM 画像は W3C の WebCGM Test Suite から引用しています。

引用元 : [WebCGM 2.1 Test Suite](#). "Copyright © 2002-2006, Lofton Henderson. All Rights Reserved."

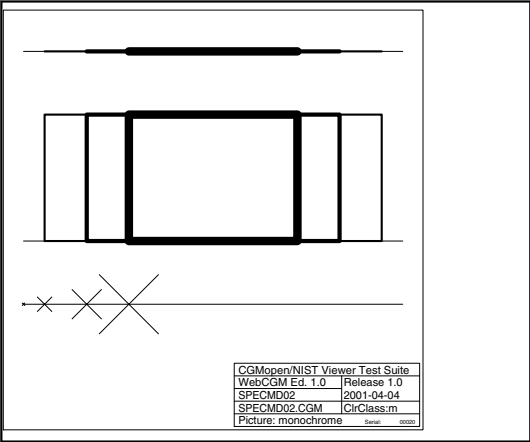


From WebCGM 2.1 Test Suite BIGCGM01.cgm.

Antenna House, Inc.

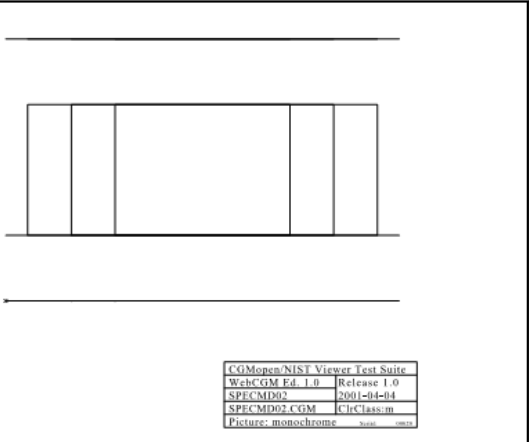
線種の描画

Antenna House Formatter V6.4



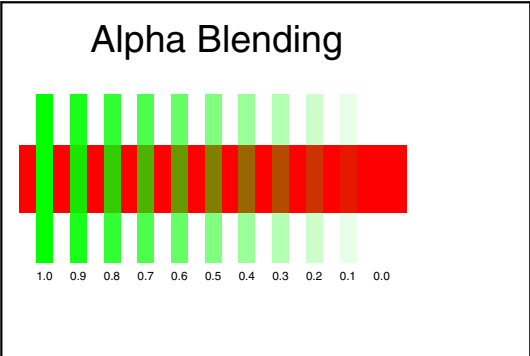
From WebCGM 2.1 Test Suite SPECMD02.cgm.

Antenna House Formatter V6.3



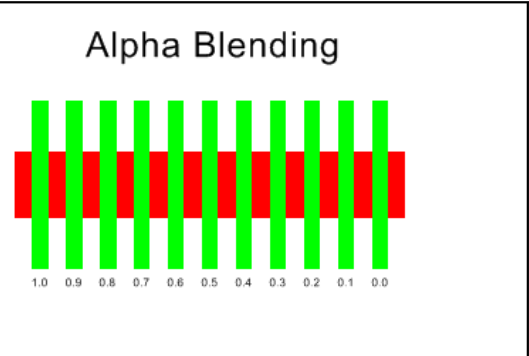
透過の描画

Antenna House Formatter V6.4



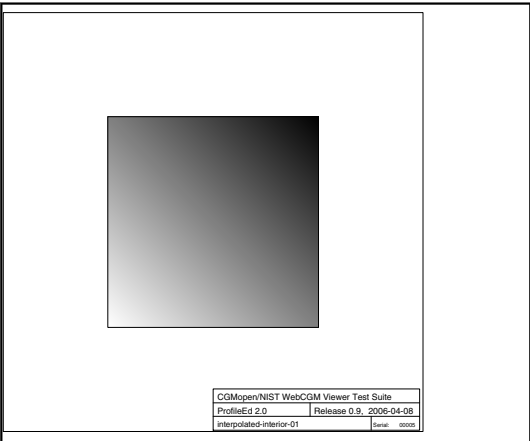
From WebCGM 2.1 Test Suite alphaEscape.cgm.

Antenna House Formatter V6.3



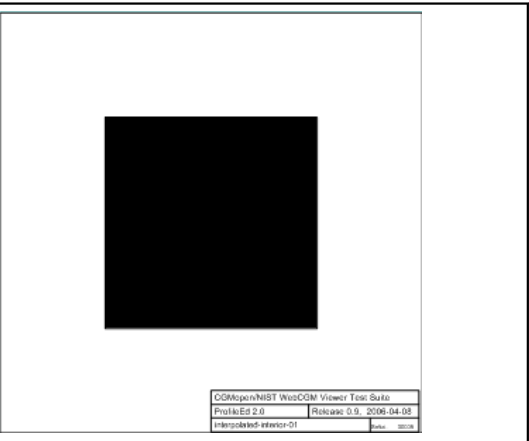
グラデーションの描画

Antenna House Formatter V6.4



From WebCGM 2.1 Test Suite interpolated-interior-01.cgm.

Antenna House Formatter V6.3



## グラフィックス EPS の表示

Antenna House Formatter は、Encapsulated PostScript (EPS) に対応しています。EPS に表示イメージがあるとき、そのイメージを出力します。表示イメージが存在しない場合は、代替画像に置き換えられます。ただし、Adobe Distiller や PS プリンタへの出力は表示イメージではなく、EPS 中の PostScript プログラムを出力します。EPS を PDF へ出力するとき、オプション設定ファイル EPS-processor の設定により、Adobe Distiller や Ghostscript がインストールされている環境では、それらを利用できます。そのとき、EPS を PDF として PDF へ埋め込みます。

表示イメージがある EPS



Sample EPS

表示イメージがない EPS



Sample EPS

表示イメージがある EPS



表示イメージがない EPS



上はオプション設定ファイル EPS-processor を設定せずに出力した表示イメージがある EPS とない EPS の例です。

また、FO 中に EPS コードを直接記述できます。Adobe Distiller など、EPS コードをそのまま PDF に埋め込むことができます。EPS コードの記述は、`<fo:instream-foreign-object>` を利用します。次の EPS は、右側のカラム内の EPS コードを FO 内に記述した結果です。

























EPS コード

```
<fo:instream-foreign-object>
<![CDATA[!PS-Adobe-3.0 EPSF-3.0
%%BoundingBox: 0 0 84 43
%%Pages: 0
%%Creator: Antenna House
%%Title: Green Rounded Box
%%CreationDate: 10 Feb 2003
%%LanguageLevel: 2
%%EndComments
%%BeginProlog
%%EndProlog
%%BeginSetup
%%EndSetup
%%Page: 1 1
%%BeginPageSetup
%%EndPageSetup
0 128 0 setrgbcolor
0.1 setlinewidth
newpath
0 5 moveto
0 43 84 43 5 arct
84 43 84 0 5 arct
84 0 0 0 5 arct
0 0 0 43 5 arct
closepath
gsave
stroke
grestore
fill
%%PageTrailer
%%Trailer
%%EOF
]]>
</fo:instream-foreign-object>
```

## グラフィクス PDF の表示（PDF の埋め込み）

Antenna House Formatter は、`<fo:external-graphic>` を使用して、画像のように外部 PDF を埋め込むことができます。フォームによる記入欄のある PDF を埋め込むこともできます。サイズ指定がない場合は、埋め込まれる PDF のページサイズで埋め込みますが、`content-height` または `content-width` を使用して拡大縮小することもできます。また、PDF のページを `<fo:simple-page-master>` または `<fo:page-sequence>` の背景画像として使用することもできます。詳細については、マニュアルの「[PDF の埋め込み](#)」を参照してください。

以下の表では、、、、 の 4 ページの PDF ファイルを使用した例を示します。

<code>src="..."</code>	効果	<code>&lt;fo:external-graphic&gt;</code>	背景
<code>src="embedded.pdf"</code>	最初のページのみ		
<code>src="embedded.pdf#page=2"</code>	特定のページ		
<code>src="embedded.pdf#page=2-3"</code>	ページ範囲	 	
<code>src="embedded.pdf#page=2-"</code>	指定ページから最後まで	  	
<code>src="embedded.pdf#page=1-"</code>	すべてのページ	   	
<code>src="data:application/pdf;base64,JVBE..."</code>	data スキームを使用		



## グラフィックス WebP の表示

Antenna House Formatter は、WebP に対応しています。WebP の表示は Antenna House Formatter V7.0 から利用いただけます。

sample.webp



Antenna House, Inc.

# MathML による数式描画

Antenna House Formatter は、独自開発した「Antenna House Formatter MathML 描画エンジン」により、W3C による「[Mathematical Markup Language \(MathML\) Version 3.0](#)」を描画します。本サンプルは Antenna House Formatter V6.6 以降で組版してください。

## Elementary Math #1

$$\begin{array}{r} 123 \\ \times 321 \\ \hline 123 \\ 246 \\ 369 \\ \hline \end{array}$$

## Elementary Math #2

$$\begin{array}{r} \phantom{3} \phantom{2} \phantom{1} \phantom{0} \phantom{5} \\ 2 \overline{) 1306} \\ \underline{12} \phantom{0} \\ \phantom{1} 10 \\ \phantom{1} \phantom{0} \underline{9} \\ \phantom{1} \phantom{0} \phantom{9} 16 \\ \phantom{1} \phantom{0} \phantom{9} \phantom{0} \underline{15} \\ \phantom{1} \phantom{0} \phantom{9} \phantom{0} \phantom{0} 10 \\ \phantom{1} \phantom{0} \phantom{9} \phantom{0} \phantom{0} \phantom{0} \underline{9} \\ \phantom{1} \phantom{0} \phantom{9} \phantom{0} \phantom{0} \phantom{0} \phantom{0} 1 \end{array}$$

## Simultaneous Equations

$$\begin{aligned} 8.44x + 55y &= 0 \\ 3.1x - 0.7y &= -1.1 \end{aligned}$$

## Quadratic Formula

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

## Standard Deviation

$$\sigma = \sqrt{\frac{1}{N} \sum_{i=1}^N (x_i - \mu)^2}$$

## Divergence

$$\nabla \cdot \vec{v} = \frac{\partial v_x}{\partial x} + \frac{\partial v_y}{\partial y} + \frac{\partial v_z}{\partial z}$$

## Complex Number

$$c = \overbrace{\frac{a}{\text{real}} + \frac{bi}{\text{imaginary}}}^{\text{complex number}}$$

## De Morgan's Laws <sup>(1)</sup>

$$\overline{\bigcup_{i \in I} A_i} \equiv \bigcap_{i \in I} \overline{A_i}$$

## Binomial Coefficient

$$C(n, k) = C_k^n = {}_nC_k = \binom{n}{k} = \frac{n!}{k!(n-k)!}$$

## Bernoulli Trials

$$P(k) = \binom{n}{k} p^k (1-p)^{n-k}$$

## Normal Distribution

$$f(x, \mu, \sigma) = \frac{e^{-\frac{(x-\mu)^2}{2\sigma^2}}}{\sigma\sqrt{2\pi}}$$

## Lorenz Equations

$$\begin{aligned}\dot{x} &= \sigma(y - x) \\ \dot{y} &= \rho x - y - xz \\ \dot{z} &= -\beta z + xy\end{aligned}$$

## Cross Product

$$\mathbf{V}_1 \times \mathbf{V}_2 = \begin{vmatrix} \mathbf{i} & \mathbf{j} & \mathbf{k} \\ \frac{\partial X}{\partial u} & \frac{\partial Y}{\partial u} & 0 \\ \frac{\partial X}{\partial v} & \frac{\partial Y}{\partial v} & 0 \end{vmatrix}$$

## Axiom of Power Set

$$\forall A \exists P \forall B [B \in P \iff \forall C (C \in B \Rightarrow C \in A)]$$

<sup>(1)</sup> Antenna House Formatter V6.6 以降で OpenType の MATH フィーチャの機能が有効な場合、U+22C3 "⋃" などの文字が下寄りに描画されることがあります。これは MATH フィーチャを含む一部の OpenType フォントが U+22C3 などの文字に対して largeop 用のグリフを用意しているためです。Antenna House Formatter の [オプション設定ファイル](#) の [exceptOpenTypeMATHVariants](#) に対して "U+22C0-22C3" のように指定するとベースラインに揃えて描画できます。

### Cauchy' s Integral Formula

$$f(a) = \frac{1}{2\pi i} \oint_{\gamma} \frac{f(z)}{z-a} dz$$

### Einstein' s Field Equations

$$R_{\mu\nu} - \frac{1}{2}g_{\mu\nu}R + g_{\mu\nu}\Lambda = \frac{8\pi G}{c^4}T_{\mu\nu}$$

### Legendre' s Differential Equation

$$\frac{d}{dx}\left[(1-x^2)\frac{d}{dx}P_n(x)\right] + n(n+1)P_n(x) = 0$$

### Sophomore' s Dream

$$\int_0^1 x^x dx = \sum_{n=1}^{\infty} (-1)^{n+1} n^{-n} = - \sum_{n=1}^{\infty} (-n)^{-n}$$

### Maxwell' s Equations

$$\left\{ \begin{array}{l} \nabla \times \overleftarrow{\mathbf{B}} - \frac{1}{c} \frac{\partial \overleftarrow{\mathbf{E}}}{\partial t} = \frac{4\pi}{c} \overleftarrow{\mathbf{j}} \\ \nabla \cdot \overleftarrow{\mathbf{E}} = 4\pi\rho \\ \nabla \times \overleftarrow{\mathbf{E}} + \frac{1}{c} \frac{\partial \overleftarrow{\mathbf{B}}}{\partial t} = \overleftarrow{\mathbf{0}} \\ \nabla \cdot \overleftarrow{\mathbf{B}} = 0 \end{array} \right.$$

### Schwinger-Dyson Equation

$$\left\langle \psi \left| \mathcal{T} \left\{ \frac{\delta}{\delta \phi} F[\phi] \right\} \right| \psi \right\rangle = -i \left\langle \psi \left| \mathcal{T} \left\{ F[\phi] \frac{\delta}{\delta \phi} S[\phi] \right\} \right| \psi \right\rangle$$

### Ramanujan Identity

$$\frac{1}{(\sqrt{\phi}\sqrt{5}-\phi)e^{\frac{25}{\pi}}} = 1 + \frac{e^{-2\pi}}{1 + \frac{e^{-4\pi}}{1 + \frac{e^{-6\pi}}{1 + \frac{e^{-8\pi}}{1 + \dots}}}}$$

### Rogers-Ramanujan Identity

$$\sum_{n=0}^{\infty} \frac{q^{n^2}}{(q)_{\infty}} = \frac{1}{\prod_{n=1}^{\infty} (1-q^{5n-4})(1-q^{5n-1})} \quad , \quad \text{for } |q| < 1$$

$$= 1 + q + q^2 + q^3 + 2q^4 + 2q^5 + 3q^6 + \cdots$$

Moore Determinant

$$M=\begin{bmatrix}\alpha_1&\alpha_1^q&\ldots&\alpha_1^{q^{n-1}}\\ \alpha_2&\alpha_2^q&\ldots&\alpha_2^{q^{n-1}}\\ \vdots&\vdots&\ddots&\vdots\\ \alpha_m&\alpha_m^q&\ldots&\alpha_m^{q^{n-1}}\end{bmatrix}$$

Differentiable Manifold

$$\gamma_1\equiv\gamma_2\Longleftrightarrow\begin{cases}\gamma_1(0)=\gamma_2(0)=p,\text{ and}\\ \left.\frac{d}{dt}\phi\circ\gamma_1(t)\right|_{t=0}=\left.\frac{d}{dt}\phi\circ\gamma_2(t)\right|_{t=0}\end{cases}$$

Sphere Volume

Spherical coordinates derivation of the volume of a sphere  $(\frac{4}{3}\pi R^3)$ . The formula  $S$  for a sphere of radius  $R$  in spherical coordinates is:  $S=\{0\leq \phi\leq 2\pi, 0\leq \theta\leq \pi, 0\leq \rho\leq R\}$

$$\begin{aligned}\text{Volume}&= \iiint_S \rho^2 \sin \theta d\rho d\theta d\phi \\ &= \int_0^{2\pi} d\phi \int_0^\pi \sin \theta d\theta \int_0^R \rho^2 d\rho \\ &= \phi \bigg|_0^{2\pi} (-\cos \theta) \bigg|_0^\pi \frac{1}{3} \rho^3 \bigg|_0^R \\ &= 2\pi \times 2 \times \frac{1}{3} R^3 \\ &= \frac{4}{3} \pi R^3\end{aligned}$$

Cichoń’ s Diagram

$$\begin{array}{ccccccccc} \mathrm{cov}\,(\mathcal{L}) & \longrightarrow & \mathrm{non}\,(\mathcal{K}) & \longrightarrow & \mathrm{cof}\,(\mathcal{K}) & \longrightarrow & \mathrm{cof}\,(\mathcal{L}) & \longrightarrow & 2^{\aleph_0} \\ & \uparrow & & \uparrow & & \uparrow & & \uparrow & \\ & & \mathfrak{b} & \longrightarrow & \mathfrak{d} & & & & \\ & & \uparrow & & \uparrow & & & & \\ \aleph_1 & \longrightarrow & \mathrm{add}\,(\mathcal{L}) & \longrightarrow & \mathrm{add}\,(\mathcal{K}) & \longrightarrow & \mathrm{cov}\,(\mathcal{K}) & \longrightarrow & \mathrm{non}\,(\mathcal{L}) \end{array}$$

Multiscripts & Greek Alphabet

$$\begin{array}{c} \kappa \mathfrak{E}_{\mu}^{\lambda} \\ \begin{array}{c} \xi_{\varepsilon} \mathfrak{B}_{\theta}^{\eta} \\ \beta_{\alpha} \mathfrak{A}_{\delta}^{\gamma} \end{array} \prod_{\rho}^{\xi_{\nu} \mathfrak{D}_{\pi}^{\circ}} \sigma_{\rho} \mathfrak{E}_{\nu}^{\tau} \\ \chi_{\phi} \mathfrak{F}_{\omega}^{\psi} \end{array}$$

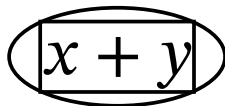


## MathML の menclose の楕円、擬似スクリプト

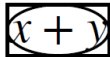
MathML の `menclose notation="circle"` で描画される楕円を境界矩形に内接させるか外接させるかの指定、擬似スクリプト（MathML 仕様書 [7.7.2 Pseudo-scripts](#)）の描画処理を指定できます。指定は Antenna House Formatter のオプション設定ファイルで行い、`menclose notation="circle"` の楕円は `"encloseCircle"`、擬似スクリプトは `"pseudoScripts"` で制御します。既定値と設定ファイルを反映させた描画の差異は各サンプルの下にある画像をご覧ください。`menclose notation="circle"` で描画される楕円の指定は Antenna House Formatter V6.3 から利用いただけます。

### `menclose notation="circle"` で描画される楕円の指定

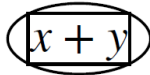
`"encloseCircle"` の指定で描画される楕円が境界線に `inscribed`（既定値）で内接、`circumscribed` で外接します。外接楕円は内接楕円の相似形となります。



`encloseCircle="inscribed"`（既定値）



`encloseCircle="circumscribed"`



### 擬似スクリプトの指定

`"pseudoScripts"` で `true`（既定値）を指定すると、`msup` などの上付き文字に対してその文字列がすべて上付き擬似スクリプト文字のときに、スクリプトレベルを変化させずベースラインも変化させません。`msub` などの下付き文字に対しても同様です。

$$(x', y')(X', Y')$$

$$f'(x) = f'(x)$$

$$(x_+, y_+)(X_+, Y_+)$$

`pseudoScripts="true"`（既定値）

`pseudoScripts="false"`

$$(x', y')(X', Y') \quad (x', y')(X', Y')$$

$$f'(x) = f'(x) \quad f'(x) = f'(x)$$

$$(x_+, y_+)(X_+, Y_+) \quad (x_+, y_+)(X_+, Y_+)$$

## SVG を使用した「すかし」

background-image へ SVG を指定して「すかし」を表現できます。このサンプルでは本文部分 region-body へ「すかし」が入るように指定しています。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Nullam purus. In porttitor, dui eget placerat pretium, mauris arcu ultrices nisl, quis mattis nisi turpis in velit. Cras et tellus quis nulla ultricies tristique. Ut at lacus at nibh cursus vestibulum. Praesent nec dui. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo. Pellentesque eu nunc ac lectus viverra pretium. Nunc nibh purus, adipiscing et, vehicula vel, feugiat nec, elit. Praesent nisi. Sed tincidunt. Aliquam erat volutpat. Aenean lacus. Suspendisse id ligula. Nulla facilisi. Sed et orci. Curabitur imperdiet odio non nisl. Sed mauris ante, laoreet eget, egestas ac, bibendum quis, quam. Nullam tincidunt vulputate leo. Cras orci purus, eleifend et, aliquet sed, tempor id, neque. Nam vulputate, tortor a congue pulvinar, pede lacus ornare erat, vel euismod felis tortor eu libero. Class aptent taciti sociosqu ad litora torquent per conubia nostra, per inceptos hymenaeos. Nulla convallis. In ac neque vel dolor tempor pretium. Aliquam mattis volutpat nibh. Etiam nibh eros, facilisis a, consectetur vel, tincidunt nonummy, odio.

Phasellus sollicitudin facilisis ligula. Class aptent taciti sociosqu ad litora torquent per conubia nostra, per inceptos hymenaeos. Phasellus erat purus, rhoncus et, dictum a, sodales a, odio. Sed et augue. Nulla purus elit, luctus vitae, sollicitudin non, fringilla quis, nisl. Praesent id ipsum in ipsum consequat pharetra. Nullam et quam. Praesent elit arcu, sollicitudin in, sodales non, tempor sed, pede. Phasellus eget felis. Nulla elit dolor, nonummy nec, pretium at, fermentum a, turpis. Duis facilisis faucibus orci. Nullam felis. In hac habitasse platea dictumst. Nullam pulvinar. Cras mauris lorem, rhoncus

Antenna House, Inc.



nonummy, faucibus sit amet, iaculis a, quam. Pellentesque malesuada justo faucibus augue. Curabitur volutpat pharetra orci. Nulla facilisi. Proin justo neque, volutpat quis, tempus tristique, molestie vitae, est. Proin venenatis mauris in eros. Donec imperdiet convallis risus. Nulla facilisi. Quisque dolor. Aenean elementum, dolor dapibus commodo iaculis, diam quam rutrum odio, at laoreet augue quam sagittis nisi. Cras euismod condimentum lorem. Quisque sollicitudin pellentesque est. Curabitur malesuada neque. Phasellus tellus sapien, viverra a, porta eget, tincidunt a, nisi.

Antenna House, Inc.

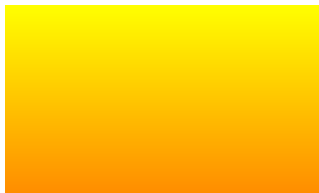
## グラデーション

`background-image` への値指定によりグラデーションを表現できます。表現可能な種類としては、線形グラデーション "`linear-gradient()`"、円形グラデーション "`radial-gradient()`"、繰り返し線形グラデーション "`repeating-linear-gradient()`"、繰り返し円形グラデーション "`repeating-radial-gradient()`" があります。グラデーションの向き、色の割合や形状などを指定できます。

### 線形グラデーションの表現例

線形グラデーションは、`background-image="linear-gradient(0deg, darkorange, yellow)"` のように指定します。値は順にグラデーションの向き、色の指定となります。角度はキーワード `to top` (0deg)、`to right` (90deg)、`to bottom` (180deg)、`to left` (270deg) でも指定できます。

`background-image="linear-gradient(0deg, darkorange, yellow)"`



`background-image="linear-gradient(to right, darkorange, yellow)"`



`background-image="linear-gradient(0deg, darkorange, yellow, darkorange)"`



`background-image="linear-gradient(0deg, darkorange 50%, yellow)"`

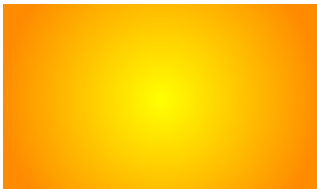
`darkorange 50%` のように指定してグラデーションの割合を指定できます。



## 円形グラデーションの表現例

円形グラデーションは、`background-image="radial-gradient(circle 100% at center, yellow, darkorange)"` のように指定します。値は順にグラデーションの形状と大きさ、円形の中心位置、色の指定となります。

`background-image="radial-gradient(circle 100% at center, yellow, darkorange)"`



`background-image="radial-gradient(yellow, darkorange)"`



`background-image="radial-gradient(yellow, darkorange, yellow)"`



`background-image="radial-gradient(circle at top left, yellow, darkorange)"`

グラデーションの円形の中心位置を左上"top left"に指定した例です。



`background-image="radial-gradient(closest-side at 30px 30px, yellow, darkorange)"`

グラデーションの大きさ指定、closest-side、farthest-side、closest-corner、farthest-corner と位置を数値指定で組み合わせて次のサンプルのようにも表現できます。



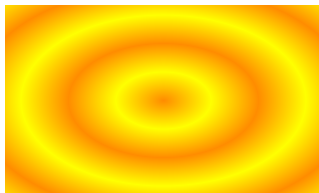
### 繰返し線形グラデーションと繰返し円形グラデーションの表現例

繰返し線形グラデーション（repeating-linear-gradient）と繰返し円形グラデーション（repeating-radial-gradient）は、background-image の値として指定できます。指定方法自体は、線形グラデーションと円形グラデーションと同じです。

background-image="repeating-linear-gradient(darkorange, yellow 20%, darkorange 40%)"



background-image="repeating-radial-gradient(darkorange, yellow 20%, darkorange 40%)"



background-image="repeating-radial-gradient(circle closest-side at 30px 30px, darkorange, yellow, darkorange)"



## 画像の代替テキストを表示

画像の代替テキストを表示するかどうかを [axf:display-alttext](#) で指定します。この機能は Antenna House Formatter V7.0 から利用いただけます。

このサンプルでは共通して以下の指定がされています。

`axf:alttext="画像が存在しないか、壊れています。"`

`fo:external-graphic` には `src="img/button-none.png"` が指定されていますが、この画像は存在しません。

`axf:display-alttext="true"` : 代替テキストが表示されます（画像は表示されません）。

画像が存在しないか、壊れています。

`axf:display-alttext="false"` : 代替テキストは表示されません。



`axf:display-alttext="auto"` : オプション設定ファイルの [display-alttext](#) の値に従って処理されます。



## OSDC を使って Microsoft Office 文書を埋め込む

[axf:image-preproc](#) を指定することで、fo:external-graphic の src に指定されたデータを、[Office Server Document Converter](#)（以降 OSDC と略）を利用して PDF に変換して、その PDF を文書中に埋め込みます。この機能は Antenna House Formatter V7.4 から利用いただけます。

次のページには、以下のように Excel 文書が指定されています。

```
<fo:external-graphic src="../../../img/031_INVOICE1.xlsx" axf:image-preproc="OSDC -pdfver PDF1.5" />
```

Windows 版、Linux 版のみで有効で、OSDC V9.0 以降がインストールされている必要があります。指定されたファイルは OSDC を利用して PDF へ変換後に埋め込まれます。

BILL TO:  
COMPANY NAME

INVOICE

ADDRESS:

<YOUR COMPANY NAME>

<YOUR OFFICE ADDRESS>

PHONE:  
FAX:

TEL:+81-787-444-5555 FAX:+81-111-222-3333

INVOICE #	DATE

SERVICE DESCRIPTION		AMOUNT
1		¥120.00
2		¥140.00
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
NOTE		SUB TOTAL ¥260.00
		TAX ¥26.00
		TOTAL AMOUNT ¥286.00

AUTHORIZED  
SIGNATURE

<YOUR NAME>

<ANOTHER AUTHORIZED PERSON'S NAME>

REMITTANCE INFORMATION

BANK NAME:  
SWIFT CODE:  
ACCOUNT NO.

PAYMENT TERM

Antenna House, Inc.

## バーコード

このサンプルは Antenna House Formatter のバーコードジェネレータオプションを使用して、文書中に画像として直接バーコードを埋め込んだ例です。バーコードフォントを使用せず、バーコードの画像（png または svg）を生成して埋め込みます。Barcode Type : Data Matrix、PDF417 は Antenna House Formatter V6.3 から、Barcode Type : Aztec Code は Antenna House Formatter V7.1 から利用いただけます。バーコードジェネレータオプションを利用するには、「[Antenna House Formatter バーコードジェネレータオプション](#)」をご購入していただく必要があります。

Barcode Type : QR

Set Data

Barcode

〒 103-0004 東京都中央区東日本橋 2 丁目 1 番 6 号 東  
日本橋藤和ビル 5 階 アンテナハウス株式会社  
<https://www.antenna.co.jp/AHF/>



Barcode Type : MicroQR

Set Data

Barcode

Antenna House



Barcode Type : Data Matrix

Set Data

Barcode

Antenna House Formatter



Barcode Type : PDF417

Set Data

Barcode

<https://www.antenna.co.jp/AHF/>



Barcode Type : Aztec Code

Set Data

Barcode

<https://www.antenna.co.jp/AHF/>





Barcode Type : 日本郵便カスタマバーコード

Set Data

Barcode

1030004



Barcode Type : Intelligent Mail® Barcode

Set Data

Barcode

01234567094987654321



Barcode Type : POSTNET

Set Data

Barcode

555551237



Barcode Type : EAN / JAN

Set Data

Barcode

4901234567894



4 901234 567894

Barcode Type : UPC (UPC-A、UPC-E)

Set Data

Barcode

01234567899



0 12345 67899 8

Barcode Type : Interleaved 2of5 (ITF)

Set Data

Barcode

1234567890



1234567890

Barcode Type : Codabar / NW-7

Set Data

Barcode

A37859+B



A37859+B

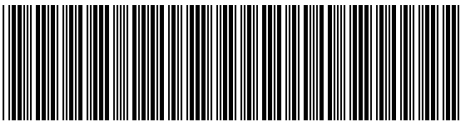
Antenna House, Inc.

Barcode Type : Code39

Set Data

Barcode

01234Sample56789



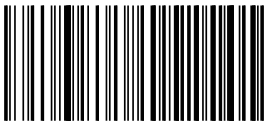
\*01234SAMPLE56789-\*

Barcode Type : Code128

Set Data

Barcode

antenna9021



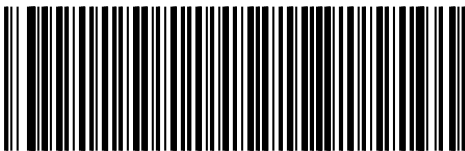
antenna9021

Barcode Type : GS1-128 / EAN-128

Set Data

Barcode

&#xc6;0114912345678901



(01)14912345678901

## バーコードの色と余白

バーコードの色は、data スキームのパラメータ `color` で指定ができます。`color` には `transparent` 以外の任意の色を指定できますが、出力形式が PNG では RGB に変換されます。バーコードの余白（クワイエットゾーン）は、data: スキームのパラメータ `qz` で指定ができます。余白は幅をモジュール単位の非負数で指定、四方に適用されます。仕様では、QR のとき 4、MicroQR は 2 と定められています。仕様よりも狭くしたときの動作は保証されません。バーコードの色と余白の設定は Antenna House Formatter V6.3 から利用いただけます。バーコードを生成するためのバーコードジェネレータオプションを利用するには、「[Antenna House Formatter バーコードジェネレータオプション](#)」をご購入していただく必要があります。

### バーコードの色

color 指定なし



color=red



color=#0000FF



color=rgb-icc(#Grayscale,0.5)



PNG, color=cmymk(0.2, 0.4, 0.4, 0.2)



SVG, color=cmymk(0.2, 0.4, 0.4, 0.2)



### バーコードの余白

qz の指定なし



qz=10



qz=4（初期値）



## バーコードの色とサイズ

バーコードの色は、data スキームのパラメータ `color` で指定ができます。color には `transparent` 以外の任意の色を指定できますが、出力形式が PNG では RGB に変換されます。バーコードの表示サイズは `fo:external-graphic` 要素内に `content-height` や `content-width` で指定できます。ただし、縦横比の変更や、小さなサイズにすると読み取れなくなる可能性がありますのでご注意ください。バーコードの色の設定は Antenna House Formatter V6.3 から利用いただけます。バーコードを生成するためのバーコードジェネレータオプションを利用するには、「[Antenna House Formatter バーコードジェネレータオプション](#)」をご購入していただく必要があります。

### バーコードの色

color 指定なし



color=red



color=#0000FF



color=rgb-icc(#Grayscale,0.5)



PNG, color=cmym(0.2, 0.4, 0.4, 0.2)



SVG, color=cmym(0.2, 0.4, 0.4, 0.2)



### バーコードのサイズ

content-height 指定なし



content-height="60mm"









content-height="10mm"




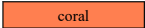



























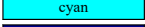



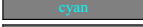


























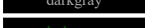
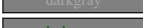


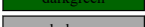




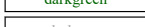

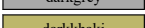
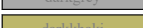
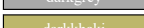

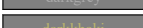


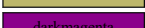
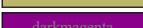
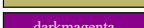

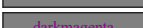
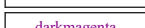

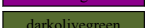













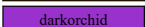
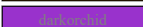












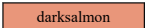





























































## 色名

XSL 1.1 では 16 の基本色名 (aqua、black、blue、fuchsia、gray、green、lime、maroon、navy、olive、purple、red、silver、teal、white、yellow) を定義しています。Antenna House Formatter は、CSS Color Module Level 3 (および SVG 1.0) の 131 の拡張色名および CSS Color Module Level 4 で定義される rebeccapurple にも対応しています。

以下の各行では、各色名を black、gray、white のテキストの背景色および black、gray、white の背景のテキスト色として使用した例を示しています。

	aliceblue						
	antiquewhite						
	aqua						
	aquamarine						
	azure						
	beige						
	bisque						
	black						
	blanchedalmond						
	blue						
	blueviolet						
	brown						
	burlywood						
	cadetblue						
	chartreuse						
	chocolate						

Antenna House, Inc.

	coral						
	cornflowerblue						
	cornsilk						
	crimson						
	cyan						
	darkblue						
	darkcyan						
	darkgoldenrod						
	darkgray						
	darkgreen						
	darkgrey						
	darkkhaki						
	darkmagenta						
	darkolivegreen						
	darkorange						
	darkorchid						
	darkred						
	darksalmon						
	darkseagreen						
	darkslateblue						
	darkslategray						
	darkslategrey						
	darkturquoise						
	darkviolet						
	deeppink						

Antenna House, Inc.

カラーのサンプル

	deepskyblue					
	dimgray					
	dimgray					
	dodgerblue					
	firebrick					
	floralwhite					
	forestgreen					
	fuchsia					
	gainsboro					
	ghostwhite					
	gold					
	goldenrod					
	gray					
	green					
	greenyellow					
	grey					
	honeydew					
	hotpink					
	indianred					
	indigo					
	ivory					
	khaki					
	lavender					
	lavenderblush					
	lawngreen					

Antenna House, Inc.

	lemonchiffon					
	lightblue					
	lightcoral					
	lightcyan					
	lightgoldenrodyellow					
	lightgray					
	lightgreen					
	lightgrey					
	lightpink					
	lightsalmon					
	lightseagreen					
	lightskyblue					
	lightslategray					
	lightslategray					
	lightsteelblue					
	lightyellow					
	lime					
	limegreen					
	linen					
	magenta					
	maroon					
	mediumaquamarine					
	mediumblue					
	mediumorchid					
	mediumpurple					

Antenna House, Inc.


	mediumseagreen					
	mediumslateblue					
	mediumspringgreen					
	mediumturquoise					
	mediumvioletred					
	midnightblue					
	mintcream					
	mistyrose					
	moccasin					
	navajowhite					
	navy					
	oldlace					
	olive					
	olivedrab					
	orange					
	orangered					
	orchid					
	palegoldenrod					
	palegreen					
	paleturquoise					
	palevioletred					
	papayawhip					
	peachpuff					
	peru					
	pink					

Antenna House, Inc.

	plum					
	powderblue					
	purple					
	rebeccapurple					
	red					
	rosybrown					
	royalblue					
	saddlebrown					
	salmon					
	sandybrown					
	seagreen					
	seashell					
	sienna					
	silver					
	skyblue					
	slateblue					
	slategray					
	slategrey					
	snow					
	springgreen					
	steelblue					
	tan					
	teal					
	thistle					
	tomato					

Antenna House, Inc.

カラーのサンプル

	turquoise						
	violet						
	wheat						
	white						
	whitesmoke						
	yellow						
	yellowgreen						

Antenna House, Inc.



## rgb-icc によるグレイスケールの描画

`rgb-icc(#Grayscale, <Scale>)` または、`rgb-icc(<R>, <G>, <B>, #Grayscale, <Scale>)` 指定でグレイスケールを描画する例です。Scale は 0.0（黒）から 1.0（白）の範囲の数値、または 0%（黒）から 100%（白）の範囲のパーセンテージで指定します。R, G, B はデバイスがグレイスケールの色を表示できないときに使用されるフォールバック RGB カラーとして指定します。詳しくはオンラインマニュアルの「[rgb-icc\(\)](#)」をご参照ください。

### Scale を数値で指定

	1.0	
<code>rgb-icc(#Grayscale, 0.9)</code>	0.9	<code>rgb-icc(230, 230, 230, #Grayscale, 0.9)</code>
<code>rgb-icc(#Grayscale, 0.8)</code>	0.8	<code>rgb-icc(205, 205, 205, #Grayscale, 0.8)</code>
<code>rgb-icc(#Grayscale, 0.7)</code>	0.7	<code>rgb-icc(180, 180, 180, #Grayscale, 0.7)</code>
<code>rgb-icc(#Grayscale, 0.6)</code>	0.6	<code>rgb-icc(153, 153, 153, #Grayscale, 0.6)</code>
<code>rgb-icc(#Grayscale, 0.5)</code>	0.5	<code>rgb-icc(128, 128, 128, #Grayscale, 0.5)</code>
<code>rgb-icc(#Grayscale, 0.4)</code>	0.4	<code>rgb-icc(102, 102, 102, #Grayscale, 0.4)</code>
<code>rgb-icc(#Grayscale, 0.3)</code>	0.3	<code>rgb-icc(77, 77, 77, #Grayscale, 0.3)</code>
<code>rgb-icc(#Grayscale, 0.2)</code>	0.2	<code>rgb-icc(51, 51, 51, #Grayscale, 0.2)</code>
<code>rgb-icc(#Grayscale, 0.1)</code>	0.1	<code>rgb-icc(26, 26, 26, #Grayscale, 0.1)</code>
<code>rgb-icc(#Grayscale, 0.0)</code>	0.0	<code>rgb-icc(0, 0, 0, #Grayscale, 0.0)</code>

### Scale をパーセンテージで指定









	100%	
<code>rgb-icc(#Grayscale, 90%)</code>	90%	<code>rgb-icc(90%, 90%, 90%, #Grayscale, 90%)</code>
<code>rgb-icc(#Grayscale, 80%)</code>	80%	<code>rgb-icc(80%, 80%, 80%, #Grayscale, 80%)</code>
<code>rgb-icc(#Grayscale, 70%)</code>	70%	<code>rgb-icc(70%, 70%, 70%, #Grayscale, 70%)</code>
<code>rgb-icc(#Grayscale, 60%)</code>	60%	<code>rgb-icc(60%, 60%, 60%, #Grayscale, 60%)</code>
<code>rgb-icc(#Grayscale, 50%)</code>	50%	<code>rgb-icc(50%, 50%, 50%, #Grayscale, 50%)</code>
<code>rgb-icc(#Grayscale, 40%)</code>	40%	<code>rgb-icc(40%, 40%, 40%, #Grayscale, 40%)</code>
<code>rgb-icc(#Grayscale, 30%)</code>	30%	<code>rgb-icc(30%, 30%, 30%, #Grayscale, 30%)</code>
<code>rgb-icc(#Grayscale, 20%)</code>	20%	<code>rgb-icc(20%, 20%, 20%, #Grayscale, 20%)</code>
<code>rgb-icc(#Grayscale, 10%)</code>	10%	<code>rgb-icc(10%, 10%, 10%, #Grayscale, 10%)</code>
<code>rgb-icc(#Grayscale, 0%)</code>	0%	<code>rgb-icc(0%, 0%, 0%, #Grayscale, 0%)</code>

## rgb-icc() と cmyk() による CMYK の描画

rgb-icc(<R>,<G>,<B>,#CMYK,<C>,<M>,<Y>,<K>) 指定で CMYK 指定の色を描画する例です。CMYK 値に 0.0～1.0 または%値を設定します。cmyk(<C>,<M>,<Y>,<K>) は、rgb-icc(#CMYK,<C>,<M>,<Y>,<K>) と等価です。

RGB の計算には以下の式を使用しています。

Red = 1 – minimum(1, Cyan × (1 – Black) + Black)  
 Green = 1 – minimum(1, Magenta × (1 – Black) + Black)  
 Blue = 1 – minimum(1, Yellow × (1 – Black) + Black)

rgb-icc(164,164,164,#CMYK,0.2, 0.2, 0.2, 0.2)		rgb-icc(64%,64%,64%,#CMYK, 20%, 20%, 20%, 20%)
rgb-icc(123,123,123,#CMYK,0.2, 0.2, 0.2, 0.4)		rgb-icc(48%,48%,48%,#CMYK, 20%, 20%, 20%, 40%)
rgb-icc(164,164,123,#CMYK,0.2, 0.2, 0.4, 0.2)		rgb-icc(64%,64%,48%,#CMYK, 20%, 20%, 40%, 20%)
rgb-icc(164,123,164,#CMYK,0.2, 0.4, 0.2, 0.2)		rgb-icc(64%,48%,64%,#CMYK, 20%, 40%, 20%, 20%)
rgb-icc(123,164,164,#CMYK,0.4, 0.2, 0.2, 0.2)		rgb-icc(48%,64%,64%,#CMYK, 40%, 20%, 20%, 20%)
rgb-icc(123,123,92,#CMYK,0.2, 0.2, 0.4, 0.4)		rgb-icc(48%,48%,36%,#CMYK, 20%, 20%, 40%, 40%)
rgb-icc(164,123,123,#CMYK,0.2, 0.4, 0.4, 0.2)		rgb-icc(64%,48%,48%,#CMYK, 20%, 40%, 40%, 20%)
rgb-icc(123,123,164,#CMYK,0.4, 0.4, 0.2, 0.2)		rgb-icc(48%,48%,64%,#CMYK, 40%, 40%, 20%, 20%)

## rgb-icc で PANTONE® スポットカラーを指定

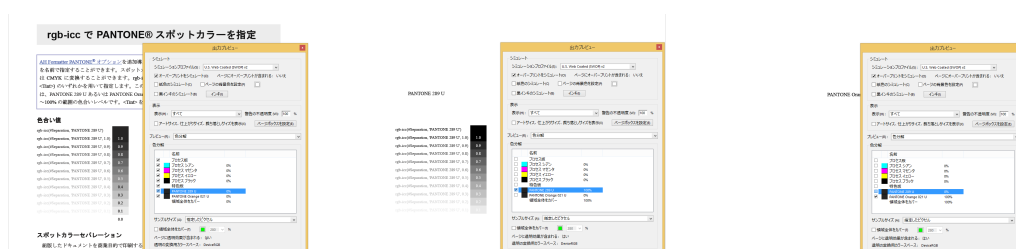
[Antenna House Formatter PANTONE® オプション](#)を追加導入していただくことで、5,000 種類以上の PANTONE® カラーを名前で指定することができます。スポットカラーとしての印刷、描画用または印刷用に正しい RGB または CMYK に変換することができます。rgb-icc(#Separation, <Name>) または rgb-icc(#Separation, <Name>, <Tint>) のいずれかを用いて指定します。この場合 <Name> は PANTONE® の色名です。実際の指定例では、PANTONE 289 U あるいは PANTONE Orange 021 U のようになります。<Tint> は、0.0~1.0 または 0%~100% の範囲の色合いレベルです。<Tint> を省略すると 1.0 とみなされます。(1)

### 色合い値

rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U')	
rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U', 1.0)	1.0
rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U', 0.9)	0.9
rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U', 0.8)	0.8
rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U', 0.7)	0.7
rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U', 0.6)	0.6
rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U', 0.5)	0.5
rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U', 0.4)	0.4
rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U', 0.3)	0.3
rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U', 0.2)	0.2
rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U', 0.1)	0.1
	0.0

### スポットカラーセパレーション

組版したドキュメントを商業目的で印刷する際に、各 PANTONE® カラーはその PANTONE® カラー用の特定のインクで個別に印刷されます。各 PANTONE® のセパレーションカラーのグレースケールレベルは適用する色合いのレベルに対応します。



(1) PANTONE® オプション が有効の場合のみ、指定された PANTONE® カラーが適用されます。評価版では無効です。この PDF では PANTONE® カラーは出力されていません。

## HSL：色相、彩度、輝度による色指定

Antenna House Formatter は `hsl()`、`hsla()` 関数により HSL 色空間を利用できます。色相 (Hue)、彩度 (Saturation)、輝度 (Lightness) の 3 要素で指定できる HSL 色は、赤・緑・青による色調整より直感的な調整ができます。また、色相、彩度、輝度のいずれかの値を変化させて異なる色を作成することで、一致または補足的な HSL 色の組み合わせが簡単に作成できます。`hsl(<H>, <S>, <L>)` または透明度のアルファ成分を追加する `hsla(<H>, <S>, <L>, <A>)` で色を設定します。詳しくは、オンラインマニュアルの [hsl\(\)](#) または [hsla\(\)](#) もご参照ください。

色相 (H) は色相環の 0 度～360 度までの角度を単位なしで指定します。0 度または 360 度は赤、120 度は緑、240 度は青に定義されます。彩度 (S)、輝度 (L)、透明度 (A) は 0%～100%または 0.0～1.0 のいずれかで指定します。彩度 100%は純色で、彩度 0%は灰色です。輝度 100%は白、輝度 50%は純色で、輝度 0%は黒です。透明度 100%は不透明で、透明度 0%は透明になります。

次の例は色名 `cornflowerblue` (`#6495ED`、`hsl(219, 79%, 66%)` と等価) の色相、彩度、輝度の値を変更することによって色を調整する方法を表します。

cornflowerblue (#6495ED)			20% more saturated			Saturation			20% less saturated		
20% lighter			hsl(219, 99%, 86%)			hsl(219, 79%, 86%)			hsl(219, 59%, 86%)		
Lightness			hsl(219, 99%, 66%)			hsl(219, 79%, 66%)			hsl(219, 59%, 66%)		
20% darker			hsl(219, 99%, 46%)			hsl(219, 79%, 46%)			hsl(219, 59%, 46%)		
219	249	279	309	339	9	39	69	99	129	159	189

次の例は色名 `red` (`#FF0000`、`hsl(0, 100%, 50%)` と等価) です。`red` は彩度 100%であり、これ以上の彩度にすることはできないため、彩度 120%は 100%に切り詰められます。

red (#FF0000)	20% more saturated			Saturation			20% less saturated				
20% lighter	hsl(0, 120%, 70%)			hsl(0, 100%, 70%)			hsl(0, 80%, 70%)				
Lightness	hsl(0, 120%, 50%)			hsl(0, 100%, 50%)			hsl(0, 80%, 50%)				
20% darker	hsl(0, 120%, 30%)			hsl(0, 100%, 30%)			hsl(0, 80%, 30%)				
0	30	60	90	120	150	180	210	240	270	300	330

HSL による色または関連する色の選択をサポートする「カラーピッカー」のサイトは例えば、<http://www.workwithcolor.com/hsl-color-picker-01.htm> や <http://www.workwithcolor.com/mm-color-blender-01.htm> など多数あります。

次のページの表は<sup>(1)</sup>、12 色相 (H) の彩度 (S) と輝度 (L) の値の範囲で示したものです。0 度から始まり、色相環の周り 30 度間隔で配置しています。

1. `axf:overflow-condense="font-size"` を設定して表をひとつのページに収め、フォントサイズを自動的に調整します。詳しくはオンラインマニュアルの [axf:overflow-condense](#) をご参照ください。

H: 0 (0° - Reds)					L ↓	H: 30 (30° - Oranges)					L ↓	H: 60 (60° - Yellows)				
← S →						← S →						← S →				
100%	75%	50%	25%	0%		100%	75%	50%	25%	0%		100%	75%	50%	25%	0%
					100%						100%					
					88%						88%					
					75%						75%					
					63%						63%					
					50%						50%					
					38%						38%					
					25%						25%					
					13%						13%					
					0%						0%					
H: 90 (90° - Yellow-Greens)					L ↓	H: 120 (120° - Greens)					L ↓	H: 150 (150° - Green-Cyans)				
← S →						← S →						← S →				
100%	75%	50%	25%	0%		100%	75%	50%	25%	0%		100%	75%	50%	25%	0%
					100%						100%					
					88%						88%					
					75%						75%					
					63%						63%					
					50%						50%					
					38%						38%					
					25%						25%					
					13%						13%					
					0%						0%					
H: 180 (180° - Cyans)					L ↓	H: 210 (210° - Cyan-Blues)					L ↓	H: 240 (240° - Blues)				
← S →						← S →						← S →				
100%	75%	50%	25%	0%		100%	75%	50%	25%	0%		100%	75%	50%	25%	0%
					100%						100%					
					88%						88%					
					75%						75%					
					63%						63%					
					50%						50%					
					38%						38%					
					25%						25%					
					13%						13%					
					0%						0%					
H: 270 (270° - Blue-Magentas)					L ↓	H: 300 (300° - Magentas)					L ↓	H: 330 (330° - Magenta-Reds)				
← S →						← S →						← S →				
100%	75%	50%	25%	0%		100%	75%	50%	25%	0%		100%	75%	50%	25%	0%
					100%						100%					
					88%						88%					
					75%						75%					
					63%						63%					
					50%						50%					
					38%						38%					
					25%						25%					
					13%						13%					
					0%						0%					

Antenna House, Inc.

## テキストを透明にする

XSL 1.1 では、transparent を background-color およびボーダーの色を指定する border-\* プロパティに使用できます。Antenna House Formatter は color の値として transparent が指定できるようにも拡張されています。テキストに color="transparent" を指定すると、組版されたテキストの大きさに相当する空白は確保されますが文字は出力されません。文字を出力に含ませかつ表示させない場合は、代わりに color="rgba(0, 0, 0, 0)" を指定してください。

### 指定なし

この文字は表示されません。この文字は表示されます。

### color="transparent"

この文字は表示されます。

### color="rgba(0, 0, 0, 0)"

この文字は表示されます。

### テキストの選択

#### 指定なし

この文字は表示されません。この文字は表示されます。

#### color="transparent"

この文字は表示されます。

#### color="rgba(0, 0, 0, 0)"

この文字は表示されます。